

新市まちづくり(住民・職員)提言集

平成15年2月24日

社会基盤	1
生活環境	11
保健福祉	25
産業経済	35
教育文化	57
その他	77

川西薩地区法定合併協議会

社 会 基 盤

社会基盤(テーマ 新しい市が誕生したときに、「自慢したい」、「残したい」、「くふうしたい」ものは？(政策、住民の取り組み、場所、祭り等々))

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-59	川内市	30	男	バスの均一運賃 合併に合せ路線バス網の見直しが必要
1-74	川内市	48	男	2市4町4村の枠組みは、県下第2の拠点堵市として、新幹線、西回り、広域港湾、川内川をもち、甑島の観光漁港海洋深層水など、発展性が豊かで、地の利として東海圏に向かっている。川内港と串木野港を一体化し、背後の交通アクセスを整備することにより、農林業も振興を図る。
2-115	串木野市	35	男	日本一のITネットワーク都市にする。
6-10	祁答院町	34	男	現在、工事中の新幹線には特に期待を寄せております。
6-19	祁答院町	60	男	高齢者等の交通手段の確保が必要、新市の中心部とのアクセスはもちろんだが、旧町村間を運行するミニバスは存続する。年に一度、全旧市町村の伝統芸能祭を披露する「伝統文化の祭典」を開催する。
6-20	祁答院町	48	男	高齢者で自動車免許を持っていない方も多いため、祁答院バスの運行存続を希望する。祁答院町から川内市まで用事のある方但し、免許がなく車を所有していない70歳以上にはタクシー乗車券の配布検討はいかがでしょうか。
6-7	祁答院町	51	男	高齢者、学生の交通の便の確保
8-7	上甑村	35	男	・残したいこと…バス企業団による住民の交通手段の確保 …村立診療所のバスによる患者送迎 ・自慢したいこと…カギをかけなくても安全な治安のよさ …交通死亡事故ゼロの連続記録
11-19	川内地区 消防組合			恵まれた資源を最大限に生かし、環境に配慮したまちづくりをして欲しい。公共工事等も自然破壊ではなく自然再生(例えば堤防の二重化など魚の住める川作りなど)を目指してほしい。 また、これまでの各市町村の伝統・文化を尊重し中央集権的なまちではなく、自治区単位の独自性を残してほしい。(区長制を導入し、それぞれの区民祭や体育行事等の継続的实施など)
11-20	川内地区 消防組合	26	男	各地に残る無形文化財の存続と発展。川内大綱引き、竜宮伝説フェスティバル、甑大明神マラソン、東郷梅マラソンなど 陸・海の交通手段の改革。甑島フェリー、シーホーク等時間等の改善と増便
11-55	川内地区 消防組合	43	男	「災害に強い街づくり」。良く耳にするフレーズです。川内市は過去、川内川やその支流が氾濫する大規模な水害や土砂崩れ、台風による災害により多くの人名と財産が失われてきました。又、原子力発電所が立地し、防災面では一般的に「危ない市」というイメージがあると考えます。特に原子力防災については、「絶対事故は起こらない」という方針から、東海村臨界事故を契機に「起こるかもしれない」というスタンスに変わり、原子力特別措置法の施行やオフサイトセンターの建設等、現実のリスクを注視するようになってきました。災害の捉え方は、アメリカでは「いつ起きても」。日本では「もし、起きたら」という具合に危機管理に対する考え方について大きな開きがあります。原子力発電所について内容や事故を正しく理解している市民はそう多くないと考えます。市の主管課や県では、広報誌などを通じての周知の努力をされていますが限界があります。そこで、原子力災害を想定した「原子力防災館」の建設を提言します。原子力災害のあらゆる事故をシュミレーションできる設備を備え、事故の範囲と程度を五感で学べる防災館の建設です。なぜ、災害時にヨウ素材を投与するのか、防護服の役割は、防護マスクの有効性などを実際に体験するのです。不安を煽るのではなく、不安を直視し、そこから実際の災害では自分たちに何が出来るかを考えてもらいます。災害時の対応はハードよりソフトが有効と言われます。つまり、原子力防災について正しい知識を持った人を育てることにより、住民の不安を払拭し、原子力発電所と共存するのです。そういう人材は、他の災害でも地域のリーダーになり、自主防災組織の結成や充実といったプラスの波及効果も期待できます。災害が起こるのは「When」であることを忘れず、日本で最初の充実した防災館建設を提言します。
11-75	川内地区	44	男	伝統的なものを継承し、新市が誕生することでなくならないよう住民自ら盛り上げ、公共機関等のバックアップで後世に受け継いでいけるような下地をつくるのが肝要では。

	消防組合			
17-4	甑島衛生管理組合	41	男	今の里村の住民は、婦人会、子ども会、青年団・・・など色々な取り組みをおこないそして、がんばっていることに自慢しそして、このまま続けていってもらいたい。
9	個別応募: 川内市	4	女	自慢したいもの:古くから、政治・経済、交通の中心地であったこと。 残したいもの:各地の地名や伝統・文化 伸ばしたいもの:中国・東南アジアに近いという地理的優位性。 工夫したいもの:新市域内の移動距離・移動時間の短縮化。

社会基盤 (テーマ 「魅力あるまち」「活気のあるまち」「幸せを実感できるまち」にしていくためには、何が大切で、何をしたらよいかと思いますか?)

	市町村名	年齢	性別	提言
1-5	川内市	52	男	各市町村は行政情報等の伝達について、さまざまな手段を持っている。甑島を含む広域合併となる当地区においてはこの伝達手段が重要となってくる。適当なキャパシティを持ち新幹線開通となる今こそ、まちに活気をもたらすこととなるミニFMを開局し、インターネットとの相互活用を図ることが重要である。
1-16	川内市	51	男	いつでもどこでも誰とでも行き来できる手段の構築 舟便 湊唐口から甑島へ航路(シャトル便)の復活(30分圏) 川面に舟の復活(カヌーでもボートでも) 舟・新幹線・西回り等の結節の強化 高速化の恩恵を甑島まで届かせる。
1-25	川内市	40	男	広域合併になるので、交通手段の確保を充実し老人や若者が自由に行き来出来る町づくりが必要。
1-38	川内市	32	男	人口密集地(東京、大阪、福岡、鹿児島等)との物理的距離は短縮できないが、時間距離は交通環境の整備によって短縮できる。人口密集地から離れた自然豊かな街だが、生活は便利な街が望ましい。
1-41	川内市	49	男	地域が広く、一つの自治体としての意識を持つためにも現在の市町村を結ぶ交通機関を計画すべき。
1-49	川内市	47	男	生涯を通して健康で安心して暮らせるよう福祉・都市環境等の整備と交通路の確保と拡充。地元で一生暮らせるよう市民所得の向上や各種産業の振興、就業環境をはじめとする勤労者福祉の向上
1-65	川内市	46	男	交通の結接点
1-97	川内市	39	男	車社会であることを考え、駐車場の整備が必要(特に中心部、駅周辺)だと思います。(バス等公共交通機関があまりよくないことも含めて)
2-57	串木野市	42	女	高齢者には扶助費等が多く使われているように感じるが、もっと幼児や子供達にも手厚い施策が必要だと思う。若い親が働きやすい環境を作って欲しい。(保育園、幼稚園、託児所、子ども病院)市内のすみずみまで行政の手が行き届くように声が届くように、市役所が身近でなければならない。その為には、支所や出張所等を均等に置いて欲しい。各種の届や申請(住民が頻繁に利用するもの)を出す役所が住居地から近い所になればいい。商店街をもっと魅力のある通りにして、車を使わなくても出かけられ、帰りの心配もあまり必要ないようバス等の運行も定期的に便を増やして欲しい。
2-90	串木野市	53	男	1. 便利で生活しやすい住宅団地の整備 2. 定年後に出郷者が帰ってきたくような施策の充実(住宅・農地の活用、交通の整備、職場の確保) 3. 世代を越えて集えるような複合施設の整備(図書館、視聴覚センター、軽スポーツの施設等)
2-115	串木野市	35	男	光ファイバーネットワークを新市の隅々まで張り巡らせ、市民が一体感を実感できるIT都市とする。行政範囲が海を隔てることも考え、陸続きでなくても、いつも隣にいて話合える一体感のある和を人の心を感じることで出来る都市としたい。その手段としてITを活用する。

3-24	樋脇町	31	男	魅力ある施設等は必要だと思いますが、住み良い町づくり(公共交通機関の充実、名物になるイベント等の開催)に力を入れた方が良いと思います。当町の温泉は観光(宿泊)を中心に展開していますが、滞在型へ移行できる宿泊施設への転換が必要ではないでしょうか。
3-51	樋脇町	43	男	生活環境の充実 交通アクセス 医療体制、ゆとり施設等々
4-11	入来町	46	男	新市の中核的な役割を果たす教育施設の充実。例えば、市立の中央図書館、児童生徒の研修施設、教職員保護者の研修施設などの整備 学校におけるITの充実。学校間のテレビ会議システムの構築、中核となる教育施設との接続等、IT活用による教育効果の充実
6-5	祁答院町	39	男	都市部と農山漁村部の均衡ある発展及び交流が肝心。産業、商工業、農漁業の一体となったまちづくりを進める。対策として都市部と郡部を結ぶ交通体系の整備、地域通貨の導入、地場産業販売センターの建設等。また民間団体、ボランティア団体、NPO法人等と連携した街づくり及びこれらの人材育成も必要と考える。
6-14	祁答院町	53	男	市街地の整備(特に商店街)については、新市の顔ともなり活性化のため大切なことですが、周辺の町の住民は、今までと違い社会資本の整備に遅れがでるのではないかと懸念されるため、市街地へのアクセス道路、地域を循環する道路等の整備を、市街地の整備と平行し取り組み。地域で、誰もが身近に、いつでもスポーツ等親しめるグラウンド等の整備。福祉施設についても、今後、介護保険の利用者の増加が見込まれるため地域の自然(温泉・川・海・湖)を生かした整備も急務と考える。また、高齢化の進行に伴い交通弱者も増えてくるため、その対策を。
6-15	祁答院町	49	男	本町の商店街の現状は少子高齢化に伴い、活気のある商店は半数で、特に官公庁の取引のある商店に限っていると言っても過言ではない。更に本町は、他町に無いものがたくさんあります。[本屋][薬屋][飲み屋][花屋][写真屋][カラオケ][喫茶店][パチンコ屋][入院施設病棟]等。合併した場合は、上記のような商店ができない以上活気は無いような気がします。管内を循環するバス等の運行手段の整備がまず先決である。幸せを実感できる町として、病気、ケガの入院等は、すべて他町へ入院している。このため合併後近く入院施設の整備が急務である。
8-6	上甕村	59	男	本村は高齢者が多いので福祉的な(医療を含む)面で安心できる村であって欲しい。 甕島の住民は串木野港から川内市(鹿児島市)への交通のアクセスを今以上に良くして欲しい。
8-18	上甕村	43	男	鹿児島市への流出を防ぐため、交通基盤、産業集積、医療福祉体制の充実を図る。
11-4	川内地区 消防組合	24	男	駅・周辺の都市化
11-5	川内地区 消防組合	26	男	大企業を持ってくる 駅、周辺の活性化
11-6	川内地区 消防組合	43	男	観光地開発、駅を中心とした定期観光バスの運行 遊覧船による川内川下りから離島巡り
11-7	川内地区 消防組合	45	男	駅を介して多数の人が出入り交通の利便性を高め、人々の流通が多くなれば活気も必ず出てくると思います。そのために例えば、イベントコンサート、公演など若年層から幅広い年齢層を収容できる文化ホールなどの建設及び駅周辺や公共施設付近の駐車スペースの拡大などを。また、観光名所例えば寺山公園をレジャーランドあるいは、川内牛や名産品を売り出す、ファームランド等の計画もどうでしょうか。
11-10	川内地区 消防組合	35	男	東シナ海に面するシナなので、テーマパークランドとして海浜公園などの整備、甕島への日帰りイベントなどを計画していき観光に力を入れていけば、活性化していくのでは？ その他、生活面で道路の整備、国分市・出水市などは素晴らしい
11-14	川内地区 消防組合	50	男	住民が安心して暮らせること条件として防災機関の充実が大切である。現在の消防庁舎は敷地的に狭く職員の訓練も十分できないのが現状です。合併後は13万都市にふさわしい防災機関の拠点となる消防庁舎の建設を望む

11-20	川内地区 消防組合	26	男	新しいものばかりでなく伝統と共存できる町並み 街全体上がりラックスしやすい
11-22	川内地区 消防組合	45	男	人が集う街として大規模なイベント及びスポーツ関連団体の誘致、ドラマ、映画等(例えば「寅さん」「北の国から」等継続的に人を呼び寄せる様なドラマ)の勧誘や暴力団、右翼関係者又は使役にのみを追求するような人達を完全に隔絶・排除舌代規模名ギャンブル施設・興業の施設誘致など。また子どもたちが集まるばかりでなく大人も十分楽しめる様な遊園地の建設など既成概念にとらわれない大胆な発展でまちづくりを考えていかなければならないと思います。
11-26	川内地区 消防組合	27	男	商店街に活気が今以上に出れば、まちが盛り上がると思います。
11-29	川内地区 消防組合	48	男	合併後のまちづくりにはそれぞれの地域の特性を活かすことは当然のことであるが、現状では、あらゆる面において行政が住民を引っ張っていくいわゆる「行政からやらされている」という意識が住民には強いようである。そこで各地域にはスポーツ施設、温泉・自然・伝統行事等それぞれ自慢できるものがあるので、これらを利用して行政と連携を取りながら住民の手で企画・運営していく方法をもっと多く取り入れ住民自らがまちづくりに参加しているという意識を持たせることが「魅力あるまち」「活気あるまち」作りに必要ではないか
11-30	川内地区 消防組合	52	男	原子力発電所の安全性をPRし、監視状況を常時公表する。高齢者や子どもたちが安心して住める町 近隣住民が相互に助け合う
11-40	川内地区 消防組合	31	男	水のまちをアピールするために河川敷を使った施設や催し、また、海岸線を使った施設や催しをもっと多く取り入れたらどうか。また、レジャー施設などがあまりないので現在あるものの規模を拡張するかまたは新しいものを造ればどうか。
11-42	川内地区 消防組合	27	男	現在川内川の水を利用した噴水や時計塔などが数箇所設けられているが、人目を引くような規模ではないと思えます。川内駅も新たに建設されることもあり、駅前通りなど市外からきた人が目に付くような場所に「水の街川内」をアピールできるような大規模な施設を計画してほしい。
11-46	川内地区 消防組合	39	男	住民サービスの低下があってはならない。市街地・準市街地以外の地域、いわゆる過疎化の進む地域への影響がないように地域の集会場なり役場出張所に職員を配置し、事務を行う。
11-49	川内地区 消防組合	40歳代	男	
11-50	川内地区 消防組合	40歳代	男	新幹線が開通しても川内市は通過のまちになりそうなもので川内駅での乗降客を増やすかを考えてもらいたい。駅前の大規模な再開発が必要と思われる。今のような「ちまちま」した開発では同じことだと思う。これには、地域の方々の協力が不可欠であり、新しい市となる前に考えてもらいたい。
11-56	川内地区 消防組合	40	男	若者が集まる街づくり
11-57	川内地区 消防組合	42	男	自然と人が集まってくるようなレジャー施設等の整備
11-58	川内地区 消防組合			まちの緑地化。大きな都市に行くともちの中に緑が多い、川内ではやと国道3号線沿いにケヤキが植えられましたが、駅前、向田児童公園等も、もう少し大きくなる木(常緑樹)を植え、ソフトなイメージを出したら
11-59	川内地区 消防組合	50	男	原子力発電所、火力発電所のある市として、川内河口大橋から開戸橋まで橋がない。あらゆる交通手段として橋の建設は必要である。 川内港からの甕島航路の再開。 企業誘致なくして進展なし。

11-68	川内地区 消防組合	48	男	先ず、第一に若者が集う施設(遊技場、ショッピング)等の設置
11-77	川内地区 消防組合	39	男	「魅力あるまち」「活気あるまち」にするためには、やはりどこの町を見ても駅周辺に遊戯場や大規模な店舗あるいはアーケード通り等がありますので駅前の整備するのがまずは望ましいと思います。
11-78	川内地区 消防組合	41	男	道路整備を実施し、各地区間の時間を短くする。例、金山峠等にトンネルを作るなど
11-84	川内地区 消防組合	19	男	全国でも有名なものを作る 新幹線が通るのでそれを活かす
11-85	川内地区 消防組合	30	男	テーマパークの建設, 川内川を利用した協定収益金による経済潤沢, 西回り自動車道の早期完了
11-87	川内地区 消防組合	22	男	噴水イルミネーション等がある公園を作る。大画面の情報等がながれている, テレビみたいなのを設置する。海水浴場などの活性化を図る
11-89	川内地区 消防組合	29	男	美しい海が折角あるのに海水浴場や港に活気がないのは残念です。海水浴場, 港の活性化を図ってはどのようなでしょう
5	個別応募: 川内市	24	女	交通の便が悪いので、バスの本数を増やしてほしい。せめて、土日の夜にバスの便数を増やしてほしい。すると人が集まるんじゃないですか?

社会基盤 (テーマ 新市のまちづくりの望ましい姿、イメージ、キャッチフレーズはどんなものでしょうか?)

	市町村名	年齢	性別	提言
1-20	川内市	39	男	広域になるため時間的な距離の短縮
1-64	西薩衛生 処理組合	52	男	自然(海、山、川)、産業(農林水産、商工業)、観光(温泉、特産物)が豊富で交通機関や居住性の便利な町
2-120	串木野市	30	男	職員が通勤するためのバスの運行(自動車による公害対策) 合併した際、今よりも通勤距離が長くなり駐車場の確保が難しいと思う。
3-29	樋脇町	39	女	ひとと情報が常に行き交ういきいきとしたまち
3-84	樋脇町	20	女	交通の便が良く、福祉の充実したまち。人の集まるまち。鹿児島島の西の玄関口
11-4	川内地区 消防組合	24	男	川内川, 港の活性化
11-84	川内地区 消防組合	19	男	もっと店を増やしてほしい
11-85	川内地区 消防組合	30	男	陸・海・空の交通開通による未来都市型の実現

社会基盤 (テーマ その他、期待するまちづくりの政策等自由なご提言(こんなまちになってほしい、こうあってほしい、子どもたちのためにこんなことをしてほしいなど))

	市町村名	年齢	性別	提言
1-20	川内市	39	男	各地域を結ぶ交通網の整備(現時点の各市町村の道路)をし、また、河川、海を利用した観光的なもので人を集められる様なスポット(観光地)等を作ってもらいたい。例(川内港 串木野港の遊覧船)
1-28	川内市	52	男	交通の確保で買物などがしやすい街づくり。(物を見て回る、買うということも大切である。)
1-75	川内市	53	女	老人と子供と一緒に学ぶ施設があったら。介護施設と保育施設と同じ敷地にあり、元気な老人から昔の遊び等を教えてもらうなど子供と老人と一緒に遊ぶ。周囲の畑には、一緒に花や野菜を植えるなど作る喜びと労働の尊さを学ぶ。現在のクルクルバスの存続をする。(温泉施設・リハビリ施設等への足の確保)市街地ばかりではいけないのでは!
2-26	串木野市	52	男	構成市町村の交流を盛んにするために必要なこととして、アクセス道路の充実を一番に検討して欲しい。国道だけでは交通がスムーズにいくとは思えないので、ネットワーク道路を整備する必要がある。例えば、荒川～川内隈之城間の県道を整備して短時間で串木野市内と結ぶためにトンネルを造るとか。長期的な計画でも良いので計画して欲しい。串木野新港を活かすために、国県に要望する必要があると思う。
2-49	串木野市	46	男	10万人以上のまちになると、やはり情報の提供などのサービスをきめ細やかにしてほしい。
2-106	串木野市	50	男	学校区等の見直しも必要ではないか。合併することで、例えば冠岳小学校に野下小の子供が来て、ひとつの小学校とするとか、野下地区の中学生が生冠中に通学する等、考えられるのでは。また、通学バスを準備する。川内市が中心となるため、川内市に何もかもあるから良いではなく、各地区(市町村)の整備を行うべきである。川内市までは時間的にも遠い、若者から高齢者自由に行けない、交通の便が悪い。各市町村に川内市と同じ規模の物ではなくてよい、小さくても良いので整えるべき。体育館、文化ホール、福祉施設等
2-115	串木野市	35	男	区域内の小中学校、各公共機関に光ファイバー網を整備し行政ネットワークを構築する。光ファイバーは、民間への貸出も視野に入れ、市民も超高速ネットワークが利用できるようにし、民間への貸出料をネットワークの管理費用にする。貸出は入札で行う。甌島との間は、現状ではNTTもデジタル無線であるので海底ケーブルも考え、一つの都市として一体感のある施策展開が必要であろう。費用は十数億とも考えられるが、インターネット接続だけでなく、遠隔医療等市民の生命を守ることも可能となる。ネットワークは道具であるが、市民の一体感を作る最適な道具である。
3-29	樋脇町	39	女	ひとやものが行き交う交流の拠点という特徴を生かし、最新の情報発信地として賑わいとやすらぎのあるまちへと大きく前進することを望む
3-32	樋脇町	55	男	市町村合併は21世紀の新しい地域づくり 住民がなおざりにならないようにIT化による新しい形での住民参加を考える。
3-44	樋脇町	47	男	高速通信網の整備(光回線等)
3-53	樋脇町	40	男	市街地や特殊性のある地域は外に向けて情報発信、入り込みや交流の促進 産業地域は安定向上をめざした施策 住民の居住環境、福祉、教育は充実
3-65	樋脇町	59	男	子供から大人まで楽しく暮らせる魅力ある新都市になってほしい。働き盛りの若者が安心して働くことの出来る企業誘致、乳幼児の保育施設の整備から高齢者が安心出来る交流施設、高齢者向けホーム施設及び公営による医療施設を各地域に整備を期待したい。旧市町村の地域差別解消のために道路網の整備を図り、交流が図られるような政策を期待したい。
3-68	樋脇町	49	男	新市庁を中心とした大規模道路網整備と旧市町からの交通手段の整備
6-5	祁答院町	39	男	既存の国際交流を発展させ、将来を担う子供達の人材育成を強化してほしい。新市の範囲が広範囲にわたるため、最新のIT技術を率先して導入し、地域イントラネット等導入し、地域情報化のまちづくりをしてほしい。 開通予定の新幹線や空港へのアクセスも良いことから、県外からは観光、グリーンツーリズム等人の交流で賑わうまち。県都鹿児島市と対抗出来る拠点都市の形成を目指してほしい。

6-9	祁答院町	33	女	バス路線などの公共交通機関の充実
6-10	祁答院町	34	男	同じ地域でありながら、臨海地区、市街区、山間地域、離島など広大な面積を抱えることから、地理的なものや伝統的なもの、あるいは方言など慣習的なものなど、特に若い世代には認識が薄いことは否めないと思います。合併はしたものの、「従前の市町村のことについてはあまり関心がない」というようなことを避けるためにも、このような情報も広報誌でシリーズ掲載するなど、広く住民に紹介して欲しいと思います。
7-9	里村	44	男	甌航路について 現在、甌航路九州商船との第三セクターによって運営されているが、新しく市が成立すると、また新しい構成による会社になる。その際新しい市は財政的にもかなりの規模になると思われるので、この新甌島商船に対し、増資を行い、現在のフェリー、高速船から、フェリー2隻によるピストン交互運航を実現して欲しい。それが無理なら、利用料金の引き下げを検討して欲しい。この航路は島の人々の生命線であるということを、充分理解・認識して欲しい。
9-3	下甌村	48	男	本土と甌島を通学、通勤圏内にできないでしょうか。
11-9	川内地区 消防組合	41	男	川内川を活用した施設を造る
11-13	川内地区 消防組合	24	男	川内駅周辺の整備
11-14	川内地区 消防組合	50	男	合併後は、体育・スポーツ施設等が充実した市になることから全市をあげたイベント等の開催が可能となることが予想される。体育施設等間のシャトルバスの運行等も利便性が向上すると思われる。
11-15	川内地区 消防組合	44	男	災害に強いまちづくりを念頭に置いて、全体的に暗視して暮らせるまちを目指してもらいたい。
11-16	川内地区 消防組合	37	男	地域活性化や市民、子どもたちの情操教育のため、音楽や踊りなどの文化事業のバックアップを強化して欲しい。 そのためには、仙台支社近隣町村で文化活動をしている個人や団体がもっと市民会館の公共施設を利用できやすいように、使用料金の引き下げや駐車場の増設、交通機関の充実等を図ってほしい。
11-18	川内地区 消防組合	52	男	中心的な町だけが発展していくのではなく、まわりの町村も同じように発展するような政策を望みます。また、川内又は串木野と甌島間の距離を感じさせないような海上輸送の時間短縮等期待します。
11-19	川内地区 消防組合			教育行政合理化への反対論 日本の教育の原点である人格を育てるためには、大人の合理主義こそが最大の妨げであると思う。今の日本の教育現場で素晴らしい教育が実践されているのはほとんど小規模校であると思う。できるだけ今の環境を守り不必要な合理化は避けてほしい。 離島観光道路の整備と航路等の充実 上甌島・下甌島を1本の観光道路で結び島の利便性を高めると共に、観光振興力を注いでほしい。(現在の県道では不十分であり、船でしか行き来できない不便さもある。)また、航路についても上島一港、下島一港の三角航路とするか、複数便
11-24	川内地区 消防組合	19	男	川内駅も大きくなるので駅付近に活気があればもっと明るいまちになると思う。
11-30	川内地区 消防組合	52	男	災害に強いまちづくり テロのないまち ゴミの不法投棄のないまち

11-43	川内地区 消防組合	52	男	中郷町の上池を中心に文化構想があると聞きましたが新幹線が開通し、運動公園下のトンネルを抜けたら“ここが川内”とすぐわかる物(例えば五重塔)等を作成してもらいたい。また、各種大会が運動公園町で行われたとき家族が訪れると思うが、近くの上池付近と整備したら家族も楽しめるのではないかと川内には市内を一望できる寺山公園があるが、天辰あたりからロープウェイ等を設置したら寺山自体も人がもっと集まるのでは
11-48	川内地区 消防組合	25	男	新田神社参道の桜をもっと充実、参道の整備 川内川河川敷に桜を植えて整備し、花見客等を集める。レジャー施設がないので寺山に遊園地等。
11-49	川内地区 消防組合	40歳代	男	新幹線がH.16念に開通しますので新幹線を利用した人口の増加はできないでしょうか？鹿児島中央駅に川内駅向きの回送列車の運賃を半額にして通勤・通学列車として利用する。 鹿児島市内の専門学校に現在多くの人が行っている。川内市内にも専門学校の誘致を。
11-59	川内地区 消防組合	50	男	子どもたち(幼年～大学生)が市外へ遊びに流出しないため、県内にない大型レジャーランドを分散化せず、一ヶ所に集中して建設する。 川内川河口からの上流への川内川を活かした公園か、リバーサイド構築、川内川でのイベント。 原子力発電所周辺への企業誘致・受託建設
11-63	川内地区 消防組合	54	男	川内川の利用拡大(外法の桜等の植栽)コスモス等 藤川天神の拡充整備
11-77	川内地区 消防組合	39	男	現在、川内市には、寺山いこいの村公園やがらっぱ公園等小さな公園はありますが、大きな施設等がないので、合併後は子供、大人が楽しめるレジャー施設を作ってほしい。また、甑島と本土は現在、船による交通手段しかないため、橋をかけるかトンネルで繋がるようにすれば、車での行き来ができより多くの観光客が増えるのではないのでしょうか。
11-86	川内地区 消防組合	55	男	年寄りや子どもの住みやすい町 JRの駅を多く作り地域の活性化を図る

社会基盤 (テーマ テーマ ~ 欄で記入できなかった事柄等をご記入ください。)

	市町村名	年齢	性別	提言
1-56	川内市	28	女	甑島との通勤通学の交通手段(船便)の確保、できれば島外に住まなくてもすむ安い運賃の設定は無理なのだろうか。悪天候に備えて宿舍の整備も必要。
2-107	串木野市	50	男	子供達が安心して働けるような企業がどんどん進出してくれるまちであってほしい。中心地までの到達時間を30分以内で行けるよう交通体系の整備を行ってほしい。行政が進めている事が住民にとって好ましくないと判明したら、速やかに再検討し、修正ができるように弾力的な行政にする。特に(長時間かかる大型事業等)子供をたくさん産んでも安心して暮らせる制度。子育て支援を充実してほしい。
2-115	串木野市	35	男	光ファイバーネットワーク構築は、地域イントラネット事業を利用し、国庫補助1/2 残り1/2を合併特例債を用いればその70%は交付税対象となり、実質負担の少ない効率的な事業展開を図ることができる。30億の事業としても、実質負担約5億であり、財政負担も少なくすむ。民間への貸出については、総務省においてもe JAPAN構想の中で検討中であり実施可能性は高い。
2-140	串木野市	33	男	甑島航路の再検討すべきではないか。
3-32	樋脇町	55	男	合併の際に策定される「市町村建設計画」は地域住民にとってメリット効果の高い情報に思われるので、合併関連の情報をインターネットなどで積極的に提供して欲しい。

4-1	入来町	55	男	新市が誕生したら、各市町村の人的、物的交流を進めるために色々と有効、斬新な企画で大々的なイベントを打ち出してほしい。一方、ハード面では市街地に向かう道路は整備されつつあるが、各市町村を連結する道路は必ずしも十分でないので環状線の道路として既存の道路を拡張整備して、人の往来が容易に又、活発になるよう、事業計画にとり入れてほしい。
11-3	川内地区 消防組合	36	男	市民は安全で活力活気のある町を望んでいるのではないかと思います。安全な街、警察・消防の活動が地域によって差が出てこない政策・対策をしなければならない。住民が安全で安心して生活できるまちを作り住民一人ひとりが平和な日々を過ごせるようにと思います。それぞれの町が合併することで様々な問題点が浮上することが予想されます。このことについては、遠くの火事ではなく、自分自身の事として住民が取り組む問題と思います。合併の当初の目的を考えたときよいまちづくりとは財政的にも潤うまちづくりである。地場産業を中心とした新しい産業への取り組み、企業誘致ではなく、地場企業での拡大を市で応援援助することによる市の発展を願う。広大な土地を活用した観光スポット(アミューズメントパーク)などの設立による鹿児島への中継基地としての観光の拠点を目指す。以上のような人を集める要素を常に研究する。
11-20	川内地区 消防組合	26	男	サービスの平均化、現在甑島は当該運搬の手段として甑島商船の利用、個人漁船の搬送・防災縁や海上自衛隊ヘリコプターを利用しているが天候に左右されているのが現実です。島田からの-(マイナス)面が浮き掘りになっているので、せめて本当と同じ市の一部になるわけだから、甑島列島を1つに結び(鹿島村と中甑を結ぶ藺牟田瀬戸大橋を建設)里村と下甑村のちょうど中間地に総合病院を建設して医療サービスの向上をはかってほしい
11-68	川内地区 消防組合	48	男	その他、あちこちで廃車の置き去りにしてあるのを見かけるが、景観をそおこなう。行政指導なり積極的に対処して欲しい。

生活環境

生活環境(テーマ 新しい市が誕生したときに、「自慢したい」、「残したい」、「のびしたい」、「くふうしたい」ものは？(政策、住民の取り組み、場所、祭り等々))

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-2	川内市	41	男	自然景観(川内市の清らかさをいつまでも)(冠岳や甑島の池群、トンボロなど、海岸線の美しさをいつまでも西方、唐浜、鹿浜/土川から羽島の海岸線、吹上浜砂丘の一部である串木野の海岸) 新幹線の新駅である川内駅を有効活用して交流人口の増大とお金のおちる街にする。
1-11	川内市	54	男	東シナ海に落ちる夕日 串木野より西方までの海岸線
1-12	川内市	29	男	新田神社、国分寺跡の環境整備 川内川周辺の整備
1-16	川内市	51	男	テーマ「健康」 ゆとりのある生活環境の創造 自ら楽しむためのまち・むらづくり
1-23	川内市	43	男	残したいもの...自然(特に海岸線)、川内大綱引。伸ばしたい工夫したい...観光(今ある財産を連携させて新たなルートを開設)
1-43	川内市	39	男	西方の海岸線及び海に関するもの、自然 別々の町、市がひとつになるので、道路標識や道路そのものを工夫してそれぞれわかりやすくする必要があるのではないだろうか。
1-60	川内市	42	男	歴史のある温泉「市比野温泉、入来温泉、高城温泉など」、甑島、海洋深層水
1-61	川内市	42	男	「肉(黒毛和牛、薩摩鶏)、魚(マグロ)、米(ヒノヒカリ)、果実(イチゴ、キンカン)、野菜など、1つの市域内で美味しい食材が揃う」、「作る人の顔がみえ安心して食べられる安全な食品が提供される」という点を、新市のイメージづくりに活かしたい。
1-64	西薩衛生 処理組合	52	男	串木野市及び甑島4村の魚、川内市のごぼう、ラッキョウ、東郷町のイチゴ・みかん入来町の金柑など、誇れる農産物がある。また、川内市、樋脇町、祁答院町に温泉がある。今度、これらの自慢できるものを売り込む。
1-71	川内市	50	男	合併市町村の各地区、主要施設へのきめ細やかな案内標識の設置
1-73	川内市	53	男	古い歴史と豊かな自然。港を活用すること。自治体今後は、自治体独自の環境を活かした施策。
1-81	川内市	29	男	川内川花火大会、大綱引き...残したい 福祉施設増築...伸ばしたい 年中活気ある市であること。(川内市を中心として東郷の鮎や観光農園、樋脇の温泉や串木野の漁業、つけあげ、金山、甑島の海を活用したキャンプ施設等)...自慢したいこと
1-82	川内市	25	男	水、川内川
1-102	川内市	36	男	川内川・泰平寺・新田神社・薩摩国分寺・川内川花火大会・薩摩国分寺ふれあい文化事業・唐浜・西方海水浴場・人形岩・川内川流域に残る郷土芸能・冠岳まつり・甑島の自然
1-103	川内市	35	男	自慢したい:自然。伸ばしたい:人口。残したい:自然及び地域住民が主体となった祭り事。生活環境の充実
2-102	串木野市	35	女	海(砂浜)への近さを自慢したい。野元海岸は、なくなってしまったので照島海岸はとても貴重なものだと感じる。
2-11	串木野市	37	男	資源ゴミのリサイクルは是非とも伸ばしてもらいたい。
2-123	串木野市	30	男	海岸線の美しさは自慢できる。特に土川から唐浜へと続く海岸線は海の色、景色ともにすばらしいと思う。後世に残すべきものとして、行政の認識が必要かと思う。
2-126	串木野市	31	女	美しい自然環境は是非残してほしいです。山の緑、海の青。癒しの空間として次の世代へ残していきたいです。

2-136	串木野市	44	女	冠嶽の山々 古くからの祭事
2-56	串木野市	39	男	自然の景観(海・海岸線・山・森林・川)を後世代に残したい。さのさ祭り、浜競馬等は残すべきものである。現在、各市町村で行われているサービスを新市となった後も従来と変わりなく、さらにはよりよいものとなるようすべきである。
2-60	串木野市	47	男	照島海岸 長崎鼻公園 浜競馬
2-61	串木野市	39	男	豊かな自然保護 港湾都市政策の継続
2-62	串木野市	38	男	豊かな自然保護 語らい
2-64	串木野市	32	男	海、海岸
2-79	串木野市	42	女	青く美しい海、長崎鼻の夕日
2-83	串木野市	29	女	自然を残して欲しい。海や山があるから人が集まるような街にして欲しい。
2-90	串木野市	53	男	吹上浜から羽島・土川の海岸線、冠岳周辺の自然景観。西薩工業団地(串木野の特産物等と直結した食品加工販売—市民が集まる工業団地
2-95	串木野市	46	女	豊かな自然を残してほしい。災害に関係のないような場所まで、人の手を加えないでほしい。
3-13	樋脇町	46	男	自販機を置かない丸山公園の自然を生かしたい
3-24	樋脇町	31	男	丸山公園の景観、泉源のすばらしい温泉
3-4	樋脇町	54	男	画一的な事業を進めなければならない地域もあるがゾーンを決め、自然をいかした環境整備が必要だと思う。例えば校歌や町民歌などに「山はみどり」「水清く」などあるがぜひ昔の自然環境を取り戻す、または残したい。
3-52	樋脇町	40	男	市比野温泉 新市の温泉保養地区として位置づけし、官民一体となり、周辺環境宿泊等保養の整備を行う。
3-64	樋脇町	37	男	市比野温泉、ホッケー、川内大綱引き、焼酎、川内川 生活の基となる基盤整備
6-4	祁答院町	25	男	田畑を1年中使えるように工夫したい。考えていきたい。若者が気兼ねなしに暮らせるような生活環境を整え、伸ばしていきたい。
7-14	里村	32	男	山と海をそなえた地域性は自慢できる。
8-10	上甌村	49	男	しぜん
8-11	上甌村	43	男	美しい自然(特に長目の浜)
8-12	上甌村	46	男	自然の景観・景勝地の保護 魚礁投入による海洋牧場を開拓し漁協と提携して釣客等を招集できる自然釣堀場の開発
8-15	上甌村	47	男	豊かな自然を残したい
8-19	上甌村	44	女	豊かな自然を残したい
8-2	上甌村	49	男	自然環境
8-4	上甌村	60	男	美しい自然 各種イベント(地区の祭事・スポーツ等) 水産・観光・福祉の村づくり 環境づくり

8-7	上甌村	35	男	・残したいこと…バス企業団による住民の交通手段の確保 …・村立診療所のバスによる患者送迎 ・自慢したいこと…カギをかけなくても安全な治安のよさ …交通死亡事故ゼロの連続記録
8-8	上甌村	47	男	残したいこと - 美しい自然
9-4	下甌村	33	女	甌の海！(自然) 新市のダイビングスポット又自然の家(キャンプ場)として自然と共生できる地域になればと思います。
10-2	鹿島村	51	男	鹿島村の環境整備について、全地域が地域し尿処理施設を利用した水洗便所で快適な生活環境であることを自慢したい。
11-7	川内地区 消防組合	45	男	大綱引き。クリーン作戦については多少マンネリ化の兆しが見られるので各地域のあり方について工夫し見直されなければならない
11-19	川内地区 消防組合			恵まれた資源を最大限に生かし、環境に配慮したまちづくりをして欲しい。公共工事等も自然破壊ではなく自然再生(例えば堤防の二重化など魚の住める川作りなど)を目指してほしい。 また、これまでの各市町村の伝統・文化を尊重し中央集権的なまちではなく、自治区単位の独自性を残してほしい。(区長制を導入し、それぞれの区民祭や体育行事等の継続的实施など)
11-22	川内地区 消防組合	45	男	自然を残した絵の可愛山稜、水を大切に自然を守る自治体として再生してもらいたい
11-30	川内地区 消防組合	52	男	大綱引き、レガッタなど新ルールで仕切直せばおもしろいと思う 美しい自然公園を残す。
11-45	川内地区 消防組合	38	男	運動公園施設の充実、施設を公認施設に格上げするために工夫し、全天候型・収容人員拡大で全国大会レベルの運動競技の呼び込みをする。
11-50	川内地区 消防組合	40歳代	男	川内川をもっと利用できないか他の市町村では、河川敷の利用がなされ、グラウンド・その他いろいろな物もある。川内川も大きいだけでは何の意味もない。
11-56	川内地区 消防組合	40	男	川内川の河川敷の利用 花及び緑に溢れるまち(樹木の植樹)
11-66	川内地区 消防組合	41	男	山、海、川など自然を守り、住民が親しめ、いつでも行きたくなるような魅力のある施設整備に取り組んではどうでしょうか。
11-68	川内地区 消防組合	48	男	川内大綱引について(上方、下方のチーム編成の再考が必要では。網の移動が少なく面白くない。 川内川周辺整備(憩える場所としてもっと活用すべき) 川内市総合運動公園(周辺整備、上池周囲の散歩道、公園作り)
13-7	串木野市・ 市来町・東 市来町 衛生処理 組合	40	女	自然に関しては、なるべくこれ以上壊さない、変えない。大切に残すべき一番に掲げたい者です。伝統芸能も残していきたいものです。

17-3	甌島衛生管理組合	53	男	自然の海、甌のうまし魚を取れるよう自然を守って下さい。
4	個別応募: 川内市	31	女	自慢したいもの・山、川、海といった豊かな自然・おいしい特産品、癒される温泉・伝統行事、歴史 残したいもの・歴史を感じるもの(遺跡・建物・伝統行事・郷土芸能等)・それぞれの市町村が今持ち合わせている個性 伸ばしたいもの・それぞれの市町村が今持ち合わせている個性をさらに充実・各世代がともに楽しめるイベント・各地の可能性、人々の可能性 くふうしたいもの・各世代がともに楽しめるイベント(小さい子供連れも、若年層も、お年寄りも)またはそれぞれが年代別で楽しめるイベント・住民参加型のイベント・普段の生活で気軽に利用できる公共施設、催し物・各世代それぞれに対応した広い意味でのまちづくり
5	個別応募: 川内市	24	女	自慢したいもの・広大な川内川。他県出身なのですが、はじめて川内川を見たとき、広さにびっくりしました。シンボルになると思います。 残したいもの・寺山の宇宙館。公園から見る夜景も素敵です。近くにライトがなければいいのになって思います。 くふうしたいもの・若者が買い物をしたいと思っても、おしゃれな場所がありません。しかし、郊外に大きな店舗を建てても若者が郊外に逃げてしまいます。ですから都心にファッションビルを作ってほしいです。
10	個別応募: 川内市	28	男	自慢したいもの:川内川 残したいもの:自然 伸ばしたいもの:都市開発、人口、住宅地 くふうしたいもの:原子力発電所、寺山公園、川内川河川敷

生活環境(テーマ 「魅力あるまち」「活気あるまち」「幸せを実感できるまち」にしていくためには、何が大切で、何をしたらよいと思いますか？

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-11	川内市	54	男	公共下水道の早期完成と大小路地区の早期着工 下水道なくして都市とは呼ばない。農業集落排水orユシプラでの早期着工を
1-27	川内市	36	男	レジャー施設を増やすなど人々が出かけやすい環境づくりをする。
2-11	串木野市	37	男	美しい街づくりを推進するべき。特に駅前など人通りの多い場所には、花などを植えて管理もしっかりするべき。雑草が目立つことが多いのでは。
2-64	串木野市	32	男	優れた住環境(バリアフリーの促進、街並みの整備、安全性の向上等)の整備が必要である。
2-90	串木野市	53	男	1. 便利で生活しやすい住宅団地の整備 2. 定年後に出郷者が帰ってきたくるような施策の充実(住宅・農地の活用、交通の整備、職場の確保) 3. 世代を越えて集えるような複合施設の整備(図書館、視聴覚センター、軽スポーツの施設等)
2-91	串木野市	39	女	生活環境の充実、特に安心して子供を育てられる環境(保育、学校教育等)又、老後を安心して過ごせる環境
2-100	串木野市	31	男	串木野市は、側溝整備などかなり遅れていると感じる。冠岳開発等ではなく、住環境整備をさらに進めるべきではないか。
2-104	串木野市	44	男	子供、大人とも遊べる大型公園の整備(加世田海浜公園の様な大きなもの)合併に伴う大規模な祭り、物産展の開催 下水道の普及促進、側溝の整備等生活環境面の整備促進を図る。
2-134	串木野市	28	男	市街地、道路などの外観の整備
3-19	樋脇町	25	男	安全で便利な町なら住みたいと思う。安全:舗道を広くする。街灯等を多く設置して暗く危険な道を減らす。治安を良くする。
3-31	樋脇町	25	男	きれいな町づくりが必要。街灯が少なく、空港バイパスが通っているのにさみしい感じがする。
3-51	樋脇町	43	男	生活環境の充実 交通アクセス 医療体制、ゆとり施設等々

3-53	樋脇町	40	男	住民ひとりひとりが新市に誇りを持ち、不満のない新市。すなわち総合的であるが、産業に活力があり、収入が安定している。児童、高齢者等が安心して暮らせ、住環境が整っていることで、いづれが欠けても不満が出てくる。全てが大切。
3-70	樋脇町	25	男	地域格差を生じさせないために広く住民の意見を聞ける取り組みが必要だと思う。住みやすい住宅の増加、安い家賃の住宅やバリアフリー住宅など。
3-76	樋脇町	39	男	緑(自然)と都市が融合した街づくり 公園の整備 自然を生かした都市計画 100年先を見通した都市計画
4-5	入来町	34	女	住みよい町づくりをしたら良いと思います。上下水道、道路等の整備など
4-9	入来町	46	男	何をやるにしても、住民本位の施策でなければ飽きられてしまい、今までと何も変わらない。物に対する豊かさから心の豊かさへ転換する必要もある。(ハード整備からソフト面の充実へ)但し、住民に直接関係する生活道路、下水道整備は必要不可欠な面であり、住んでみて心地よい地域が創造できるのではと思う。雇用の場確保の意味から経済特別区の設置に努力する。
6-8	祁答院町	47	男	安心して住める環境づくりと健康につながる食物生産の育成
6-14	祁答院町	53	男	市街地の整備(特に商店街)については、新市の顔ともなり活性化のため大切なことですが、周辺の町の住民は、今までと違い社会資本の整備に遅れがでるのではないかと懸念されるため、市街地へのアクセス道路、地域を循環する道路等の整備を、市街地の整備と平行し取り組み。地域で、誰もが身近に、いつでもスポーツ等親しめるグラウンド等の整備。福祉施設についても、今後、介護保険の利用者の増加が見込まれるため地域の自然(温泉・川・海・湖)を生かした整備も急務と考える。また、高齢化の進行に伴い交通弱者も増えてくるため、その対策を。
6-15	祁答院町	49	男	本町の商店街の現状は少子高齢化に伴い、活気のある商店は半数で、特に官公庁の取引のある商店に限っていると言っても過言ではない。更に本町は、他町に無いものがたくさんあります。【本屋】【薬屋】【飲み屋】【花屋】【写真屋】【カラオケ】【喫茶店】【パチンコ屋】【入院施設病棟】等。合併した場合は、上記のような商店ができない以上活気は無いような気がします。管内を循環するバス等の運行手段の整備がまず先決である。幸せを実感できる町として、病気、ケガの入院等は、すべて他町へ入院している。このため合併後近く入院施設の整備が急務である。
7-15	里村	32	男	人があつまるまち 新産業開発、育成、居住環境の整備
8-9	上甌村	29	男	・若い世代を残すために住宅の整備やマリンスポーツ等を行ったりして活気あふれる村作りを行えたら良いと思う。 ・水産高校等を設立し、鹿児島市内からも甌島がどんな所なのか知ってもらえるような事業も良いのでは
11-2	川内地区 消防組合	39	男	川内川を利用して夏場に各種イベント等が実施され寺山には寺山公園があるが港方面の有効な活用方法があるのではないかと考える。例えば唐浜海水浴場と合わせた大型の公園遊園地などがあれば多くの人が集まるのではないかと
11-7	川内地区 消防組合	45	男	駅を介して多数の人が出入り交通の利便性を高め、人々の流通が多くなれば活気も必ず出てくると思います。そのために例えば、イベントコンサート、公演など若年層から幅広い年齢層を収容できる文化ホールなどの建設及び駅周辺や公共施設付近の駐車スペースの拡大などを。また、観光名所例えば寺山公園をレジャーランドあるいは、川内牛や名産品を売り出す、ファームランド等の計画もどうでしょうか。
11-12	川内地区 消防組合	26	男	周辺市町村から人が集まるようなテーマパーク・公園
11-13	川内地区 消防組合	24	男	大きなテーマパークをつくる 道路の整備 下水処理施設を整備し、水質の向上に努める
11-14	川内地区 消防組合	50	男	住民が安心して暮らせることの条件として防災機関の充実が大切である。現在の消防庁舎は敷地的に狭く職員の訓練も十分できないのが現状です。合併後は13万都市にふさわしい防災機関の拠点となる消防庁舎の建設を望む

11-15	川内地区 消防組合	44	男	治安, 風紀の乱れが内容に, 各世代の交流を深め, 市民全員が安心して暮らせるようになれば魅力があり, 活気があり, 幸せが実感できる町ができるのではないのでしょうか
11-21	川内地区 消防組合	43	男	公園, 山, 川, 海の娯楽設備 少子対策 子育て支援
11-22	川内地区 消防組合	45	男	人が集う街として大規模なイベント及びスポーツ関連団体の誘致, ドラマ, 映画等(例えば「寅さん」「北の国から」等継続的に人を呼び寄せる様なドラマ)の勧誘や暴力団, 右翼関係者又は使役にのみを追求するような人達を完全に隔絶・排除舌代規模名ギャンブル施設・興業の施設誘致など。また子どもたちが集まるばかりでなく大人も十分楽しめる様な遊園地の建設など既成概念にとらわれない大胆な発展でまちづくりを考えていかなければならないと思います。
11-24	川内地区 消防組合	19	男	ゴミなどをなくきれいなまちにすればいいと思う。 他のまちにはないものを作る。
11-27	川内地区 消防組合	23	男	商店街の時間の延長と建物の整備・街灯の整備。 県下でも自慢できるようなテーマパークの開設
11-32	川内地区 消防組合	22	男	活気あるまちにするために, 若者が集まったり遊んだりできる場所をつくって欲しい。 夜間でも各種スポーツ大会や練習ができるようナイター付きの芝生のグラウンドをつくって欲しい。ナイター付きのグラウンドができることにより各種プロスポーツや企業スポーツのキャンプ地にもすることができると思う。
11-33	川内地区 消防組合	22	男	川内には観光雑誌に掲載されるほどの公共施設がありません。そこで今ある寺山にもっと大規模な自然動物公園(例えば, 高千穂牧場を作り, 夜景のきれいな寺山をさらに眺望できる大観覧車を作ってはどうか。(東京お台場にあるイルミネーション時計付き)
11-34	川内地区 消防組合	41	男	川内市というよりも, 鹿児島県に総合レジャーランド又は, テーマパークと呼ぶにふさわしい施設が見あたりません。川内は海, 山, 川, と大自然の宝庫でもあり, これを活用して子どもからお年寄りまで楽しく遊べるような施設の建設を望みます 川内には県内に誇れる特産品, 料理がありません。何か1つ川内に行ったらあれを食べよう, あれを食べに川内に行こうと呼ばれるような品物を公募して川内の特産品として売り出してみてはどうでしょうか?
11-35	川内地区 消防組合	33	男	現在川内市には寺山公園や清水ヶ丘公園, 中郷池などがありますが, どれも中途半端で誰もが気軽にに行ける場所ではなく, また終日過ごせる環境でもないのではなかなか足を運ぶ気持ちにはなれません。「もっと住民が気軽に水や緑・自然と触れ合う事ができ, 遠方からも来訪したくなるような, 広域的な緑地公園や森林公園・海浜公園や河川公園等の憩え集える環境が増えれば, 人々の笑顔と活気に溢れる水のまちになるのでは」と考えます。
11-37	川内地区 消防組合	50	男	現在, 川内市にある公園について, 総合運動公園も整備が進み運動施設は整いつつありますが, 子どもたちが終日遊んで過ごせるような「遊園地」的な施設がありません。市外から, 更には, 県外からも子どもたちが遊びに来れるような中途半端な施設ではなく大規模な施設を造ることにより川内市に自然と人が集まります。子どもを集めれば必ず大人もついてくると思います。人がいない所からの活気は望めません。
11-41	川内地区 消防組合	48	男	鹿児島県の中核都市として, 年寄りから子どもまで一日を楽しく過ごすことができるような公園等の目玉になるような地域環境整備が必要だと思います。
11-43	川内地区 消防組合	52	男	県内外からの来客があり“川内を案内しようか“ということになるが, これといって案内する所が見あたらない。大型の公園・娯楽施設(テーマパーク等)を建設してほしい。また, 企業の誘致をすれば若者又, 人口が増加し全体が活気づくのでは?
11-46	川内地区 消防組合	39	男	住民サービスの低下があってはならない。市街地・準市街地以外の地域, いわゆる過疎化の進む地域への影響がないように地域の集会場なり役場出張所に職員を配置し, 事務を行う。
11-51	川内地区 消防組合	26	男	魅力あるまち...遊園地や映画館など何かひとつ大きなレジャー施設を作ってほしい。

11-52	川内地区 消防組合	23	男	河川, 港近くに市民緑地(公園・広場)があったらいい
11-58	川内地区 消防組合			まちの緑地化。大きな都市に行くとまちの中に緑が多い, 川内ではやっと国道3号線沿いにケヤキが植えられましたが, 駅前, 向田児童公園等も, もう少し大きくなる木(常緑樹)を植え, ソフトなイメージを出したら
11-63	川内地区 消防組合	54	男	住民が一日中ゆったりと休らぎが出来る公園 運動公園町周辺の拡充整備(例 鹿屋, 霧島ヶ丘公園)
11-64	川内地区 消防組合	40	男	若い世代の人達が「住みたい」と思うようなまちづくりが魅力あるまち、活気のあるまちにつながっていくと思う。施設やイベントなど具体的には、活気のある国分、始良地区を参考にし てはどうでしょうか。
11-66	川内地区 消防組合	41	男	現在、住民が何を望んでいるのかを行政に直接反映させるようにし、近隣市町村からも遊びにくるような施設の整備を今以上に推進し、魅力のあるまちにしてみたい。たとえば、運動公園に子供から大人までを対象に遊べるような温泉及びプール等の建設はどうでしょうか。
11-71	川内地区 消防組合	44	男	今後急速に進む少子高齢化に向けて、福祉施設や福祉関係事業の充実を行い暮らしやすい街づくりや子供を育てるのに現在はお金が必要であります。もう1人は欲しいが教育資金や共稼ぎのためにあきらめている家庭もあるのではないかと考えます。そのような家庭に、学費や給食費の補助や保育園や幼稚園の経費の補助などを行い、1人でも多くの子供が増えたら良いと考えます。そして、周辺の住民の方が住んでみたい。この市で子供を育てたいと思える環境整備を行い、他の市ではない特徴のある市をつくってもらえる様望みます。
11-73	川内地区 消防組合	43	男	人の集まってこれる物を作る遊園地など海、河川、山を使った大型のもので家族で遊べるようなもの、規模も中途半端なものではなく、九州あるいは全国規模でここでしか無いようなもの
11-74	川内地区 消防組合	38	男	魅力ある町とは、やはり若い男女、子供たちが休日、週末をそこで遊ぶ、過ごす施設を作ることが必要ではないか。
11-75	川内地区 消防組合	44	男	都市化の進展もさることながら、豊かな自然との共存で安心してやすらぎあるまちづくりのために、地域の特徴を最大限に生かし、新しい市の中でも盛んに交流できる体制を作り上げていくことが大切ではないだろうか。
11-79	川内地区 消防組合	23	男	年齢に関係なく利用できるような公園等
11-82	川内地区 消防組合	34	男	ゴミゴミ(ストレス社会)した社会環境から解放される, 住宅地・環境の整備(落ち着ける空間)
11-83	川内地区 消防組合	38	男	人が集まるような遊園地, 公園等の設置を望みます
11-87	川内地区 消防組合	22	男	噴水イルミネーション等がある公園を作る。大画面の情報等がながれている, テレビみたいなのを設置する。海水浴場などの活性化を図る
11-89	川内地区 消防組合	29	男	美しい海が折角あるのに海水浴場や港に活気がないのは残念です。海水浴場, 港の活性化を図ってはどうか
11-90	川内地区 消防組合	33	男	アミューズメントパークの立地等たくさんお人が集まる場所があったらよいのでは

12-2	西薩衛生 処理組合	53	男	環境整備推進による快適環境:ごみ問題と生活排水処理計画は、直接住民に係る問題であり、この課題を住民が認識することもだいじである。現在、それぞれに独自の環境対策の推進を図っていると思われるが、遠隔地を問わず推進を図ることが大事である。(集中地域・遠隔地を問わない環境整備推進)
13-3	串木野市・ 市来町・東 市来町 衛生処理 組合	45	男	住環境の整備(県営・市営住宅の増改築)若人の定住できる職場の開発、地場産業の復活、助成、育成。
10	個別応募: 川内市	28	男	川と川で遊べる環境と川で遊ぶ子供たちを大切に

生活環境(テーマ 新市のまちづくりの望ましい姿、イメージ、キャッチフレーズはどんなものでしょうか?)

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-2	川内市	41	男	海に開かれた(川内港、串木野港、甕島の港など)、温泉や自然景観(川内川、冠岳、なまこ池などの甕島の景観)を有する観光を活かした、歴史(薩摩国分寺跡、入来の町並み、etc)と文化(綱引き、祭りなど)を大切にす福祉都市(高齢者にやさしいまち)
1-24	川内市	26	男	自然と町の共存
1-28	川内市	52	男	川内川、冠岳、甕島とどこにもない自然がある。
1-64	西薩衛生 処理組合	52	男	自然(海、山、川)、産業(農林水産、商工業)、観光(温泉、特産物)が豊富で交通機関や居住性の便利な町
1-103	川内市	35	男	むやみに都市化せずに、自然を生かす。
2-1	串木野市	41	男	中心市街地と用途地域外との格差が大きい。歩道の設置、ガードレール、道路の舗装、バリアフリーの促進を同じにしてほしい。
2-11	串木野市	37	男	バィヤフリーで老若男女が住みやすい街
2-16	串木野市	34	男	自然がいっぱい海・川・山
2-50	串木野市	47	男	住環境重視のまちづくりを。観光等にあまり力を入れすぎても如何かと思う。全ての施策を”循環”の思想を入れて組み立てるべき(リサイクルのまち)
2-97	串木野市	41	女	老朽化した駅、また駅を拡大しテーマパークなど娯楽施設の建設
2-100	串木野市	31	男	地方にいくほど、行事が多すぎたりそれに参加することを強要されることが多く、若者が定住しない要因になっているように感じる。プライバシーを干渉すぎない環境に。
2-110	串木野市	55	男	串木野の自然、歴史、文化を守りながら暮らしやすい、生きやすい、環境づくりを進める。
3-23	樋脇町	19	女	都会すぎず、田舎すぎず 田舎の良いところはそのまま残しましょう。人口が減少しないよう生活しやすい環境作りを。
3-34	樋脇町	23	女	今の世の中は日々自然が少なくなり仕事に追われ心にゆとりをなくしているように思える。今ある自然を残しつつ、心落ち着くような景観作りも必要だと思う。工夫を加え、発展していくことも必要ではあるが、その土地独自の文化、芸能など残すことも考えて欲しい。

6-19	祁答院町	60	男	川内川や東シナ海など豊かな自然をイメージさせるまちづくり。 緑溢れる町並みづくり、旧市町村の町木・町花を街路樹に活用した道路整備。
11-5	川内地区 消防組合	26	男	活気ある港,きれいな川
11-19	川内地区 消防組合			「人と自然に共に生きるまち」 日本を代表する優秀なスポーツ選手を数多く排出し続ける街でありながら、行政の取り組みは今ひとつであると思う。彼らを育てたこの土地の環境を守り、後世に誇れるまちづくりを目指してほしい。ふるさとを壊さないで人を育ててほしい。
11-24	川内地区 消防組合	19	男	建物ばかりでなく、みどりのあるまちにすればいいと思う。
11-48	川内地区 消防組合	25	男	川内川河川敷に桜の木を植えて、水のまちプラス桜のまち

環境衛生(テーマ その他、期待するまちづくりの政策等自由なご提言(こんなまちになってほしい、こうあってほしい、子どもたちのためにこんなことをしてほしいなど)

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-7	川内市	26	女	現在の市政でも思うが、街、市に人を呼び込もうとイベント施設や商店街の整備だけが重視されているように思う。新幹線が開通するにともない、今まで以上に鹿児島市や熊本、福岡への娯楽を求めて人がでていくのは避けられないことであり、またその魅力を越えるものは、例え合併したところでもできるものではない。娯楽はよそに求めることにして、もっと住みよい市にしてほしい。もっと身近なもの(街灯や歩道、交通)の整備に目をむけてほしい。現在の市には、特に若い世代(純心生など)が定着しないのうなづける。
1-11	川内市	54	男	紫尾山系、冠岳(西岳)、弁財天山(H=518m)の登山道及び遊歩道の整備。大学のある都市(総合大学の誘致)
1-17	川内市	51	男	自然の復活・手入れ・保全 川・森・海が生自然に近い状態で身近に存在することがかけがえのない財産である。そのためには、自然と共存するまちづくりの方法を地域自治の中で進めていく。田舎は都市にはなれない。田舎の宝物は自ら探り出すことが肝要である。九州では川西薩は田舎、大田舎である。
1-18	川内市	51	男	川・海・湖・溜池あらゆる水辺を再生保全する。水を再発見できる仕掛けを工夫する。
1-39	川内市	29	男	子供達のために安全なまちであるために、子供を生むと祝い金がもらえ、医療費は安く、保育園及び幼稚園の教育費の一元化を図り、道路整備でも歩道設置及び交通弱者へのバリアフリーの対策を最優先させる。
1-49	川内市	47	男	子供達が安全で自由に遊べ、ゆとりのある場所(空間)があり、自然や人と数多く触れ合える憩いの場が欲しい。
1-88	川内市	25	女	きれいなまちにするために、ゴミ拾いをしたり、ボランティア活動をしてほしい。
2-5	串木野市	47	男	山や川など豊かな自然を大切に、伝統的な文化や芸能を残し、災害、公害や犯罪が少なく、安心して暮らせ、また企業誘致をし、若者が集まってきて、活気あるまちづくりをしてほしい。子供が遊べる大型レジャー施設を整備し、さらに素晴らしい自然(山、海)を生かした観光ルートを整備し県内外から人を寄せる。
2-18	串木野市	42	男	海、山、川を活かした美しいまちでありたい。

2-23	串木野市	53	男	防災関係者として、地震・風水害など災害の広域化がすすんでいる現状や川内原子力発電所の事故を想定すると、防災機関の広域化は必要である。最近の子供達の様子を見ますと基本的な生活習慣が欠けているように感じております。明日の担い手である子供達の教育は、家庭、学校、地域社会がそれぞれに取り組んでいるが、更に心豊かな青少年を育成するため奉仕活動の実践、国際交流の推進、教育施設の充実等の教育行政の充実を期待する。
2-37	串木野市	37	男	広域的な視点から道路や市街地の整備、文化施設、スポーツ施設などの整備を効率的に整備してほしい。
2-64	串木野市	32	男	自然環境と共生していけるような環境づくり(防災を含む)をし、住民が安心して生活できるまちづくりがなくてはならないと思う。
2-74	串木野市	32	男	箱物は、最小限にとどめ生活に密着する部分(道路維持、公園整備等)を中心に整備を進めるほか、新市の将来を担う青少年に対し、「研修制度(海外研修)や高齢者との交流等」などの進め、人材育成等の充実を図る。合併により、箱物等の建設を推進するよりは、子供達が一日中駆け回ってできる芝生の大きな広場(自然公園等)を建設したら、子供も持つ者としては、あり難いと思います。
2-89	串木野市	46	男	市街地(住宅地)の道路が狭いので拡張 国道3号の渋滞解消(バイパス建設)
2-126	串木野市	31	女	管理が大変かもしれませんが、子供達が裸足で走り回れるような広い芝生の公園があったらいいなと思います。例えば、そこにガーデニングコーナーを設けて市民の方々に整備してもらったり、植樹をしてもらえば、愛着がもて頻りに足を運び、そこで交流も生まれるのではないのでしょうか？水のゾーンがあったり、木蔭で休めるベンチを配置したり…。ゆったり、ゆっくりつろいでリフレッシュできる、そんな公園が近辺にほしいです。
2-128	串木野市 市民生活課	26	女	子供が安心して外で元気に遊べるまちにしてほしい。(公園や児童施設の整備、地域住民の目が子供達にいき届くような環境づくり)
2-129	串木野市	27	男	若い人達の集まる街がいい 地元で就職できる大企業 24時間体制の総合病院 バリアフリーの街
3-43	樋脇町	21	男	ゴミ収集日を増やす。下水道の設置
3-53	樋脇町	40	男	市街地や特殊性のある地域は外に向けて情報発信、入り込みや交流の促進 産業地域は安定向上をめざした施策 住民の居住環境、福祉、教育は充実
4-5	入来町	34	女	テーマ と同様(住みよい町づくりをしたら良いと思います。上下水道、道路等の整備など)
5-1	東郷町	27	女	昨年まで子供の家があり、幼稚園、小学校の帰りに寄ることが出来、子供達もまた人間関係が広がったり、保護者も安心できたと思います。現在も子育て支援センターがありますが、園や学校の帰りに寄ることが出来る施設があったらどうでしょうか。部活帰りなどで、遅く帰る子供たちのためにももう少し街灯を増やす必要はないでしょうか。
6-8	祁答院町	47	男	川の水の飲料水に頼らず、せめて飲料水だけは地下水の活用を図ってほしい。
8-3	上甕村	62	男	・稚魚の放流とアワビ養殖や水産加工品の製造等水産振興対策 ・スポーツ、レクリエーション施設、集会施設の改修 ・アイランドテラピーによる健康づくりの推進(すのさき荘改修温泉化) ・生涯安心して住める地域づくり(高齢者生活福祉センター等温泉施設の整備) ・海岸への流木、竹、ごみ等の処理施策 ・保育園(又は保育所)図書館や集合施設等複合少子化交流施設の整備
8-8	上甕村	47	男	町を歩くと、道路、庭など花のある風景
8-14	上甕村	47	男	・海産物の販路の提供等 ・小中学校の現状維持 ・公営住宅の整備(過疎対策) ・企業誘致(工場等)

11-6	川内地区 消防組合	43	男	子ども・年寄りが安心して暮らせるまちづくり
11-8	川内地区 消防組合	39	男	これからの子どもたちが自分の住む町を自慢できる活気ある明るい町になるよう期待します。また、老若男女が楽しく集まる町になって欲しいと思います。
11-12	川内地区 消防組合	26	男	周辺市町村から人が集まるようなテーマパーク公園
11-15	川内地区 消防組合	44	男	災害に強いまちづくりを念頭に置いて、全体的に安心して暮らせるまちを目指してもらいたい。
11-17	川内地区 消防組合	38	男	子どもたちが安心して遊べる環境が少ないのではないのでしょうか テーマパーク等の建設
11-20	川内地区 消防組合	26	男	環境の改善と歴史にふれあえる施設の建設(テーマパークのようなもの)
11-30	川内地区 消防組合	52	男	災害に強いまちづくり テロのないまち ゴミの不法投棄のないまち
11-44	川内地区 消防組合	25	男	大人から子どもまで楽しめるレジャー施設(遊園地等)を過疎が進む地区に誘致すれば市全体の活性化につながるのではないのでしょうか
11-45	川内地区 消防組合	38	男	鹿児島市の健康の森公園みたいな小さな子どもから家族連れで1日いても飽きないような施設がない。県内でも有数の公園を作り、子どもたち自身が大人になって川内にはこんな所があるとか自慢できる大規模なゆうぐこうえんを作り、県内外からも来やすい施設を1つ作る。公営の宿泊施設の建設を行い、先に書いた運動公演で全国大会レベルの選手たちを収容する。公営の温泉施設の建設か又は熊本県の黒川温泉みたいに道路とけんち石で敷くとか景観を温泉街にしてゆったりと泊まれる保養地を作る。
11-46	川内地区 消防組合	39	男	子どもたちが遊び、楽しめる遊園地の設備
11-48	川内地区 消防組合	25	男	新田神社参道の桜をもっと充実、参道の整備 川内川河川敷に桜を植えて整備し、花見客等を集める。レジャー施設がないので寺山に遊園地等。
11-52	川内地区 消防組合	23	男	子どもから大人まで楽しく遊べるスポット(アミューズメント)
11-57	川内地区 消防組合	42	男	子どもが楽しく遊べるレジャー施設
11-58	川内地区 消防組合			寺山公園がお金を持っているわりには中途半端な感じ、吉野公園のような公園にするか遊園地のようにするか動植物園のようにするか整備してみても
11-59	川内地区 消防組合	50	男	子どもたち(幼年～大学生)が市外へ遊びに流出しないため、県内にない大型レジャーランドを分散化せず、一ヶ所に集中して建設する。 川内川河口からの上流への川内川を活かした公園か、リバーサイド構築、川内川でのイベント。 原子力発電所周辺への企業誘致・受託建設

11-73	川内地区 消防組合	43	男	安全で安心して生活できるまちづくり
11-74	川内地区 消防組合	38	男	総合運動公園を上池、下池まで広げて散歩やいろいろなイベントのできる芝生を植えるなりして、運動公園を池を利用した公園にしたらどうですか。又、プールも屋内屋外を作り遊べる施設も一緒に設置したらどうですか。川内川河川敷に木を植えたり、花を植えたりして公園として活用できないでしょうか。
11-77	川内地区 消防組合	39	男	現在、川内市には、寺山いこいの村公園やがらっぱ公園等小さな公園はありますが、大きな施設等がないので、合併後は子供、大人が楽しめるレジャー施設を作ってほしい。また、甑島と本土は現在、船による交通手段しかないため、橋をかけるかトンネルで繋がるようにすれば、車での行き来ができより多くの観光客が増えるのではないのでしょうか。
11-79	川内地区 消防組合	23	男	総合運動公園に手を加えるなどして、子供達が自然の中で遊べる場所をつくってほしい。
11-82	川内地区 消防組合	34	男	九州新幹線も開通するので観光客を呼べるような施設を又、家族で楽しめる施設を作ってほしい。
11-90	川内地区 消防組合	33	男	川内川をもっときれいにしたい
13-3	串木野市・ 市来町・東 市来町 衛生処理 組合	45	男	総合病院の開設。専門、総合高等学校の増設(学区制の撤廃)公立大学の開設。災害に強い道路の整備。運動公園の整備、増設・改善(ナイター、フェンス etc)

環境衛生(テーマ テーマ ~ で記入できなかった事柄等をご記入ください。)

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-11	川内市	54	男	山に色彩を(落葉樹) 1山桜を集団で植え、日本で1番早い花見を 2いちよう(黄)かえで(赤)うるし(赤)はぜの木(赤) 公園に実のなる木を。(山菜) 1ムクノキ カシ類 オニグルミ(高城川の堤防は多い) ヤマグワ ヤマブドウ 黄イチゴ等
2-139	串木野市	54	男	高齢者医療対策として保健事業の充実 住民に密着した生活環境の整備 不法投棄対策 牛豚のふん尿を処理し堆肥化する施設の建設
3-6	樋脇町	24	男	新しい市になれば様々な建設がおこなわれるかもしれない。こういった中でこれからの建物を設計する際には「バリアフリー」について考えて欲しい。なるべく段差をなくし、スロープをつけたり、社会的弱者が安心してすごせるようにトイレや部屋のつくりを考えることも大事であろう。
9-6	下甑村	27	男	島嶼部は台風などの災害時の対応がせめて現状維持できるよう消防団の充実、連絡体制の確立(緊急時には支所から本庁を経由しなくても県へ要請ができるように)など住民が安心して暮らせるようにしてほしい。

10-6	鹿島村		男	<p>キーポイント</p> <p>リサイクルを活用したまちおこし</p> <p>資源循環型社会構築の一環として資源の有効活用(リサイクル)を図るべきである。特に生ゴミを有効活用し、処理したものを家畜等の飼料化を進める。鹿島村では鹿児島大学農学部から生ゴミを処理した飼料を提供してもらうとともに、山羊飼育の指導提携を行い、山羊の研究飼育を実施中である。</p> <p>ハード面の整備</p> <p>・旧市町村ごとに生ごみプラントの整備を図る。生ゴミの処理したものを飼料として活用する。(生ゴミのリサイクル化)</p> <p>予想される効果</p> <p>・現ゴミ焼却場の燃料・電気料等(ランニングコスト)が大幅に節減される。・焼却灰が減少され経費の節減となる。・焼却場のランニングコストの軽減された分でプラントの管理について人的雇用ができる。・特に広域で取り組むことになれば相当の効果がでると思われる。・山羊の飼料として実用化されると甑島の牧場を活用した山羊の放牧飼育ができる。その結果、雇用の場(定住促進)が確保される。・併せて甘藷栽培を奨励し、甘藷も山羊の飼料に活用することになれば農業振興に寄与する。</p>
11-3	川内地区 消防組合	36	男	<p>市民は安全で活力活気のある町を望んでいるのではないかと思います。安全な街、警察・消防の活動が地域によって差が出てこない政策・対策をしなければならない。住民が安全で安心して生活できるまちを作り住民一人ひとりが平和な日々を過ごせるようにと思います。それぞれの町が合併することで様々な問題点が浮上することが予想されます。このことについては、遠くの家事ではなく、自分自身の事として住民が取り組む問題と思います。合併の当初の目的を考えたときよいまちづくりとは財政的にも潤うまちづくりである。地場産業を中心とした新しい産業への取り組み、企業誘致ではなく、地場企業での拡大を市で応援援助することによる市の発展を願う。広大な土地を活用した観光スポット(アミューズメントパーク)などの設立による鹿児島への中継基地としての観光の拠点を目指す。以上のような人を集める要素を常に研究する。</p>
11-23	川内地区 消防組合	39	男	<p>少子化について問題が解決できるまちづくり 3人以上には補助金、私立幼稚園・市立幼稚園・町立幼稚園の月額差をなくす 小児医療の金額補助 子どもたちが集まるイベント作り 鹿児島市の動向にとらわれることなく、独自の考えを常に持ってほしい。川内駅を中心にしたまちづくりをしてほしい。現在の市・町境に区画を作り、境のないまち作りをしてほしい。防災面で穴のない体制作りを目指してほしい。3次救急医療の体制作り</p>
11-68	川内地区 消防組合	48	男	<p>その他、あちこちで廃車の置き去りにしてあるのを見かけるが、景観をそおこなう。行政指導なり積極的に対処して欲しい。</p>

保 健 福 祉

保健福祉(テーマ 新しい市が誕生したときに、「自慢したい」、「伸ばしたい」、「くふうしたい」ものは？(政策、住民の取り組み、場所、祭り等々))

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-50	川内市	53	男	ぴんぴん・しゃんしゃん運動 合併すると高齢化率が23.52%となる。それに伴う医療費の増が見込まれる。今後は健康で自立して生活出来る健康長寿の延長を図る必要がある。関係団体と連携と取りながら、健康長寿のまちづくりを目指す。
1-52	川内市	26	女	これからの高齢化社会を考えると、生涯学習は「生きがいづくり」という観点で、とても重要になっていくと思う。様々な生涯学習の紹介やボランティアの紹介など、総合的な学習情報提供及び相談を行える生涯学習センターを作り、活気のあるまちにしたい。
2-71	串木野市	50	男	高齢化対策の健康管理体制 高齢化による医療費対策 健康増進センター(メディカルチェックを含む)
3-2	樋脇町	35	女	高齢化に伴い実施している痴呆予防のための脳活性化刺激訓練教室と脳の働きを調べるテスト CTやMRIに写らない働きを調べるテストは痴呆予防のための一次予防として重要である。
3-3	樋脇町	49	女	健康な町づくりに取り組む保健推進協議会。地域に根ざした保健活動の担い手となる。行政と住民と彼女らが一体となって明るい町を推進する。
4-10	入来町	36	女	デイサービス、社会福祉協議会の配達お弁当などの福祉の面は残したいし、合併後も充実させて欲しい。
6-12	祁答院町	46	男	各郷土の伝統的な祭り 年1～2回の河川道路の愛護作業(ボランティア)
8-4	上甕村	60	男	美しい自然 各種イベント(地区の祭事・スポーツ等) 水産・観光・福祉の村づくり 環境づくり
10-1	鹿島村	51	男	「残したいもの:政策」・家庭介護支援(在宅リハビリサービス)・地域ネットワーク活動(ボランティアによる声かけ運動等)
11-62	川内地区消防組合	55	男	川内川河川敷に桜の木があり、遊歩道の脇にベンチを、又夜は、水銀灯がともり、市民の憩いの場になってもらいたい。
11-94	川内地区消防組合	38	男	川内市は医療に対しての協力体制は、他に自慢できる体制です。当番医・小児科当番など

保健福祉(テーマ 「魅力あるまち」「活気のあるまち」「幸せを実感できるまち」にしていくためには、何が大切で、何をしたらよいと思いますか？)

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-2	川内市	41	男	商工政策の推進、高齢者や乳幼児を大切にする福祉の充実
1-39	川内市	29	男	少子高齢の情勢であるので、福祉都市を目指すために、3歳以下の幼児に掛る医療費の全額免除とか、他の都市からの転居した方の住民税を1ヶ月免除を行う。
1-40	川内市	44	男	市民のボランティア等への参加意識の向上
1-49	川内市	47	男	生涯を通して健康で安心して暮らせるよう福祉・都市環境等の整備と交通路の確保と拡充。地元で一生暮らせるよう市民所得の向上や各種産業の振興、就業環境をはじめとする勤労者福祉の向上
1-67	川内市	36	女	高齢者の集える場を多くする。(グランドゴルフ、温泉めぐり)ホームページなど様々な意見を交わしあう場をもちいろいろ意見を交換しあって反映していく。
1-103	川内市	35	男	子育てにやさしい環境(第3子以降の義務教育期間中の経費免除(減免))・給食費・医療費・公共機関施設使用料等 上記施策及び交通網の整備で、住むなら「せんだい(仮称)」というイメージを作り、緑のベッタウン化を行う。

2-1	串木野市	41	男	若者に魅力的なまち、医療・福祉の充実したまちにしたい。定住人口を確保し、人口減少を低減するため、若者に魅力ある企業の誘致
2-31	串木野市	21	男	高齢者や子供を持つ世代が暮らしやすい町に、例えば高齢者パス(市内の公共機関利用料免除)、子供がいる世帯の居住費の半額助成、住民税の半額の半額免除など他にない特色を出すべき。
2-46	串木野市	44	女	今から元気なお年寄りが多くなると思いますので、健康について色々な勉強ができる機会が身近にあればいいと思います。若い人達が安心して働ける場所があればいいと思います。
2-51	串木野市	39	男	次代を担う子供達の育成や高齢者が安心して住める町をめざし「教育・福祉」に重点をおいた施策に取り組む。例として、共働き世帯におけるカギっ子対策としての放課後児童保育の充実、不登校生徒の相談等の充実を図る。福祉対策としてサービスの充実はもちろんのこと、高齢者の憩える場の提供を図る。
2-69	串木野市	57	男	総合運動公園を整備し、市民の健康増進と憩いの場所づくり 若人が定着出来る働く場所確保のため企業誘致
2-90	串木野市	53	男	1. 便利で生活しやすい住宅団地の整備 2. 定年後に出郷者が帰ってきたくような施策の充実(住宅・農地の活用、交通の整備、職場の確保) 3. 世代を越えて集えるような複合施設の整備(図書館、視聴覚センター、軽スポーツの施設等)
2-91	串木野市	39	女	生活環境の充実、特に安心して子供を育てられる環境(保育、学校教育等)又、老後を安心して過ごせる環境
2-101	串木野市	32	男	休日に市外に出なくてもすむように、ゆっくり1日過ごせる公園や体育館などの運動施設等の充実や、大型店の誘致をする。
2-103	串木野市	32	男	福祉、医療等の拡充
2-123	串木野市	30	男	老人のキャリアを生かし、老人が活力を持つことができる政策が必要かと思う。4人に1人が老人が占める街なのに、老人を金がかかるだけの厄介物扱いするのでは街に活気が出てこないし、自分たちも将来に希望がもてない。老人の福利厚生を厚くするのもいいが、老人のキャリアを活かす政策が求められるのではないかと思う。元気な老人は、生き甲斐を持って生きているように感じる。趣味や、仕事、社会奉仕活動など、それは今いる市の各協会などのお偉いさん方を見てみるとよく分かる。主体的に何かに取り組んでいるから元気なのだと思う。そこで、農業、漁業、土木、教育など第一線を退いているものの公共事業にも通用するキャリアを持つ老人は多いはずで、公共事業の一つ、例えば千年の森事業など急々に結果を求められることのない事業、あるいは地域の簡単な道路の補修工事などは彼等に任せてみてはどうか。老人に、主体的に何かに取り組んでいるという感覚を持たせることが彼等の活力につながるのではないかと思う。行政は老人事業団と対等、もしくはサポートでいいかと思う。実施に実施している自治体もある。もう一つは老人のネットワークを作ること。ただのお遊びサークルも必要だが、このような事業を通して彼等のネットワークを構築するのも必要かと思う。自治体にとっては彼等が持つ人的ネットワークを利用しないのはもったいない。
2-137	串木野市	37	女	福祉、子供を健全に育てられる環境作り
3-1	樋脇町	27	女	母子保健事業に力を入れる。将来、市を支え、動かしていく子供達が健やかで心豊かな“人”となるように育てていくことが大切だと思う。
3-6	樋脇町	24	男	これから超高齢化社会の中で生きがいをもてる場が必要になる。各地域で成功しているイベント、行事を積極的に取り入れてみるのもいいと思われる。また、どの地域にも住民の満足できる福祉サービスを行えるように努力することも大事であろう。
3-51	樋脇町	43	男	生活環境の充実 交通アクセス 医療体制、ゆとり施設等々
3-79	樋脇町	34	男	各人の町を思う気持ちが大切。地域の自然を利用し、子供達を育てやすい環境づくりが必要である。
6-2	祁答院町	55	男	高齢者が地域でレクリエーション活動や世代間交流の行える「老人憩いの家」を新設し、ボランティア活動との連携を深めていく。(リーダー育成も含める)自然環境の美しさにより海山川を生かした健康的な活気あるまちづくり

6-14	祁答院町	53	男	市街地の整備(特に商店街)については、新市の顔ともなり活性化のため大切なことですが、周辺の町の住民は、今までと違い社会資本の整備に遅れがでるのではないかと懸念されるため、市街地へのアクセス道路、地域を循環する道路等の整備を、市街地の整備と平行し取り組み。地域で、誰もが身近に、いつでもスポーツ等親しめるグラウンド等の整備。福祉施設についても、今後、介護保険の利用者の増加が見込まれるため地域の自然(温泉・川・海・湖)を生かした整備も急務と考える。また、高齢化の進行に伴い交通弱者も増えてくるため、その対策を。
6-20	祁答院町	48	男	子どもを預けて母親が勤務できるような施設整備をし、また母親と幼児が図書館等で育児・子育て等の話ができるように、スペースをとり母親が安心して住める町を希望したい。
7-2	里村	55	男	幸せを共有できること。 若者を中心としたまちづくり政策 高齢者に優しい思いやりのあるまちづくり、政策、社会教育、医療保険福祉の充実 若者と高齢者を昔の薩摩風の教育方針で結ぶ。
7-5	里村	25	男	「合併後住民への福祉サービスが悪くなった。」との意見がでないよう留意すべき
7-10	里村	52	男	高齢化が進んできているので、老人向けボランティア - 活動を推進していく(老人の家の庭の手入れ等)
8-6	上甕村	59	男	本村は高齢者が多いので福祉的な(医療を含む)面で安心できる村であって欲しい。 甕島の住民は串木野港から川内市(鹿児島市)への交通のアクセスを今以上に良くして欲しい。
8-7	上甕村	35	男	本村は、全国的にみても屈指の超高齢化の進む村であるが、それをマイナスと考えず、福祉・医療を充実させ、島を出た人が定年後はUターンして、故郷で老後を過ごしたいと思えるような所にしていくことが大切ではないか。
8-10	上甕村	49	男	ろうじんをたいせつに
8-16	上甕村	32	男	福祉施策の充実(高齢化が進む中高齢者に対する各種施策等) 地場産業の育成 若者定着(Uターン、Uターン)等若者が定着するような施策 医療施策の充実(小児科等) 保育所等施設等の充実(女性の社会進出にはかかせない)
8-18	上甕村	43	男	鹿児島市への流出を防ぐため、交通基盤、産業集積、医療福祉体制の充実を図る。
10-1	鹿島村	51	男	独居老人等弱者に対して地域が一体となり、個々が出来ることを出来る時に出来るだけ提供していくシステムの構築が重要である。(ボランティア団体の育成)
10-4	鹿島村	46	女	高齢化が進む中で、自宅介護ができ、介護する側される側が心にゆとりがもてるようヘルパー人材の確保をお願いしたい。
11-1	川内地区 消防組合	39	男	子ども・成人・老人などが楽しめる市を誕生してもらいたい
11-18	川内地区 消防組合	52	男	現合いの町村は年々人口減少の一途をたどり寂しくなっていると同時に高齢化が進み若者が住みにくくなっている。若者を呼び寄せるためには、将来安心して働ける職種の開発(農業・漁業・企業誘致)を行い収入等が安定すると、自然には人口は増えて活気のあるまちになると思います。
11-19	川内地区 消防組合			自然との共存 スポーツ振興 福祉のまちづくり 人口流出の歯止め対策(雇用創出、観光行政促進) 離島振興策の拡大
11-21	川内地区 消防組合	43	男	公園、山、川、海の娯楽設備 少子対策 子育て支援
11-25	川内地区 消防組合	37	男	公共サービスの拡充
11-41	川内地区 消防組合	48	男	鹿児島県の中核都市として、年寄りから子どもまで一日を楽しく過ごすことができるような公園等の目玉になるような地域環境整備が必要だと思います。

	消防組合			
11-71	川内地区消防組合	44	男	今後急速に進む少子高齢化に向けて、福祉施設や福祉関係事業の充実を行い暮らしやすい街づくりや子供を育てるのに現在はたくさんのお金が必要です。もう1人は欲しいが教育資金や共稼ぎのためにあきらめている家庭もあるのではないかと考えます。そのような家庭に、学費や給食費の補助や保育園や幼稚園の経費の補助などを行い、1人でも多くの子供が増えたら良いと考えます。そして、周辺の住民の方が住んでみたい。この市で子供を育てたいと思える環境整備を行い、他の市ではない特徴のある市をつくってもらえる様望みます。
11-91	川内地区消防組合	25	男	市の施設などを作り、住民の集うところを作ればよいと思う
11-92	川内地区消防組合	21	男	ボランティア精神、高齢化に伴う福祉施設の充実
12-4	西薩衛生処理組合	52	男	福祉の充実に投資してほしい
13-7	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	40	女	住み易く、福祉を重視した町造りが大切だと思います。高齢化がすすむ中、お年寄りが安心して住める環境づくりに力を入れるべきではないでしょうか。

保健福祉(テーマ 新市のまちづくりの望ましい姿、イメージ、キャッチフレーズはどんなものでしょうか?)

	市町村名	年齢	性別	提 言
2-60	串木野市	47	男	若者に魅力のあるまちづくり、医療や福祉が充実したまちづくり
3-21	樋脇町	28	男	保健福祉行政の充実したまち
3-83	樋脇町	55	女	福祉の充実をさらに伸ばしたい
3-84	樋脇町	20	女	交通の便が良く、福祉の充実したまち。人の集まるまち。鹿児島県の西の玄関口
6-1	祁答院町	44	男	健康づくりと福祉の充実したまちづくり 特色ある観光資源を活用したまちづくり
8-10	上甑村	49	男	老後の充実
11-6	川内地区消防組合	43	男	均等な福祉の充実
11-14	川内地区消防組合	50	男	全てを行政(市役所)に依存することなく、地方に残っている道路・河川愛護作業等ボランティア活動は今以上に推進を図るべきである。住民一人ひとりが自治意識を持つことが大切。 *住民自治意識の高揚
11-24	川内地区消防組合	19	男	建物ばかりでなく、みどりのあるまちにすればいいと思う。

11-55	川内地区 消防組合	43	男	日本は世界で一番の長寿国になりました。このことは、本来喜ばしいことです。しかし一方、年金や医療費といった問題が指摘されるようになりました。川内市でも平成13年度、国保の医療費が100億円を超え大きな問題であると聞きます。また、良く聞くことで高齢者の方々が病院の待合室で病院に来てない人がいると「具合が悪いのかな」と言うとの冗談話があります。このように、高齢者は本当に病院にかかる必要があるのか疑わしい部分も否めません。長寿は長く生きることより、健康で生きられるかという中身が大切ではないかと考えます。今、グランドゴルフがブームで、元気な高齢者がいきいきとスティックを手にグランドを走っていらっしやる光景を目の当たりにします。このように病気より楽しいことを提供することで、充実した老後を送ることができると思います。また、そのことが、医療の削減にもつながると思います。長野県のあるまちでは、「生きいきコロリ」運動を提唱し、行き来と活動し、死ぬときはころりと死のうという運動を実施していると聞きます。新しい市では、今より高齢化が進み、医療費等の問題が深刻化することが予想されます。そこで「生きいきコロリ」(これは刺激的過ぎますか)のようなスローガンを掲げ、生涯スポーツをさらに充実する必要があると考えます。拠点になる場所は、サロンを作り、そこで語らいながら仲間作りをし、また、温泉でもあれば終日過ごすことができ、病院にかかる件数も減少すると考えられます。又、現在・福祉課、保健課、市民スポーツかがそれぞれ進めている、高齢者の健康増進等の行政を一本化し、効率的な行政を進める必要もあると思います。新しい市は高齢者にも優しくありたいものです。
-------	--------------	----	---	--

保健福祉(テーマ その他、期待するまちづくりの政策等自由なご提言(こんなまちになってほしい、こうあってほしい、子どもたちのためにこんなことをしてほしいなど))

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-13	川内市	41	男	現在、新規就農者の6割が定年帰農(文字どおり退職後に始める農業)者で占められているとのこと。今回の市町村合併により、手つかずの豊かな自然を共有することになるが、この豊かな自然を背景に「シルバーライフオアシス」を提言したい。高齢化社会と言えども、60歳で定年退職した多くの人は、まだまだ元気で勤労意欲が高いのではと考えられる。しかし、現在の社会情勢では再雇用の機会は限られている。そこで先に述べた豊かな自然を相手とした農業・漁業・林業の滞在型就労(生きがいづくり)を考えてみた。方法としては、都会の定年退職者をターゲットにメディアを通じてPRを行い、(他所に先行されるとインパクトに欠け、二番煎じと揶揄されかねない。)希望者を募集する。 地方で空家となっている家(公営住宅でも可)を安く貸家として斡旋する。 無償もしくは廃価で田・畑・舟・山林などを貸付する 素人でも始められるような支援体制(農機具のレンタル サポートや作物づくりの方法)をつくる。(村の人でOKなのは、地域の活性化。 定住化にこだわらない(1年2年でやめて帰ってもOK)などではどうだろうか。 インターネットなどで見る、東京の定年退職者は高速道路で2時間もかけて福島県茨木県の耕作地に嬉々として通っているみたいである。(本当に生きがいを感じている人が多い)本市が他市に先がけて高齢者のパラダイスをつくることは愉快なことであり、本市の大きなウリになると考えられ、爆発的にないにしろ着実な需要が見込まれると思うのだが…。
1-39	川内市	29	男	子供達のために安全なまちであるために、子供を生むと祝い金がもらえ、医療費は安く、保育園及び幼稚園の教育費の一元化を図り、道路整備でも歩道設置及び交通弱者へのバリアフリーの対策を最優先させる。
1-52	川内市	26	女	ホームページの中に、子育て支援専用Webを開設する。なかみとしては、・利用者がネット上で情報交換ができる掲示板の公開 ・保育園入園申込書や児童手当申請書、乳幼児医療申請書などの掲載 ・生年月日入力で予防接種や検診の日程検索が可能 ・離乳食のレシピ紹介 など、こんな市であったら子供を産んで育てるにはよい環境だなと親が思えるような内容にしたい。そうすることにより、定住者が増えるだろうし、人口増加にも繋がると思う。市役所内の横の連携が必須。
1-65	川内市	46	男	高校教育のレベルアップ、有名塾の誘致、「この町に住めば、進学は安心と思わせる町」お年寄り、障害者、乳幼児を大切にする町...「ここに住めばやさくなる町」第三次救急医療を備える町...「この町は、人の命を大切にする町」
1-66	川内市	58	男	基本的には、若者が定着できるまちづくり。若い人を雇う企業誘致育成 市民が楽しめる街(娯楽施設・公園・スポーツ施設・大型店舗等) 子供のために 過疎校の統合。地域と一体となった子育て、親子学習 最後に治安のよいまち、思いやりのある人間が育つまちになってほしい。
1-67	川内市	36	女	高齢者が元気でいられるように、グランドや公民館など集会室の充実・整備、くるくるバス等の拡張、病院や介護情報を充実させることができたらいいと思います。
1-80	川内市	33	女	おいしい、温かい給食(お弁当)を提供する。敬老者が安心して暮らせるまちづくり。
2-43	串木野市	34	男	子育てのしやすい街をめざしたい。将来につながると思う。

2-79	串木野市	42	女	高齢者が役割と生きがいをもって生き生きと暮らせるまち、乳幼児から高齢者まで世代間の交流があるまち、安心して子供を産む育てることのできるまち、子供が健やかに育つまち
2-81	串木野市	29	女	最近、高齢者対策に重点がおかれているので新しい市になったら子供達の対策を充実させてほしい。今までは串木野市に専門の小児科がない等という意見も多く聞かれたが、これからは、医療機関も整備されたり等、今までの人口規模では実現できなかった部分の充実も期待したいし、学童保育、障害児療育、育児サークルなど子供達が健やかに過ごすための施設や事業、行事などが身近に手軽に安心して利用できるようなと思う。
2-83	串木野市	29	女	地域の人達が協力して、子育てがしやすいように見守ってくれたらいいです。
2-129	串木野市	27	男	若い人達の集まる街がいい 地元で就職できる大企業 24時間体制の総合病院 バリアフリーの街
2-137	串木野市	37	女	住民が活用できる総合的な体育設備(スパランド等)
2-140	串木野市	33	男	少子高齢化に対応する福祉制度等の充実したまちづくりに重点を。
3-10	樋脇町	37	男	高齢者ですが、これからの未来を担う子供達へもっと勉強、スポーツなど支援し、クラブ活動などみんなが出来るような(家庭内予算)環境があればいいと思います。
3-34	樋脇町	23	女	広域合併ともなると各市町村にある施設等を統合させて新しく作るということも出てくると思う。そうなった際、今からの高齢者社会の事も考えて福祉サービスの充実した施設(特に車イスの住民も問題なく利用できるバリアフリーなど)を作してほしい。今でさえ役場から遠い市街地から遠いというお年寄りには不便な思いをしていると思うので、そんな不便さを解消するためにも一人一人思いやりを持った行動がとれるようになってほしい。
3-35	樋脇町	49	男	諸手続、証明書発行、納金など近くで取り扱いが出来ること(高齢者対策の充実)
3-53	樋脇町	40	男	市街地や特殊性のある地域は外に向けて情報発信、入り込みや交流の促進 産業地域は安定向上をめざした施策 住民の居住環境、福祉、教育は充実
3-65	樋脇町	59	男	子供から大人まで楽しく暮らせる魅力ある新都市になってほしい。働き盛りの若者が安心して働くことの出来る企業誘致、乳幼児の保育施設の整備から高齢者が安心出来る交流施設、高齢者向けホーム施設及び公営による医療施設を各地域に整備を期待したい。旧市町村の地域差別解消のために道路網の整備を図り、交流が図られるような政策を期待したい。
5-5	東郷町	46	女	あまりにも大きな市になり、東郷町など特に切り捨てられる面があるのではと心配します。予算等削減されるとこの行事もあの行事もあの活動もと。また、将来呼応零下が進むとお年寄りが元気で生活できる町づくり。(これは医療費、福祉の問題ともつながると思いますが)病気にならないようにする体、そのための教室や講座、定年後の方々が元気であればその方々から子供達に教えてもらう面も多いのでは？
6-3	祁答院町	48	男	都市部と農村漁村部の調和のとれた都市づくり ボランティア活動等が盛んで、こんな活動を通じ若者を社会性のある人づくりをしてほしい。高齢者の生き甲斐づくり政策 未婚者が多いので結婚対策 農地の荒廃対策 農業後継者対策(20年後を考えると心配である) 高齢化対策として福祉施設・設備の充実
6-16	祁答院町	30	男	自分の子どももまだ小さいので子ども病院等をさらに増院して欲しい。
6-19	祁答院町	60	男	安心して子どもを育て、女性も働き続けられる施設や制度の整備・充実。・企業内保育所の充実。・保育所と医療施設や老人施設の併設。(お年寄りが赤ちゃんや幼児の世話ができるような施設)・小、中学生が放課後や土、日に安心して過ごせる施設。・小、中、高校生が地域の伝統文化、芸能等を楽しく学べるような施設とそれらを教える人材の確保、育成

7-2	里村	55	男	<p>幸せを共有できるまち。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者を中心としたまちづくりや政策を積極的に社会教育に、薩摩独自の気風をとりもどしたものをとり入れていく。 ・高齢者に優しい思いやりのあるまちづくり、政策 <p>医療の技術・器械、システム、人材の充実。保健面での前向きなとりくみ。福祉面で思いやる心の充実をはかる。</p>
8-3	上甕村	62	男	<ul style="list-style-type: none"> ・稚魚の放流とアワビ養殖や水産加工品の製造等水産振興対策 ・スポーツ、レクリエーション施設、集会施設の改修 ・アイランドテラピーによる健康づくりの推進(すのさき荘改修温泉化) ・生涯安心して住める地域づくり(高齢者生活福祉センター等温泉施設の整備) ・海岸への流木、竹、ごみ等の処理施策 ・保育園(又は保育所)図書館や集合施設等複合少子化交流施設の整備
11-6	川内地区 消防組合	43	男	子ども・年寄りが安心して暮らせるまちづくり
11-8	川内地区 消防組合	39	男	これからの子どもたちが自分の住む町を自慢できる活気ある明るい町になるよう期待します。また、老若男女が楽しく集まる町になって欲しいと思います。
11-31	川内地区 消防組合	50	男	<p>平均寿命の年齢も上がり、ますます高齢化社会になりますが、災害弱者といわれる高齢者が安心して生活できるように住宅の防火(火災感知器、消火設備の設置等)・防災化(寝具・衣類等の使用)及び緊急通報装置の携帯等防災面にも重点を置いていただきたい。</p> <p>在宅高齢者はデイケア等で、出向いてサービスを受けるのではなく、充実した老後が暮らせるように各地に拠点施設を設置し、ボランティア若しくは行政によるサービスを望みます。</p>
11-36	川内地区 消防組合	37	男	<p>地域活性化や市民、子どもたちの情操教育のため、音楽や踊りなどの文化事業のバックアップを強化してほしい。</p> <p>そのためには、川内市内や近隣町村で文化活動をしている個人や団体がもっと市民会館等の公共施設を利用できやすいように、使用料金の引き下げや駐車場の増設、交通機関の充実等を計ってほしい。</p>
11-78	川内地区 消防組合	41	男	福祉充実の町 子供達が大人と一緒に遊べ、一日を過ごす事が出来る施設等を作ってほしい。
11-86	川内地区 消防組合	55	男	<p>年寄りや子どもの住みやすい町</p> <p>JRの駅を多く作り地域の活性化を図る</p>
11-87	川内地区 消防組合	22	男	子どもたちの養育費を安くする(保育料)
11-89	川内地区 消防組合	29	男	少子化が進む昨今より多くの子どもの出生が得られるよう一定以上の子どもを受けた家庭には補助をする
11-91	川内地区 消防組合	25	男	高齢者の方々が安心して暮らせる町
12-9	西薩衛生 処理組合	48	男	介護・援助を必要とする一人暮らしのお年寄等に対して、地域ぐるみで声かけ等の運動を展開するなど高齢者や社会的弱者に優しいまちづくりを推し進めてほしい。

13-3	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	45	男	総合病院の開設、専門、総合高等学校の増設(学区制の撤廃)公立大学の開設、災害に強い道路の整備、運動公園の整備、増設・改善(ナイター、フェンス etc)
13-7	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	40	女	温泉を利用した公共の施設。現在もありますが、他の市町村やお年寄りだけに限らず若者も一緒に楽しめる様な工夫をして、例えば大きな温泉プールや流れるプール、マッサージしながらイヤホンで音楽等が聞けるスペース、スポーツジム。宮崎県延岡市にヘルストピアという施設があり、一度利用しました。串木野市より人口もかなり多い市ではありましたが、子どもからお年寄りまでたくさんの人が利用されていて印象的でした。
18-4	上甕島バス企業団	58	男	新しい市が、誕生する頃は私は定年を迎えてる頃だと思う。私も何か一役頑張ってみようと思っております。だから老人の取組む職場を作ってほしい。又老いたる私共に変り若い世代が活気ある取場又スポーツ、娯楽施設等私の住んでる甕島地区にもお願いしたいと思います。
5	個別応募：川内市	24	女	施設を郊外に作るのではなく、都心に作ってほしい。老後、リハビリセンターなど、寂しい山の中ではなく、子供たちがすぐ会いにきてくれるような・・・

保健福祉(テーマ テーマ ~ で記入できなかった事柄等をご記入ください。)

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-104	川内市	41	男	産業振興による経済基盤の充実、少数集落でも安心して暮らせるまちづくりの推進(コミュニティの推進)。住民の声が反映される施策の推進 外に目を向けた施策の展開(国際交流、国際貿易の推進)。福祉・医療体制が充実したまちづくりの推進 障害者(弱者)に優しく、障害者がいきいきと暮らせるまちづくりの推進 学校教育環境や生涯学習環境が整備されたまちづくりの推進
2-139	串木野市	54	男	高齢者医療対策として保健事業の充実 住民に密着した生活環境の整備 不法投棄対策 牛豚のふん尿を処理し堆肥化する施設の建設
3-3	樋脇町	49	女	新保健センターを核として健康づくりを進めていく。(温泉の有効活用)休養の場とする。 丸山、観光農園、温泉を結んだ新しいルートの開発(温泉街の整備 古さを活用) 住民サービスはお金を使わず、頭を使おう (無料健診・検診券、無料入浴券、無料乗り物券、無料配達券、無料シルバー人材センター派遣) * ボランティアでポイントをためて自分の希望を実現する。
3-4	樋脇町	54	男	ふれあいサロン 福祉のまちづくり事業で各地域概ね月1回のふれあいサロンを実施しているが住み慣れた地域で近隣の方々とふれあい高齢者の交流事業として役立っている。要支援要介護については介護保険制度の活用があるが、境界層の高齢者又異世代間の交流事業として継続して広く設置することが望ましい。
8-2	上甕村	49	男	医療・福祉の充実

11-20	川内地区 消防組合	26	男	サービスの平均化, 現在甑島は当該運搬の手段として甑島商船の利用, 個人漁船の搬送・防災縁や海上自衛隊ヘリコプターを利用しているが天候に左右されているのが現実です。島田からの-(マイナス)面が浮き掘りになっているので, せめて本当と同じ市の一部になるわけだから, 甑島列島を1つに結び(鹿島村と中甑を結ぶ蘭牟田瀬戸大橋を建設)里村と下甑村のちょうど中間地に総合病院を建設して医療サービスの向上をはかってほしい
11-23	川内地区 消防組合	39	男	少子化について問題が解決できるまちづくり 3人以上には補助金, 私立幼稚園・市立幼稚園・町立幼稚園の月額差をなくす 小児医療の金額補助 子どもたちが集まるイベント作り 鹿児島市の動向にとらわれることなく, 独自の考えを常に持ってほしい。川内駅を中心にしたまちづくりをしてほしい。現在の市・町境に区画を作り, 境のないまち作りをしてほしい。防災面で穴のない体制作りを目指してほしい。3次救急医療の体制作り
11-54	川内地区 消防組合	31	男	最近の健康ブームでウォーキング又犬等の散歩をしている人達をよく見かけることがありますが, 川内市で一番そのような場所に適しているところは, 川内の河川敷だと思います。しかし, 昼間はウォーキングジョギングも快適に行えるのですが, 夜間は灯りが全くないため, せっかくの場所がもったいないように思います。この整備を行えば, 景観的にもいいのでは。

産業経済

産業経済(テーマ :新しい市が誕生したときに、「自慢したい」、「残したい」、「伸ばしたい」、「くふうしたい」ものは？(政策、住民の取り組み、場所、祭り等々))

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-4	川内市	29	女	祭り行事のアピールを大きく
1-13	川内市	41	男	豊富な自然(海・山・川・温泉)を活かした体験型イベントの開催(グリーンツーリズム ブルーツーリズムのイベント版)
1-23	川内市	43	男	残したいもの...自然(特に海岸線)、川内大綱引。伸ばしたい工夫したい...観光(今ある財産を連携させて新たなルートを開設)
1-39	川内市	29	男	川内川に代表される豊かな自然を活かし、川を利用したイベントや地域に残る伝統行事などをPRし、集客を高める。
1-42	川内市	28	男	川内市にも大きな祭り(イベント)花火大会やはんや祭りその他がいくつかあるが、いずれも単純であり、一瞬の盛り上がりでしかないような感じがある。川内大綱引きのような、徐々に盛り上がりそして、大爆発するようなそういう祭りらしい祭り(イベント)を新市ができるのを機会に各市町村の良い所を残し、伸ばしていくために総合プロデュースできないかと思えます。
1-46	川内市	52	男	新幹線が平成16年春に開通するので、観光に力を入れてもらいたい。通過型から滞在型への取り組み。観光コースの設定を図る。
1-49	川内市	47	男	川内川を活かしたイベント、事業等。川内大綱引保存会は残していきたい。
1-51	川内市	40	男	川内川を活かしたスポーツや催し物など。例えば、カヌーツーリングやいかだ下り、新市最上流部から川内川河口までの、東シナ海探検ツーリングなど。川内川河川敷に、サイクリングロードを整備するなど。
1-64	西薩衛生処理組合	52	男	串木野市及び甌島4村の魚、川内市のごぼう、ラッキョウ、東郷町のイチゴ・みかん入来町の金柑など、誇れる農産物がある。また、川内市、樋脇町、祁答院町に温泉がある。今度、これらの自慢できるものを売り込む。
1-66	川内市	58	男	大綱引きとはんや祭りは市民の手作りで...工夫したい 温泉地を利用した観光地、観光農園(清水ヶ丘・湯田西方地区)...伸ばしたいこと 離島の甌島まで同市であること。(自慢したいこと) 川内川花火大会と広い河川敷は残したい。
1-72	川内市	28	男	アリーナ・総合運動公園を利用して大規模な催しを。
1-74	川内市	48	男	2市4町4村の枠組みは、県下第2の拠点堵市として、新幹線、西回り、広域港湾、川内川をもち、甌島の観光漁港海洋深層水など、発展性が豊かで、地の利として東海圏に向かっている。川内港と串木野港を一体化し、背後の交通アクセスを整備することにより、農林業も振興を図る。
1-81	川内市	29	男	川内川花火大会、大綱引き...残したい 福祉施設増築...伸ばしたい 年中活気ある市であること。(川内市を中心として東郷の鮎や観光農園、樋脇の温泉や串木野の漁業、つけあげ、金山、甌島の海を活用したキャンプ施設等)...自慢したいこと
1-93	川内市	27	男	合併対象の市町村独自の文化・伝統を他地区へ発信して観光客の誘致事業を展開する。
1-95	川内市	30	男	甌島を迎えることが確実となっている。鄙びた宿泊施設や海水(深層水ならより良し)温泉等を備え、その自然を全面に押し出してPRしては？
1-97	川内市	39	男	歴史...神話 寺山...活用の見直し 温泉 甌島のアピール
1-98	川内市	40	男	川内川や東シナ海の自然。自然を生かした産業をおこしていくこと。海や川を生かしたり、温泉を生かしたりした地域づくり。公共の温泉施設などがあるといい。
1-100	川内市	34	女	はんや祭、綱引きは残してほしい。川内川の流れを工夫した公園をつくってほしい。商店街が早く閉店して国道沿いが寂しい気がするので、どうか工夫ができないものでしょうか。
2-1	串木野市	41	男	海と山、恵まれた自然があるのに、それを活用した祭り、催し物(ジョギング大会やダイビングなど)がない。

2-5	串木野市	47	男	郷土の誇りである浜競馬、ガウンガウン祭り、太郎太郎祭りを自慢したい。また本市の特産物である「つけあげ」の種類を工夫して全国にアピールしてもらいたい。
2-105	串木野市	38	男	マグロのまちのイメージは残したい。
2-108	串木野市	44	女	冠岳園の観光地としての有効利用を(最低限維持費を生み出せるだけの収入を得る事が出来るように観光客が単に見るだけではもったいない。)市中流しでたくさんの人出があるのに踊り終わった後何もない。それだけの人を集客するのは難しいのだから、せっかくの人出の有効利用を。
2-110	串木野市	55	男	川内港と串木野港と一体となった活用を図り、漁港、商港、観光港等それぞれの特性をもった位置づけを行う。又、甕島の特性を生かした沿岸漁業、養殖事業等の振興を図り、それらの出荷品の串木野港への集約化を図る。
2-111	串木野市	44	男	甕島や市比野の温泉などの自然資源の活用(資源のない所を開発するよりはあるものを活かす)国道、新幹線、船(海上ルート)等の交通拠点(地理的位置)としての機能
2-114	串木野市	30	男	冠岳については、串木野市において自然の里づくりとして事業進めており、ハナハナ所巡りなどと合わせ、歴史のある観光スポットを目指すものであるが、あの一体だけでなく川内側のレストラン等樋脇の温泉宿泊ゾーンち冠岳をとりかこむ地域を結ぶ交通施策を充実させて、広範囲の観光地づくりを目指す。スポーツ国際交流員招致事業により、広まっている気功をより根付かせ、継続させるため、多数の指導者を養成し、音楽も防災無線で流し、ラジオ体操のような形をとる。また、小中学生の夏季のラジオ体操についても気功を加える。最近の「まぐろラーメン」「まぐろ餃子」は、「まぐろのまち串木野」のイメージと、市民生活の実態との隙間を埋めるものとして大きな役割をもつものになり話題も集めている。このような昔から根付いている資源、イメージを大切に、工夫することで合併後も特色のある地域として生きてくる。「まぐろラーメン」については、麺を扱う店舗に限られたため、まぐろ村等まぐろを常時食べられるような店舗の広がりをつくりたい。
2-119	串木野市	53	男	また、工夫したいこととして、新しい市が誕生したときは、市内の人と人との交流を活発化し、交流連帯による協調意識形成を早急に高めて行く必要があり、これへの対応の一つの例として、市内各地域での祭りなどのイベント等において、それぞれの地域からの大型バス数台を利用して、多人数の招待を行って交流など工夫してみたらどうでしょう。自慢したいことは「大型商業港を2箇所備えた町」とうことである。これは、中国沿岸都市と今後益々発展して行くであろう交易の拠点都市として、地理的条件と共に優れた条件下にあるということである。
2-124	串木野市	47	女	串木野から海のイメージは取りはずせない。つけあげ、かまぼこは一段と伸ばしてほしい。
2-127	串木野市	39	男	「自慢したい」...豊富な水産資源、近海の水産物、遠洋のマグロ「残したい」...串木野浜競馬、海水浴場「伸ばしたい」...地元雇用、ゴミ分別収集、海洋レジャー(魚釣り等)「工夫したい」...住民サービス、職員採用 市外からの採用重視
2-128	串木野市市民生活課	26	女	各地区地域の特色ある祭り等は絶対に残すべき。豊かな自然や温泉に恵まれた地域なので、それを生かした観光都市として、発展してほしい。
2-130	串木野市	35	男	行政主導型の政策ではなく、住民主導型、市民先導型の政策、イベントを行ってほしい(補助金があるから実行するイベント事業ではないこと)
2-132	串木野市	32	男	浜競馬 マグロに関するもの
2-15	串木野市	38	男	2市4町4村が合併したら新たな観光ルートができるため、工夫ひとつで新しい市の活性化につながると思います。
2-19	串木野市	32	男	新市誕生の熱が冷めない内に、2～3日がかりの新市全域を巻き込んだ祭りやイベントを行ってみては?(こういう時だからこそもしゲスト等を呼ぶ時は、ケチらない方が
2-23	串木野市	53	男	平成13年から生福地区で行われている徐福花冠祭を地域おこしの祭りとして、その輪を広めたい。
2-34	串木野市	40代	男	西薩中核工業団地の有効利用に対する工夫(例 新港フェリー利用客、将来展望(中国等との貿易など)を見据えた心休まる公園緑地化・施設建設)
2-35	串木野市	32	男	串木野にせっかく温泉施設ができたのだが、もっと若い人も集まる様にフィットネスクラブやトレーニングジム等を設置してみれば、[金]よりも、マグロやさつま揚げの知名度があるので、[食]に関する名産はもっとアピール工夫していった方がいい。
2-38	串木野市	44	男	他県、他市町村から人々が集まるようなイベント観光地がほしい。現在他県に誇れるようなものは何ひとつない。県一、九州一、日本一がほしい。
2-43	串木野市	34	男	新市の特色、海、山、温泉、郷土料理を一体に観光地化できないか。

2-49	串木野市	46	男	金山とまぐるにちなんだちかえて祭り、さのさ祭り等一つにまとめて、大イベントにする。
2-57	串木野市	42	女	各地に古くから伝わる文化(郷土芸能、祭り、文化財)を守り、伝承してほしい。地名は今のままでも残せるのではないか。国民宿舎は残して欲しい。新市誕生後に同じ市の市民同志わり合えるよう、また市内のことを早く知るように、何らかの広報なりイベントなりをやって欲しい。
2-68	串木野市	54	男	整備した港湾の充実と国際物流基地への期待
2-70	串木野市	27	男	産業分野において特に力を入れているもの
2-76	串木野市	32	女	市外から人が集まるようなイベントを計画
2-90	串木野市	53	男	吹上浜から羽島・土川の海岸線、冠岳周辺の自然景観。西薩工業団地(串木野の特産物等と直結した食品加工販売ー市民が集まる工業団地)
3-27	樋脇町	45	男	市比野温泉の呼称を残すため、地域で採れた食材による料理の提供をするとともに、遊湯館を中心として農業、商業、旅館業が三位一体となったイベントを行う。又、新市全域で温泉、名所、旧跡を活用した観光ルートの開発を行う。
3-30	樋脇町	57	女	緊急土地基盤整備作業 スポーツ行事(ホッケー大会、サッカー大会、丸山駅伝大会)各地区の伝統行事
3-51	樋脇町	43	男	市比野温泉 ホッケー、サッカー施設の充実 合宿、大会の呼び込み 四季折々の祭り、イベント
3-54	樋脇町	30	男	祭り等の集約(構成市町村全体)による大規模なイベント化
3-60	樋脇町	30	男	丸山自然公園、スポーツイベント、スポーツ合宿等の誘致、川内花火大会、いむた池、入来の文化財(入来文書等)
3-8	樋脇町	54	男	農業を地域産業の基幹として位置づけし、農業生産基盤の整備、担い手の育成に努力している。樋脇高校の充実、丸山公園、市比野温泉、スポーツ(ホッケー、サッカー等)運動してイベントの継続強化 *倉野磨崖仏
4-3	入来町	31	男	郷土芸能など、歴史的なイベント等は各地区で継続していく必要があるが、新市の全域を季節ごとのエリアに分けて、季節にあったイベントを各地で行えば、各地区を有効に活用できるのでは。
6-15	祁答院町	49	男	2市4町4村には、各種のイベントが多種多様にあります。鹿児島市に次ぐ県内第2の人口規模になります。このため国・県の文化財指定的なイベント及び全国的に報道されるものは、各市町村に残し、同じ規模のイベントは、統一し開催場所は、持ち回りとする。
6-16	祁答院町	30	男	県立自然公園「いむた池」の整備(観光スポットになるような公園にしたい。)
6-19	祁答院町	60	男	高齢者等の交通手段の確保が必要、新市の中心部とのアクセスはもちろんだが、旧町村間を運行するミニバスは存続する。年に一度、全旧市町村の伝統芸能祭を披露する「伝統文化の祭典」を開催する。
6-4	祁答院町	25	男	田畑を1年中使えるように工夫したい。考えていきたい。若者が気兼ねなしに暮らせるような生活環境を整え、伸ばしていきたい。
6-5	祁答院町	39	男	一般公道でのロードレースの規制が厳しくなる現状で、蘭牟田池でのロードレースは継続して実施したい。新市誕生後、旧10市町村の住民交流・親睦を深めるイベントの開催
6-8	祁答院町	47	男	水稲、畜産、園芸等による循環型農業の強化と産地の形成
7-10	里村	52	男	観光客伸ばしていきたい。自然との共存(マリンスポーツ)
7-6	里村	32	男	各地区の伝統行事(祭り)を一箇所で一斉に行う。(例えば、川内市はんや祭り時に下甌のトシボン、東郷町俵、鬼人踊り、里のかずらたてをするなど)新しい市の新しい取り組みという形で打ち出すのではなく、伝統行事が一本化したという形で行い、観光や地域のアイデンティティーを残すため。
8-12	上甌村	46	男	自然の景観・景勝地の保護。魚礁投入による海洋牧場を開拓し漁協と提携して釣客等を招集できる自然釣堀場の開発
8-13	上甌村	53	男	甌島は自然のままの観光地が多く、又昔から受け継がれている祭りも多いのでこれらを生かした観光振興をやってほしい。

8-14	上甌村	47	男	自然豊かな景勝地(長目の浜等)を活かしたイベントを行う。
8-16	上甌村	32	男	人情豊かなわが村の特に自慢したい景勝地として、県立自然公園にも指定されているなまこ池、長目の浜を上げたい。なお、村花であるかのこ百合は観光客にも大変喜ばれている。かのこ百合の原産地は甌島であり、世界に対しても自慢である。
8-4	上甌村	60	男	美しい自然 各種イベント(地区の祭り・スポーツ等) 水産・観光・福祉の村づくり 環境づくり
8-5	上甌村	33	男	自然を残しつつ、観光の面でもっとピーアールを
8-6	上甌村	59	男	自然的条件を生かした施策(景勝地)・甌島は海を活し、保養地みたいな地区としたら?
8-9	上甌村	29	男	島の特色としてはやはり自然や海に関する事業を伸ばし自慢できるような取り組みをしてほしい。
9-7	下甌村	38	男	・各地区の無形文化財を伸ばしていく(ドンドン等)・記念イベントとして、甌を含めた駅伝大会を実施したら
10-3	鹿島村	48	男	全国でも珍しい海を挟んだ広域合併である。その離島を生かした総合的な観光地づくりを希望する。藺牟田瀬戸架橋の実現は広域合併のメリットとして、甌島の産業、観光の活性化のために、都市まちづくりの目玉にするべきである。
11-2	川内地区消防組合	39	男	川内川,川内大綱引き,川内川花火大会
11-3	川内地区消防組合	36	男	その土地風土を最大限に尊重した独自性ある新市に。祭りなどは市民全員が参加・取り組めるような祭りの計画
11-4	川内地区消防組合	24	男	川内大綱引き,川内川花火大会
11-5	川内地区消防組合	26	男	川内大綱引き,川内川花火大会
11-8	川内地区消防組合	39	男	伝統ある“川内川大綱引き”は新市誕生であってもそのままの呼び名そのままの形,また花火大会も同様に残すべきと思う
11-9	川内地区消防組合	41	男	川内川,川内川花火大会
11-10	川内地区消防組合	35	男	大綱引きを残すこと
11-11	川内地区消防組合	49	男	新しい市を活性化させるイベント・祭りとして川内川の河川敷で日本一の大鍋を作り芋煮会を行い,全国的に注目されるイベント,祭りにする。また,東北の仙台にもあるらしいので北と南で交流を図り,文化社会的に活性させる。
11-12	川内地区消防組合	26	男	川内大綱引き,川内川花火大会
11-13	川内地区消防組合	24	男	川内大綱引き,川内川花火大会,公共の場(公園)を利用した特産物をPRするための物産展の開催
11-14	川内地区消防組合	50	男	合併後暫定的に市役所庁舎等公共施設の改修等が行われると思うが,固定観念とらわれることなく,早い段階で新市のシンボルにふさわしい庁舎,利便性に富んだ場所の選定など行い新市役所庁舎建設を望む
11-21	川内地区消防組合	43	男	川内大綱引き,花火大会
11-24	川内地区消防組合	19	男	川内川,寺山,花火,綱引き

11-25	川内地区消防組合	37	男	関係し町村で取り組み「はんや祭り」等のイベントと拡大していく
11-26	川内地区消防組合	27	男	川内大綱引き, 川内川花火大会
11-27	川内地区消防組合	23	男	花火大会, 川内大綱引き
11-28	川内地区消防組合	28	男	現在ある各市町村の伝統的祭りはそのまま残し, 新市誕生に伴いそれを記念する新たな祭りを開催(開催地域は持ち回りしていく)
11-30	川内地区消防組合	52	男	大綱引き, レガッタなど新ルールで仕切直せばおもしろいと思う 美しい自然公園を残す。
11-44	川内地区消防組合	25	男	「大綱引き」や「はんや祭り」「花火大会」等の伝統的な物は残してほしい。
11-46	川内地区消防組合	39	男	花火大会, 川内大綱引き等の伝統的催し物を残す
11-47	川内地区消防組合	38	男	花火大会, 川内大綱引き, はんや祭りそして, 他の町でも行われている伝統的催し物を残す
11-48	川内地区消防組合	25	男	花火大会, 川内大綱引き, はんや祭りそして, 他の町でも行われている伝統的催し物を残す
11-49	川内地区消防組合	40歳代	男	現在行われている祭りなどに, 行政側も積極的に呼びかけを行って残してもらいたい。
11-51	川内地区消防組合	26	男	残したいのは, 各地域での伝統的なイベント, 祭りは今まで通り続けてほしい
11-57	川内地区消防組合	42	男	大綱引き, 花火大会
11-59	川内地区消防組合	50	男	はんや祭り, 大綱引き, 川内川花火大会のイベントは残したい。
11-60	川内地区消防組合	55	男	各市町村に伝わる, 芸能また市町村が主催してきた祭りなどは残し, 新しい市に後にまで残るイベントを作ってもらいたい。
11-62	川内地区消防組合	55	男	川内川河川敷に桜の木があり, 遊歩道の脇にベンチを, 又夜は, 水銀灯がとり, 市民の憩いの場になってもらいたい。
11-63	川内地区消防組合	54	男	温泉自慢(川内市街区, 湯島, 高城, 東郷, 市比野, 鷹之巣, 市比野, 副田, 諏訪, 藺牟田, 砂石, 白浜(羽島), 里 神社(新田神社, 藤川神社, 日之丸神社, 冠岳, 甕大明神等) 池(藺牟田, 小平, 海鼠, 貝, 鋤崎) 川内川
11-64	川内地区消防組合	40	男	各地域に伝承されている伝統芸能や祭りを残していくとともに, 新市の新しい文化作りを考えてほしい。
11-69	川内地区消防組合	28	男	川内川大綱引を残してほしい。
11-70	川内地区消防組合	23	男	川内川大綱引を現在のままの形で残していってほしいと思います。

11-71	川内地区消防組合	44	男	川内市の綱引きや串木野市の港まつり等各市町村には数多くの行事があり、行政の補助を受けながら地域住民の保存会事業として残してきている行事があると思います。何十年、何百年も地域の人々の努力によって引き継がれた行事を絶やさないう新市になっても補助等を行って続けていけるようにしてほしいものです。
11-74	川内地区消防組合	38	男	川内大綱引きは今後も残っていくと思いますが、もっと見ている人が楽しめるように、綱が動くようにしたらどうですか。又川内カップが 県外からの参加者が多くなるように、市がもっと協力すべきではないですか。せっかく綱の町、川内をアピールしているのですから。
11-75	川内地区消防組合	44	男	伝統的なものを継承し、新市が誕生することでなくならないよう住民自ら盛り上げ、公共機関等のバックアップで後世に受け継いでいけるような下地をつくるのが肝要では。
11-84	川内地区消防組合	19	男	川内川花火、大綱引き
11-85	川内地区消防組合	30	男	花火大会継続、大綱廃止、はんや祭り廃止
11-86	川内地区消防組合	55	男	地域の伝統行事等はできるだけ残したい
11-87	川内地区消防組合	22	男	花火、お金を回す
11-88	川内地区消防組合	23	男	川内大綱引き、花火大会、マグロフェスティバル、納涼祭等の祭り
11-89	川内地区消防組合	29	男	川内川の名前が残るのに川内市の名前がなくなるのは寂しい 大綱引き、花火大会
11-90	川内地区消防組合	33	男	大綱引き、はんや祭り等イベントをもっと盛大にやりたい。
11-92	川内地区消防組合	21	男	川内川花火大会、川内大綱引き
11-93	川内地区消防組合	40	男	川内大綱引き、花火大会
12-2	西薩衛生処理組合	53	男	伝統ある祭りとイベントの調和:地域分散の祭りを重要視するなかで、総合グラウンド等での地域の祭りが集中した大祭りイベントの開催を提言する。(住民の相互協調と育成につながる)
12-3	西薩衛生処理組合	38	男	地方からも人が集まるようなテーマパークがあったら!
12-4	西薩衛生処理組合	52	男	合併後は温泉、公園、娯楽施設を整備して観光都市にしてもらいたい。
12-6	西薩衛生処理組合	46	男	久見崎から羽島までの海岸線のすばらしさを自慢し、観光の前面に出してほしい。
12-8	西薩衛生処理組合	50	男	合併前の市町村にあった伝統行事を継続し、今まで単独で実施していた祭り等も、新市の誕生月日に合わせ、合同でフェスティバルを開催し、実行委員等についても、地域の意見を尊重したまちづくりが大切だと思う。
12-10	西薩衛生処理組合	43	男	合併後は、旧市町村の特色を最大限に活用し、13万都市にふさわしい観光都市を目指し県内はもちろん、県外からも多くの人に来てもらう県内NO.2の都市にしてもらいたい。又、娯楽施設と市場的物産展などイベントふれあい館などの建設計画を進めてもらいたい。
12-11	西薩衛生処理組合	35	男	温泉を観光の中心にできるよう、整備してほしい。はんや祭りが鹿児島市のおはら祭りと同じになっていると観光客がなかなか来ないので。都城市のように、冬に花火大会をしてみれば。

13-8	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	28	女	観光スポットやイベント祭(市外からもたくさんの人に参加してもらえるような事)
4	個別応募:川内市	31	女	自慢したいもの・山、川、海といった豊かな自然・おいしい特産品、癒される温泉・伝統行事、歴史 残したいもの・歴史を感じるもの(遺跡・建物・伝統行事・郷土芸能等)・それぞれの市町村が今持ち合わせている個性 伸ばしたいもの・それぞれの市町村が今持ち合わせている個性をさらに充実・各世代がともに楽しめるイベント・各地の可能性、人々の可能性 くふうしたいもの・各世代がともに楽しめるイベント(小さい子供連れも、若年層も、お年寄りも)またはそれぞれが年代別で楽しめるイベント・住民参加型のイベント・普段の生活で気軽に利用できる公共施設、催し物・各世代それぞれに対応した広い意味でのまちづくり
5	個別応募:川内市	24	女	自慢したいもの・広大な川内川。他県出身なのですが、はじめて川内川を見たとき、広さにびっくりしました。シンボルになると思います。 残したいもの・寺山の宇宙館。公園から見る夜景も素敵です。近くにライトがなければいいのになって思います。 くふうしたいもの・若者が買い物をしたいと思っても、おしゃれな場所がありません。しかし、郊外に大きな店舗を建てても若者が郊外に逃げてしまいます。ですから都心にファッションビルを作ってほしいです。

産業経済(テーマ : 「魅力あるまち」「活気のあるまち」「幸せを実感できるまち」にしていくためには、何が大切で、何をしたらよいと思いますか?)

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-2	川内市	41	男	商工政策の推進。高齢者や乳幼児を大切にする福祉の充実
1-4	川内市	29	女	観光スポットを作る。
1-8	川内市	54	男	温泉と温暖な気候を活用し民間活用の温泉リゾートホテルと観光植物園。(ホテルでは、海の魚料理、山を活用した山菜料理を取り入れる)
1-15	川内市			商工業等希少価値で勝負する。希少価値のある”もの””場所”等を糧とする、農村改革。
1-24	川内市	26	男	市街地の拡大。テーマパークのような大きな名所を設ける。
1-49	川内市	47	男	生涯を通して健康で安心して暮らせるよう福祉・都市環境等の整備と交通路の確保と拡充。地元で一生暮らせるよう市民所得の向上や各種産業の振興、就業環境をはじめとする勤労者福祉の向上
1-51	川内市	40	男	それぞれの市町村が持つ歴史や観光名所などを組み合わせ、市外へ向けた観光情報の発信を行う。この場合、それぞれの観光地等を組み合わせ、ある程度のスケールで、単発ではない観光ルート等を整備する必要がある。
1-60	川内市	42	男	多様な温泉と甕島のネットワーク化 ・全国的に知名度の高い市比野温泉について、新しいイメージを創造(男性団体客中心 女性や家族中心へと転換)。景観整備とサービス向上が必要。・市比野温泉の新イメージ定着と同時に他の温泉とリンクさせ、他の温泉の知名度もアップさせる。ドライブがてら温泉のハシゴをしてもらえば、その後、甕島まで足を伸ばしてもらえば最高です。
1-61	川内市	42	男	食に関する1次産業(農業、水産業)・関連2次産業(食品加工)・3次産業(グルメ・旅・温泉)の総合的な振興 具体的には、・地産地消の徹底(コストを行政と消費者が負担する。例えば、学校給食の食材は市内調達を原則とし、経費増分は市が負担する。)・「美味・安全な食のまち」のイメージ定着と交流人口増等々
1-68	川内市	39	男	若者や家族連れが楽しめるような場所をつくる。もしくは誘致する。(ディズニーリゾートのような)

1-70	川内市	52	男	北薩の拠点として魅力あるまちにするためには、学習環境の整備、若者が買物等で市外に流出しないような場所が必要ではないか。新幹線の開通でなお買物、レジャー等で流出が予想されるので1ヶ所に施設を集中して学習、買物、レジャー等ができるような場所があれば。
1-79	川内市			合併した市民の生活圏を外の市に行かない様に今の川内市が中心となり商店街の活性化を図ってもらいたい。新川内駅周辺に大型店舗をたくさんつくる。川内市は今まで、これといった特産物がなかったので、川内に行けばこれがあるのだというような特産品を作ってもらいたい。
1-85	川内市	28	男	若者達が遊べるテーマパークを作っていければ。
1-86	川内市	27	男	スペースワールドのようなテーマパークができれば活気のある町になると思います。
1-87	川内市	27	男	活気のある町にするために、向田町の商店街をまず繁栄させて、若い人を定着させる必要があると思う。
1-88	川内市	25	女	観光客をひきつけるような観光地をつくる。遊園地をつくる。
1-89	川内市	25	男	文化交流が盛んな町づくりが大切だと思う。また若者たちが集まってくる施設(例えば、レジャー施設、コンサート会場など)を建設してほしい。
1-90	川内市	26	男	若者が集まる街。買い物ができる鹿児島市みたいに天文館。ブランドショップの誘致
1-91	川内市	26	男	川内市街の活性化 例えば他市の若者などが買い物に来るような街
1-92	川内市	29	男	川内市向田町の3号線の商業活性。若者が川内市に就職できるように企業の誘致などを行ったらいいと思います。
1-102	川内市	36	男	川内港と串木野港の役割分担を明確にし、アジアおよび国内の海の玄関口となるようにする。将来を担う子供達が、郷土に誇りがもてるようにする。(郷土愛の育成)
1-105	川内市	48	男	人が現在の生活圏を広げなければ、過疎地域はますます拡大する。また、旧市町村のルーツや史跡等を紹介しあい、お互いの文化を理解しあわなければひとつのまちとしての一体感は発生しないと思う。福祉やスポーツなどその地域はが力を入れてきた分野がある。その質を落さないようにすることが大切なのではないだろうか。人が各地に出かけるようにすること(イベント等)も活気あるまちにつながるのではないだろうか。
2-1	串木野市	41	男	若者に魅力的なまち、医療・福祉の充実したまちにしたい。定住人口を確保し、人口減少を低減するため、若者に魅力ある企業の誘致
2-5	串木野市	47	男	企業を誘致して若者が働けるようにする。人情味が深く、ふれあいや連帯感のある地域づくり。
2-7	串木野市	38	男	子供達が学校を卒業した後の就職先が県外が多いため企業を誘致し、地元で就職できるようにしたらどうか？そうすれば飲食店等も利用客が増え活性化の1歩となるのでは。
2-8	串木野市	43	男	若者が生活できる街づくりが大事。そのためには、若者が多数働ける企業誘致が是非必要。
2-12	串木野市	32	男	自然や街をテーマとした観光地としてアピールできることが大切であり、とにかく人がたくさん集まる施設の建設等
2-13	串木野市	43	男	街の拠点を作ることにあると思うが、大型店舗の進出等で商店街も苦しい状況にある。商店街を潤やすためには、金の動くもの、例えば競輪、競艇といったものを作ってはどうかと思う。
2-14	串木野市	26	男	既存の観光施設の中から一つをしぼって、新市合併後の目玉となる観光施設をプロデュースし、市外、県外の人々の流れをつくり、活力あるまちづくりをしてほしい。企業誘致
2-20	串木野市	58	男	企業の誘致、地域の地場産業の育成など若者が定住できる施策を積極的に行う必要がある。
2-21	串木野市	34	男	テーマパークを作り、繰り返し観光客が呼べるまちにしたらよい。例えば、姉妹都市の中国にちなんで、西薩町の空いている土地に万里の長城のレプリカ等を作り、ハウステンボス並みに串木野(川西薩)に中国のミニチュアを作る。冠岳園が1つだけでは物足りない。人が足を運ばない。新港にこれを作ると、長崎ハウステンボス～川西薩のミニチュア中国(仮称)のツアーなどを組め人が呼べる。
2-35	串木野市	32	男	中国との交流があるのなら、横浜や長崎みたいに中華街を造る。国道沿いの活気を盛り上げる。もっと若者が集まる街づくりが必要 大学の設立

2-36	串木野市	49	男	外港があるのでコンテナ船が入港出来る様な施設を作り、活気のあるまち作りをしてほしい。
2-40	串木野市	33	男	若い人達が働ける職場提供(企業誘致)をすることにより、活気もあふれてくるのではないかと。
2-46	串木野市	44	女	今から元気なお年寄りが多くなると思いますので、健康について色々な勉強ができる機会が身近にあればいいと思います。若い人達が安心して働ける場所があればいいと思います。
2-57	串木野市	42	女	高齢者には扶助費等が多く使われているように感じるが、もっと幼児や子供達にも手厚い施策が必要だと思う。若い親が働きやすい環境を作って欲しい。(保育園、幼稚園、託児所、子ども病院)市内のすみずみまで行政の手が行き届くように声が届くように、市役所が身近でなければならない。その為には、支所や出張所等を均等に置いて欲しい。各種の届や申請(住民が頻りに利用するもの)を出す役所が住居地から近い所になければいけない。商店街をもっと魅力のある通りにして、車を使わなくても出かけられ、帰りの心配もあまり必要ないようバス等の運行も定期的に便を増やして欲しい。
2-61	串木野市	39	男	工業団地を中心とする産業振興
2-68	串木野市	54	男	産業の活性化、特に就業人口の多い第一次産業の施策推進
2-69	串木野市	57	男	総合運動公園を整備し、市民の健康増進と憩いの場所づくり 若人が定着出来る働く場所確保のため企業誘致
2-77	串木野市	41	女	幸せを実感できるまち、障害を問わず、人間誰もが安心して生活できるまち、どこの学校へも入学できるまち ドリームキャンピ-付近の活気が減ってきているので、商工会議所の方々が中心になって、活気が再びおこる中心街になると魅力もでてくる。串木野駅構内を新しくかえる。待合所も含めて。
2-85	串木野市	54	男	市域が広範囲になるため、新しい市のまちづくりには、各地域の役割が重要ではないか、かつて「西薩地域開発協議会」が提唱した「しま・みなど・おか」定住圏構想の考え方は、新市(川西薩地区)のまちづくりにも通ずるものがあると思う。各地区それぞれの特性を生かした「まちづくり」が必要ではないか。・しまー水産業・観光の振興(沿岸漁業、栽培漁業、体験漁業等)・みなどー港の活用、工業、商業の振興、水産業の振興(中国・東南アジアとの貿易、企業誘致、商店街活性化、マグロ母港基地化、沿岸漁業の振興等)・おかー農業・観光の振興(特産品の振興、観光農園、温泉等) 教育、福祉、環境政策は一体的に整備を進める。
2-86	串木野市	54	女	串木野で申しますと、もっと観光に力を注いでほしいということです。冠岳神社一帯もなかなか地域の方もどうなるだろうかと不安の声を耳にします。多くの方に、観光に来ていただけるよう、そして、活気の町づくりをお願いします。
2-88	串木野市	44	男	全国の活気あるまち魅力あるまちは、どこも行政主導型ではなく、民間の力が盛り上がって実現できているようなので商店街の活気を盛り上げるため、商店主の若い世代の研修等への補助を積極的に実施した方がよい。
2-89	串木野市	46	男	商店街の活性化又は商業地の新しい拠点作り 大きな企業の誘致(雇用対策)
2-90	串木野市	53	男	1. 便利で生活しやすい住宅団地の整備 2. 定年後に出郷者が帰ってきたくなるような施策の充実(住宅・農地の活用、交通の整備、職場の確保) 3. 世代を越えて集えるような複合施設の整備(図書館、視聴覚センター、軽スポーツの施設等)
2-93	串木野市		女	もちろん老人も大切ですが、若者が都会に出なくてもよいように多に働く場所があればよい。そしたら、子供も増えてにぎやかになるのでは...
2-95	串木野市	46	女	働く場所があると、子供や孫などと離れて暮らさなくてもよいので、難しいですが、企業の誘致が必要だと思います。
2-96	串木野市	41	女	天がい周辺がさびしい 駅の周辺がさびしい
2-97	串木野市	41	女	県外から多くの人を訪れ自然とふれあうことのできる観光施設の設備
2-101	串木野市	32	男	休日に市外に出なくてもすむように、ゆっくり1日過ごせる公園や体育館などの運動施設等の充実や、大型店の誘致をする。
2-104	串木野市	44	男	子供、大人とも遊べる大型公園の整備(加世田海浜公園の様な大きなもの)合併に伴う大規模な祭り、物産展の開催 下水道の普及促進、側溝の整備等生活環境面の整備促進を図る。
2-105	串木野市	38	男	新市誕生後は、中心市以外の市町村を充実させ観光地としてお金が落ちる市にしたらいと思う。

2-106	串木野市	50	男	合併したら市町村住民が交流、行末がないと住民の活気は出てこないのでは、そのために各地区(市町村)に独自の物施設あるいは、イベント等を行うようにする。各地区での特性を生かす。その為にそれぞれの助成を行う。例えば、串木野では港を生かした魚料理を食べさせる店を店主の方をお願いする。その店舗改修費の資金助成として資金借入の利子がある一定助成する。
2-110	串木野市	55	男	串木野市では「マグロと金のまち」として栄えてきた。現状では、商店街の空洞化が進むのではないかと危惧されるので、商店街の活性化、マグロの消費拡大を図る、又沿岸漁業と観光漁業と結びつけ、市外からの誘客に努める。
2-113	串木野市	39	男	商店街振興対策...個人店舗の集合ビル化等による顧客サービスの向上と大店舗への対抗 雇用対策...西薩中核工業団地への更なる企業誘致
2-119	串木野市	53	男	若者が定住するような施策を積極的に行っていくことが大切で、企業の誘致、地域の地場産業への育成など就業機会の増大を図る。
2-120	串木野市	30	男	地元に残れるような職場の確保
2-121	串木野市	51	男	新しい者を売り出す方式よりも古き良き物を紹介しながらそれらにまつわるイベントや町づくりが今後は必要なのでは、外国では古城や古い街並が大事に保存されそれを観光資源にしている。現在のような使い捨ての時代はそろそろ終わりにした方が良くと思う。
2-129	串木野市	27	男	集客ができる大型総合商業施設
2-133	串木野市	49	男	冠岳の自然と歴史を生かした観光 若者が夢と希望を持てる町づくり
2-140	串木野市	33	男	働く場所の新規創設
3-4	樋脇町	54	男	樋脇地域は現合併計画の中でも田畑が多いが減反などで荒地も増えている。しかしこの地の気候などにあった産物は必ずあると思う。主食の米やできれば毎日あった方が健康的に良い産物の創出をし、農業の確立をしてほしい。(この町で消費するだけでも良い)
3-6	樋脇町	24	男	これから超高齢化社会の中で生きがいをもてる場が必要になる。各地域で成功しているイベント、行事を積極的に取り入れてみるのもいいと思われる。また、どの地域にも住民の満足できる福祉サービスを行えるように努力することも大事であろう。
3-11	樋脇町	26	男	主に女性客が来るゆったりとした風情ある環境づくり
3-12	樋脇町	34	男	各市町村の特徴、特色を生かしていかなければならない。丸山ブランドを使用した大学、社会人の合宿を誘致する。そうすることにより市比野温泉への観光客の増大につながるのでは。
3-13	樋脇町	46	男	老若男女が仲良く元気で自然と調和した農業、商業のまちを目指すことが大切で農産物の自給自足が出来、高齢者も活躍出来る野菜などを栽培してそれらを消費者に売ったら良い。(温泉旅館などでの販売) 温泉利用者には利用回数に応じて地場産のものを贈呈するサービスもあっていいと思う。
3-20	樋脇町	25	男	イベントがたくさんあるまち
3-21	樋脇町	28	男	若者・高齢者を問わず人がたくさん集まる施設を作る(例:温泉を利用したレジャー施設等)
3-24	樋脇町	31	男	魅力ある施設等は必要だと思いますが、住み良い町づくり(公共交通機関の充実、名物になるイベント等の開催)に力を入れた方が良くと思います。当町の温泉は観光(宿泊)を中心に展開していますが、滞在型へ移行できる宿泊施設への転換が必要ではないでしょうか。
3-25	樋脇町	36	男	観光を全国的にPRする。(市比野温泉等)
3-30	樋脇町	57	女	温泉サミットを契機として宣言活動を大にして温泉客の誘致をし、地域活性化につなげる
3-33	樋脇町	30	女	温泉などを中心としたイベント
3-36	樋脇町	56	男	観光と農業をリンクさせた振興策の確立 各般にわたり若きリーダーの育つ環境作り
3-42	樋脇町	27	男	若者が集まるようなレジャー施設の充実

3-53	樋脇町	40	男	住民ひとりひとりが新市に誇りを持ち、不満のない新市。すなわち総合的であるが、産業に活力があり、収入が安定している。児童、高齢者等が安心して暮らせ、住環境が整っていることで、いずれが欠けても不満が出てくる。全てが大切。
3-58	樋脇町	22	女	「活気あるまち」にしていくためには多くの人々が交流することが大切だと思う。子供から大人まで年齢を問わずに利用できる施設やイベント会場、大型デパート等、人と交流出来る場所や空間が必要では？
3-61	樋脇町	49	男	「魅力あるまち」「活気あるまち」には必ず若年層が集まり定着しないとまず不可能である。そのためには商店街の活性化、娯楽施設、公園等の整備等ハード面の充実を図っていくことも大切ではなかろうか。若者が定着すれば、お年寄りも子供が近くにいる等精神的に安定した状態でいられる。
3-66	樋脇町	46	男	川内に新幹線が開通するため、豊富な温泉資源を活用して観光施設や温泉街の町並みの整備を行い、入り込み客の増大を図り、魅力あるまちづくりを進める必要がある。
3-68	樋脇町	49	男	新卒者が即就職できる地場産業の育成と優良企業誘致の促進
3-75	樋脇町	58	男	若い世代が多く働く企業の進出、大型店等が集団的い並ぶような商店づくり
3-84	樋脇町	20	女	温泉を観光資源として活用し、年間を通じて人が来るようにする。(施設をつくる) 高齢者、子供のふれあいを大切にする(声かけをする。子供が高齢者の家を訪問する。高齢者が子供に昔の話を聞かせたり、遊びを教えたりする) 鹿児島ブランドに指定されるような農作物(レイシなど)を作る農家を増やす。また、山村留学などで若者を集め、次代の農家を育成する。(移り住んでもらう)
4-9	入来町	46	男	何をしても、住民本位の施策でなければ飽きられてしまい、今までと何も変わらない。物に対する豊かさから心の豊かさへ転換する必要もある。(ハード整備からソフト面の充実へ)但し、住民に直接関係する生活道路、下水道整備は必要不可欠な面であり、住んでみて心地よい地域が創造できるのではと思う。雇用の場確保の意味から経済特別区の設置に努力する。
5-1	東郷町	27	女	公営住宅はありますが、民間の賃貸住宅が少ないのは東郷町に住みたくても住めない人を増加させ、若い人達とその近辺に住まざるを得ないことに結びつくと思います。企業の誘致を含めて考えてもらえればと思います。
6-1	祁答院町	44	男	若者が定住できるための職場の確保。周辺部や交通弱者にも気配りのあるキメ細かい行政サービス。農林水産業と商工業の調和のとれた振興方策
6-5	祁答院町	39	男	都市部と農山漁村部の均衡ある発展及び交流が肝心。産業、商工業、農漁業の一体となったまちづくりを進める。対策として都市部と郡部を結ぶ交通体系の整備、地域通貨の導入、地場産業販売センターの建設等。また民間団体、ボランティア団体、NPO法人等と連携した街づくり及びこれらの人材育成も必要と考える。
6-7	祁答院町	51	男	工業の地方への移転
6-8	祁答院町	47	男	安心して住める環境づくりと健康につながる食物生産の育成
6-12	祁答院町	46	男	大人から子供まで遊べる遊園地等を作る。各市町村の施設及び名所等の一覧表を作成し観光コースを設定する。
6-15	祁答院町	49	男	本町の商店街の現状は少子高齢化に伴い、活気のある商店は半数で、特に官公庁の取引のある商店に限っているとと言っても過言ではない。更に本町は、他町に無いものがたくさんあります。【本屋】【薬屋】【飲み屋】【花屋】【写真屋】【カラオケ】【喫茶店】【パチンコ屋】【入院施設病棟】等。合併した場合は、上記のような商店ができない以上活気は無いような気がします。管内を循環するバス等の運行手段の整備がまず先決である。幸せを実感できる町として、病气、ケガの入院等は、すべて他町へ入院している。このため合併後近く入院施設の整備が急務である。
6-19	祁答院町	60	男	自然と文化溢れる学園都市づくり。既にある純心大学を活かして、農業や林業、水産業等を学べる産業大学、「原発」をプラスイメージに変える研究施設等を誘致する(新幹線や高速道路等交通アクセスの充実を活用して) 新市の中心部一極集中型のまちではなく、旧町村の特色をのこしてバランスのとれた発展を。
7-15	里村	32	男	人があつまるまち 新産業開発、育成、居住環境の整備
8-1	上甕村	59	男	地域の活性化は人口がバロメーターになると思います。新幹線の開通や西回り自動車道等で将来に大きな期待がもてる。集客力のある地域イベントを実施して、街に活気を与えていただきたい。

8-3	上甌村	62	男	「県民自然レクリエーション村」の有効的活用、維持管理体制(周年活用) 地域特産品(魚介類、山菜、草木染)の開発、育成支援策 自然エネルギーの導入(風力、太陽熱) 福祉対策、環境整備、水産業の振興、企業導入による雇用等活力のある地域づくり
8-8	上甌村	47	男	活気のある町 - 観光に力を入れ特産品を研究し、町を活性化させる。
8-12	上甌村	46	男	宿泊施設の整備 魚介類を豊富に使った料理等を提供できる施設整備
8-13	上甌村	53	男	島は漁業振興が一番だと思います。恵まれた自然や深層海水を利用した魚介類の養殖等を積極的に行い、また作り育てる漁業として真鯛、ヒラメ、カサゴ等の稚魚の放流を積極的に行い漁獲量の向上が図られるようにしてほしい。
8-14	上甌村	47	男	滞在施設(旅館、ホテル、温泉)の整備 水産業を活かした観光開発
8-15	上甌村	47	男	観光開発及び施設整備を図る
8-16	上甌村	32	男	福祉施策の充実(高齢化が進む中高齢者に対する各種施策等) 地場産業の育成 若者定着(1ターン、Uターン)等若者が定着するような施策 医療施策の充実(小児科等) 保育所等施設等の充実(女性の社会進出にはかかせない)
8-18	上甌村	43	男	鹿児島市への流出を防ぐため、交通基盤、産業集積、医療福祉体制の充実を図る。
11-2	川内地区消防組合	39	男	川内川を利用して夏場に各種イベント等が実施され寺山には寺山公園があるが港方面の有効な活用方法があるのではないかと考える。例えば唐浜海水浴場と合わせた大型の公園遊園地などがあれば多くの人が集まるのではないか
11-3	川内地区消防組合	36	男	市民が魅力あると思う町だけでは発展しない。市外の人々が魅力あるまちと思うようなまちにしなければならない。そのためには観光を中心とした産業の取り組みによる人の動きのあるまちづくりが重要ではないか
11-5	川内地区消防組合	26	男	大企業を持ってくる 駅、周辺の活性化
11-6	川内地区消防組合	43	男	観光地開発、駅を中心とした定期観光バスの運行 遊覧船による川内川下りから離島巡り
11-7	川内地区消防組合	45	男	駅を介して多数の人が出入り交通の利便性を高め、人々の流通が多くなれば活気も必ず出てくると思います。そのために例えば、イベントコンサート、公演など若年層から幅広い年齢層を収容できる文化ホールなどの建設及び駅周辺や公共施設付近の駐車スペースの拡大などを。また、観光名所例えば寺山公園をレジャーランドあるいは、川内牛や名産品を売り出す、ファームランド等の計画もどうでしょうか。
11-8	川内地区消防組合	39	男	8月16日の川内川花火大会のように県内外各地から若者が大勢集まるイベントを数多く実施したらどうか
11-10	川内地区消防組合	35	男	東シナ海に面するシナなので、テーマパークランドとして海浜公園などの整備、甌島への日帰りイベントなどを計画していき観光に力を入れていけば、活性化していくのでは？ その他、生活面で道路の整備、国分市・出水市などは素晴らしい
11-13	川内地区消防組合	24	男	大きなテーマパークをつくる 道路の整備。下水処理施設を整備し、水質の向上に努める

11-17	川内地区消防組合	38	男	公共施設等を利用したイベントの増加(歌手, タレント等呼び, 歌謡曲ショー, 後援会等を開催し, 内面的にも充実できる日が増えるといいと思う) 郷土愛の向上を計るため, 郷土芸能等の復活など(今, 伝えなければ完全に忘れ去られてしまうものがあるのではないだろうか。)
11-19	川内地区消防組合			自然との共存 スポーツ振興 福祉のまちづくり 人口流出の歯止め対策(雇用創出, 観光行政促進) 離島振興策の拡大
11-22	川内地区消防組合	45	男	人が集う街として大規模なイベント及びスポーツ関連団体の誘致, ドラマ, 映画等(例えば「寅さん」「北の国から」等継続的に人を呼び寄せる様なドラマ)の勧誘や暴力団, 右翼関係者又は使役にのみを追求するような人達を完全に隔離・排除舌代規模名ギャンブル施設・興業の施設誘致など。また子どもたちが集まるばかりでなく大人も十分楽しめる様な遊園地の建設など既成概念にとらわれない大胆な発展でまちづくりを考えていかなければならないと思います。
11-26	川内地区消防組合	27	男	商店街に活気が今以上に出れば, まちが盛り上がると思います。
11-27	川内地区消防組合	23	男	商店街の時間の延長と建物の整備・街灯の整備。 県下でも自慢できるようなテーマパークの開設
11-34	川内地区消防組合	41	男	川内市というよりも, 鹿児島県に総合レジャーランド又は, テーマパークと呼ぶにふさわしい施設が見あたりません。川内は海, 山, 川, と大自然の宝庫でもあり, これを活用して子どもからお年寄りまで楽しく遊べるような施設の建設を望みます 川内には県内に誇れる特産品, 料理がありません。何か1つ川内に行ったらあれを食べよう, あれを食べに川内に行こうと呼ばれるような品物を公募して川内の特産品として売り出してみてもどうでしょうか?
11-43	川内地区消防組合	52	男	県内外からの来客があり“川内を案内しようか”ということになるが, これといって案内する所が見あたらない。大型の公園・娯楽施設(テーマパーク等)を建設してほしい。また, 企業の誘致をすれば若者又, 人口が増加し全体が活気づくのでは?
11-44	川内地区消防組合	25	男	「活気あるまち」...市民誰でもが参加できる大規模なフリーマーケットを開催したらいいと思います。
11-45	川内地区消防組合	38	男	娯楽施設の不足。例えば 5000 人収容できるホール, 映画館, テナント等と一緒にした施設を建設し, 交通手段も高速道路・新幹線も開通することから集客能力も格段よくなっている ので人が集まりやすいと思う。また, 熊本県の荒尾市にある遊園地や千葉県浦安市にあるディズニーランドみたいな施設の誘致など。
11-48	川内地区消防組合	25	男	若者が働く場所が少ないので企業の誘致。
11-50	川内地区消防組合	40歳代	男	新幹線が開通しても川内市は通過のまちになりそうなもので川内駅での乗降客を増やすかを考えてもらいたい。駅前の大規模な再開発が必要と思われる。今のような「ちまちま」した開発では同じことだと思う。これには, 地域の方々の協力が不可欠であり, 新しい市となる前に考えてもらいたい。
11-57	川内地区消防組合	42	男	自然と人が集まってくるようなレジャー施設等の整備
11-61	川内地区消防組合	55	男	不景気で失業率が高く, 若者も働く職場がないのが現状である。大型の企業を誘致し, 地元雇用を優先し若者の流出を防げば活気が出てくる。
11-62	川内地区消防組合	55	男	駅周辺の開発が進む中, 大型温泉施設の誘致(建設)が望まれている。
11-68	川内地区消防組合	48	男	先ず, 第一に若者が集う施設(遊技場, ショッピング)等の設置
11-73	川内地区消防組合	43	男	人の集まってこられる物を作る遊園地など海, 河川, 山を使った大型のもので家族で遊べるようなもの, 規模も中途半端なものではなく, 九州あるいは全国規模でここでしか無いようなもの
11-74	川内地区消防組合	38	男	魅力ある町とは, やはり若い男女, 子供たちが休日, 週末をそこで遊ぶ, 過ごす施設を作ることが必要ではないか。

11-80	川内地区消防組合	36	男	2市4町1村については、それぞれ小泉種の違う温泉があるので温泉ブームの今、曜日指定でも良いので周回バス等で温泉の売り込みをする。海の幸は(串木野、甕島の物産)、川の幸、山の幸をそれぞれ掘り起こし、九州新幹線のワゴンや駅等でPRする。温泉とグルメ(海、山、川の幸)を一括してPRすべきだ。
11-84	川内地区消防組合	19	男	全国でも有名なものを作る 新幹線が通るのでそれを活かす
11-87	川内地区消防組合	22	男	噴水イルミネーション等がある公園を作る。大画面の情報等がながれている、テレビみたいなのを設置する。海水浴場などの活性化を図る
11-88	川内地区消防組合	23	男	温泉・旅館を整備し、ここでしか味わえない目玉特産品をつかって、観光化すれば、人が集まるので活気あるまちになっていくのでは?と思います。
11-90	川内地区消防組合	33	男	アミューズメントパークの立地等たくさんお人が集まる場所があったらよいのでは
11-93	川内地区消防組合	40	男	川内川を整備し、競艇場を作り、川内川へ人が集まってくる施設がほしい
12-3	西薩衛生処理組合	38	男	地方からも人が集まるようなテーマパークがあったら!
12-8	西薩衛生処理組合	50	男	「魅力あるまち」と「活気あるまち」イコール「若者のまち」のイメージが有り、「幸せを実感できるまち」イコール「福祉のまち」の感があります。新市となると広域となり、益々難しくなる面もあると思うが、まず「若者が定住出来る環境づくり」が大切だと思う。(この不況下での企業進出は望めないで、新市内にある企業の事業拡大=雇用拡大=若者の定住)
12-10	西薩衛生処理組合	43	男	不況で職がない状況ですので、企業など誘致しもっと多くの雇用の場を提供してもらいたい。
12-11	西薩衛生処理組合	35	男	昔のように映画館を作ったり、霧島のみやまコンセールみたいな音楽専用の施設等他市にはないものを作ったらよいかと思う。原子力発電所は、立地給付金が入ってくるが、できれば中止し、他の収入を増やすものを住民よりアンケートを取り進めてほしい。
13-3	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	45	男	住環境の整備(県営・市営住宅の増改築)若人の定住できる職場の開発。地場産業の復活、助成、育成。
17-2	甕島衛生管理組合	42	男	若者層が地元で働ける環境を作ってほしい。若者の都会への流出が地方での少子化・高齢化を進める要因の一つになっている事を考えた時、地元で就労者が安心して働ける企業が増える事を希望する。しいては、都会からのUターンを促し、活気のあるまちになり、先述の問題も解決につながる一歩ではないかと思う。

3	個別応募:川内市	26	男	<p>「国際化人材の公的育成支援」今「市」として考えるべきはこれらをターゲットにした「箱物」整備ではなく、これらを受け入れていけるだけの「国際力」「語学力」「接客力」をもつ人的・質的観光インフラを整備していくことではあるまいか。それは、つまりこういうことである。・日本語、中国語(北京語)、韓国語、英語を併記した道路案内標識の設置・主なホテル、旅館、小売店接客員向けの語学研修体系の整備(教育補助制度を含む)・鹿児島純心女子大学、川内純心女子高校英語科など特定のターゲットを絞った国際人材の特別育成と地場へのその内実の還元システムの整備・海外観光客向け公式統一パンフレットの作成と、その海外旅行者向けの配布・「市」としての海外学生交流の促進・接客サービスを行う業者に対して接客力向上を図らせるための「市」の認定制度と認定業者向け補助制度の創設・「市」ホームページ等での、中国語(北京語)、韓国語、英語対応と他言語対応可能施設の積極的な紹介</p> <p>「産業の「智」力蓄積施策の創設」プラント開発事業 貿易事業 工業水利事業の3つを挙げておく。と に関してはその手法を1個の「システム」として研究開発することを企業に奨励することで、コンサルテーション上での商品力を高め、国内、海外を問わず環境意識の高まる将来に向けての強力な「智」的財産(かしこさを伴う「知」)を地域のものにすることができると考えられる。(九州電力の技術力と資金力は、原発問題を絡めて最大限に活用することが重要であろう。) に関しては、主に串木野地区の水産貿易業者が持つ、海外貿易事務能力と、鹿児島純心女子大、川内純心女子高校、れいめい高校などの育成する潜在的な「英語力」人材とのコラボレーションの下で、よりアジア世界に目を向けた企業貿易活動の促進を行うことにある。工業港として整備中の川内港及び旅客港、工業港の両面の性格を持つ串木野新港のこれまでの資産投資を将来的に十二分に活用していくためには、政策的な貿易事業の推進がより一層必要になると考えられる。これらの事業創出活動の結果生まれる副次的産業、関連業、下請け業界の産業連鎖の規模は、将来的成長性を鑑みれば、どれも有望な資産として地域に根付いていくことが予想される。よく言われることであるが、人件費高騰の結果、競争力を失った工業立国日本あって、数少ない今後の有望産業は知的産業(環境・バイオ・パテント等)である。その中でも、積極的な「市」の公的支援のもとで、現在の「市」内企業を発展的に育成していくには、上記3項目の実施が近道であると思われる。</p>
---	----------	----	---	---

産業経済(テーマ :新市のまちづくりの望ましい姿、イメージ、キャッチフレーズはどんなものでしょうか?)

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-2	川内市	41	男	海に開かれた(川内港、串木野港、甕島の港など)、温泉や自然景観(川内川、冠岳、なまこ池などの甕島の景観)を有する観光を活かした、歴史(薩摩国分寺跡、入来の町並み、etc)と文化(綱引き、祭りなど)を大切に福祉都市(高齢者にやさしいまち)
1-25	川内市	40	男	工業、商業、農業、漁業がそれぞれに交流し伸びていく町づくりが望ましい。
1-42	川内市	28	男	勇ましさ(綱引き)、海(串木野港 川内港)、進取気風、川(川内川)、大自然(甕島)、原発、地下備、農業、(キンカン、フルーツ)、水産業、マグロ。人にやさしいまち 市。海川山の自然を活用した観光産業の創出 港湾等を活かした産業振興施策の抜本的見直し
1-47	川内市	43	男	海、山、川、温泉など今あるものを長所としてイメージアップを図ってほしい。
1-64	西薩衛生処理組合	52	男	自然(海、山、川)、産業(農林水産、商工業)、観光(温泉、特産物)が豊富で交通機関や居住性の便利な町
1-102	川内市	36	男	中国・韓国・東南アジアへの海路を用いた物流の玄関口。甕島の自然を生かし、長期滞在型観光地を構築
2-20	串木野市	58	男	優位的な地理条件から、串木野新港の機能を発揮、国際大型流通港としての都市づくり。海、山の資源を活用する事業の促進
2-32	串木野市	44	男	東シナ海に面しているの、港湾を利用した産業を進めていくこと。
2-53	串木野市	52	男	観光資源を秘めた秘境甕島を最大限にPRし、「しま、みなと、おか、温泉」を生かしたキャッチフレーズを目指して頂きたい。
2-86	串木野市	54	女	そのまちに応じた例えば串木野で言えば港や冠岳の観光を生かして是非発展することを願っています。
2-97	串木野市	41	女	老朽化した駅、また駅を拡大しテーマパークなど娯楽施設の建設
2-98	串木野市	38	女	他の町の人達がちょっとコーヒーでも飲みに来るようなCafeとか、人が寄ってくるお店を増やして活気のある市にしてほしい。
2-121	串木野市	51	男	海、山、それらの資源 それらを活用する事業
2-140	串木野市	33	男	各地域の天然資源を更に生かす(温泉、海洋資源など)

3-30	樋脇町	57	女	串木野漁港のマグロ基地化を促進し、若者が働く場所の確保、観光、海の幸、山の幸の開発
3-75	樋脇町	58	男	市比野温泉の名を残した温泉イベント等最大に活用し、子供らが1日中遊べる様なパソコンゲーム館(無料)とを一体化した施設とした家庭的なまちづくり
6-5	祁答院町	39	男	海、山、川、湖など自然に恵まれた地域性を活かし、食糧や観光の発信基地としての位置づけ 都市機能の充実を図り、郊外では住宅地の整備を進め、地産地消の体系を構築し、農漁業とバランスのとれたまちづくり
6-7	祁答院町	51	男	海、湖、温泉、森を生かした観光ゾーンの整備
8-8	上甌村	47	男	産業の発展
9-2	下甌村	52	男	CTから農漁業に至るまでバランスのとれた産業構造を理想とする。
11-10	川内地区消防組合	35	男	水の町をやめて、「魚の町」へ変更

産業経済(テーマ : その他、期待するまちづくりの政策等自由なご提言(こんなまちになってほしい、こうあってほしい、子どもたちのためにこんなことをしてほしいなど))

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-8	川内市	54	男	子供に歴史を残すため、それぞれの歴史的建造物を残し、お祭りの開催日を調整し、毎月どこかで祭りがあるようにする。また、観光シーズンに祭りを集中させて人を寄せる。
1-12	川内市	29	男	工業・商業の発展と充実
1-20	川内市	39	男	各地域を結ぶ交通網の整備(現時点の各市町村の道路)をし、また、河川、海を利用した観光的なもので人を集められる様なスポット(観光地)等を作ってもらいたい。例(川内港 串木野港の遊覧船)
1-29	川内市	55	男	串木野市を含め、東シナ海に面した新市になるので港を活かしたい。具体的には、川内港は工業港と位置づけ、川内港と世界のバブ港である「釜山港」、「上海港」、「常熟港」との定期航路化を図る。荷物については、中国から石材、穀物、野菜などを輸入し、川内港からは甌島の海洋深層水、中古機械、自動車などを輸出する。一方、串木野港は商業港と位置づけ、海づりなどの観光化した甌島と長崎港とを便数の多い航路として、九州管内の観光客を運ぶ。また、高速コースとして、新幹線川内駅と渡唐口と甌島(里)を時速約80kmで結ぶ航路をつくる。
1-30	川内市	50	男	合併記念歩こう会の実施 合併想定市町村内各所には、歴史的建造物など文化遺産が存在する。合併後は、合併を記念して、各自治体の歴史探訪と体力づくりを目的としたルートは、短距離から長距離まで各種の組み合わせが可能と考えられます。ポイントごとには、地域の農特産物を飾り或いは試食させることもかなりの宣伝効果が得られるでしょう。また、甌島ルートは一部船を使うことで新たな歩こう会になると思われます。
1-46	川内市	52	男	子供が遊べる大型のレジャー施設が欲しい。民間活力で誘致できないでしょうか。
1-55	川内市	28	女	新幹線停車駅と観光地との動線整備 甌島へのつり客を温泉へ、ゴルフ客を温泉へなど。綱引き、花火大会見物客がそのまま泊まっていけるような「安い料金」設定 うまい料理、ゆったり温泉、あったか歓迎、市民総出で取り組んでいきたい。駅での歓迎ぶりが新市のイメージを決定すると思う。駅にボランティアによる歓迎隊を配置してはどうか。品物の陳列だけではダメ。市内各所の観光案内、特産物紹介など「あったか歓迎のまち」を目指していきたい。
1-60	川内市	42	男	市比野温泉のイメージ転換(美容・健康志向)のため、中心施設として厚生労働省認定のケアハウスを整備。エステサロンと提携し、運営を任せる。また、甌島におけるタラソテラピー施設(海や海水の持つ力を利用し、人間の身体の機能を高めようと生まれた海洋療法。当面、こしきしま荘などの既存施設の改修で対応。将来は民間施設誘致)と連携し、健康志向の都会人(新幹線戦線開業をにらみ、北九州や京阪神方面から)を誘致する。

1-61	川内市	42	男	「美味・安全な食のまち」を具体化するための施策がほしい。・学校給食の食材市内調達(経費増は市が負担。地産地消の一環)・市内食材による「料理の鉄人」コンクール(優勝者については、県外有名店における研修、市街地における店舗開設等市が支援、商業振興、市街地活性化にもつながる。)・「市美味安全の店」認定制度の創設(市内食材の調達率の高い食堂や居酒屋等について、観光協会等が認定。交流人口等にも寄与。・大規模な食の祭典の開催・マグロ冷凍施設及びフィッシャーマンズ・ワーフの整備等々
1-66	川内市	58	男	基本的には、若者が定着できるまちづくり。若い人を雇う企業誘致育成 市民が楽しめる街(娯楽施設・公園・スポーツ施設・大型店舗等) 子供のために 過疎校の統合。地域と一体となった子育て、親子学習 最後に治安のよいまち、思いやりのある人間が育つまちになってほしい。
1-81	川内市	29	男	若い人を定着させる為、企業誘致をしながら市民が楽しめるイベント(運動会、魚釣り大会、レガタ等)盛り上げ、地域と一体となり子供達の土曜日は休みの為、学校側から色々な校区行事に参加要請し、つながりをもたせる。
1-101	川内市	58	男	合併基金の創設 合併すると特別職、議員、職員数が減少するので、その分をすべて基金として積み立てる。目標は10年で100億円とし、企業又は研究所を誘致する。社員1000人規模の企業を2社誘致し、1社当たり50億円を補助する。(合併して5年1社、10年目2社を目標とする)立地の候補地は、串木野市西薩団地、樋脇町とする。
1-104	川内市	41	男	新市の豊かな自然、文化資源を活かした観光ルートの開発
2-3	串木野市	40	男	全国的にも有名になるくらい大型リゾート施設を造ってほしい。串木野、川薩地域は、素晴らしい自然に恵まれているのに、それを全く活用できていない。子供から大人まで楽しんでゆっくりできる施設を造れば、多くの人がきて街も活性化すると思う。
2-4	串木野市	29	男	従来の観光施設は魅力があまりないと思う。人が集まることできる、行ってみたいと思える施設を造ってほしい。思い切ってキャナルシティクラスのものを作るとか...
2-5	串木野市	47	男	山や川など豊かな自然を大切に、伝統的な文化や芸能を残し、災害、公害や犯罪が少なく、安心して暮らせ、また企業誘致をし、若者が集まってきて、活気あるまちづくりをしてほしい。子供が遊べる大型レジャー施設を整備し、さらに素晴らしい自然(山、海)を生かした観光ルートを整備し県内外から人を寄せる。
2-10	串木野市	50代	男	原発に依存しない電力事業の開発促進(3号機不用)山、川、海を活用し、自然あふれる心身ともに健康な町づくりに努めてもらいたい。構成市町村の観光資源を掘り起こし、いろいろなパターン(温泉めぐり、ハイキングコース、史跡めぐりetc)で一日中家族連れで過ごせるようなコースを提示し、長崎航路、中国航路等と合わせ、県内はもとより県外、国外の観光客の誘致につとめる。環境に害のない企業誘致を進める。
2-13	串木野市	43	男	県外からも参加できるようなスポーツビッグイベント等(スポーツ施設の建設急務が必要)規模の大きい遊園地
2-16	串木野市	34	男	大型ショッピングセンター(福岡マリノアシティ・沖縄北谷アメリカピレッジ等)観覧車等を設け集客効果を増大させる。企業の誘致(働く場を多くする) 人口増
2-17	串木野市	28	男	全国に対して知名度が高く、アミューズメントパーク等の充実した街にして欲しい。
2-40	串木野市	33	男	現在県内においても企業が少ないため、若年者の県外流出が多いのを防ぐためにも、企業誘致が必要であると思う。
2-47	串木野市	43	女	企業誘致 子供達のために働く場所の確保
2-55	串木野市	51	男	国に於いても、地域活性化の施策として観光交流を通じた新たな産業政策を推進することになり観光振興が図られるとして、提言がなされている。新市のまちづくりに於いてもこの主旨を尊重し、それぞれの地域の交流人口の拡大により観光消費が伸び、地域産業生産が増加し、雇用増につながり、結果として経済効果につながると確信しています。現在の9市町村が自分の住む地域の自然、歴史、文化伝承を見直すことにより、従来観光から観光交流へと進み、それぞれの役割価値を見直して新政策の柱とすることを希望したい。
2-69	串木野市	57	男	歴史と自然の里づくりとして整備を進めている花川一帯、西岳、串木野ダム周辺の完成を急ぎ、日本中から観光や視察者が訪れ、地域が活性化することを望む。
2-84	串木野市	26	女	商店街を活性化してほしい。
2-93	串木野市		女	大きな遊園地があったらいいな(ディズニーワールド) フロリダのディズニーワールドに4日位行った時の大勢の人は、どこから来たのか毎日毎日すごい人でした。世界で、名

				前は(新市)決まっていけど有名な新市になってほしい!
2-97	串木野市	41	女	長引く不況で若者の就職がなく、働きたくても働けない状況なので、一刻も早く安心して働ける企業の誘致
2-116	串木野市	37	男	人口減問題 企業の誘致
2-129	串木野市	27	男	若い人達の集まる街がいい 地元で就職できる大企業 24時間体制の総合病院 バリアフリーの街
2-134	串木野市	28	男	何か人が多く集まるような観光スポット的なものもあればいいなと思う。
3-38	樋脇町	31	男	市比野温泉の新興だけでなく、役場周辺の地域も集客できる施設の建設も必要なのは。
3-53	樋脇町	40	男	市街地や特殊性のある地域は外に向けて情報発信、入り込みや交流の促進 産業地域は安定向上をめざした施策 住民の居住環境、福祉、教育は充実
3-57	樋脇町	45	男	中国との経済活動の推進を図り、川西薩地区の産業の活性化を図る。(中国にビジネスチャンスはおおいにあると思う)
3-65	樋脇町	59	男	子供から大人まで楽しく暮らせる魅力ある新都市になってほしい。働き盛りの若者が安心して働くことの出来る企業誘致、乳幼児の保育施設の整備から高齢者が安心出来る交流施設、高齢者向けホーム施設及び公営による医療施設を各地域に整備を期待したい。旧市町村の地域差別解消のために道路網の整備を図り、交流が図られるような政策を期待したい。
4-1	入来町	55	男	各市町村の歴史を大切にしてほしい。遺跡・遺物が各市町村にそれぞれ残っています。保存と観光資源としての活用・整備すると共に、全国への情報発信をしてほしい。
5-7	東郷町	48	男	広域になるので各地方が色々な面で取り残される事がないまちづくり。都市部に事業等が集中することなく、地方も今までと同じように配慮してほしい。各地方に市の目玉となるものを配慮して、各地に活気を感じるまちづくり 子供達も一市になって手を取り、仲間となったまちづくり こども交流(イベント) 各地の特産品等の交流
6-3	祁答院町	48	男	都市部と農村漁村部の調和のとれた都市づくり ボランティア活動等が盛んで、こんな活動を通じ若者を社会性のある人づくりをしてほしい。高齢者の生き甲斐づくり政策 未婚者が多いので結婚対策 農地の荒廃対策 農業後継者対策(20年後を考えると心配である) 高齢化対策として福祉施設・設備の充実
6-7	祁答院町	51	男	農業、商業の活性化を図り、地産地消の推進
7-10	里村	52	男	働く場所の提供 競艇場の開設
7-15	里村	32	男	新幹線運行や西回り自動車道の開通に伴い、観光客の増加が期待出来る。観光を産業の柱とし、各地域の特色をいかした新しいまちづくりを進めてほしい。
7-17	里村	44	男	新市になって新しい本庁舎がどこに配置されるかはわからないが、中央だけのサービス重視ではなく、小さな地区にもいきどいたサービスの提供ができるようにしてほしい。生まれ育った場所が就職や交通の不便さ等ですてられだれもいなくなるようなことがないようにしたい。各地区地区にあった産業の育成を行い、これからの子供たちが働ける場所を作ってほしい。
8-3	上甕村	62	男	・稚魚の放流とアワビ養殖や水産加工品の製造等水産振興対策 ・スポーツ、レクリエーション施設、集会施設の改修 ・アイランドテラピーによる健康づくりの推進(すのさき荘改修温泉化) ・生涯安心して住める地域づくり(高齢者生活福祉センター等温泉施設の整備) ・海岸への流木、竹、ごみ等の処理施策 ・保育園(又は保育所)図書館や集合施策等複合少子化交流施設の整備
8-12	上甕村	46	男	企業の誘致、起業促進 海を活かしたアイランドテラピー保養所の整備

8-14	上甌村	47	男	・海産物の販路の提供等 ・小中学校の現状維持 ・公営住宅の整備(過疎対策) ・企業誘致(工場等)
11-1	川内地区消防組合	39	男	各市町村でいろんなイベントが多く開催されていますが、合併後は各地を代表するイベントで地域の活性を図る必要があるのではないかと 川内市:花火大会と大綱引き串木野市:港まつり樋脇町:温泉を活かしたイベント入来町:天体以上のような各地の代表的なイベントを考えて地域興しに役立ててください。
11-12	川内地区消防組合	26	男	周辺市町村から人が集まるようなテーマパーク公園
11-17	川内地区消防組合	38	男	子どもたちが安心して遊べる環境が少ないのではないのでしょうか テーマパーク等の建設
11-22	川内地区消防組合	45	男	小さな事にエネルギーを費やすのではなく、大胆にして世界的にアピールできるような産業育成を住民が安心して、信頼し合える居住環境作りをしていくことで将来的に子どもたちも「この地で生活したい」と思うようなまちづくりを考えていかなければならないと思う。
11-24	川内地区消防組合	19	男	川内駅も大きくなるので駅付近に活気があればもっと明るいまちになると思う。
11-26	川内地区消防組合	27	男	子どもたちのためにテーマパーク及び、イベント会場等ができればありがたいと思います。
11-44	川内地区消防組合	25	男	大人から子どもまで楽しめるレジャー施設(遊園地等)を過疎が進む地区に誘致すれば市全体の活性化につながるのではないのでしょうか
11-45	川内地区消防組合	38	男	鹿児島市の健康の森公園みたいな小さな子どもから家族連れで1日いても飽きないような施設がない。県内でも有数の公園を作り、子どもたち自身が大人になって川内にはこんな所があるとか自慢できる大規模なゆうぐこうえんを作り、県内外からも来やすい施設を1つ作る。公営の宿泊施設の建設を行い、先に書いた運動公演で全国大会レベルの選手たちを収容する。公営の温泉施設の建設か又は熊本県の黒川温泉みたいに道路とけんち石で敷くとか景観を温泉街にしてゆったりと泊まれる保養地を作る。
11-46	川内地区消防組合	39	男	子どもたちが遊び、楽しめる遊園地の設備
11-47	川内地区消防組合	38	男	企業誘致...多くの若者が地元に残れる環境をつくって欲しいです。企業誘致で働く場所が増えれば人口も増加し活気あるまちになると思います。
11-52	川内地区消防組合	23	男	子どもから大人まで楽しく遊べるスポット(アミューズメント)
11-59	川内地区消防組合	50	男	子どもたち(幼年~大学生)が市外へ遊びに流出しないため、県内にはない大型レジャーランドを分散化せず、一ヶ所に集中して建設する。 川内川河口からの上流への川内川を活かした公園か、リバーサイド構築、川内川でのイベント。 原子力発電所周辺への企業誘致・受託建設
11-61	川内地区消防組合	55	男	海水浴場やキャンプ場の整備充実化。温泉施設の有効利用(例えば、送迎バスで市外地から誰でも利用できるように市当局で運行。大型レジャー施設(遊園地やテーマパーク等)の誘致
11-70	川内地区消防組合	23	男	県内外から多数の人が集まってくるような大型テーマパークをつくって、活気ある町になってほしいと思います。
11-82	川内地区消防組合	34	男	九州新幹線も開通するので観光客を呼べるような施設を又、家族で楽しめる施設を作ってほしい。

11-93	川内地区消防組合	40	男	川内からプロ野球の選手も生まれ川薩地区においてもミニキャンプ等ができる。将来的には川内ドームができればよいと思う。又、新幹線も福岡ー鹿児島間が1時間20分前後と九州間が近くなるので、それらを見越した集客施設をどんどん作ってもらいたい。
11-94	川内地区消防組合	38	男	再来者の多いテーマパークの開発
12-8	西薩衛生処理組合	50	男	観光面の提言ですが、今まで1市1町でしか出来なかった観光について、新市内にある温泉を統合して「温泉郷」として売り出す。
12-10	西薩衛生処理組合	43	男	串木野、甌島、川内と海洋観光都市を目指す方向でまちづくりを進めてほしいです。このまちで働いてこのまちで遊んでこのまちで暮らすまちづくり。
10	個別応募:川内市	28	男	企業誘致

産業経済(テーマ :テーマ ~ 欄で記入できなかった事柄等をご記入ください。)

	市町村名	年齢	性別	提言
1-42	川内市	28	男	産業振興のために施策の意見と体制の強化について 現在の厳しい経済状況を反映し、産業振興の施策の充実が困難なところがあるのはわかるが、今後、ますます地域間競争(日本国内だけでなく海外を含めて)は厳しくなると言われている。他地域では例えば、ベンチャー企業の育成を図るようなインフラ整備の整備など。独自の努力をしているところもある。来るべき大競争時代に生き抜くためには、新市ならではの明確な産業振興のためのビジョンと施策が必要だと思います。現在の2市4町3村の枠組みを考えると、港は川内港、串木野新港があり、高速では3つのインターチェンジを持つことになり、漁港は串木野港をはじめ甌島にもいくつもあります。農業分野も東郷、入来等が入り充実します。このことを考えると、企画、商工、経済、農業分野の体制の大幅強化は不可欠であり、これら分野の施策の充実強化(総合、整備、再検討も含む)こそが重要だと思います。この分野はとりわけ、他地域のし烈な競争をさらされる分野であることから新市の命運を握る部門となります。このような分野こそ民間の人材を登用できるような体制(しくみ)が必要ではないかと思ひます。
1-44	川内市	51	男	港の利用促進(産業振興) 節減した金で1万t級の貨客船を購入 運行ー船会社へ委託 航路ー中国、韓国etc 運賃ー実費のみ徴収(=委託料+償却費) 全国ー安価な費用で観光客の集客、貿易の促進を図る。
1-64	西薩衛生処理組合	52	男	串木野のつけあげ・まぐろ、川内のラッキョウ・ちりめん、東郷のぶどう・イチゴ、入来の金柑などの農水産物は、それぞれ全国的な評価がある。新市ではこれらの旧市町名の使用とどうするのか。
1-90	川内市	26	男	商業活性化
1-104	川内市	41	男	産業振興による経済基盤の充実。少数集落でも安心して暮らせるまちづくりの推進(コミュニティの推進)。住民の声が反映される施策の推進 外に目を向けた施策の展開(国際交流、国際貿易の推進)。福祉・医療体制が充実したまちづくりの推進 障害者(弱者)に優しく、障害者がいきいきと暮らせるまちづくりの推進 学校教育環境や生涯学習環境が整備されたまちづくりの推進
2-78	串木野市	54	女	自分の住む町にある金になる物をよく見つめ、運用できるような町になってほしい。
2-96	串木野市	41	女	もう少し、工業団地が開発されたら子供達の就職先も増えてきて、素晴らしい都市になるのでは...?
2-107	串木野市	50	男	子供達が安心して働けるような企業がどんどん進出してくれるまちであってほしい。中心地までの到達時間を30分以内で行けるよう交通体系の整備を行ってほしい。行政が進めている事が住民にとって好ましくないと判明したら、速やかに再検討し、修正ができるように弾力的な行政にする。特に(長時間かかる大型事業等)子供をたくさん産んでも安心して暮らせる制度。子育て支援を充実してほしい。

3-3	樋脇町	49	女	新保健センターを核として健康づくりを進めていく。(温泉の有効活用)休養の場とする。丸山、観光農園、温泉を結んだ新しいルートの開発(温泉街の整備 古さを活用) 住民サービスはお金を使わず、頭を使おう(無料健診・検診券、無料入浴券、無料乗り物券、無料配達券、無料シルバー人材センター派遣)* ボランティアでポイントをためて自分の希望を実現する。
4-1	入来町	55	男	新市が誕生したら、各市町村の人的、物的交流を進めるために色々と有効、斬新な企画で大々的なイベントを打ち出してほしい。一方、ハード面では市街地に向かう道路は整備されつつあるが、各市町村を連結する道路は必ずしも十分でないので環状線の道路として既存の道路を拡張整備して、人の往来が容易に又、活発になるよう、事業計画に取り入れてほしい。
4-6	入来町	22	女	工夫したいこと:町の景観。歴史的建造物が多くある地域ならば、その周辺の環境にも配慮する。歩道は雰囲気を感じさせる石畳を思わせる色合いのものにする。中途半端な茶色やアスファルトでは、全体の景観が崩れてしまう。いかに歴史的建造物であったとしても、周囲に同じ時代の香りを感じさせるものがまったくなければ、見ただけで終わってしまう。合併すると、全体としてもさることながら、地域ごとに何を特色とするかも考えなければならない。そして、その特色を県内外に定着させることが課題になると思われる。施設について:図書館や博物館等施設について共通して言えることは、どこも月曜が休館日であることだ。一斉に施設が休みになってしまえば、外から訪れた方々を迎えることができない。また、屋内で展示してあるものを単に見るだけでなく、建造物群がある中に、家屋を利用してその地域の伝統的な食べ物・名産品を出す茶屋を造ることも良いのではないかと思われる。道路際にある「道の駅」も多くの人に利用してもらおうという点では有益であるが、建造物群を見て回って終わりではなく、その場で食も味わうことも、訪れた人々は求めているのではないだろうか。「魅力のあるまち」とは「立ち寄りたくなるまち」であると思う。
7-1	里村	48	女	「新市」という大きな型の中で、我々里村は、海を越えた住民レベルの交流の機会をふやしていくべきである。合併しても町や村々が、それぞれの個性を自覚し、尊重し合えるように。里村は、今まで大切に守ってきた、習慣、風習、祭り、行事を伝統として、「新市」へアピールし、交流し合う。人々の往来も多くなるのでは…。そして、豊かな自然と、その産物を「新市」の市場の中で、活かせたらー。そうすれば「新市」の中でも、重要なもしかして貴重な観光スポットとなるのではないだろうか。
11-3	川内地区消防組合	36	男	市民は安全で活力活気のある町を望んでいるのではないかと思います。安全な街、警察・消防の活動が地域によって差が出てこない政策・対策をしなければならない。住民が安全で安心して生活できるまちを作り住民一人ひとりが平和な日々を過ごせるようにと思います。それぞれの町が合併することで様々な問題点が浮上することが予想されます。このことについては、遠くの火事ではなく、自分自身の事として住民が取り組む問題と思います。合併の当初の目的を考えたときよいまちづくりとは財政的にも潤うまちづくりである。地場産業を中心とした新しい産業への取り組み、企業誘致ではなく、地場企業での拡大を市で応援援助することによる市の発展を願う。広大な土地を活用した観光スポット(アミューズメントパーク)などの設立による鹿児島への中継基地としての観光の拠点を目指す。以上のような人を集める要素を常に研究する。
1-76	川内地区消防組合	31	男	観光客を集められるようなレジャー施設(テーマパーク)を作ってほしい。

教 育 文 化

教育文化(テーマ :新しい市が誕生したときに、「自慢したい」、「残したい」、「伸ばしたい」、「くふうしたい」ものは？(政策、住民の取り組み、場所、祭り等々))

	市町村名	年齢	性別	提 言
1-14	川内市	29	女	川内川花火大会と川内大綱引き等は自慢できるものなので、是非残して欲しいと思う。女性政策は、合併する他の市町村にひけをとらないと思っている。(県内トップクラス!)他の市町村のレベルアップを図りたい。
1-23	川内市	43	男	残したいもの...自然(特に海岸線)、川内大綱引。伸ばしたい工夫したい...観光(今ある財産を連携させて新たなルートを開設)
1-24	川内市	26	男	川内大綱引、はんや祭り
1-27	川内市	36	男	郷土の伝統芸能は残してほしい。
1-40	川内市	44	男	各校区公民館の組織・活動を残したい(各地区毎の行事)
1-45	川内市	47	男	「自慢したい」「伸ばしたいもの」として、川内市の教育環境を上げたいと思います。特に、情報教育の環境面では、県下の上位にあると自負しています。また、今回合併予定の祁答院町は、情報教育の先進地として県下だけでなく、全国的にも有名で、情報教育のノウハウも蓄積されています。そのため、新市ではこれらの優位性を生かし、情報教育先進市として伸びていくべきだと思います。そのためにも、教育力向上のために、生徒指導等の雑務から開放された純粋な指導機関として、『教育研究センター(教師の教育力向上のためのトレーニングセンター)』を設けるべきだと思います。
1-47	川内市	43	男	川内大綱引
1-49	川内市	47	男	川内川を活かしたイベント、事業等。川内大綱引保存会は残していきたい。
1-57	川内市	44	男	大宝2年に薩摩国が建てられ、川内に国府が置かれ、薩摩中心として栄えた。また、可愛山稜や泰平寺など多くの歴史文化遺産が残っている。このような歴史文化遺産を伝承していく取り組みを充実していく。
1-58	川内市	29	男	川内大綱引 川内川花火大会
1-65	川内市	46	男	薩摩国分寺・国府これが1番
1-77	川内市	46	男	合併する各市町村の文化と伝統は守りつつ、新しい伝統文化をつくっていく。また、そんな自由な意見が市民の中から生まれる風土づくりに取り組んでいただきたい。
1-79	川内市			川内という名は残してもらいたい。
1-80	川内市	33	女	川内大綱引き(残してほしい) はんや祭りはいらない。 したとしても、周辺市町村の同じような祭りと合体した方がいいですね。
1-81	川内市	29	男	川内川花火大会、大綱引き...残したい 福祉施設増築...伸ばしたい 年中活気ある市であること。(川内市を中心として東郷の鮎や観光農園、樋脇の温泉や串木野の漁業、つけあげ、金山、甕島の海を活用したキャンプ施設等)...自慢したいこと
1-83	川内市	28	男	今までと一緒。たくさんのいいものを残して、歴史を。
1-84	川内市	28	男	大綱引
1-86	川内市	27	男	綱引きなど
1-87	川内市	27	男	市外からも見に来ている大花火と綱引き
1-88	川内市	25	女	花火大会

1-90	川内市	26	男	綱引き、川内市の文化遺産
1-92	川内市	29	男	昔から川内市に残されている伝統行事(お田植祭、花火大会、はんや祭り、大綱引)を今後とも残した方がいいと思う。新田神社、国分寺跡、寺山、川内川周辺の整備など
1-94	川内市	30	女	花火大会、大綱引き。もっと福祉や教育に重点を置いたまちづくり。
1-99	川内市	42	男	大綱引き、花火大会は是非残してほしい。
1-100	川内市	34	女	はんや祭、綱引きは残してほしい。川内川の流れを工夫した公園をつくってほしい。商店街が早く閉店して国道沿いが寂しい気がするので、どうにか工夫ができないものだろうか。
1-102	川内市	36	男	川内川・泰平寺・新田神社・薩摩国分寺・川内川花火大会・薩摩国分寺ふれあい文化事業・唐浜・西方海水浴場・人形岩・川内川流域に残る郷土芸能・冠岳まつり・甌島の自然
1-103	川内市	35	男	自慢したい:自然。伸ばしたい:人口。残したい:自然及び地域住民が主体となった祭り事。生活環境の充実
1-105	川内市	48	男	川内大綱引き・花火大会は自慢したい。各地の史跡や郷土芸能は残したい。くるくるバスや単一料金バスを関係市町村まで拡大する。また、山村留学の範囲を広げ、過疎の町村に拡大する。市町村職員の移動も段階的に支所等に増やし、住民との相互理解と住民との親睦を深めていくことが大切であると考えます。
2-4	串木野市	29	男	伝統的な行事だけは残した方がいい。
2-5	串木野市	47	男	郷土の誇りである浜競馬、ガウンガウン祭り、太郎太郎祭りを自慢したい。また本市の特産物である「つけあげ」の種類を工夫して全国にアピールしてもらいたい。
2-7	串木野市	38	男	各地域の祭事(太郎太郎祭など) さのさ祭りと川内大綱引きを合併して都市の大きな祭りになりたい。
2-100	串木野市	31	男	浜競馬、冠岳山市、ちかえて祭りは、串木野の特色がよく出ており残してほしい。また照島から羽島にかけての海岸線は特に美しい。クリーン作戦などは是非続けてほしい。
2-106	串木野市	50	男	現在川内市の大綱引きをメインイベントとしてやり各市町村でも前夜祭的に開催する。冠岳の史跡、歴史を残す。薬草園をつくり、薬草料理をたべさせる所をつくり観光会社を結び昼食をとらすようにする。又、薬草園は地元の人を雇う。園の中に小さくてよいので資料館をつくる。
2-121	串木野市	51	男	歴史的遺産、風光明媚な箇所は積極的に残し、それらを使って外部に宣伝する。
2-128	串木野市市民生活課	26	女	各地区地域の特色ある祭り等は絶対に残すべき。豊かな自然や温泉に恵まれた地域なので、それを生かした観光都市として、発展してほしい。
2-132	串木野市	32	男	浜競馬 マグロに関するもの
2-134	串木野市	28	男	それぞれの市町村でしていた祭りは、1つの市としての祭りとしてできるだけすべて残した方がいい。
2-136	串木野市	44	女	冠嶽の山々 古くからの祭事
2-137	串木野市	37	女	冠岳山市
2-138	串木野市	29	女	冠岳の山市
2-18	串木野市	42	男	照島浜競馬
2-20	串木野市	58	男	各地域で行われているイベントなどは、できる限り継続させ、文化的遺産、風光明媚なところは残していく。
2-26	串木野市	52	男	本市の歴史、風土等出切るだけ多くの物を残して行く視点に立って検討して欲しい。どのものも地域によっては大小にかかわらず大事なものであると思うから。

2-32	串木野市	44	男	町おこしと行っている行事は、今まで伝統及び工夫したものであるので、引き続き守ってもらいたい。
2-33	串木野市	31	男	浜競馬
2-44	串木野市	53	男	合併前の全ての市町村で行われていた祭り、行事等のうち、地域を限定されるものについては、全てを合併後の5年間は残して、市町村の融合を図るようにしてほしい。
2-46	串木野市	44	女	串木野さのさの歌が大好きです。さのさ祭りなど残してください。温泉センターなどの大きな設備をつくっていただきたいです。
2-47	串木野市	43	女	他の市町村に負けないような串木野さのさ祭りを自慢したい。さのさが全国に通じるようにPRしたい。東シナ海に広がる照島海岸、長崎鼻の夕日は最高。若い人たちが働きやすく活気あふれ、未来につながる政策が必要と思います。
2-56	串木野市	39	男	自然の景観(海・海岸線・山・森林・川)を後世に残したい。さのさ祭り、浜競馬等は残すべきものである。現在、各市町村で行われているサービスを新市となった後も従来と変わりなく、さらにはよりよいものとなるようすべきである。
2-57	串木野市	42	女	各地に古くから伝わる文化(郷土芸能、祭り、文化財)を守り、伝承してほしい。地名は今の上でも残せるのではないか。国民宿舎は残して欲しい。新市誕生後に同じ市の市民同志わかり合えるよう、また市内のことを早く知るように、何らかの広報なりイベントなりをやって欲しい。
2-60	串木野市	47	男	照島海岸 長崎鼻公園 浜競馬
2-67	串木野市	30	男	さのさ祭り、冠嶽祭、れいめい祭。荒川地区での自主的な住民の活動意識 浜競馬
2-69	串木野市	57	男	年間を通し充実した祭りと行事 花冠祭、浜競馬、マグロフェスティバル、荒川蛍ツアー、さのさ祭、合同産業祭(地かえて)、冠岳山市 等
2-72	串木野市	28	男	各市町村それぞれで昔から行われている祭り、郷土芸能(行政主導のイベントではなく)
2-85	串木野市	54	男	各地区には、目的・趣旨が同様な祭り・イベント(夏祭り、花火大会、マラソン大会、体育大会、産業祭等)があるが、これらについては見直しをするか工夫する。しかし、各地区には、伝統がありその地区の顔になっている祭・イベント(例えば串木野浜競馬等)があるが、これらの祭・イベントについては、新しい市の顔として更に充実を図る。また、各地区の郷土芸能については保存に努める。川内・串木野の港を生かしての、中国・東南アジア諸国との貿易を進める。串木野は海とともに栄えてきたまちであり、その特性(他の市町にないもの)である。「遠洋まぐる基地」を生かしてまちづくりに努める。
2-86	串木野市	54	女	あちこちに残る祭りごとや郷土芸能等はずっとその町の誇りとして後世に語り継ぐために残してほしいものです。
2-87	串木野市	48	女	今までどおりに行事を残してほしいです。
2-88	串木野市	44	男	美しい海岸線で行われる浜競馬大会
2-94	串木野市	38	女	さのさ祭り
2-96	串木野市	41	女	「まぐるフェスティバル」を残したい 「さのさ祭り」を工夫したい
3-1	樋脇町	27	女	現在子供達に対して行っている事業は残しておきたい。子供達が大人になるまで様々な経験をし、豊かな心が育つような事業は続けてほしい。また、思春期についても取り組んでいき、思春期から父性、母性を育てるような事業を実施していきたい。
3-14	樋脇町	42	男	温泉とホッケーに関する行事は残してもらいたい
3-16	樋脇町	23	女	小さな地域特有の産物や行事などが消えてしまわないように小さなところの良いところを新市で持ち上げていきたい。祭りなどは市の住民が中心におこなうものでありたい。行政だけが動いても何も変わらない。
3-18	樋脇町	47	男	倉野やっこおどり
3-23	樋脇町	19	女	それぞれの市町村が行っている祭りや行事は多少の変化を加えつつ、伝統ある行事として合併後も続けていきたいです。

3-33	樋脇町	30	女	各地区ごとで保存されている郷土芸能 ホッケー競技など
3-34	樋脇町	23	女	温泉とホッケーのまちという歴史を絶やすことなく残したい。今の市比野温泉は少しさびれているというイメージがある。街路樹等を植えて「もう一度行きたい」と思わせるような景観作りも必要。各市町村で行われている郷土芸能は残しておくべきである。
3-35	樋脇町	49	男	従来各市町村で保存されている郷土芸能を残したい
3-38	樋脇町	31	男	町技:ホッケー
3-5	樋脇町	23	女	各地域に残る郷土芸能は残して欲しいです。これから高齢化社会になっていくが、若者とのふれあいの1つとして残してほしい。また、年に1度全体の郷土芸能を披露する場も考えてみるのも良いと思います。
3-57	樋脇町	45	男	ホッケーは引き続き残していきたい。
3-58	樋脇町	22	女	市比野温泉と県内でも数少ないスポーツ・ホッケーをぜひとも残したい。もっと多くの人に知ってもらい利用してもらいたい。
3-60	樋脇町	30	男	丸山自然公園、スポーツイベント、スポーツ合宿等の誘致、川内花火大会、いむた池、入来の文化財(入来文書等)
3-62	樋脇町	31	男	現在「温泉とホッケーの町」となっているが、他の市町村にはないものだと思うので、是を引き続き残していってほしい。
3-68	樋脇町	49	男	学生(小中高校生)のホッケー競技の存続と新市での普及活動
3-69	樋脇町	45	男	新しい市になっても「ホッケー」は伸ばしてほしい。自慢できるスポーツとして残したい。
3-7	樋脇町	41	男	各市町村とも伝統的な催し物等は当然あるので合併前から十分な話し合いをしてほしい。
3-70	樋脇町	25	男	郷土の歴史や文化財、文化は絶対に残したい
3-75	樋脇町	58	男	丸山を活かしたイベント等及び郷土芸能、以前の様に実施を要望。市比野温泉の名前は残して欲しい。
3-77	樋脇町	26	女	ホッケーは残したい
3-80	樋脇町	26	男	ホッケーは新しい市が誕生してもその市全体でバックアップしてもらいたい。市技として残してもらいたい。
3-83	樋脇町	55	女	彫刻大会等「残したい」と思う。樋脇の暮れの市も「残したい」
3-84	樋脇町	20	女	倉野の奴踊り、塔之原1区の花尾楽、武士踊り、藤本の椿踊り、野下の鎌踊り、上手の太鼓踊り塔、郷土芸能が廃れていかないように残していけたら。「温泉とホッケーのまち」をアピールする。自慢したい。
4-1	入来町	55	男	全国で50番目となる入来町の重要伝建地区(来秋:国の選定)と清色城跡(同時期に国指定)は川薩地方一帯を長期間治めた入来院氏の歴史を象徴するものとして、施設整備方に今後力を入れていけば、圏域にとって魅力あるポイントになります。
4-11	入来町	46	男	伝統的建造物群の整備及び広報により、地域のより一層の活性化を図る。
4-2	入来町		女	残す:入来町の郷土芸能(太鼓踊り等)文化財 伸ばす:山之口のふれあい館もお風呂でなく温泉に(副田温泉場のお客さんが少なくなるから…と聞きますが…)山之口は、ふれあい農園があり、川あり、温泉になると(温泉があるかを聞かれます…)お客さんが増えるのではないのでしょうか?今後のテーマとして…。きんかん狩りが(他でやってないから試しに…1ヶ所だけでも)…あったら?冬は寒いです。ハウスの中は暖かくて…家族連れが喜ぶのでは?きんかんを使って作ったお菓子、きんかんワインが出来る。説明書も加えて…。
4-3	入来町	31	男	郷土芸能など、歴史的なイベント等は各地区で継続していく必要があるが、新市の全域を季節ごとのエリアに分けて、季節にあったイベントを各地で行えば、各地区を有効に活用できるのでは。

4-4	入来町	54	男	昔からそこにあったものも現代までに保存してあるもの等を残したい。
4-5	入来町	34	女	地元独自の祭り事は残してほしい。これらをすることで、活気づくと思うので。
4-8	入来町	50	女	残したいこと、自慢したいことはそれぞれの地区で培われてきた郷土芸能や自然であり、それらを十分に次代に継承していける様、学習の場を設ける。
5-3	東郷町	44	男	地域イベント(夏祭り納涼大会、とうごう天神梅マラソン大会) 小さいながら町民に喜ばれ、また行政を町民が一体となって取り組む唯一のイベントであるので、新市のまちづくりの中でも地域の活性化を考える中で必要。なお、継続には予算面や支援体制など工夫も必要。
5-4	東郷町	47	男	祭り、イベントについては各町村の特性を生かしながら、まとめられるものと、その地域の「村おこし」に活用できるものに分けて継承してほしい。
5-7	東郷町	48	男	東郷町で今まで行われた四季折々のイベント、身近でふるさとを実感できるまつりを残してほしい。場所等は広域で集中することがないように各地域で実施してほしい。各地の特産品
6-1	祁答院町	44	男	旧市町村ごとにそれぞれ文化・伝統があるのでそれを残す方策を講じてほしい。
6-11	祁答院町	24	女	地域の伝統芸能や行事
6-12	祁答院町	46	男	各郷土の伝統的な祭り 年1～2回の河川道路の愛護作業(ボランティア)
6-14	祁答院町	53	男	川内大綱引き、串木野浜競馬等市町村の大きな伝統行事としてあるもの、集落毎等に引き継がれているものについては継続していけるような施策を、花火大会、マラソン大会、産業祭(ふるさと祭)等現在各市町村毎にある同種のイベントについては、特性を生かし2～3ぐらいに集約を。
6-17	祁答院町	32	男	各種のイベントは統合していった方がよいと思いますが、各市町村に残っている伝統芸能は、補助金を使ってでも残していくべきだと思います。
6-2	祁答院町	55	男	温泉活用 :健康づくりと観光開発を含めたスタンプめぐりにより、新市の再発見を。伝統行事(イベント)を残していく。
6-5	祁答院町	39	男	一般公道でのロードレースの規制が厳しくなる現状で、蘭牟田池でのロードレースは継続して実施したい。新市誕生後、旧10市町村の住民交流・親睦を深めるイベントの開催
6-9	祁答院町	33	女	地域の文化財、伝統などを残していきたい
7-12	里村	45	女	古くからの行事等を残してほしい
7-13	里村	38	女	伝統行事等なくさず継続出来るようにしてほしい。
7-16	里村	50	女	伝統ある行事等なくしてもらいたくない。続けてもらいたい
7-8	里村	28	男	・合併前からの地域の伝統行事を残してほしい。 ・マラソン大会等(現在7地区)を行っているものを 大会、上甕地区、 市大会川内地区とし、1つのイベントにし、年間通して楽しみ、全地区大会出場者に景品を与える等健康作りをくふうして欲しい。
8-1	上甕村	59	男	旧市町村毎の一番と思える祭りイベント等は地域文化継承のためにも残して実施していただきたい。
8-17	上甕村	35	男	残したいもの「夏祭り」「甕大明神マラソン大会」
8-3	上甕村	62	男	「こしき大明神マラソン大会」「こしき太鼓」「太鼓ばやし」等の育成と継承 「鹿の子百合」の原産地として残す 真珠養殖港を活用した施策。園芸(パッションフルーツ)生産グループの育成

9-6	下甌村	27	男	各地に伝わる伝統芸能の保存伝承
9-7	下甌村	38	男	・各地区の無形文化財を伸ばしていく(ドンドン等)・記念イベントとして、甌を含めた駅伝大会を実施したら
10-5	鹿島村	41	女	観光客・帰省者共に楽しく参加出来る夏の"みなと祭り"はぜひ残したい。
11-1	川内地区消防組合	39	男	各市町村でスポーツ面で自慢できるスポーツもあると思う。 樋脇町:ホッケー串木野市:相撲川内市:バスケットボールなど全国に通用するスポーツはもっと伸ばして欲しい
11-2	川内地区消防組合	39	男	川内川,川内大綱引き,川内川花火大会
11-3	川内地区消防組合	36	男	その土地風土を最大限に尊重した独自性ある新市に。祭りなどは市民全員が参加・取り組めるような祭りの計画
11-4	川内地区消防組合	24	男	川内大綱引き,川内川花火大会
11-5	川内地区消防組合	26	男	川内大綱引き,川内川花火大会
11-7	川内地区消防組合	45	男	大綱引き。クリーン作戦については多少マンネリ化の兆しが見られるので各地域のあり方について工夫し見直されなければならない
11-8	川内地区消防組合	39	男	伝統ある"川内川大綱引き"は新市誕生であってもそのままの呼び名そのままの形,また花火大会も同様に残すべきと思う
11-9	川内地区消防組合	41	男	川内川,川内川花火大会
11-10	川内地区消防組合	35	男	大綱引きを残すこと
11-11	川内地区消防組合	49	男	新しい市を活性化させるイベント・祭りとして川内川の河川敷で日本一の大鍋を作り芋煮会を行い,全国的に注目されるイベント,祭りにする。また,東北の仙台にもあるらしいので北と南で交流を図り,文化社会的に活性させる。
11-12	川内地区消防組合	26	男	川内大綱引き,川内川花火大会
11-18	川内地区消防組合	52	男	昔からあることに,歌い踊って親睦を深めてきた郷土芸能を廃れることなく残して行けたらと思います。
11-19	川内地区消防組合			恵まれた資源を最大限に生かし,環境に配慮したまちづくりをして欲しい。公共工事等も自然破壊ではなく自然再生(例えば堤防の二重化など魚の住める川作りなど)を目指してほしい。 また,これまでの各市町村の伝統・文化を尊重し中央集権的なまちではなく,自治区単位の独自性を残してほしい。(区長制を導入し,それぞれの区民祭や体育行事等の継続的实施など)
11-20	川内地区消防組合	26	男	各地に残る無形文化財の存続と発展。川内大綱引き,竜宮伝説フェスティバル,甌大明神マラソン,東郷梅マラソンなど 陸・海の交通手段の改革。甌島フェリー,シーホーク等時間等の改善と増便
11-21	川内地区消防組合	43	男	川内大綱引き,花火大会
11-24	川内地区消防組合	19	男	川内川,寺山,花火,綱引き

	防組合			
11-25	川内地区消防組合	37	男	関係市町村で取り組み「はんや祭り」等のイベントと拡大していく
11-26	川内地区消防組合	27	男	川内大綱引き, 川内川花火大会
11-27	川内地区消防組合	23	男	花火大会, 川内大綱引き
11-28	川内地区消防組合	28	男	現在ある各市町村の伝統的祭りはそのまま残し, 新市誕生に伴いそれを記念する新たな祭りを開催(開催地域は持ち回りしていく)
11-38	川内地区消防組合	24	男	私たちが幼い頃から目で見, 肌で感じてきた伝統的な大綱引き, 花火大会などはこれからも残していきよりよいものにしてほしいと思います。
11-43	川内地区消防組合	52	男	今まで受け継がれてきた伝統的祭り等行政も積極的に関係し, この伝統をいつまでも残してほしい。
11-44	川内地区消防組合	25	男	「大綱引き」や「はんや祭り」「花火大会」等の伝統的な物は残してほしい。
11-46	川内地区消防組合	39	男	花火大会, 川内大綱引き等の伝統的催し物を残す
11-47	川内地区消防組合	38	男	花火大会, 川内大綱引き, はんや祭りそして, 他の町でも行われている伝統的催し物を残す
11-48	川内地区消防組合	25	男	花火大会, 川内大綱引き, はんや祭りそして, 他の町でも行われている伝統的催し物を残す
11-49	川内地区消防組合	40歳代	男	現在行われている祭りなどに, 行政側も積極的に呼びかけを行って残してもらいたい。
11-51	川内地区消防組合	26	男	残したいのは, 各地域での伝統的なイベント, 祭りは今まで通り続けてほしい
11-57	川内地区消防組合	42	男	大綱引き, 花火大会
11-58	川内地区消防組合			川内にはこれといった観光地はなかったが, 合併後は市比野温泉, 川内温泉, 入来温泉藺牟田温泉, それに医務大家を加え, 今までここに宣伝していたのを一体化してPRしたら。特に川内温泉はひなび感でPR次第では化けるかも
11-59	川内地区消防組合	50	男	はんや祭り, 大綱引き, 川内川花火大会のイベントは残したい。
11-60	川内地区消防組合	55	男	各市町村に伝わる, 芸能また市町村が主催してきた祭りなどは残し, 新しい市に後にまで残るイベントを作ってもらいたい。
11-64	川内地区消防組合	40	男	各地域に伝承されている伝統芸能や祭りを残していくとともに, 新市の新しい文化作りを考えてほしい。
11-67	川内地区消防組合	26	男	大綱引きは残してほしい

11-68	川内地区消防組合	48	男	川内大綱引きについて(上方、下方のチーム編成の再考が必要では。綱の移動が少なく面白くない。 川内川周辺整備(憩える場所としてもっと活用すべき) 川内市総合運動公園(周辺整備、上池周囲の散歩道、公園作り)
11-69	川内地区消防組合	28	男	川内川大綱引を残してほしい。
11-70	川内地区消防組合	23	男	川内川大綱引を現在のままの形で残して欲しいと思います。
11-71	川内地区消防組合	44	男	川内市の大綱引や串木野市の港祭まつり等各市町村には数多くの行事があり、行政の補助を受けながら地域住民の保存会事業として残してきている行事があると思います。何十年、何百年も地域の人々の努力によって引き継がれた行事を絶やさないよう新市になっても補助等を行って続けていけるようにして欲しいものです。
11-74	川内地区消防組合	38	男	川内大綱引きは今後も残っていくと思いますが、もっと見ている人が楽しめるように、綱が動くようにしたらどうですか。又川内カップが 県外からの参加者が多くなるように、市がもっと協力すべきではないですか。せっかく綱の町、川内をアピールしているのですから。
11-75	川内地区消防組合	44	男	伝統的なものを継承し、新市が誕生することでなくならないよう住民自ら盛り上げ、公共機関等のバックアップで後世に受け継いでいけるような下地をつくるのが肝要では。
11-78	川内地区消防組合	41	男	各地域で今まで行っていた行事
11-79	川内地区消防組合	23	男	各地域で行われていた行事等を残していく。
11-81	川内地区消防組合	40	男	体育館施設と周辺整備について県内でも大規模な素晴らしい体育館であります。しかしながら、使用者は、市内市外のインドアスポーツの選手がほとんどで、川内市民で未だに見たこともないとの声を聞きます。この周辺は、緑豊かで心が和む雰囲気を作り出しています。近年高齢者等のウォーキングをよく見かけるようになりました。足腰に負担のかからない仕様のウォーキング・ジョギング道路。更には親子で思い切り遊ぶことのできる芝生を一面に張りつめた広場や市民イベントを開催できるイベント広場を建設し老若男女が集えるものができれば、未来の川内市は、まだまだ伸びると感じます。
11-84	川内地区消防組合	19	男	川内川花火、大綱引き
11-85	川内地区消防組合	30	男	花火大会継続、大綱廃止、はんや祭り廃止
11-87	川内地区消防組合	22	男	花火、お金を回す
11-88	川内地区消防組合	23	男	川内大綱引き、花火大会、マグロフェスティバル、納涼祭等の祭り
11-89	川内地区消防組合	29	男	川内川の名前が残るのに川内市の名前がなくなるのは寂しい 大綱引き、花火大会
11-90	川内地区消防組合	33	男	大綱引き、はんや祭り等イベントをもっと盛大にやりたい。
11-91	川内地区消防組合	25	男	伝統的な行事などを残すようにしてもらいたい
11-92	川内地区消防組合	21	男	川内川花火大会、川内大綱引き

11-93	川内地区消防組合	40	男	川内大綱引き, 花火大会
12-5	西薩衛生処理組合	52	男	現在、各市町で行われているお祭り等について(例えば川内市はんや祭、串木野さのさ祭等)祭り自体を盛大にしたら(2日~3日間)どうか。
13-1	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	38	男	新港開発、ちかえて祭りのアピール。昔の町並み(レトロ)にして発展していくように。
13-3	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	45	男	各地域心有る伝統芸能(有形・無形文化財等の祭り)黎明の地、マグロの町等アピールできる祭、場所。
13-5	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	40	男	さのさ祭・浜競馬・大綱引き
13-7	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	40	女	自然に関しては、なるべくこれ以上壊さない、変えない。大切に残すべき一番に掲げたいものです。伝統芸能も残していきたいものです。
17-1	甌島衛生管理組合	47	男	旧市町村の自然、歴史、文化等を大切に特色あるまちづくりを進めてほしい。
18-5	上甌島バス企業団	28	男	甌島の祭り(かずらたて、武者おどり、すもう)の合併した地域の人々もまぜてやりたらいいと思います。
2	個別応募:串木野市		男	川内大綱引き(国道3号線以外の場所を選定。見物者が多く集まれる所。現在は主催者が川内商店、企業が中心に運営されている様であるが市民住民全員参加型の祭りに又行政も全面支援で盛り上げることが必要。)串木野まぐろ祭り(現在は盛り上りに欠け知る人ぞ知るで集客力に問題がある。まぐろを主体にしたイベント“まぐろ音頭”など力強い海の男の祭りを要望。現状は名前だけで朝市か道の駅的存在で品物を販売することが目的の為迫力なく、普通に終わってしまい民衆に感銘を与えることがない。是非改善すべき)串木野浜競馬(一応全国的に知れ渡りつつあるがこの祭りも盛上りに欠け長年回数だけは重ねているが創意工夫がない残念である。浜辺、観客席の整備、馬主が一生懸命出場に向け取組む様主催者(市、商工会議所、支援団体、住民)の協力支援を強力に推し進めること。又一方競技内容を浜辺を走らせるだけでなく障害競走馬のおどり多種多様のかざり馬の縦列行進等観客を楽しませる工夫が必要。
4	個別応募:川内市	31	女	自慢したいもの・山、川、海といった豊かな自然・おいしい特産品、癒される温泉・伝統行事、歴史 残したいもの・歴史を感じるもの(遺跡・建物・伝統行事・郷土芸能等)・それぞれの市町村が今持ち合わせている個性 伸ばしたいもの・それぞれの市町村が今持ち合わせている個性をさらに充実・各世代がともに楽しめるイベント・各地の可能性、人々の可能性 くふうしたいもの・各世代がともに楽しめるイベント(小さい子供連れも、若年層も、お年寄りも)またはそれぞれが年代別で楽しめるイベント・住民参加型のイベント・普段の生活で気軽に利用できる公共施設、催し物・各世代それぞれに対応した広い意味でのまちづくり

6	個別応募:川内市	35	男	自慢したいもの・川内大綱引き、川内花火大会 残したいもの・川内大綱引き、川内花火大会 伸ばしたいもの・個性、特色のある街づくり くふうしたいもの・何を造るにしても自然や地域にマッチしたものを造っていったらよいと思います。
9	個別応募:川内市	4	女	自慢したいもの:古くから、政治・経済、交通の中心地であったこと。 残したいもの:各地の地名や伝統・文化 伸ばしたいもの:中国・東南アジアに近いという地理的優位性。 工夫したいもの:新市域内の移動距離・移動時間の短縮化。

教育文化(テーマ :「魅力あるまち」「活気のあるまち」「幸せを実感できるまち」にしていくためには、何が大切で、何をしたらよいと思いますか?)

	市町村名	年齢	性別	提言
1-43	川内市	39	男	伝統のあるものを切捨てずに、残していく努力が必要だと思う。若い人が集まれる場所
2-27	串木野市	38	女	人を思いやる心豊かな青少年を育てるまちづくりにしていく。
2-29	串木野市	43	男	文化・伝統の継承
2-47	串木野市	43	女	伝統文化は残し、新しいものは取り入れ、時代に沿った取り組みをする。
2-51	串木野市	39	男	次代を担う子供達の育成や高齢者が安心して住める町をめざし「教育・福祉」に重点をおいた施策に取り組む。例として、共働き世帯におけるカギっ子対策としての放課後児童保育の充実。不登校生徒の相談等の充実を図る。福祉対策としてディサービスの充実はもちろんのこと、高齢社の憩える場の提供を図る。
2-56	串木野市	39	男	子育て支援...女性の働く場所の確保等(子育てしながら)、公民館等地域活動で連携を図る 働く場所の確保(企業誘致、あらゆる業種での新規の起業者の育成) 住環境の充実
2-57	串木野市	42	女	高齢者には扶助費等が多く使われているように感じるが、もっと幼児や子供達にも手厚い施策が必要だと思う。若い親が働きやすい環境を作って欲しい。(保育園、幼稚園、託児所、子ども病院)市内のすみずみまで行政の手が行き届くように声が届くように、市役所が身近でなければならない。その為には、支所や出張所等を均等に置いて欲しい。各種の届や申請(住民が頻繁に利用するもの)を出す役所が住居地から近い所になればいい。商店街をもっと魅力のある通りにして、車を使わなくても出かけられ、帰りの心配もあまり必要ないようバス等の運行も定期的に便を増やして欲しい。
3-3	樋脇町	49	女	町の宝である子供達を豊かに育てること。人の幸せは何であるかを乳幼児期は保健活動を通じて児童や思春期には学校教育や文化を通して感性を育てねばならないと思う。学校教育(総合教育)の充実
3-82	樋脇町	32	女	今まで各市町村で大事にしてきた祭り等大事にしてほしい。また、経済的なことにしても合併して不況になりすぎたり、ならないようにある一定のラインはキチンと決めて欲しい。
4-11	入来町	46	男	新市の中核的な役割を果たす教育施設の充実。例えば、市立の中央図書館、児童生徒の研修施設、教職員保護者の研修施設などの整備 学校におけるITの充実。学校間のテレビ会議システムの構築、中核となる教育施設との接続等、IT活用による教育効果の充実
5-3	東郷町	44	男	住民が行政と共に創り上げ、また成し遂げる感動を与えることが大切。特に13万都市をもなれば一人一人の住民が新市の一員と実感してもらうことが大事ではないか。歴史は大切にしたい。郷土芸能など地域が大人、子供一体となって取り組む絶好の場であって、異年齢間の交流をはじめとしてひきつがれていくものである。旧市町村を中心とする支所機能にはこのような特徴があってよいのではないか。
5-6	東郷町	28	男	各地域での伝統行事をできるだけ保存していく。伝統行事を残していくことによって住民の横のつながりが残っていく。

11-2	川内地区消防組合	39	男	川内川を利用して夏場に各種イベント等が実施され寺山には寺山公園があるが港方面の有効な活用方法があるのではないかと考える。例えば唐浜海水浴場と合わせた大型の公園遊園地などがあれば多くの人が集まるのではないか
11-8	川内地区消防組合	39	男	8月16日の川内川花火大会のように県内外各地から若者が大勢集まるイベントを数多く実施したらどうか
11-17	川内地区消防組合	38	男	公共施設等を利用したイベントの増加(歌手, タレント等呼び, 歌謡曲ショー, 後援会等を開催し, 内面的にも充実できる日が増えるといいと思う) 郷土愛の向上を計るため, 郷土芸能等の復活など(今, 伝えなければ完全に忘れ去られてしまうものがあるのではないだろうか。)
11-19	川内地区消防組合			自然との共存 スポーツ振興 福祉のまちづくり 人口流出の歯止め対策(雇用創出, 観光行政促進) 離島振興策の拡大
11-20	川内地区消防組合	26	男	新しいものばかりでなく伝統と共存できる町並み 街全体上がりラックスしやすい
11-29	川内地区消防組合	48	男	合併後のまちづくりにはそれぞれの地域の特性を活かすことは当然のことであるが, 現状では, あらゆる面において行政が住民を引っ張っていきいわゆる「行政からやらされている」という意識が住民には強いようである。そこで各地域にはスポーツ施設, 温泉・自然・伝統行事等それぞれ自慢できるものがあるので, これらを利用して行政と連携を取りながら住民の手で企画・運営していく方法をもっと多く取り入れ住民自らがまちづくりに参加しているという意識を持たせることが「魅力あるまち」「活気あるまち」作りに必要ではないか
11-32	川内地区消防組合	22	男	活気あるまちにするために, 若者が集まったり遊んだりできる場所をつくって欲しい。夜間でも各種スポーツ大会や練習ができるようナイター付きの芝生のグラウンドをつくって欲しい。ナイター付きのグラウンドができることにより各種プロスポーツや企業スポーツのキャンプ地にもすることができると思う。
11-33	川内地区消防組合	22	男	川内には観光雑誌に掲載されるほどの公共施設がありません。そこで今ある寺山にもっと大規模な自然動物公園(例えば, 高千穂牧場)を作り, 夜景のきれいな寺山をさらに眺望できる大観覧車を作ってはどうか。(東京お台場にあるイルミネーション時計付き)
11-34	川内地区消防組合	41	男	川内市というよりも, 鹿児島県に総合レジャーランド又は, テマパークと呼ぶにふさわしい施設が見あたりません。川内は海, 山, 川, と大自然の宝庫でもあり, これを活用して子どもからお年寄りまで楽しく遊べるような施設の建設を望みます 川内には県内に誇れる特産品, 料理がありません。何か1つ川内に行ったらあれを食べよう, あれを食べに川内に行こうと呼ばれるような品物を公募して川内の特産品として売り出してみてもどうでしょうか?
11-35	川内地区消防組合	33	男	現在川内市には寺山公園や清水ヶ丘公園, 中郷池などがありますが, どれも中途半端で誰もが気軽に行ける場所ではなく, また終日過ごせる環境でもないのになかなか足を運ぶ気持ちにはなれません。「もっと住民が気軽に水や緑・自然と触れ合う事ができ, 遠方からも来訪したくなるような, 広域的な緑地公園や森林公園・海浜公園や河川公園等の憩え集える環境が増えれば, 人々の笑顔と活気に溢れる水のまちになるのでは」と考えます。
11-37	川内地区消防組合	50	男	現在, 川内市にある公園について, 総合運動公園も整備が進み運動施設は整いつつありますが, 子どもたちが終日遊んで過ごせるような「遊園地」的な施設がありません。市外から, 更には, 県外からも子どもたちが遊びに来られるような中途半端な施設ではなく大規模な施設を造ることにより川内市に自然と人が集まります。子どもを集めれば必ず大人もついてくると思います。人がいない所からの活気は望めません。
11-40	川内地区消防組合	31	男	水のまちをアピールするために河川敷を使った施設や催し, また, 海岸線を使った施設や催しをもっと多く取り入れたらどうか。また, レジャー施設などがあまりないので現在あるものの規模を拡張するかまたは新しいものを造ればどうか。
11-45	川内地区消防組合	38	男	娯楽施設の不足。例えば 5000 人収容できるホール, 映画館, テナント等と一緒にした施設を建設し, 交通手段も高速道路・新幹線も開通することから集客能力も格段よくなっているのが集まりやすいと思う。また, 熊本県の荒尾市にある遊園地や千葉県浦安市にあるディズニーランドみたいな施設の誘致など。
11-53	川内地区消防組合	47	男	毎年恒例のスポーツイベント(マラソン, サッカー野球大会等)の開催。人気歌手グループ・タレントのコンサート開催。プロスポーツのキャンプ及び公営ギャンブルの誘致。れいめい, 川内高校の野球を強くして甲子園に出場できるようにする。

11-57	川内地区消防組合	42	男	自然と人が集まってくるようなレジャー施設等の整備
11-66	川内地区消防組合	41	男	現在、住民が何を望んでいるのかを行政に直接反映させるようにし、近隣市町村からも遊びにくるような施設の整備を今以上に推進し、魅力のあるまちにしていきたい。たとえば、運動公園に子供から大人までを対象に遊べるような温泉及びプール等の建設はどうか。
11-69	川内地区消防組合	28	男	新しい市となり何もかも新しくするのはなく昔からある良い伝統などは、残しつつ郷土を愛することが大切だと思います。
11-71	川内地区消防組合	44	男	今後急速に進む少子高齢化に向けて、福祉施設や福祉関係事業の充実を行い暮らしやすい街づくりや子供を育てるのに現在はたくさんのお金が必要であります。もう1人は欲しいが教育資金や共稼ぎのためにあきらめている家庭もあるのではないかと考えます。そのような家庭に、学費や給食費の補助や保育園や幼稚園の経費の補助などを行い、1人でも多くの子供が増えたら良いと考えます。そして、周辺の住民の方が住んでみたい。この市で子供を育てたいと思える環境整備を行い、他の市ではない特徴のある市をつくってもらえる様望みます。
11-94	川内地区消防組合	38	男	若い意見を聞き入れる環境作りプロジェクトを作成して他の模範となる場所への積極的な研修視察を
13-4	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	32	男	祭や地域・公民館対抗のスポーツ(ソフトボール・バレーボール・駅伝・運動会)に力を入れる為に、賞品や参加賞を豪華にしたり、新しい市長(?)
2	個別応募:串木野市		男	人間の心を引きつける魅力とは何かと考える時自分の要望を満たしてくれる人、物(金品、食べ物、住まい、外見を良く見せる衣類等)、満足を与える環境であろうと考える。先ず人であるが、この世の中は高齢化社会に突入。特に地方は若者が少なく年寄りだけと言っても過言でないと思う。そこで老人から若者、子供迄が参加して楽しむ施設環境を充実させること。例えば、月1回集客力のある体育館が市民センターを改善し必ず若い人、老人すべてが進んで出かけ一日を楽しく過ごせる催しをする。このさい、昼食等すべて準備し送り迎えも責任をもって若い人中心でやってやる。この接触によって深いコミュニケーションが生まれ育って人を大事にする心が生まれ連帯感の重要性を皆が認識する社会が育つと考える。

教育文化(テーマ :新市のまちづくりの望ましい姿、イメージ、キャッチフレーズはどんなものでしょうか?)

	市町村名	年齢	性別	提言
1-2	川内市	41	男	海に開かれた(川内港、串木野港、甕島の港など)、温泉や自然景観(川内川、冠岳、なまこ池などの甕島の景観)を有する観光を活かした、歴史(薩摩国分寺跡、入来の町並み、etc)と文化(綱引き、祭りなど)を大切に福祉都市(高齢者にやさしいまち)
2-107	串木野市	50	男	地域の風習等を尊重し、画一化しないこと。イメージ(潮と水と空気のまち)
2-110	串木野市	55	男	串木野の自然、歴史、文化を守りながら暮らしやすい、生きやすい、環境づくりを進める。
3-34	樋脇町	23	女	今の世の中は日々自然が少なくなり仕事に追われ心にゆとりをなくしているように思える。今ある自然を残しつつ、心落ち着くような景観作りも必要だと思う。工夫を加え、発展していくことも必要ではあるが、その土地独自の文化、芸能など残すことも考えて欲しい。
11-26	川内地区消防組合	27	男	大綱引きのまち川内
11-27	川内地区消防組合	23	男	大綱引きのまち

11-59	川内地区消防組合	50	男	県外・市外から来られる方への特産品を考えるべき 川内温泉・月屋山の鍾乳洞の開発
11-61	川内地区消防組合	55	男	「水のまち」を継続し、川内川だけでなく、東シナ海に面していることをアピールして欲しい。特に甕島の海は美しく景勝地もある。
11-84	川内地区消防組合	19	男	もっと店を増やしてほしい
2	個別応募・串木野市		男	東支那海にそびえる都市・・・合併により遠くはなれた町の集まりとなり行政も広域化となりまとまりが当面の課題かと心配する。行政の中心頭をどこに置くか現在は不明であるが、広域を常に把握できる「新都市組織体制計画」の整備、「マスタープラン」の策定が重要と考える。基本的には行政、財政拠点は現在の所それぞれの市、町、村に規模は縮小された型で存在することと思うが、行政機関の連携を密にし、物事の議事進行がスムーズに進む様に力点を置くこと。又、住民はなかなか我が町を大事にする心、他を排斥する精神が培われている。これを徐々に融和させ、人口約13万人が新市として実力を発揮させる統一組織に造り上げる為には頻繁な交流会を実施することが重要かと提案したい。具体的にはその地の特徴を生かした施設、長年繰返されている催場、祭事等を充分活用することか。

教育文化(テーマ :その他、期待するまちづくりの政策等自由なご提言(こんなまちになってほしい、こうあってほしい、子どもたちのためにこんなことをしてほしいなど))

	市町村名	年齢	性別	提言
1-8	川内市	54	男	子供に歴史を残すため、それぞれの歴史的建造物を残し、お祭りの開催日を調整し、毎月どこかで祭りがあるようにする。また、観光シーズンに祭りを集中させて人を寄せる。
1-24	川内市	26	男	児童館等子供達が学校以外に気軽に遊べる施設を作る。
1-37	川内市	58	男	旧市町村意識をなくするためには、長い月日がかかると思うので、小中高校生の払拭が大切。新市長杯なる全競技の大会が必要。薩摩国分寺を活用した各地の伝統芸能高居
1-45	川内市	47	男	教育力向上のために、生徒指導等の雑務から開放された純粋な指導機関として、『教育研究センター(教師の教育力向上のためのトレーニングセンター)』を設けてほしい。
1-53	川内市	38	女	図書の読み聞かせ活動等の支援について 現在、上記活動のほとんどがボランティアに頼っている状況である。また市内各小中学校のうち、大規模校には人件費分の補助金があり、図書事務員が配置されているが、小規模校には人的な配置も無く学校側の裁量に任されている。学校に楽しく通えるように環境整備をしようとする時、行政に出来る範囲は「食と住」であるので、食に関しては学校給食センターの担う役割として、住に関する部分はただ施設(ハード)整備をするだけでなく、読み聞かせの専門家や作家を招致した読書活動(ソフト面)の推進、また学校図書館のネットワークシステムが立ち上げるに当たって、各校を連携できるような人的配置を全市的にバックアップする体制を確立して欲しい。子供たちを取り巻く環境はめまぐるしく変化し、多量の情報があふれる中、ただ「本を読みましょ」では惹きつけられない。
1-64	西薩衛生処理組合	52	男	海に囲まれた地区、山に囲まれた地区、川内川を控えた地区など、多様な居住環境があるので、子供達が定期的に交流できる教育を促進する。西薩衛生処理組合では、資源再生型社会に適応し、また、水質及び大気法規制の強化に対応できる新たな施設の整備を速やかに建設すべきと考えている。
1-65	川内市	46	男	高校教育のレベルアップ、有名塾の誘致、「この町に住めば、進学は安心と思わせる町」お年寄り、障害者、乳幼児を大切にする町...「ここに住めばやさしくなる町」第三次救急医療を備える町...「この町は、人の命を大切に作る町」
1-66	川内市	58	男	基本的には、若者が定着できるまちづくり。若い人を雇う企業誘致育成 市民が楽しめる街(娯楽施設・公園・スポーツ施設・大型店舗等) 子供のために 過疎校の統合。地域と一体となった子育て、親子学習 最後に治安のよいまち、思いやりのある人間が育つまちになってほしい。
1-71	川内市	50	男	高齢者と子供たちの交流を進めるために、子供たちが地域の伝統行事等を学べる機会を設ける。

1-81	川内市	29	男	若い人を定着させる為、企業誘致をしながら市民が楽しめるイベント(運動会、魚釣り大会、レガタ等)盛り上げ、地域と一体となり子供達の土曜日は休みの為、学校側から色々な校区行事に参加要請し、つながりをもたせる。
1-96	川内市	42	男	市民に開かれた行政～行政に対する評価システムの構築、家庭教育の充実、福祉の充実～特に子育て支援の充実。市職員のボランティア活動の推進(管理職だけでなく一般職員も)～朝の活動、行事の支援
1-98	川内市	40	男	子供たちが自分の住む地域を自慢できるような取り組みを教育活動を展開したい。例・綱引き競技大会をここから全県そしてもっと広く広げる。・川内川流域カヌー大会・甕島でのサバイバルキャンプ
1-99	川内市	42	男	大人も子供もよりよく豊かな生き方ができるよう生涯学習の充実を図ってほしい。よい本との出会い、よい映画との出会い、素晴らしい人々との出会いの機会をたくさんつくっていただきたいと思っています。
1-100	川内市	34	女	少年自然の家、宇宙館のイベントを工夫して、子供達に自主性、夢と希望を与えてほしい。中学生の授業の一環としてだけでなく、体験学習(職場)を小学生の時からさせて、ボランティア精神、奉仕の心を培ってほしい。どの職場にも小学生でもできる仕事があるのではないかな?
1-103	川内市	35	男	既存小学校の存続。地区によっては公民館の統合は考えられるが、小学校区の統合は行うべきではないのではないかなと思う。子供から老人まで、休日にお金を使わずに過ごせるような、自然都市?「せんだい」を目指して欲しい。
2-5	串木野市	47	男	山や川など豊かな自然を大切に、伝統的な文化や芸能を残し、災害、公害や犯罪が少なく、安心して暮らせ、また企業誘致をし、若者が集まってきて、活気あるまちづくりをしてほしい。子供が遊べる大型レジャー施設を整備し、さらに素晴らしい自然(山、海)を生かした観光ルートを整備し県内外から人を寄せる。
2-11	串木野市	37	男	無駄のない街住民があつた施設はいい、あの橋はいいというような声が上がらないように公共工事や施設建設は慎重にするべきである。お金や時間だけが無駄に費やされているのが多いのでは。子供達には広い緑のある公園で遊ばせたい。小さな公園がいくつもあっても魅力はない。
2-23	串木野市	53	男	防災関係者として、地震・風水害など災害の広域化がすすんでいる現状や川内原子力発電所の事故を想定すると、防災機関の広域化は必要である。最近の子供達の様子を見ますと基本的な生活習慣が欠けているように感じております。明日の担い手である子供達の教育は、家庭、学校、地域社会がそれぞれに取り組んでいるが、更に心豊かな青少年を育成するため奉仕活動の実践、国際交流の推進、教育施設の充実等の教育行政の充実を期待する。
2-46	串木野市	44	女	私達の子供の頃と違い、今の子供達の生活環境が変わっているので、子供達への教育の指導、心の指導に力をいれたい、子供達を助けてほしいです。公民館などに若い人達が加入されないのが、入りやすい公民館作りなどを若い人からお年寄りまでの声を聞いて、新しく作っていただけたらと思います。
2-52	串木野市	37	女	学校での学童保育
2-74	串木野市	32	男	箱物は、最小限にとどめ生活に密着する部分(道路維持、公園整備等)を中心に整備を進めるほか、新市の将来を担う青少年に対し、「研修制度(海外研修)や高齢者との交流等」などの進め、人材育成等の充実を図る。合併により、箱物等の建設を推進するよりは、子供達が一日中駆け回ってできる芝生の大きな広場(自然公園等)を建設したら、子供も持つ者としては、あり難いと思います。
2-75	串木野市	38	女	子供達が安全に遊べる児童館(乳幼児)育児についての情報交換の場
2-81	串木野市	29	女	最近、高齢者対策に重点がおかれているので新しい市になったら子供達の対策を充実させてほしい。今までは串木野市に専門の小児科がない等という意見も多く聞かれたが、これからは、医療機関も整備されたり等、今までの人口規模では実現できなかった部分の充実も期待したいし、学童保育、障害児療育、育児サークルなど子供達が健やかに過ごすための施設や事業、行事などが身近に手軽に安心して利用できるようなと思う。
2-82	串木野市	35	男	合併して一番大切なのは、"住みよいまち"になる事だとも思います。今まで各市町村で開催されていた祭り事や各地区公民館で実施されていた行事等も統一して行うべきだとも思います。現在は昔と違い、交通や通信その他の面でかなり発展してきているので、昔のままの考えではよくない面もあります。住民みんなが明るく、楽しく、住みよいまちになる事をめざして新市になる事を望みます。

2-92	串木野市	45	男	新市として、新たな行事(イベント)が創設されるであろうが、これまでの市民体育大会、市文化祭、各種イベント等は、地域活性化の意味からも継続していくべきと考える。
2-110	串木野市	55	男	周辺部では更に高齢化、少子化、過疎化が進むことが懸念される。特色ある教育や生涯学習を進め、そこで生活する者が夢を持てるような施策が必要である。若者や女性の発想を生かしたまちづくりを進める。
3-2	樋脇町	35	女	合併する色々なまちを批判するのではなく、いろいろなまちのよいところ、伝統文化をあたたかいまちとして子供達がよく理解できるよう交流を深める。芸術的な講演等に子供達が触れる機会を増やしてほしい。
3-4	樋脇町	54	男	子供達に世界共通語である英語の習得機会を日常的に与える制度はないか。子供達は日本語と英語は必ず話せるようになってほしい。
3-15	樋脇町	26	女	各市町村において育まれてきたものについては(文化や各種活動)新市の貴重な財産として守り、行政と住民間の理解と納得のより発展できる“まちづくり”をかかげ、行政と住民の新たな活力の場となるように
3-28	樋脇町	46	男	将来の国際化、国際交流に順応する人々を育成するために英語、韓国語、中国語ぐらゐを話せる幼稚園、小学校からの外国語教育を導入すること。川西薩地域から芸能スポーツ政界等、有名人、著名人を排出するための青少年期の総合的な教育施設の充実
3-36	樋脇町	56	男	温泉保養基地、食糧供給基地として位置づけ 「しま、おか、みなと、みずうみ」それぞれが特徴特色を生かせる政策の推進 教育環境の整備(施設・整備の拡充)
3-39	樋脇町	31	女	子供達の人数が減ってきているが、今ある学校は残してほしい。区域にこだわらず行きたい学校を子供達が選べるようにしてほしい。
3-48	樋脇町	53	男	各町に有する地域資源を活用した新市づくりをしてほしい。
3-64	樋脇町	37	男	地域づくりはまず人づくりから。教育の充実と人材育成。そこから全てが始まる。都市部、農村部にも人材が育つことでそれぞれの地域が活性化する。そのため、小規模校であってもコストはかかると思うが、残し、教育の充実を図るべきである。また、学校は地域のコミュニティーの役割も果たすため、ぜひ残し、新しい市であればこそ活力に満ちた地域づくりをお願いしたい。
3-71	樋脇町	28	女	ひとつの町にとどまらず、合併した時、各市町村の学校の交流を活発にしてほしい。
3-84	樋脇町	20	女	通学する小中学校を自由に選択できるようにする。若い夫婦のための育児相談や育児教室を開設する。他いろいろ
4-1	入来町	55	男	各市町村の歴史を大切にしてほしい。遺跡・遺物が各市町村にそれぞれ残っています。保存と観光資源としての活用・整備すると共に、全国への情報発信をしてほしい。
5-1	東郷町	27	女	昨年まで子供の家があり、幼稚園、小学校の帰りに寄ることが出来、子供達もまた人間関係が広がったり、保護者も安心できたと思います。現在も子育て支援センターがありますが、園や学校の帰りに寄ることが出来る施設があったらどうでしょうか。部活帰りなどで、遅く帰る子たちのためにももう少し街灯を増やす必要はないでしょうか。
5-5	東郷町	46	女	あまりにも大きな市になり、東郷町など特に切り捨てられる面があるのではと心配します。予算等削減されるとこの行事もあの行事もあの活動もと。また、将来高齢化が進むとお年寄りが元気で生活できる町づくり。(これは医療費、福祉の問題ともつながると思いますが)病気になるようにする体、そのための教室や講座、定年後の方々元気であればその方々から子供達に教えてもらう面も多いのでは？
6-2	祁答院町	55	男	夏、冬休み等に学校間のスポーツの交流等を企画していく。(メダカの学校や海山川の交流、都市と農村の交流等)
6-5	祁答院町	39	男	既存の国際交流を発展させ、将来を担う子供達の人材育成を強化してほしい。新市の範囲が広範囲にわたるため、最新のIT技術を率先して導入し、地域イントラネット等導入し、地域情報化のまちづくりをしてほしい。開通予定の新幹線や空港へのアクセスも良いことから、県外からは観光、グリーンツーリズム等人の交流で賑わうまち。県都鹿児島市と対抗出来る拠点都市の形成を目指してほしい。
6-11	祁答院町	24	女	生涯学習講座を充実させてほしい
6-12	祁答院町	46	男	子供達が自分の子供達に教えられるような遊び等または家の手伝い(今の子供は家の中でのゲーム等が多い)

6-19	祁答院町	60	男	安心して子どもを育て、女性も働き続けられる施設や制度の整備・充実。・企業内保育所の充実。・保育所と医療施設や老人施設の併設。(お年寄りが赤ちゃんや幼児の世話ができるような施設)・小、中学生が放課後や土、日に安心して過ごせる施設。・小、中、高校生が地域の伝統文化、芸能等を楽しく学べるような施設とそれらを教える人材の確保、育成。
7-4	里村	46	男	子供は地域の宝である。 合併による異動で小中学校の存続が困難になってはこまる。(職員の地域間交流があってもいいのかも) 新市の将来を見据えて、子供同志の地域間交流を今以上に多くして欲しい。(同じ市民である認識をたかめるため)
7-11	里村	56	男	自然豊かな環境を子どもたちに残していくには、学校教育の内に野外教育の場を設けて、島特有の自然、環境を実感させてほしい。
8-3	上甑村	62	男	・稚魚の放流とアワビ養殖や水産加工品の製造等水産振興対策 ・スポーツ、レクリエーション施設、集会施設の改修 ・アイランドセラピーによる健康づくりの推進(すのさき荘改修温泉化) ・生涯安心して住める地域づくり(高齢者生活福祉センター等温泉施設の整備) ・海岸への流木、竹、ごみ等の処理施策 ・保育園(又は保育所)図書館や集合施策等複合少子化交流施設の整備
8-5	上甑村	33	男	保育園設置
8-7	上甑村	35	男	鹿島村でおこなっている「うみねこ留学」のように、都会に住んでいても子供を豊かな自然の中で育てたいと考えている親御さんも多いのではないかと思います。学区にとらわれず、島外からの小中学生を島にうけいれる制度を、もっと拡充してはどうか。また、休耕地も多くみられるが、それをもっと有効に利用できる方法はないかと考える。
8-13	上甑村	53	男	島には高校がなく、現在は川内市、串木野市、鹿児島等どこでも受験できているが、合併したとき鹿児島市などを受験できなくなってしまうようにしてほしい。
8-14	上甑村	47	男	・海産物の販路の提供等 ・小中学校の現状維持 ・公営住宅の整備(過疎対策) ・企業誘致(工場等)
8-16	上甑村	32	男	本村は、中学校までしかないため、高等学校等進学に対し本土への進学をよぎなくされている。 学区制は現在はないが、本土校との比較をした場合、現在の学区制をそのまま尊重してほしい。
9-2	下甑村	52	男	向学心のある、離島の子女にあってはその教育や生活について支援あるべし。
9-6	下甑村	27	男	地域の特性を生かした補助制度の創設(甑島に新たに定住し漁業に就業する方を対象にした助成制度など) 各地区の小中学校の留学制度に対する補助(里親・留学生の親・両方の負担を軽減し、交流が盛んになって地域が活性化してほしい)
9-7	下甑村	38	男	・世界に通用する子どもの育成を図るため、強制的な留学制度を創設する(補助対象) ・独自の貿易が出来る様に、港の整備、法の制度を確立する ・各地区の伝統を継承しつつも、新しい文化を創造する。
11-7	川内地区消防組合	45	男	様々な音楽、能楽等もっと情操教育に力を入れてもらい、子どもたちの完成を高めて欲しいと感じます。
11-16	川内地区消防組合	37	男	地域活性化や市民、子どもたちの情操教育のため、音楽や踊りなどの文化事業のバックアップを強化して欲しい。 そのためには、仙台支社近隣町村で文化活動をしている個人や団体がもっと市民会館の公共施設を利用しやすいように、使用料金の引き下げや駐車場の増設、交通機関の充実等を図ってほしい。

11-19	川内地区消防組合			<p>教育行政合理化への反対論</p> <p>日本の教育の原点である人格を育てるためには、大人の合理主義こそが最大の妨げであると思う。今の日本の教育現場で素晴らしい教育が実践されているのはほとんど小規模校であると思う。できるだけ今の環境を守り不必要な合理化は避けてほしい。 離島観光道路の整備と航路等の充実</p> <p>上甕島・下甕島を1本の観光道路で結び島の利便性を高めると共に、観光振興力を注いでほしい。(現在の県道では不十分であり、船でしか行き来できない不便さもある。</p>
11-20	川内地区消防組合	26	男	環境の改善と歴史にふれあえる施設の建設(テーマパークのようなもの)
11-26	川内地区消防組合	27	男	子どもたちのためにテーマパーク及び、イベント会場等ができればありがたいと思います。
11-27	川内地区消防組合	23	男	県下でも自慢できるようなテーマパークの開設と運営
11-36	川内地区消防組合	37	男	<p>地域活性化や市民、子どもたちの情操教育のため、音楽や踊りなどの文化事業のバックアップを強化してほしい。</p> <p>そのためには、川内市内や近隣町村で文化活動をしている個人や団体ももっと市民会館等の公共施設を利用しやすいように、使用料金の引き下げや駐車場の増設、交通機関の充実等を計ってほしい。</p>
11-39	川内地区消防組合	47	男	<p>プロ野球選手が同時に2名も誕生した。野球選手にとっても夢の広がる話だと思う。これから野球をやりたいと思う小学生も増えると思われる。</p> <p>本市はバスケットやサッカーも盛んで施設は整っていると思うが、こと少年野球に関しては試合用の会場がない。県内外から練習試合や公式戦で訪れる小学生たちや保護者も多い。大会の場合、川内市に宿泊することも多々ある。指導者たちも子どもたちのために一生懸命頑張っている。川内市の活性化、子どもたちの健全な心身の発達のためにも、ぜひ少年野球用の球場を造ってもらいたい。</p>
11-43	川内地区消防組合	52	男	<p>中郷町の上池を中心に文化構想があると聞きましたが新幹線が開通し、運動公園下のトンネルを抜けたら“ここが川内”とすぐわかる物(例えば五重塔)等を作成してもらいたい。また、各種大会が運動公園町で行われたとき家族が訪れると思うが、近くの上池付近と整備したら家族も楽しめるのではないかと</p> <p>川内には市内を一望できる寺山公園があるが、天辰あたりからロープウェイ等を設置したら寺山自体も人がもっと集まるのでは</p>
11-53	川内地区消防組合	47	男	スポーツ施設及び環境の整備を助成してほしい
11-74	川内地区消防組合	38	男	総合運動公園を上池、下池まで広げて散歩やいろいろなイベントのできる芝生を植えるなりして、運動公園を池を利用した公園にしたらどうですか。又、プールも屋内屋外を作り遊べる施設も一緒に設置したらどうですか。川内川河川敷に木を植えたり、花を植えたりして公園として活用できないでしょうか。
11-87	川内地区消防組合	22	男	子どもたちの養育費を安くする(保育料)
11-89	川内地区消防組合	29	男	少子化が進む昨今より多くの子どもの出生が得られるよう一定以上の子どもを受けた家庭には補助をする
11-93	川内地区消防組合	40	男	<p>川内からプロ野球の選手も生まれ川薩地区においてもミニキャンプ等ができる。将来的には川内ドームができたらいと思う。</p> <p>又、新幹線も福岡ー鹿児島間が1時間20分前後と九州間が近くなるので、それらを見越した集客施設をどんどん作ってもらいたい。</p>
13-3	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	45	男	総合病院の開設。専門、総合高等学校の増設(学区制の撤廃)公立大学の開設。災害に強い道路の整備。運動公園の整備、増設・改善(ナイター、フェンス etc)

17-1	甌島衛生管理組合	47	男	将来を担っている子ども達のため、管内の小規模校(離島)と大規模校(本土)の交換授業を実施し、教育格差のない教育を実施してほしい。又夏休み期間には、子ども達の交流を活発に行う事。
17-2	甌島衛生管理組合	42	男	地元や他市からの子どもたちが学べる大学を誘致したらどうか。その事もテーマの「活気のあるまち」につながるのでは？
17-4	甌島衛生管理組合	41	男	現在、子どもの高校は親にとって多額の負担になっています。そこで、島内の子どもの為の寮を寮費も補助するかたちで、作っていただければ親の負担も軽減します。
17-5	甌島衛生管理組合	46	男	島の子どもの高校は、親にとって、多額の負担になっています。そこで島内の子どもの為の寮を、寮費も補助するねがいで、作っていただければ、親の負担も軽減します。おねがいします。
18-3	上甌島バス企業団	38	男	現在、甌島は高校進学にあたり、鹿児島市内はもとより広い範囲に受験できるが、このシステムは必ず残してほしいと思う。色々な可能性をひめた子どもたちが自分の力をためし、学ぶ場を選べる状況を作ってやるために。
18-5	上甌島バス企業団	28	男	甌島は陸から離れており何かと交流がない。年々子供たちの人数も減少し、子供たちにとっては、特に情報が少ない。「少年の船」というものもありますが、他の少年団(スポーツ)などなど、子供たちにとってふれ合う場を作ってほしいです。
18-6	上甌島バス企業団	40	男	合併することでどうしても小規模なところの意見等が難しくなってくるのが考えられる、どの村、町でも高齢化が進む一方活気ある町になるには若者が増えることが、重点となってくるのではないだろうか。といっても島にしてみれば若者が帰って来ようにも働くところがないのが現状である。20年前とは違い海で働く人は少なく公共事業も厳しくなってきた。田舎育ちのものにとって生活するためとはいっても自然が壊れていくのは、僥倖がたい。これからますます高齢化が進むと考えられる。合併することで、若者が町へ出ていくことになるのではと心配する。人間が生活するためには、年齢的なバランスというものが必要ではないだろうか。何とか良い職場ができることを期待する。合併することで何もかも変わってくるとは思うが、各地区の伝統文化を考えてもらいたい。そして、生活の安定こそが、幸せであり、子供の成長のためにでもなると考える。人々が合併したことで、生活が安定し合併して良かったという声が聞けることを期待する。

教育文化(テーマ :テーマ ~ 欄で記入できなかった事柄等をご記入ください。)

	市町村名	年齢	性別	提言
1-104	川内市	41	男	産業振興による経済基盤の充実。少数集落でも安心して暮らせるまちづくりの推進(コミュニティの推進)。住民の声が反映される施策の推進 外に目を向けた施策の展開(国際交流、国際貿易の推進)。福祉・医療体制が充実したまちづくりの推進 障害者(弱者)に優しく、障害者がいきいきと暮らせるまちづくりの推進 学校教育環境や生涯学習環境が整備されたまちづくりの推進
7-1	里村	48	女	「新市」という大きな型の中で、我々里村は、海を越えた住民レベルの交流の機会をふやしていくべきである。合併しても町や村々が、それぞれの個性を自覚し、尊重し合えるように。 里村は、今まで大切に守ってきた、習慣、風習、祭り、行事を伝統として、「新市」へアピールし、交流し合う。人々の往来も多くなるのでは…。そして、豊かな自然と、その産物を「新市」の市場の中で、活かしたらー。そうすれば「新市」の中でも、重要なもしかして貴重な観光スポットとなるのではないだろうか。
11-23	川内地区消防組合	39	男	少子化について問題が解決できるまちづくり 3人以上には補助金、私立幼稚園・市立幼稚園・町立幼稚園の月額差をなくす 小児医療の金額補助 子どもたちが集まるイベント作り 鹿児島市の動向にとらわれることなく、独自の考えを常に持ってほしい。川内駅を中心にしたまちづくりをしてほしい。現在の市・町境に区画を作り、境のないまち作りをしてほしい。防災面で穴のない体制作りを目指してほしい。3次救急医療の体制作り

そ の 他

その他(テーマ :新しい市が誕生したときに、「自慢したい」、「残したい」、「伸ばしたい」、「くふうしたい」ものは？(政策、住民の取り組み、場所、祭り等々))

	市町村名	年齢	性別	提言
1-2	川内市	41	男	自然景観(川内市の清らかさをいつまでも)(冠岳や甕島の池群、トンボ口など、海岸線の美しさをいつまでも西方、唐浜、鹿浜/土川から羽島の海岸線、吹上浜砂丘の一部である串木野の海岸) 新幹線の新駅である川内駅を有効活用して交流人口の増大とお金のおちる街にする。
1-3	川内市	41		海岸線、この頃少々汚くなっていますが、海水浴前等、地域をあげて清掃を実施するなど、いろいろ苦情はあると思いますが、青い海岸線を守るため行っている、残したい、自慢したい事のひとつです。
1-6	川内市	28	女	誰が何ってたって、「男女共同参画政策」です。
1-9	川内市	30	男	川内(せんだい)という言葉、市の名称はかわってもどこかに残ってほしい。花火大会、大綱引きなど。
1-10	川内市	31	男	川内市としては、川内大綱引き、今3000人くらいでやっているが、5000人くらいで引き合えば、まだ盛り上がるのではないか。こういう祭の時に、もっと地元の特産品を売り出すとか、いろいろなPRをする工夫ができるのではないか。あと、寺山から見える風景(雲海)や、西方から見える東シナ海、こういう風景はよそではなかなか見ることができない。工夫次第で観光客も呼べると思う。
1-14	川内市	29	女	川内川花火大会と川内大綱引き等は自慢できるものなので、是非残して欲しいと思う。女性政策は、合併する他の市町村にひけをとらないと思っている。(県内トップクラス!)他の市町村のレベルアップを図りたい。
1-15	川内市			希少価値のあるもの"場所"等々の活用
1-17	川内市	51	男	地域(校区・公民館等)の自治の範囲を拡大する仕組み。地域に密着した事業(道路河川維持、農村水産小規模事業等、高齢者等福祉事業等)は、地域住民が自ら係る仕組み(財源、事業手段)を創設する。
1-18	川内市	51	男	県管理二級河川 湯田川水系の水循環の社会実験 小規模水系であるため、水循環の再生、保全の取り組みが実験に適す。
1-19	川内市	51	男	広大な過疎の発見 取り残される不安は、過疎がさらに広大となることを住民が発見することで解消される。どこも一緒だという発見による安心。
1-20	川内市	39	男	祭りイベント等は、補助金の有る無しに関係なく、一大行事的なものを残し、動員をかけるようなもの、単純に例年実施するから続ける様なものなどは廃止していくべきである。
1-43	川内市	39	男	西方の海岸線及び海に関するもの、自然 別々の町、市がひとつになるので、道路標識や道路そのものを工夫してそれぞれわかりやすくする必要があるのでないだろうか。
1-52	川内市	26	女	これからの高齢化社会を考えると、生涯学習は「生きがいづくり」という観点で、とても重要になっていくと思う。様々な生涯学習の紹介やボランティアの紹介など、総合的な学習情報提供及び相談を行える生涯学習センターを作り、活気のあるまちにしたい。
1-62	川内市	51	男	地域自治の主催者、主催団体の育成
1-66	川内市	58	男	大綱引きとはんや祭りは市民の手作りで...工夫したい 温泉地を利用した観光地、観光農園(清水ヶ丘・湯田西方地区)...伸ばしたいこと 離島の甕島まで同市であること。(自慢したいこと) 川内川花火大会と広い河川敷は残したい。
1-67	川内市	36	女	住民の声(意見)を反映できる組織があればよいと思う。
1-68	川内市	39	男	スポーツ振興のまちとして、伸ばしてもらいたい。「樋脇・串木野・川内」などスポーツが盛んで実力的にもしっかりしている。

1-73	川内市	53	男	古い歴史と豊かな自然。港を活用すること。今後は、自治体独自の環境を活かした施策。
1-77	川内市	46	男	合併する各市町村の文化と伝統は守りつつ、新しい伝統文化をつくっていく。また、そんな自由な意見が市民の中から生まれる風土づくりに取り組んでいただきたい。
1-80	川内市	33	女	川内大綱引き(残してほしい) はんや祭りはいらぬ。したとしても、周辺市町村の同じような祭りや合体した方がいいですね。
1-85	川内市	28	男	花火大会やテーマパークをもっともっと考えていってほしい。
1-89	川内市	25	男	いずれ新幹線や高速道路が整備されるので、鹿児島市への通勤圏内に入ると思う。だから、人がたくさん集まってくるような町にした方がいい。
1-91	川内市	26	男	川内川や花火大会が有名なので、その辺をもっといい風にして伸ばしてもらいたい。
1-94	川内市	30	女	花火大会、大綱引き。もっと福祉や教育に重点を置いたまちづくり。
1-98	川内市	40	男	川内川や東シナ海の自然。自然を生かした産業をおこしていくこと。海や川を生かしたり、温泉を生かしたりした地域づくり。公共の温泉施設などがあるといい。
1-104	川内市	41	男	九州新幹線開業に合わせた川内駅周辺整備。旧市町村の地域特性を活かした川内駅周辺整備 地域コミュニティが充実し、安心して暮らせるまちづくりの推進。豊かな自然と文化を活かした地域振興策の推進。北薩の中心としての生活基盤の整備
1-105	川内市	48	男	川内大綱引き・花火大会は自慢したい。各地の史跡や郷土芸能は残したい。くるくるバスや単一料金バスを関係市町村まで拡大する。また、山村留学の範囲を広げ、過疎の町村に拡大する。市町村職員の移動も段階的に支所等に増やし、住民との相互理解と住民との親睦を深めていくことが大切であるとする。
2-2	串木野市	33	男	これについては、政策等必要ではなく逆に「自慢したくない」「残したくない」等のいらぬものを上げた方がいいのでは？
2-6	串木野市	26	男	若者の集まる場所をつくってほしい。
2-7	串木野市	38	男	各地域の祭事(太郎太郎祭など) さのさ祭りと川内大綱引きを合併して都市の大きな祭りにしたい。
2-10	串木野市	50代	男	合併前の市町村で恒例となっていた大きな催しの開催を広く新市の住民に広報周知し、各地からシャトルバスを運行するなどして、多くの新市民の参加、見物を得た上でアンケートを取り、長い目で新市の行事として残すかどうかの判断に新市民の総意で決めれば良い。
2-100	串木野市	31	男	浜競馬、冠岳山市、ちかえて祭りは、串木野の特色がよく出ており残してほしい。また照島から羽島にかけての海岸線は特に美しい。クリーン作戦などは是非続けてほしい。
2-104	串木野市	44	男	川内、串木野、甕島が海に面しており、海産物、水産資源、新鮮な魚介類の供給基地・食べられる場所として伸びてほしい。原発のイメージが強いので、環境面(ゴミの分別・省電力・下水道等)の整備促進を図り、地域のイメージアップを望む。
2-106	串木野市	50	男	現在川内市の大綱引きをメインイベントとしてやり各市町村でも前夜祭的に開催する。冠岳の史跡、歴史を残す。薬草園をつくり、薬草料理をたべさせる所をつくり観光会社を結び昼食をとらすようにする。又、薬草園は地元の人を雇う。園の中に小さくてよいので資料館をつくる。
2-107	串木野市	50	男	串木野市の近海は魚の宝庫である。人情豊かな地域 大きな市になっても過疎地の人々が安心して暮らせるよう、公民館活動を工夫したいものである。串木野という名を残したい。
2-113	串木野市	39	男	住民参加による政策の展開(出資、事業参画)を図り、住民の意識改革を行う。政策を行うに当たり、住民の出資とアイデアを募り、運営組織への自主的な参加と組織づくりを行う。(株式会社等) そうすることで、行政及び政策と住民との関わり方も新しい方向へと転換する。(住民も政策へ必然的に参加する)政策の展開について、自発的な広がりや提言が望める。

2-114	串木野市	30	男	冠岳については、串木野市において自然の里づくりとして事業進めており、ハナハナ所巡りなどと合わせ、歴史のある観光スポットを目指すものであるが、あの一体だけでなく川内側のレストラン等樋脇の温泉宿泊ゾーンや冠岳をとりかこむ地域を結ぶ交通施策を充実させて、広範囲の観光地づくりを目指す。スポーツ国際交流員招致事業により、広まっている気功をより根付かせ、継続させるため、多数の指導者を養成し、音楽も防災無線で流し、ラジオ体操のような形をとる。また、小中学生の夏季のラジオ体操についても気功を加える。最近の「まぐろラーメン」「まぐろ餃子」は、「まぐろのまち串木野」のイメージと、市民生活の実態との隙間を埋めるものとして大きな役割をもつものになり話題も集めている。このような昔から根付いている資源、イメージを大切に、工夫することで合併後も特色のある地域として生きてくる。「まぐろラーメン」については、麺を扱う店舗に限られたため、まぐろ村等まぐろを常時食べられるような店舗の広がりをつくりたい。
2-116	串木野市	37	男	伝統行事・祭りはそれぞれの市町村で行われており、それがあると春がきたとか風物詩となっている。少子高齢化が進んでいく中、後継者育成、存続が懸念されるので、それぞれの地域での活動への補助や一同に会しての発表の場を設ける等、地域住民の交流を行うことにより、ここに住んで良かった、これからも住み続けたいというようになるのではと思う。
2-117	串木野市	42	男	エネルギー供給基地としての役割 中国東南アジアに最も近い地自体 豊かな海産物、温泉、川内川
2-119	串木野市	53	男	また、工夫したいこととして、新しい市が誕生したときは、市内の人と人との交流を活発化し、交流連帯による協調意識形成を早急に高めて行く必要があり、これへの対応の一つの例として、市内各地域での祭りなどのイベント等において、それぞれの地域からの大型バス数台を利用して、多人数の招待を行って交流など工夫してみたらどうでしょう。自慢したいことは「大型商業港を2箇所備えた町」ということである。これは、中国沿岸都市と今後益々発展して行くであろう交易の拠点都市として、地理的条件と共に優れた条件下にあるということである。
2-120	串木野市	30	男	海を生かした町づくり 鹿児島市内より大きい水族館 自然エネルギーを利用した町づくり 電力会社の設立
2-122	串木野市	45	男	イメージとして、薩摩半島で中国・東南アジアに開かれた市であり、これからの将来性を感じられるところ。「しま・みなと・おか」の三拍子揃った自然が自慢のまちで、その3つの味が楽しめる町。交通が高速道路・新幹線・鹿児島本線・長崎航路・上海航路などが利用できて、空港にも至近の交通要衝の町。こういうところを自慢したいし、伸ばしたい。
2-123	串木野市	30	男	海岸線の美しさは自慢できる。特に土川から唐浜へと続く海岸線は海の色、景色ともすばらしいと思う。後世に残すべきものとして、行政の認識が必要かと思う。
2-125	串木野市	33	男	人が集まれば、自然と勢いが出てくるものだと思います。定住者・夜間人口だけでもよいと思う。例えば、都市近郊のベッドタウンと呼ばれる町でも自然と町に活気がでてくると思う。住宅事情の向上が第1だと思います。私自身電車通勤の経験がありますが、その当時は会社のある町と住居のある町がどんなに離れても駅の近くに住めればよいと感じていました。安価で民間賃貸の住宅の整備促進、入居制限のない公営住宅の整備促進インフラの整備促進を図ってほしいです。余暇、レジャー施設は町の活力につられて民間の活力でできてくるのが当たり前であってほしいです。
2-127	串木野市	39	男	「自慢したい」...豊富な水産資源、近海の水産物、遠洋のマグロ 「残したい」...串木野浜競馬、海水浴場 「伸ばしたい」...地元雇用、ゴミ分別収集、海洋レジャー(魚釣り等) 「工夫したい」...住民サービス、職員採用 市外からの採用重視
2-130	串木野市	35	男	行政主導型の政策ではなく、住民主導型、市民先導型の政策、イベントを行ってほしい(補助金があるから実行するイベント事業ではないこと)
2-131	串木野市	31	男	「自慢したい」...? 「交通の便(鉄道・新幹線の)」? 「残したい」...旧市町村の名前、地区の名前 「伸ばしたい」...人口 「くふうしたい」...面積が広くなりすぎるので、それにふさわしい行政(対応できる)
2-133	串木野市	49	男	大型新港を活用した外国との交流、貿易を伸ばす方向へ
2-14	串木野市	26	男	串木野市の都市像である「活力あふれる豊かな都市づくり」は、合併後も同じ目標で残してほしい。
2-140	串木野市	33	男	自然との調和を基本にした町づくり政策
2-141	串木野市	34	男	串木野新港の活用、川内港が開発指定を受けているが、合併後串木野新港も開発指定とならないか、南九州西回り自動車道の整備に伴い、コンテナ等の輸送に時間短縮が回れ、鹿児島市の港に揚げるよりも効率がよくなることが考えられる。またそれに伴うポートセールスも必要。

2-144	串木野市	48	女	文化的施設や環境を整備したい。都市部でないと開催できないようなコンサート等が地元で開催できたら市民の文化的レベルや関心も向上すると思う。
2-145	串木野市	46	男	福祉政策の後退は、住民の反発が大きいため財政の許す限り、サービスの高い所に合わせてほしい。なお、元気老人政策として、予防を重視して欲しい
2-22	串木野市	55	男	太古の昔から川沿いに人々は集まりそこに集落が形成され、文化は育まれてきたのである。文化・歴史の流れを尊重し合い、県内外の注目を集められる工夫を講じていくべきと考える。
2-24	串木野市	27	男	青年団活動
2-28	串木野市	34	男	薩摩半島西岸部の沿岸部を占める位置にあるので、自然な状態で残すべきは守ってでも未来に残していくことを考えてほしい。
2-31	串木野市	21	男	留学生渡欧の地 明治維新を支え、近代日本の礎を築いた人々が旅だった地、観光資源にするだけでなく、その精神に習い、先駆的取り組みを行える町になればと思う。
2-35	串木野市	32	男	串木野にせっかく温泉施設ができたのだが、もっと若い人も集まる様にフィットネスクラブやトレーニングジム等を設置してみてもいい。[金]よりも、マグロやさつま揚げの知名度があるので、[食]に関する名産はもっとアピール工夫していった方がいい。
2-45	串木野市	52	男	今の市町村名称を何かの形で残してもらいたい。新しい行政がスタートすると本庁と支所との職員の人数配置により部所によっては市民へのサービス低下と新しい職場(市町村)に配置された場合、用地交渉等事業が進まないことになる異動時には十分な検討を。
2-46	串木野市	44	女	串木野さのさの歌が大好きです。さのさ祭りなど残してください。温泉センターなどの大きな設備をつくっていただきたいです。
2-47	串木野市	43	女	他の市町村に負けないような串木野さのさ祭りを自慢したい。さのさが全国に通じるようにPRしたい。東シナ海に広がる照島海岸、長崎鼻の夕日は最高。若い人たちが働きやすく活気あふれ、未来につながる政策が必要と思います。
2-50	串木野市	47	男	住民が生き生きと参画できる市政、施策の立案に努力してほしい。(住民参画制度)地域コミュニティを大事に～河川、海、山の自然環境保全の為に清掃活動 etc を企業も巻き込んだ形で。
2-54	串木野市	26	男	串木野は素晴らしい海岸線があるのに、目玉になる様な海岸線施設がないので、もう少し工夫が欲しい。
2-56	串木野市	39	男	自然の景観(海・海岸線・山・森林・川)を後世に残したい。さのさ祭り、浜競馬等は残すべきものである。現在、各市町村で行われているサービスを新市となった後も従来と変わりなく、さらにはよりよいものとなるようすべきである。
2-61	串木野市	39	男	豊かな自然保護 港湾都市政策の継続
2-65	串木野市	42	女	まぐろラーメン、まぐろ丼。八房、平江、野元、別府で行われている公民館自主活動。介護予防の取り組み リズム体操のつどい
2-67	串木野市	30	男	さのさ祭り、冠嶽祭、れいめい祭。荒川地区での自主的な住民の活動意識 浜競馬
2-73	串木野市	52	男	地域間交流の促進。各市町村において、定めている総合開発計画の達成をめざし、まちづくりに取り組んでほしい。
2-74	串木野市	32	男	串木野市は、他の市町村にない歴史的財産を生かした国際交流を行っているのだから、この分野を今まで以上に、活用した国際交流を活用し、特徴のあるまちづくりを進める。旧市町村には観光資源が数多くあるが、有機的に連携をとるような施策の展開を図る。住民のニーズを明確に把握し、それを実現する。簡単のようであるが、一番難しいことであり、アンケートとかでなく、住民と直接話しができる体制づくりが必要である。自然と市民を勧誘ができ、市民も提案しやすい体制の整備を行う必要がある。そのためには、市職員は、まず地域の実情を把握することが重要である。
2-78	串木野市	54	女	今ある自然に手を入れすぎずに、魅力あるあそびを取り入れ、県外からでもこられるような祭り、年に一度でなく常に利用できてやはり金が市に入るような取り組みをしてほしい。
2-83	串木野市	29	女	自然を残して欲しい。海や山があるから人が集まるような街にして欲しい。

2-85	串木野市	54	男	各地区には、目的・趣旨が同様な祭り・イベント(夏祭り、花火大会、マラソン大会、体育大会、産業祭等)があるが、これらについては見直しをするか工夫する。しかし、各地区には、伝統がありその地区の顔になっている祭・イベント(例えば串木野浜競馬等)があるが、これらの祭・イベントについては、新しい市の顔として更に充実を図る。また、各地区の郷土芸能については保存に努める。川内・串木野の港を生かしての、中国・東南アジア諸国との貿易を進める。串木野は海とともに栄えてきたまちであり、その特性(他の市町にないもの)である。「遠洋まぐる基地」を生かしてまちづくりに努める。
2-89	串木野市	46	男	これまで市全体として取り組んできた重点政策(活力あふれる都市づくり)はしっかりとやりとげてもらいたい。特に総合運動公園。
2-92	串木野市	45	男	特色あるまちづくりとして、地理的に有利な中国を利活用した政策を推進すべき。
2-93	串木野市		女	季節、季節の祭りごと、(地域全体で協力すること)絶対に関係者だけで盛り上がらないでみんなで仲良く!
2-98	串木野市	38	女	海に面しているの、海を活用したレジャーランドを作ってほしい。活用性のないものや必要性のないものは省き作らず、住民の意見を尊重して
2-99	串木野市	46	女	長崎鼻公園を何とか串木野の名所としてもっと開発ができないものでしょうか。
3-10	樋脇町	37	男	スポーツのまちで元気をつけたい
3-11	樋脇町	26	男	他市町村へのホッケーの普及
3-15	樋脇町	26	女	“温泉とホッケーの町”として発展してきた歴史ある町であるから合併後も樋脇の字を残し、“温泉とホッケーの町”として永続できれば。
3-19	樋脇町	25	男	各地域の夏祭りや盆踊り等 ホッケー、サッカー、フットサル等のスポーツ施設等の工夫や温泉を利用したプロチームなどのキャンプ地への工夫など
3-20	樋脇町	25	男	市比野商店街 遊湯館
3-21	樋脇町	28	男	市比野温泉
3-25	樋脇町	36	男	原子力発電所等及び港湾都市としての町づくり
3-26	樋脇町	44	男	各地域の良さを残しながら新しい施策に取り組む方向で進む
3-30	樋脇町	57	女	緊急土地基盤整備作業 スポーツ行事(ホッケー大会、サッカー大会、丸山駅伝大会)各地区の伝統行事
3-31	樋脇町	25	男	温泉をもっとアピールして昔の活気を取り戻したい
3-32	樋脇町	55	男	合併はふるさとの再編成である。旧市町村のもっている人材、文化、産業等の資源を融合し、活用する。(川内市が行っている中国との交流事業の一層の推進、串木野漁港を核とした遠洋漁業、薩摩地域の温泉リゾート、甕島地区のシーサイド活用等)
3-34	樋脇町	23	女	温泉とホッケーのまちという歴史を絶やすことなく残したい。今の市比野温泉は少しさびれているというイメージがある。街路樹等を植えて「もう一度行きたい」と思わせるような景観作りも必要。各市町村で行われている郷土芸能は残しておくべきである。
3-36	樋脇町	56	男	温泉保養基地としての市比野温泉 道の駅「遊湯館」 ホッケー競技
3-37	樋脇町	25	男	温泉、スポーツ
3-40	樋脇町	49	男	地位喜寿明の声が良く生かされる組織体系を考えなくては、自然とそのものは残されるものであると考える。
3-41	樋脇町	35	女	海や山のある自然豊かなまちになるので、その自然を守ることを宣言し、実行していくことが、残したいもの、自慢したいものにつながると思う。
3-42	樋脇町	27	男	温泉のまちとして樋脇町を残してほしい。例えば運動した後、温泉に入れるというようなスポーツと一体化した温泉施設の建設など
3-45	樋脇町	56	男	住民の一体感を高める政策(イベント等) 海と温泉の利用(PR)

3-47	樋脇町	55	男	市比野温泉
3-49	樋脇町	23	男	市比野温泉
3-50	樋脇町	33	女	市比野温泉の町並みをきれいに整備して、古くからある上質の温泉をもっと多くの人に利用してもらえるように
3-51	樋脇町	43	男	市比野温泉 ホッケー、サッカー施設の充実 合宿、大会の呼び込み 四季折々の祭り、イベント
3-53	樋脇町	40	男	市比野温泉を新市の観光保養地として位置づけ、13万都市相応の施設景観整備を進めていく。 ホッケーの全国大会等で活躍できる環境(施設、人材、バックアップ等)の堅持
3-58	樋脇町	22	女	市比野温泉と県内でも数少ないスポーツ・ホッケーをぜひとも残したい。もっと多くの人に知ってもらい利用してもらいたい。
3-59	樋脇町	55	男	丸山自然公園と市比野温泉の活用
3-6	樋脇町	24	男	市比野温泉 田代ニュータウン ホッケー
3-61	樋脇町	49	男	伸ばしたい物として樋脇町丸山公園のサッカー場施設が完成するにあたり、隣接の市町村と一体化とし各試合はもとよりリーグの強化合宿等の誘致等計画し、利用率100%に近づき取り組みをしてほしい。
3-63	樋脇町	22	男	ホッケー、温泉、夏祭り(花火大会)、焼酎
3-65	樋脇町	59	男	川内大綱引き、川内花火大会、自然豊かな蘭牟田池、山で象徴される丸山公園、各地域点在する文化史跡、またスポーツ施設を活かしたイベント、合宿等の誘致に工夫したいものである。住民が交流出来る交流広場、祭り広場等の工夫をしてもらいたい。
3-66	樋脇町	46	男	農業の町であるので地域農業振興に対する担い手、認定農家等への支援は今後も残してもらいたい。
3-67	樋脇町	31	女	現在持っている昔ながらの温泉施設等はそのままだがよい。
3-71	樋脇町	28	女	温泉、ホッケー
3-73	樋脇町	51	男	自然豊かな山、川、海、温泉を活かした観光のまちづくり 市比野温泉 ホッケー
3-74	樋脇町	51	男	合併により樋脇高校、入来高校問題が必至になることが懸念されます。樋脇高校の名前だけは残してほしい。
3-75	樋脇町	58	男	丸山を活かしたイベント等及び郷土芸能、以前の様に実施を要望。市比野温泉の名前は残して欲しい。
3-76	樋脇町	39	男	現在まで築き上げてきた「ホッケーの街」としての取組及び実績の継続。「ホッケーの街」として基盤となっている樋脇高校の入学者の増加対策及び存続
3-8	樋脇町	54	男	農業を地域産業の基幹として位置づけし、農業生産基盤の整備、担い手の育成に努力している。樋脇高校の充実、丸山公園、市比野温泉、スポーツ(ホッケー、サッカー等)連動してイベントの継続強化 *倉野磨崖仏
3-81	樋脇町	40	男	温泉資源の活用、充実 部門ごとの拠点づくり
3-84	樋脇町	20	女	倉野の奴踊り、塔之原1区の花尾染、武士踊り、藤本の椿踊り、野下の鎌踊り、上手の太鼓踊り塔、郷土芸能が廃れていかなないように残していけたら。「温泉とホッケーのまち」をアピールする。自慢したい。
3-9	樋脇町	35	男	海、山、田園、温泉を活用した町づくり(リピーターができる町づくり)
4-1	入来町	55	男	全国で50番目となる入来町の重要伝建地区(来秋:国の選定)と清色城跡(同時期に国指定)は川薩地方一帯を長期間治めた入来院氏の歴史を象徴するものとして、施設整備方に今後力を入れていけば、圏域にとって魅力あるポイントになります。

4-2	入来町		女	残す：入来町の郷土芸能(太鼓踊り等)文化財 伸ばす：山之口のふれあい館もお風呂でなく温泉に(副田温泉場のお客さんが少なくなるから…と聞きますが…)山之口は、ふれあい農園があり、川あり、温泉になると(温泉があるかを聞かれます…)お客さんが増えるのではないのでしょうか？今後のテーマとして…。きんかん狩りが(他でやってないから試しに…1ヶ所だけでも)…あったら？冬は寒いです。ハウスの中は暖かくて…家族連れが喜ぶのでは？きんかんを使って作ったお菓子、きんかんワインが出来る。説明書も加えて…。
4-7	入来町	23	女	少子化が進むのには、共働きの夫婦や、教育費等に費用がかかる為だと思うので、共働きの家庭の為には安心して子どもを預けられる施設の増加が必要だし、子どもがいることで、家計を圧迫するのなら、何らかの助成を増やして負担を軽減してあげられるようにするべきだと思う。
4-9	入来町	46	男	全国的に平成の大合併が進み同規模の自治体が多く存在する中で、金太郎あめ的な旧来のイメージを打破する画期的な新市作りをするため、役所的な手法を極力避ける。(ピラミッド型人事構成からリーダー制導入など)並びに市民の意識改革のため住民参加型の意見集約などを積極的に導入する。
5-2	東郷町	30	女	フルーツの里
5-5	東郷町	46	女	東郷は藤川天神が一番自慢したい場所。天神の梅ということでもっと梅の木を街路樹としてメインとなる物をもっといろんな面で活用していくようにしたらどうでしょうか。
5-6	東郷町	28	男	親水公園、藤川天神、臥竜梅、各市町村ごとのスポーツ団体、梅マラソン。東郷町の果物(いちごも含む)
6-13	祁答院町	47	男	海、山、湖、温泉、川内川、新幹線、港等を活かしたい。(観光、健康づくり、都市農村の交流等に)
6-14	祁答院町	53	男	川内大綱引き、串木野浜競馬等市町村の大きな伝統行事としてあるもの、集落毎等に引き継がれているものについては継続していけるような施策を、花火大会、マラソン大会、産業祭(ふるさと祭)等現在各市町村毎にある同種のイベントについては、特性を生かし2~3ぐらいに集約を。
6-18	祁答院町	48	男	PGA ゴルフツアー開幕戦の継続
6-2	祁答院町	55	男	温泉活用：健康づくりと観光開発を含めたスタンプめぐりにより、新市の再発見を。伝統行事(イベント)を残していく。
6-3	祁答院町	48	男	「農・漁・商」が一体となった新市づくり「地産地消」に力をいれた政策 町民運動会、納涼花火大会を残したい。 蘭牟田池周辺整備、矢立せせらぎの里を整備し市民の憩いの場としての活用
6-6	祁答院町	51	男	各市町の持っている個性、特色を活かし連携した魅力ある都市づくり
7-11	里村	56	男	離島特有の自然、環境、あらゆる面から見て島でしか生息していない野生植物等の保護、特別保護地区等の設置が望ましい。
7-15	里村	32	男	「自慢したい」 県内第2位のスケール 「残したい」 郷土・芸能 「伸ばしたい」 知名度 「くふうしたい」 地域個性・特色
7-2	里村	55	男	東シナ海に面している、中国との交流を今以上に続け拡大してほしい。将来を見据えて、中国語の語学学校や漢方薬等健康関連の交流を始めて、これをこの圏域独特の取り組みに発展させる。
8-3	上甕村	62	男	「こしき大明神マラソン大会」「こしき太鼓」「太鼓ばやし」等の育成と継承 「鹿の子百合」の原産地として残す 真珠養殖港を活用した施策 園芸(パッションフルーツ)生産グループの育成
9-2	下甕村	52	男	中心都市部のみならず遠隔過疎地にも充分配慮された政策を切望する。

9-5	下甌村	30	男	本土と離島という灘を隔てた合併が良くなるも悪くなるもは、住民が安心して暮らせるかが一番の問題である。そのため、本土と離島の間にも少しでも差が出ないように住民の細かい意見を反映、改善できる体制を構築してほしい。
11-6	川内地区消防組合	43	男	川内という地名を残して欲しい
13-1	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	38	男	新港開発、ちかえて祭りのアピール。昔の町並み(レトロ)にして発展していくように。
13-2	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	49	男	現状を把握してなくて何とも言えない。
13-4	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	32	男	「特産品」他の地域から見て代名詞といえる特産品を考える。「祭」地域公民館の祭に地域住民の参加者を増やす為に何か方法はないのか？
4	個別応募：川内市	31	女	自慢したいもの・山、川、海といった豊かな自然・おいしい特産品、癒される温泉・伝統行事、歴史 残したいもの・歴史を感じるもの(遺跡・建物・伝統行事・郷土芸能等)・それぞれの市町村が今持ち合わせている個性 伸ばしたいもの・それぞれの市町村が今持ち合わせている個性をさらに充実・各世代がともに楽しめるイベント・各地の可能性、人々の可能性 くふうしたいもの・各世代がともに楽しめるイベント(小さい子供連れも、若年層も、お年寄りも)またはそれぞれが年代別で楽しめるイベント・住民参加型のイベント・普段の生活で気軽に利用できる公共施設、催し物・各世代それぞれに対応した広い意味でのまちづくり
6	個別応募：川内市	35	男	自慢したいもの・川内大綱引き、川内花火大会 残したいもの・川内大綱引き、川内花火大会 伸ばしたいもの・個性、特色のある街づくり くふうしたいもの・何を造るにしても自然や地域にマッチしたものを造っていけたらよいと思います。
9	個別応募：川内市	4	女	自慢したいもの：古くから、政治・経済、交通の中心地であったこと。残したいもの：各地の地名や伝統・文化 伸ばしたいもの：中国・東南アジアに近いという地理的優位性。工夫したいもの：新市域内の移動距離・移動時間の短縮化。
10	個別応募：川内市	28	男	自慢したいもの：川内川 残したいもの：自然 伸ばしたいもの：都市開発、人口、住宅地 くふうしたいもの：原子力発電所、寺山公園、川内川河川敷

その他(テーマ：「魅力あるまち」「活気のあるまち」「幸せを実感できるまち」にしていくためには、何が大切で、何をしたらよいと思いますか?)

	市町村名	年齢	性別	提言
1-3	川内市	41		世代間交流が身近で行われたら良いのではないのでしょうか？近所で交流ができれば1番良いと思います。忙しい社会に居て、自らが我家の事しか考えられない状況ですが、努力していくべき事だと思います。
1-6	川内市	28	女	新しい顔、新しい声に寛大になることを堂々と言い放てるリーダー(男性)の存在。まずは、新市の部課長の方々に強いリーダーシップを望みます。

1-9	川内市	30	男	住民の声を聞くこと。あくまで行政主体ではなく住民主体で進めていく体制づくりが必要。自分は田舎出身であるが、田舎は近所の方々とふれあい、助け合いが自然にできている。そういった人と人とのふれあいが、大きな市にとっても必要なのでは。少くとも不便であってもいいと思う。自分は、不便だから幸せではないと思わない。
1-10	川内市	31	男	老若男女が同じ目標に向かって、手をとりあって進んでいくイメージがある。今の時代は個人主義すぎる。1人暮らし世帯を減らし、多人数家族を優遇するような施策が必要ではないか。魅力あるまちにするためには、外では手にはいらぬものがあるとか、日本一のものがある。実は、戦国村の鎧かぶとは全国シェアの70%、NHKの大河ドラマでも使われているということが知られていない。もっと自慢していいはずであり、わが市の中の日本一を捜すことが魅力あるまちにつながると思う。活気のあるまちとしては、やはりあいさつ。「新市あいさつ運動」を展開するのもおもしろいかもしれない。幸せを実感できるまちにするためには、自己表現できる場が必要。職場、人、もの、幸せは人によって多様化しているが、自然は誰にとってもいいものではないか。自然な公園の整備など。
1-12	川内市	29	男	住民と行政が一体となり、住民参画の街作り
1-13	川内市	41	男	子供を育てる環境と高齢者が安心して暮らせるまちづくり
1-17	川内市	51	男	地域自治の確立 取り残される不安を抱える市域周辺部の地域について自ら立つための財源、機能を持たせる。小学校区を対象に母体(町民会・PTA・消防・体協等々)の構成員に財(予算)、事業を任す制度を作る。
1-18	川内市	51	男	最上流口 川内高城温泉に浄化事業の導入 中流部 全住宅に浄化槽の導入 減農薬農業の導入 畜産し尿の排水汲取施設の導入 下流部 汽水域の再生保全 水産加工・養殖施設の排水処理施設の導入 取り組み 校区全体で取り組む事業として位置づけ、住民が事業を手がける。
1-19	川内市	51	男	広大な過疎地域で、楽しく暮らす工夫をすすめる。楽しく暮らす過疎地域はいつか楽しい暮らしにあこがれて人も集まる。交流の促進は、まず楽しく暮らす自分をつくることから始まる。
1-20	川内市	39	男	市外からの集客が必要 例えば寺山公園にハーブ園etcの整備をし、市街地等一望できる喫茶室を造れば、若者、カップル等のリピーターが増加するのではないかと。(ハーブティー各種揃え、地元の食材使用し、軽い食事などできたら)
1-22	川内市	48	男	合併後において、市民がお互い平等・公平であると自覚できる政策が必要である。特に近年は、権利は主張するが義務は負わない風潮がある。できるだけ多くの住民に合併に対して一役を担ってもらえるような機会を作ってはどうか。
1-23	川内市	43	男	合併後の条件としては、総人口は増えない。高齢化が進む、過疎化が進むことは確実である。"まちづくり"のイメージとしてプラスではないが、このマイナスイメージを逆手にとった政策、思考が必要となってくる。具体的には、一人でも多くの若者が地元で職を持てるような環境づくりや定年を迎えた世代の知恵、経験を活かせる場の創出等が考えられる。工夫次第では幸せは実感できるものだと思います。
1-26	川内市	45	男	情報公開の促進、住民の自主的なまちづくり事業の展開、その助成事業 住民の行政参画の促進
1-42	川内市	28	男	基本はマンパワーでないかと思えます。(人材!)市民の活動を支援していくための総合的な組織づくり(施設も含めて)が必要だと思えます。また、新市の組織にも様々な人材を広く取り込む仕組みが必要ではないかと思えます。民間の優れた人材を年齢制限など設けず、取りこむことが公務員組織の改善につながり、ひいては、上記設問のとおり目的を追求することができると思えます。
1-46	川内市	52	男	各市町村で今まで取り組んできた特色ある事業、施策については継続の方向で推進すべきです。
1-47	川内市	43	男	合併した市町村が協力しあい、協調していくことが大切である。
1-57	川内市	44	男	文化芸能のみならず、住民が望むコンサート等のイベント 気軽に利用できる活動の場や発表の場を設けることが必要。
1-58	川内市	29	男	住民同士の交流 (例えば、川内の祭りの実行委員会と他市町村のまつりの実行委員会同士飲み方をするなど試みを定期的に行って、より活気のあるものを作り上げていく。)
1-62	川内市	51	男	地域自治の熟練の度合いに応じ、行政の支援を重点化する。熟練している地域には、十分な資金と資材を重点的に配分する。

1-63	川内市	50	男	構成市町村の地域資源を活かし、地域の個性をさらに伸ばすとともに、新市としての一体感を醸成するために次の二つの方策を提言します。広域合併の懸念事項である周辺地域の過疎化、疲弊化を防止するためには、従来の市町村ごとに行われていたまちおこし策をさらに発展させ、他地域との競争意識をもった郷土愛意識をもちあげる必要がある。地域審議会等が組織され地域振興策が審議されるが、地域住民の主体的な地域づくり気運を醸成するために、ソフト事業に係る地域振興基金を設立する。基金の原資は、構成市町村の財政調整基金と減債基金の一定割合とし、その合計額から交付税措置の無い起債残高の保有比率に応じ調整比率を乗じた額を控除した残額を交付するものとする。原則、取り崩し基金とし、5年間で使い切りとするもの。地域住民が知恵を絞り基金の有効活用を図る事で、良い意味での地域ナショナリズムが鼓舞され全市的な地域活性化が期待できる。一方で、新しい市としての一体感を醸成を図るために何をすべきか非常に困難な課題である。まずは、新しい市の名称の下に新しいまちづくりの機運を醸成することも一つの方法として考えられるものの、恐らく旧市町村の目に見えない壁は数十年は取り除かれないのではないかと、古い意識の地域ナショナリズムが温存され地域ごとのセクト意識から抜け出せない懸念がある。従来の地域振興の差とはなんであったのかを考えると、それは経済の格差が主体であり、立派な施設、立派な道路、立派な家並みがあれば、つまり経済力のあるまちは栄えて見えていた。住民が真の幸せを実感できる魅力あるまちにするためには、この繁栄評価基準を縮小し、財政力の差や地域経済振興の束縛から逃れ、資本主義経済の原則の対極にある施策が必要なのではないか。その方策として、「地域通貨の創設」を提案したい。住民が必要とするサービスを貨幣で消費するのではなく、相互扶助、共生の精神でサービスに費やした時間に対する報酬を地域貨幣でやり取りする。かつては、「結い」という交換労務により利益を得ることができた。地域通貨の介在によりいわゆる「結い戻し」の時間価値と相対でない複数のサービスを得ることができる。地域通貨は貯め込むものではなく、流通すればするほど、サービスが循環し、住民の主体性のある真の幸せがもたらされることが期待できる。具体的な例としては、「薩摩結い」といった名称で地域通貨単位のコインを作り、流通範囲を新市の市域に限り流通させ、とりあえずは高齢者に一定額を配布し、老人福祉に関するサービスなどに活用すれば地域通貨を核にしたサービスのネットワークの構築により新市の市民の一体感を醸成に大きな期待が持てると確信します。
1-64	西薩衛生処理組合	52	男	行政面積が広く、また、多岐にわたり様々な事業展開がある中で、総バラ的にあれもこれも政策展開するのは実効性が薄い。よって、旧市町村の特性や生産物を特定して、集中投資する政策展開が必要である。
1-66	川内市	58	男	人口減少が進んでいるので、定住人口の増加は困難と思われるので、交流人口を増加できるまちづくりをめざす。
1-67	川内市	36	女	高齢者の集える場を多くする。(グランドゴルフ、温泉めぐり)ホームページなど様々な意見を交わしあう場をもちいろいろな意見を交換しあって反映していく。
1-69	川内市	53	男	公共図書館の充実 川内駅近くに新しく本館を造り、現図書館(川内、串木野)を分館として残す。又、他の町村の中央公民館の図書館も残し、使送を使って、近くの図書館施設で希望の本が借りられるようにする。移動図書館車についても、川内、串木野の2台の他に2台購入し甕島を含め全域を巡回できる体制とし、図書館サービスの向上を図る。
1-72	川内市	28	男	大きな市になっても充実した近隣住民のコミュニケーション
1-73	川内市	53	男	住民の心を豊かにするコミュニティづくり。地域のコミュニティを豊かにする人づくり、まちづくり。
1-74	川内市	48	男	対等合併方式であるが、川内市が中心となっていき周辺部も合併してよかったといえるように、共存共栄をモットーに施策を。教育、保健、福祉、自治活動の支援を。
1-77	川内市	46	男	地域コミュニティの充実 希薄になってきた公民館活動・PTA活動などの復活を通して心の通い合う公民館自治活動が展開され、人と人との交流が真に始まる社会づくり。
1-78	川内市	33	男	川内だけの集中を避けて、平等に発展できれば、他市町村の事(地理・文化・施設等々)をよく理解していないので広報などを徹底して欲しい。
1-80	川内市	33	女	失業者を減らす政策を考えること。
1-81	川内市	29	男	人口減少が進んでいるので、大企業の誘致や娯楽施設(遊園地、映画館等)寺山から市内に下りるロープウェイ設備、夜景や寺山全体の施設の利用増加に雄大な川内川を見ながら心を癒し、多くの家族等でも来客が期待できるのでは？たのシール全店舗加入し、利用者の特典を上げ駐車場整備と台数確保をして、消費者が来店しやすい状況をつくる。
1-84	川内市	28	男	暴力団追放
1-93	川内市	27	男	各地に温泉があるので、温泉を核とした健康タウン構想を構築して欲しい。例えば、アリーナに郡山町のような健康増進施設をつくれれば、医療費の削減に効果大だと考える。

1-94	川内市	30	女	斬新な政策
1-95	川内市	30	男	川内は小さな単位での地。縁関係を大切にしている為、転勤族等「よその」がなじみにくい。市役所の保補助機関と化している公民館を見直し、もう少し大きな単位の自治組織にして権限と予算面での配慮をして(小学校区から中学校区のような大きなもの)の特色づくりをさせる。住民に全体を見て考える目を養ってもらおう。
1-96	川内市	42	男	あいさつ、まずは市職員から。(これが悪いという印象を受けます。)
1-99	川内市	42	男	人と自然の調和のとれた町づくりに努めてもらいたい。川薩の豊かな自然(山・川・海)を休日家族で楽しめるような環境の保全と公共施設の充実に努めてほしい。
1-100	川内市	34	女	バリアフリーを生かした施設を工夫し、住民の交流を深める。人がたくさん集まるふれあい温泉を作る。(公園も隣接した)
1-102	川内市	36	男	川内港と串木野港の役割分担を明確にし、アジアおよび国内の海の玄関口となるようにする。将来を担う子供達が、郷土に誇りがもてるようにする。(郷土愛の育成)
1-104	川内市	41	男	地域住民が気軽に市街地に行けるようなコミュニティバスの運行。地域コミュニケーションの充実 住民主体による地域振興策の推進。生活基盤(インフラ)の整備(バリアフリー対策の推進等)
1-105	川内市	48	男	人が現在の生活圏を広げなければ、過疎地域はますます拡大する。また、旧市町村のルーツや史跡等を紹介しあい、お互いの文化を理解しあわなければひとつのまちとしての一体感は発生しないと思う。福祉やスポーツなどその地域が力を入れてきた分野がある。その質を落さないようにすることが大切なのではないだろうか。人が各地に出かけるようにすること(イベント等)も活気あるまちにつながるのではないだろうか。
2-2	串木野市	33	男	住民サイドの行政であってほしい、行政側がやって自己満足するのではなく住民の満足度!
2-4	串木野市	29	男	若者が残ることが出来る町。寄って来る町にしてほしい。
2-5	串木野市	47	男	企業を誘致して若者が働けるようにする。人情味が深く、ふれあいや連帯感のある地域づくり。
2-6	串木野市	26	男	中心になる都市をつくる。
2-9	串木野市	40	男	行政がしなければならぬことを明確に市民に示し、民間ができることは民間に業務委託を進めていく。市民ができること、市民として協力していただきたいことをより明確に示す。
2-10	串木野市	50代	男	各地で一村一品運動が起きている。これらを新市の各地域の運動に広げ、お互いに競い合い、良い方法は真似て運動の推進、一村の拡大化に図れば良い。数年前のテレビ番組で、ある田舎の高齢者の人達が数種類の木の葉や小枝を採取し、懐石料理の飾り付けをして出荷しているのを見たことがある。
2-15	串木野市	38	男	若者に魅力的な街づくりを第1とすることが大切。
2-18	串木野市	42	男	国道沿いの活気(活性化)
2-22	串木野市	55	男	従来、各々が取り組んできたテーマ(例えば串木野市の重点施策...5本の柱)をお互いに尊重し合い、時間をかけて精査、調整していくべきと考える。大きな町の自己主張(押しつけ)だけでなく、育んできた、育まれてきた環境・文化・歴史を相互理解し合えてこそ融和が生まれ上記テーマが形成されていくと思う。
2-23	串木野市	53	男	行政の原点は住民であり、またまちづくりを实践するのも住民であることから、住民の声を反映させるべき審議会等を設け、住民参画の行政を推進する必要がある。そして、住民の意識を活性化せる工夫が必要と考える。
2-24	串木野市	27	男	公務員の積極的な地域活動参加
2-25	串木野市	50	男	市町村から検討委員会のモニターを幅広く募集し検討させる。

2-26	串木野市	52	男	新市が一体になるには、構成市町村の状況把握が必要である。JA農協の合併後の対応状況を見ていると、職員数は減らし、直接的に市民とつながりがなくなっていることを思うと必然的にサービスの低下につながる事になる。単に財政的な面だけを考慮すると、同じ道をたどることになるので慎重に対応してほしい。
2-30	串木野市	35	男	地域内が自主的に考え、自主的な活動ができ、地域が一体となるような取り組み(住みよいまち・地域づくりを真剣に考え行動できるようなもの)
2-32	串木野市	44	男	少子化時代に入っているため、未来の子供達にふるさとで働ける環境づくり
2-33	串木野市	31	男	国道3号線沿いや串木野駅周辺にもっと人が集まるような建設や公園をつくるべき。公的施設(図書館・消防署・警察署など)国道沿いにあるべき。
2-38	串木野市	44	男	若い世代(未就学児、小・中学生を持つ親の世代)を聴取し、(アンケート等で)事業をやってほしい。今は行政の一方的な事業や施策で且つ自己満足しているのみで、市民は何一つ満足していない。
2-44	串木野市	53	男	合併により広域化するために、現在以上にきめ細かなサービスを行い、市民ひとりの顔が見える行政を推進する必要がある。
2-45	串木野市	52	男	職員が新しい市になった場合、2市4町3村の現状の把握が必要であり、現地研修など地理的、それぞれの市町村の住民の考え方など、今で...あるまちと考えても、表面だけで新しい計画、アイデアが実施計画とつながらない。合併して行くなかで、2市4町3村の新しい市をつくる前のそれぞれの市町村のすがたを知りたい。
2-47	串木野市	43	女	伝統文化は残し、新しいものは取り入れ、時代に沿った取り組みをする。
2-48	串木野市	59	男	開港による外国との貿易 合併することにより、人口、港数の増加により開港指定が容易で、後進国の豊富な資源輸入により豊かな町づくりに努める。
2-49	串木野市	46	男	今でも趣味やボランティア等、一生懸命がんばっていらっしゃる方がいます。そうした団体や内容の紹介を大きくとりあげて窓口を大きく広げては、あとリーダーの育成を図るべきでは。
2-50	串木野市	47	男	小さいな単位を大切に(公民館単位でまちづくりを考えるような)新しい市の中に一極集中化地域が発生することがないよう。
2-52	串木野市	37	女	多くの市民の声を聞けるようにする。
2-53	串木野市	52	男	住民とのコンセンサスを図ることが最も必要と思われる。
2-54	串木野市	26	男	何か集客できる施設(娯楽・総合運動公園等)の建設が必要であると思う。やはり、学校も週5日制になり、余暇が増えたが、その自由になった時間を有効的に楽しく過ごせる場所がないから。
2-57	串木野市	42	女	高齢者には扶助費等が多く使われているように感じるが、もっと幼児や子供達にも手厚い施策が必要だと思う。若い親が働きやすい環境を作って欲しい。(保育園、幼稚園、託児所、子ども病院)市内のすみずみまで行政の手が行き届くように声が届くように、市役所が身近でなければならない。そのためには、支所や出張所等を均等に置いて欲しい。各種の届や申請(住民が頻繁に利用するもの)を出す役所が住居地から近い所になればいい。商店街をもっと魅力のある通りにして、車を使わなくても出かけられ、帰りの心配もあまり必要ないようバス等の運行も定期的に便を増やして欲しい。
2-59	串木野市	51	男	地域、集落などの大小にかかわらず、住民の声、総意を充分にとりいれた町づくりを提案いたします。
2-60	串木野市	47	男	港湾を活かしたまち、スポーツの盛んなまち
2-63	串木野市	28	男	制度的なものも大切だが、それよりもむしろ人と人とのコミュニケーションを図ることが一番大事なのは、そのためには合併した新市において、元の町同志が離れていてもスポーツや文化活動を通じて盛んに交流を図ることが一番だと思う。
2-65	串木野市	42	女	年をとっても、若くても、健康者でも障害者でもやりがい、生きがいをもっていることが大切。これからは、住民参加でいろんな企画、事業が展開される必要があると思う。
2-67	串木野市	30	男	中心部外の整備を充実させる。支所機能の低下を防ぐ(行政サービスの低下防止) 市民意識の醸成
2-70	串木野市	27	男	住民の意見を主に大切にしていく。

2-71	串木野市	50	男	行政の考えで進めるのも一つの方法であるが、市民、民間のアイデアを提供できるシステムを設ける。合併しても縄張り意識、違業種的感覺が高い。また広範囲になるため、人が集い、語り合える場を設けることがまず大事。例えば、テーマを提言。
2-72	串木野市	28	男	地域の行事等においても、自分たちが子供の頃に比べ、子供達が大分減り、高齢者が多くなっている。「活気のあるまち」をつくるためには、やはり若い人を増やすことであり(定住化政策の促進)、高齢者の方々が「幸せを実感できるまち」にするためには、福祉施策のますますの充実が必要であると思う。
2-75	串木野市	38	女	”若者の力を活用出来る町” 又、若者達が遊べる場所も必要ではないか？集まる＝悪としない場所を作ってほしい
2-77	串木野市	41	女	幸せを実感できるまち、障害を問わず、人間誰もが安心して生活できるまち、どここの学校へも入学できるまち ドリームキャンピィー付近の活気が減ってきているので、商工会議所の方々が中心になって、活気が再びおこる中心街になると魅力もでてくる。串木野駅構内を新しくかえる。待合所も含めて。
2-78	串木野市	54	女	行き届いた政策、中心だけでなく地方にも目を向け若者が活気あふれる町づくりをし、その中で老人も障害児も子供も一緒になり助け合える町づくり
2-79	串木野市	42	女	住民参画によるまちづくり 住民主体による健康づくりの推進
2-83	串木野市	29	女	若い人が街づくりに取り組むこと 市民が元気であること
2-87	串木野市	48	女	今までどおりに、皆さんの協力が必要だと思います。
2-92	串木野市	45	男	住民にとって”魅力””活気””幸せ”を実感できるのは、自分の住んでいる地域での生活環境がどうであるかということに因るものと考え。身近に、公共施設や商業、医療施設等があるということは大切な要因である。そういう意味で、現市役所の機能が地域住民の不利益とならないように十分配慮するべきであろう。
2-106	串木野市	50	男	合併したら市町村住民が交流、行末がないと住民の活気は出てこないのでは、そのために各地区(市町村)に独自の物施設あるいは、イベント等を行うようにする。各地区での特性を生かす。その為にそれぞれの助成を行う。例えば、串木野では港を生かした魚料理を食べさせる店を店主の方にお問い合わせ。その店舗改修費の資金助成として資金借入の利子をお一定助成する。
2-107	串木野市	50	男	まちづくりなどについても、今まで行政主導が多かったが、今後は時間をかけ住民の意見を求め、求めやすいような環境をつくる。地域の特性、特色があるはずがいつのまにか画一化されているように思う。その町々の色があると思うので、地域の方々に自分達のカラーで提言してもらい、それを推し進めるようにする。
2-108	串木野市	44	女	住民が自分のまちを好きになる事が大切。
2-111	串木野市	44	男	行政が全面に出すぎない。国や県の意向にとらわれるのではなく、住民の考えをいかにくみとるか。
2-112	串木野市	30	男	この質問は、今の串木野は「魅力もない」「活気のない」「幸せを実感できない」から新市ではこういうことのない標記のことを目指そうと言われるのでしょうか？僕は充分とは言いませんが、今の串木野で満足しているのですが。
2-114	串木野市	30	男	合併しても、少子高齢化はますます加速していくが、高齢者が生き生きと暮らせることが、下の世代へも波及し、まちを活気づかせると思う。高齢者クラブがあるが、それらに参加しない人達にもそれぞれの特技、経験を小中学校のクラブ活動や総合的な学習の時間等継続性のある形で教え、子供達もパソコン等新しいものを教えることができる体制をつくることで、よりコミュニケーションが深まり、高齢者の生きがいにもつながるのではないかとと思う。
2-116	串木野市	37	男	海、温泉、その他自然を活かしたPRを統一して行う。そこに住んでいる人がまず、活気にあふれ、幸せを実感できないといけない。それぞれの地域住民の意見、考え方を活かしたまちづくりも必要である。
2-118	串木野市	42	男	住民の声が反映されなくなるのではないかと皆心配しているようだ。それをフォローするシステムを。また基本となる地域住民による自治振興活動の推進を安易な補助事業の導入でなく、社会教育の一環として、職員の配置など削減する事なく充実を図る事が最も望まれているのではないだろうか。(他の分野については、行政コスト削減のため、人員の縮小等必要な事と考えるが)

2-122	串木野市	45	男	自分たちの日常生活の身の回りの出来事で楽しい事柄を探すことから始めると、それがほかの人やまちと違うのか同じなのか分けてみる。「海がある。山がある。刺身が食べられる。温泉に入れる。すばらしいことではないでしょうか。」つまり当事者たちが良いものだと思うものこそ、外から見ても魅力があるものだ。活気は人の多さで感じるものです。建物や車がたくさん並んでいても人がいなければ活気はないもので、働く場や活動の場こそ最も必要。また声の大きい元気な人間と、わくわくする環境を作るのが良い。幸せを実感するのは、個人の価値観に依存する部分が大いなので具体的にどんな施策が該当するかは一概には言えない。私としては、日常生活の安定が前提となって、「幸せ」について考えられるので、まず雇用対策が基本条件であり、その次には施設整備ではなくて、交流機会や社会参加の機会や場の提供が行政としてやるべきことと思います。つまりは「幸福感」は、能動的に個人が味わうものと思います。
2-124	串木野市	47	女	いくつかのものが集まるわけですが、ことここが集まって...というのではなく「いっしょくた」ことここが初めてひとつに成る そういう考えであってほしい。そしたら、この地区は住民サービスが良い、悪いという格差は出てこないと思う。
2-126	串木野市	31	女	お年寄りの知恵や技を伝えていく場(ものづくり講座・ふるさとの料理講座等)を設け活躍してもらう。自然を活かす「離れたくない」「帰ってきたい」「また訪れたい」「ここに住みたい」と思える、まちづくり、人づくり。老若男女、広く交流できる場(イベント、空き施設の利用)環境問題へのさらなる取り組み
2-127	串木野市	39	男	地元雇用に対する体制強化(若者が定着できるまちづくり) 諸委員会等への若者(学生、フリーター、無職、主婦等)委員の登用 公立高校を利用した単位制社会人講座の開設(通常授業時間への参加も含め、中途退学者、社会人、定年者等幅広く) 学生数減による高校の統廃合防止運動の一環として。
2-128	串木野市 市民生活課	26	女	地域が広範囲に広がっているため、住民が一体感を持てるようなソフト面での施策が必要だと思う。(住民間の交流等)また、地域の隅々まで公平に住民サービスが行き届くような配慮をしていかなければいけないと思う。
2-130	串木野市	35	男	住民の熱意で住民(市民)発議(合併に限らず)による市(自治体)の盛り上げを行う団体等への補助金の拡大(ヒトモノカネ情報の集約への協力)が出来る自治体であること、また職員を育成すること。
2-131	串木野市	31	男	「活気のあるまち」...20~30代の定住人口を増やす(雇用の確保、鹿児島市のベッタウン化)
2-132	串木野市	32	男	若者が残る様なまちづくり
2-133	串木野市	49	男	冠岳の自然と歴史を生かした観光 若者が夢と希望を持てる町づくり
2-136	串木野市	44	女	住民一人一人が何を望んでいるのかを調べ、お互いいかに話し合い譲り合いして、住みよい町にしてほしい。
2-138	串木野市	29	女	文化的なことが大切
2-142	串木野市	24	男	もっと若い人が住むようなまちにした方がよいと思う。
3-2	樋脇町	35	女	まちの色々な事業を行うにあたり必ず住民の意見を取り入れ、行政だけの考えでなく、住民の意に則した事業を展開する。住民同志で支え合い地域を活性化させるための住民グループを育てる。
3-5	樋脇町	23	女	合併したら住民の声が届きにくくなることやサービスが充分行き届かなくなること等考えられるので住民の声を聞くことが出来るような定期的な住民の方の集まりも必要になるのではないかと思います。
3-8	樋脇町	54	男	今住んでいる人々がその地域において相互交流の深まり、風通しの良い関係をもって心豊かにして暮らせる社会コミュニケーションの充実 汗をかくものが報われ、子育て、老後の生活が安心できる政策の充実 地域に密着した施設整備、民意を大切にすること
3-9	樋脇町	35	男	広く住民に届く行政(中心部のみでなく山間部も)
3-10	樋脇町	37	男	行事を少なくして自分達で考え選び行動できれば本物しか残らないと思う。
3-14	樋脇町	42	男	若者の雇用の場の充実と老後を安心して暮らせるまちづくりの為の政策

3-15	樋脇町	26	女	遠隔地にある人々が行政上の不便を感じることはないよう、サービス水準を高くし様々な技術、事務的發展により、広域行政上の空間距離が問題にならないような“まちづくり”を目指す。
3-16	樋脇町	23	女	住民がひとつになること
3-18	樋脇町	47	男	市がどれだけ地域住民と一緒にやれるかだと思う。
3-22	樋脇町	34	男	ハード事業は極力ひかえてソフト事業を中心に行政を進めることが大切であると思う。例：各種計画策定については公簿等により委員を選定しパブリックコメントが良いと思う。
3-26	樋脇町	44	男	高齢者と若者が交流しあえる環境づくり
3-27	樋脇町	45	男	地域の特性を生かした自主活動を推進するためには自治公民館組織の整理統合はしないでほしい。
3-32	樋脇町	55	男	行政サービスの商業化、多様可否対応できる体制を作ること。合併によって管理的経費の削減等、行政の効率化を図ることによって住民に対する行政サービスの水準の確保につとめる。(役所の機能を高める工夫)
3-34	樋脇町	23	女	広域合併ともなると、まず職員数の減により住民の声が届くにくくなることも必至。また、今の支所もおそらくなくなると考えられる。となるとやはり行政サービスの不充実など地方の住民にとっては不満が絶えないだろう。住民の声が反映しやすい環境をつくり、様々な年齢層の住民が参加できる交流、イベントなどを行い住民同志のつながりを大切に出来るまちになると良いのではないだろうか。
3-35	樋脇町	49	男	民官一体となった各種事業への積極的な取り組み
3-36	樋脇町	56	男	観光と農業をリンクさせた振興策の確立 各般にわたり若きリーダーの育つ環境作り
3-37	樋脇町	25	男	不景気が長引くと治安が悪くなり、住民が安心して暮らせないのでは？ その為にも警察の増員などできないものだろうか？
3-40	樋脇町	49	男	お互いの気持ちを理解しあえる環境作り
3-41	樋脇町	35	女	広域行政になるので中心部から離れた地域からの声を聞き入れられるかが大切。それには役所(本庁)に直接伝えられるホットラインがあれば良い。
3-45	樋脇町	56	男	地域住民の融和政策を図り、新住民の意識統一に努める。
3-46	樋脇町	43	男	大人から子供まで楽しめる交流(スポーツチームの合宿、有名人の招待等)
3-47	樋脇町	55	男	若者が定住し経済的に安定した生活できるまちづくり
3-53	樋脇町	40	男	住民ひとりひとりが新市に誇りを持ち、不満のない新市。すなわち総合的であるが、産業に活力があり、収入が安定している。児童、高齢者等が安心して暮らせ、住環境が整っていることで、いずれが欠けても不満が出てくる。全てが大切。
3-56	樋脇町	53	男	2市4町4村合併が実現した場合、工業地、商業地、住居地、農業地、レジャー観光地等、色分けされると思いますが、それにより新市内での人口移動等も考えられ、新市の開発は進むものと思われますので、合併においては一方では人口が大きく増え、一方では減少するような2極化になることも考えられます。そこで新市においてはこの点も考慮していただければと思います。
3-57	樋脇町	45	男	思いやりのある人間関係を作るための生涯学習の推進 若者の働く場の確保(雇用対策)
3-58	樋脇町	22	女	「活気あるまち」にしていくためには多くの人々が交流することが大切だと思う。子供から大人まで年齢を問わずに利用できる施設やイベント会場、大型デパート等、人と交流出来る場所や空間が必要では？
3-59	樋脇町	55	男	現段階で川内原発の廃止は考えられないため、この原発を活用し、利用することでまちづくりができないのでしょうか。
3-60	樋脇町	30	男	人づくり

3-62	樋脇町	31	男	他の市町村が実践していない特色ある取り組みが必要だと思うが、まず自分達で「まち」を作っていこうとする意思統一も必要だと思う。
3-63	樋脇町	22	男	住民の声が反映されるまちづくり
3-65	樋脇町	59	男	まちづくりの根源となる豊かな人情あふれる人づくりが何よりも大切だと思われる。温泉を利活用した憩いの場、また音楽などたのしめるような文化ホール的な施策で誰でもいつても心をいやすことの出来る場所等があれば、住む人々の活力にもなるのではないかと思う。
3-67	樋脇町	31	女	住民の声を反映させるまちづくり。行政主導権ではなく、住民主導権であるべき。
3-70	樋脇町	25	男	地域格差を生じさせないために広く住民の意見を聞ける取り組みが必要だと思う。住みやすい住宅の増加、安い家賃の住宅やバリアフリー住宅など。
3-71	樋脇町	28	女	合併したとき各市町村の特徴を活かした合併をしてほしい。
3-73	樋脇町	51	男	雇用の安定化と健康で住み良いまちづくり
3-76	樋脇町	39	男	緑(自然)と都市が融合した街づくり 公園の整備 自然を生かした都市計画 100年先を見通した都市計画
3-78	樋脇町	41	男	住民の融和 全市均一的な発展
3-79	樋脇町	34	男	各人の町を思う気持ちが大切。地域の自然を利用し、子供達を育てやすい環境づくりが必要である。
3-81	樋脇町	40	男	人と人の交流(都市型と農村部、旧町と町 など)若者が希望夢の持てる町
3-82	樋脇町	32	女	今まで各市町村で大事にしてきた祭り等大事にしてほしい。また、経済的なことにしても合併して不況になりすぎたり、ならないようにある一定のラインはキチンと決めて欲しい。
3-83	樋脇町	55	女	人々が助け合い協力しあう心で生活し、安心して毎日が過ごせるまちであるように(特にお年寄りの方々、子供達)
3-84	樋脇町	20	女	温泉を観光資源として活用し、年間を通じて人が来るようにする。(施設をつくる) 高齢者、子供のふれあいを大切にする(声かけをする。子供が高齢者の家を訪問する。高齢者が子供に昔の話を聞かせたり、遊びを教えたりする) 鹿児島ブランドに指定されるような農作物(レイシなど)を作る農家を増やす。また、山村留学などで若者を集め、次代の農家を育成する。(移り住んでもらう)
4-1	入来町	55	男	これまで、各市町村が力を入れてきたことで、より予算投入が出来れば、県内外へのアピール効果が大きいものに今後重点投資をするのも1つの考え方ではないかと思えます。
4-2	入来町		女	町花(ひまわり)をピスタパークだけでなく、向山公園や街道から見えるような空地にも咲いていたら・・・(幸運を招く色です)春は、花水木が咲き(花水木に関して問い合わせがあります)夏には、ひまわり、冬はきんかんを・・・それだけでも入来町の魅力ある町につながるのではないのでしょうか？
4-4	入来町	54	男	魅力ある町作りとしては、住民が皆一致して何事も行う場合に協力する事が大事である。
4-7	入来町	23	女	「魅力あるまち」「活気のあるまち」「幸せを実感できるまち」すべてにおいて大切なのは職員一人一人の心構えだと思う。合併することにより、自分の育ったまちから離れる場合もあると思うが、同じ1つの市として、誠意と愛着を持って仕事に対しても、住民の方々に対しても接していくことが必要だと思う。
4-8	入来町	50	女	固執(地域に)することなく、意見を出し合い、人事交流することにより(行政のみならず、企業においても)切磋琢磨することで活気が出るのでは？魅了あるまち、幸せを実感できるまちであるためには生活環境の充実であるので、行政の押しつけではなく住民の意見を(声を)聞く機会を増やす。
4-9	入来町	46	男	何をやるにしても、住民本位の施策でなければ飽きられてしまい、今までと何も変わらない。物に対する豊かさから心の豊かさへ転換する必要もある。(ハード整備からソフト面の充実へ)但し、住民に直接関係する生活道路、下水道整備は必要不可欠な面であり、住んでみて心地よい地域が創造できるのではと思う。雇用の場確保の意味から経済特別区の設置に努力する。

4-10	入来町	36	女	住民の意見を汲み取った、きめ細かな政策が大切だと思う。これから、この地域を担っていく若者(高校生ぐらいから)の考えを、反映した政策が、必要になると思うので、若者の考えは奇抜だからとか実現不可能だからと否定せず、新しい考えを取り入れていく姿勢が重要だと思う。新しい考えを取り入れることで、上記3つのまちづくりが実現するのではないのでしょうか？
5-1	東郷町	27	女	公営住宅はありますが、民間の賃貸住宅が少ないのは東郷町に住みたくても住めない人を増加させ、若い人達とその近辺に住まざるを得ないことに結びつくと思います。企業の誘致を含めて考えてもらえればと思います。
5-3	東郷町	44	男	住民が行政と共に創り上げ、また成し遂げる感動を与えることが大切。特に13万都市をもなれば一人一人の住民が新市の一員と実感してもらうことが大事ではないか。歴史は大切にしたい。郷土芸能など地域が大人、子供一体となって取り組む絶好の場であって、異年齢間の交流をはじめとしてひきつがれていくものである。旧市町村を中心とする支所機能にはこのような特徴があってよいのではないか。
5-4	東郷町	47	男	とにかく旧町村ごとに話し合いをさせてその結果をまとめ、新市に報告し、少しずつでも反映させていくことが大切であるので、そういった村づくり(話し合い)の場に役所の職員も積極的に参加させ、企画や農政等の職員が充分耳を傾け、少なくとも業務の参考にしていく姿勢が重要であると思う。
5-5	東郷町	46	女	大人がもっと町づくりに対して提言しなければならないのでは。行政まかせではなく住民が行政を動かす「自分たちの町づくり」の意識づけ。
5-7	東郷町	48	男	広域なまちになるので一つの市になり、住民が一市民であることを実感して一つの市のために力を合わせるようなまちづくり
6-1	祁答院町	44	男	若者が定住できるための職場の確保。周辺部や交通弱者にも気配りのあるキメ細かい行政サービス。農林水産業と商工業の調和のとれた振興方策
6-2	祁答院町	55	男	高齢者が地域でレクリエーション活動や世代間交流の行える「老人憩いの家」を新設し、ボランティア活動との連携を深めていく。(リーダー育成も含める)自然環境の美しさにより海山川を生かした健康的な活気あるまちづくり
6-3	祁答院町	48	男	異年齢の交流を盛んに行い、若者が高年者を思う心や家族愛を大切に育てる政策 高年者が若年者への愛情ある指導などによる「社会性に富んだ人づくり」が大切である。(隣の人が誰か知らないような社会)「縁側の心*縁側で近所の人とお茶のみ(会話)するような！」
6-5	祁答院町	39	男	都市部と農山漁村部の均衡ある発展及び交流が肝心。産業、商工業、農漁業の一体となったまちづくりを進める。対策として都市部と郡部を結ぶ交通体系の整備、地域通貨の導入、地場産業販売センターの建設等。また民間団体、ボランティア団体、NPO法人等と連携した街づくり及びこれらの人材育成も必要と考える。
6-6	祁答院町	51	男	住民の意見の取り入れ、住民が何を求めているかを把握し、新市のまちづくりに生かす。
6-11	祁答院町	24	女	文化施設の充実
6-17	祁答院町	32	男	各市町村の特色を最大限に生かした町づくりが大切だと思います。それぞれ違った方向で発展させていくべきだと思います。例えば、農業面、商業面、観光面など。
6-18	祁答院町	48	男	コミュニティ等の活用により新市での出来事を知らせる。
6-19	祁答院町	60	男	自然と文化溢れる学園都市づくり。既にある純心大学を活かして、農業や林業、水産業等を学べる産業大学、「原発」をプラスイメージに変える研究施設等を誘致する(新幹線や高速道路等交通アクセスの充実を活用して) 新市の中心部一極集中型のまちではなく、旧町村の特色をのこしてバランスのとれた発展を。
7-1	里村	48	女	高齢化の真っ只中、お年寄りにとって活気のあるスペース、笑顔のある「時間(とき)」を大切にしていってほしい。今、里にある「もやーど」精神を、ずっと大切にしていけば幸せな空間は、すでに作られていると思う。
7-2	里村	55	男	幸せを共有できること。 若者を中心としたまちづくり政策 高齢者に優しい思いやりのあるまちづくり、政策、社会教育、医療保険福祉の充実 若者と高齢者を昔の薩摩風の教育方針で結ぶ。

7-3	里村	52	男	合併前の各市町村への細かい配慮、思いやりがあってこそ新市への信頼度が増し新市がオラの町となり魅力ある町、活気ある町になるかと思います。 小さな事、細かい点の改善等、子ども・若者・高齢者等、それぞれの立場、視点に立ってとにかく話し合いの場を持ち、住民の意見に耳を傾けることだと思います。
7-5	里村	25	男	「合併後住民への福祉サービスが悪くなった。」との意見がでないよう留意すべき
7-11	里村	56	男	大都市に見られない近所等の声かけ、地域がひとつになれる福祉の村づくり
7-13	里村	38	女	人と人との和が一番大切 村外に出ている若い人達に安心して帰って来られるような職場や住宅を作してほしい
7-14	里村	32	男	新しい市の中の一つ一つの小さな地域同士のつながり
8-2	上甑村	49	男	住民主体のまちづくり(行政に頼らず住民自身が自分で考え、行動するまちづくり) 住民リーダーの育成 行政の適正な支援
8-3	上甑村	62	男	「県民自然レクリエーション村」の有効的活用、維持管理体制(周年活用) 地域特産品(魚介類、山菜、草木染)の開発、育成支援策 自然エネルギーの導入(風力、太陽熱) 福祉対策、環境整備、水産業の振興、企業導入による雇用等活力のある地域づくり
8-4	上甑村	60	男	今あるもの(山・海・文化・人の和)をもっと大切に、自分の新しい市の基礎づくりとして、キャッチフレーズのみこだわらず企画していくこと。そうすることで他の地域にない企画が出来てくるのでは。
8-5	上甑村	33	男	若人が働ける環境づくり 高齢者が安心できる環境づくり
8-9	上甑村	29	男	・若い世代を残すために住宅の整備やマリンスポーツ等を行ったりして活気あふれる村作りを行えたら良いと思う。 ・水産高校等を設立し、鹿児島市内からも甑島がどんな所なのか知ってもらえるような事業も良いのでは
8-11	上甑村	43	男	人的・物的な交流がたくさんあるまち
8-16	上甑村	32	男	福祉施策の充実(高齢化が進む中高齢者に対する各種施策等) 地場産業の育成 若者定着(Iターン、Uターン)等若者が定着するような施策 医療施策の充実(小児科等) 保育所等施設等の充実(女性の社会進出にはかかせない)
8-17	上甑村	35	男	機能全てを1ヶ所に集めるのではなく分散してもらいたい。施設等も民間に任せられるものは委託等で一任する(売却も視野に)離島が後回しでなく、公平に扱ってほしい。
8-19	上甑村	44	女	住民ひとりひとりが自分の住むまちの良さをしっかりと見つめ、郷土を愛し、ほこりを持つことが大切
9-2	下甑村	52	男	仕事があること。 経済的合理性に偏重した人員の合理化に反対する
9-4	下甑村	33	女	その場所では体験できないものは残しておかなければいけないと思う！人それぞれ幸せの感じ方は違うし、自分の過ごしやすい場所に移り住んでゆくものだと思う。便利さを追求するあまり、後では作ることでできないものを失わず、その良さを生かしたまちづくりをすることでその地域を愛する人々が集まり、活気・魅力のあるまちづくりができると思う。

9-5	下甌村	30	男	まちづくりとは、地域住民が何を望んでいるのかを把握しながら、要望実現へ努める事であると思う。 新しい市が誕生してもすぐにはどんなまちにすればいいかは分からないのが本音であるため、各市町村が各市町村を知る事から始め、その上でどういうまちにしたいかを検討すべきと思う。
9-7	下甌村	38	男	・新市独自の商品券(貨幣)を流通させ、活性化を図る。 ・海に面している利便性を考え海外との交流を図る ・海洋深層水と温泉をミックスしたセラピーを立ち上げ、人間回帰ゾーンの地域を選定し、福祉の増進を図る
10-2	鹿島村	51	男	活気あるまちづくりは、村民の意識の改革が第1条件であり、個々人の積極的な取り組みが必要であり、行政指導型である鹿島村では、村民との対話をもっとできれば良い。
10-5	鹿島村	41	女	こしがひとつになる藺牟田瀬戸架橋が実現すれば、一体感が生まれ、活気がでてくると思う。
11-9	川内地区消防組合	41	男	協調
11-55	川内地区消防組合	43	男	一昨年だったと思いますが、県の婦人会長が「後進に道を譲る」といって勇退されました。後進に道を譲った人は80歳過ぎ、道を譲られた人は70歳代後半でした。今年、自民党税調は5人程度の長老が権限を握っていることに対し、党の中から反発があると報道されていました。この「長老支配」は身近なところでも見受けられる気がします。長老から見れば50歳代、40歳代は「こにせ」であり、意見もなかなか聞き入れてもらえず、何を言っても無駄とか自分たちには関係ないといった消極的な考え方が生まれる要因でもある気がします。長老が悪いと言っているのではなく、その経験や知識には一目も二目も置くものですが、これは世代交代がスムーズに行かない気がします。そこで、新しい市ではスローガンとして「若者の主導のまちづくり」「あなたが主役のまちづくり」などを掲げ、70歳くらいを境に権限を手放し、後進に道を譲り、長老には大所高所から指導をいただくように働きかけることはできないでしょうか。主体的に自分たちの死のことを将来考えるようになれば、市は活性化し活力に満ちてくると思います。
11-65	川内地区消防組合	49	男	新市民としての認識を住民が持たなくては一体感は生まれません。各種イベントを計画し、住民による実行委員会を設け、実施する等したらどうか。
12-2	西薩衛生処理組合	53	男	環境整備推進による快適環境:ごみ問題と生活排水処理計画は、直接住民に係る問題であり、この課題を住民が認識することもだいじである。現在、それぞれに独自の環境対策の推進を図っていると思われるが、遠隔地を問わず推進を図ることが大事である。(集中地域・遠隔地を問わない環境整備推進)
12-5	西薩衛生処理組合	52	男	若者達が地元に残れる(就業場所の確保)まちづくりと金のかからない遊戯場
12-6	西薩衛生処理組合	46	男	市民と行政の一体化が最優先(官民一体が活力のある町づくりとなる。行政主導では活力が出ないのでは?)にし、市民参加型で納得した方向に進めていくこと(議員の考えがそのまま民意を反映してはない場合もある。)4年に1回位は、民意を聞く機会を設けるべきである。(たとえば、選挙前に市が考える。今後の方向や開発計画その他行政の主なものを、記載配布し選挙時に回収するなど)
12-11	西薩衛生処理組合	35	男	昔のように映画館を作ったり、霧島のみやまコンセルみたいな音楽専用の施設等他市にはないものを作ったらよいかと思う。原子力発電所は、立地給付金が入ってくるが、できれば中止し、他の収入を増やすものを住民よりアンケートを取り進めてほしい。
13-1	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	38	男	住民の意見を一番に官民一体になる事。
13-4	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	32	男	祭や地域・公民館対抗のスポーツ(ソフトボール・バレーボール・駅伝・運動会)に力を入れる為に、賞品や参加賞を豪華にしたり、新しい市長(?)などが一緒に参加したり、工夫するべき。

	合			
13-8	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	28	女	住民が安心して生活できる町にするために、事件・事故がないように心がける
17-1	甌島衛生管理組合	47	男	大きな市になると行政に対する住民の声が届きにくくなるので各支所において、各種団体、各年齢層の代表によるまちづくり委員会等を設置し、住民参加の行政を進める事。まちづくりは、人づくりを基本に地域住民の研修、留学等を実施し人材育成を図る事。
17-2	甌島衛生管理組合	42	男	若者層が地元で働ける環境を作ってほしい。若者の都会への流出が地方での少子化・高齢化を進める要因の一つになっている事を考えた時、地元で就労者が安心して働ける企業が増える事を希望する。しいては、都会からのUターンを促し、活気のあるまちになり、先述の問題も解決につながる一步ではないかと思う。
4	個別応募・川内市	31	女	まず、行政と人々との間に思いやりの気持ちを育むべき。逆の立場になって考える機会を作る。そして相互理解を図るよう、意見交換などの場を積極的にとる。出た意見が「絵に描いた餅」にならぬよう、行動力も必要
6	個別応募・川内市	35	男	人と人との関わりあいを大切にできる町になれたらいいと思います。
9	個別応募・川内市	4	女	新市となる各市町村の現状・課題及びめざしている将来像の把握とすり合せ。特に、共通するものの統一化。相反するものの調整。あるいは優先施策の検討。

その他(テーマ :新市のまちづくりの望ましい姿、イメージ、キャッチフレーズはどんなものでしょうか?)

	市町村名	年齢	性別	提言
1-3	川内市	41		小学生、中学生みたいですが、“あいさつ運動”とか声かけ運動はいかがでしょう？(人としての基本を考えてみたいものです。)
1-4	川内市	29	女	新鮮
1-6	川内市	28	女	女声と男声の響き。共同参画
1-8	川内市	54	男	海や山に囲まれた新市になるので、両方をいれたキャッチフレーズが望ましい。(例えば、海と森の体系として水族館と森の動物園の設置)
1-9	川内市	30	男	子供とお年寄りなど人々が交流できる暖かいまちであってほしい。
1-10	川内市	31	男	キャッチフレーズとしては、「人・もの・文化を大切にする」など。あまりパツとしませんが、分かりやすい、誰でも覚えられるフレーズがいいと思う。
1-11	川内市	54	男	環境に配慮したまちづくり みどりの町づくり(山林の有効利用)
1-13	川内市	41	男	コンパクトなまちづくり(従来の市町村枠)と域間交流機能の強化及び素朴な自然の活用

1-14	川内市	29	女	“人に優しい”街 合併当初は必ずトラブルが起こりゴタゴタすると思うが、その時の対処も笑顔と真心で接すれば、大きな問題にはならないと思う。合併した職員間の意思統一と融合だと思う。行政は競争相手のいないサービス業だと思っている。それゆえにサービスが行き届かないし、何より大切なのは、人と人だと思う。
1-15	川内市			ここにしかないもの発見 発見希少価値
1-16	川内市	51	男	周辺が元気のあるまち 元気・健康
1-17	川内市	51	男	まわりとともに楽しく過ごすまち 生活(人生・子育て・自然共生) 現時点で生活している住民がこれからも生涯死ぬまで楽しく過ごすから まち 地域
1-18	川内市	51	男	水循環の確立したまち ウォーターフロントを延長でこれ程抱えたまちはない。
1-19	川内市	51	男	広大な過疎が自慢です。
1-37	川内市	58	男	人の和 (新市への意識、コミュニティ活動の重要性、小中生の意識変化) 心の和 (職員の融合、文化芸術を含む社会教育、過疎高齢化) 産業の和 (各市町村の産業を新市の産業として振興できる組織) 三つの和を中心
1-38	川内市	32	男	便利、快適な”田舎暮らし”
1-39	川内市	29	男	ハートフル 笑顔が似合うまち”清らかな自然とあふれる人情”
1-40	川内市	44	男	地域連携が図れるまち
1-42	川内市	28	男	勇ましさ(綱引き)、海(串木野港 川内港)、進取気風、川(川内川)、大自然(甑島)、原発、地下備、農業、(キンカン、フルーツ)、水産業、マグロ。人にやさしいまち 市。 海川山の自然を活用した観光産業の創出 港湾等を活かした産業振興施策の抜本的見直し
1-43	川内市	39	男	街(都会的な雰囲気)もあり、海も山もある。バランスのとれたまち。映画館などできないだろうか。
1-45	川内市	47	男	教育立地都市 市
1-46	川内市	52	男	「海」「川」「山」で楽しめるまちづくり
1-49	川内市	47	男	子供からお年寄りまで郷土を愛し、健康で明るく楽しく、ゆとりのある暮らしができるまちづくり。
1-57	川内市	44	男	「文化」「歴史」「川」「自然」
1-58	川内市	29	男	融和
1-60	川内市	42	男	「温泉と海 健康のまち」温泉療法と海洋療法の相乗効果
1-61	川内市	42	男	「美味・安心な食のまち」というイメージを定着させたい。
1-62	川内市	51	男	民活のまち 行政の直接関与する範囲を極限まで縮小する。その代わりに、民間地域に自主性を認める。
1-63	川内市	50	男	新市のシンボルとなるキャッチフレーズは新市の市民の一体感の醸成を図ることを主眼としたい。そのために、構成市町村を一つに束ねる象徴的な文字として結合、結婚、団結の「結」を揚げたい。相互扶助による住民参画を図るためにも先に述べた「結い」の精神と結びつけるとともに、地域通貨の単位呼称「薩摩結い」の流通と相俟って一体的なまちづくりを目指したい。キャッチフレーズ具体案『結いの邑(にいのくに) 』邑の定義は むら、さと、村落 くに、みやこ 解釈として、人がむらがりくつろぎ住む所の意味
1-65	川内市	46	男	医療、教育、福祉のまち
1-66	川内市	58	男	山・川・海をイメージして、四季の山と湖、年中楽しめる川、甑島までクルージングが楽しめる東シナ海をキャッチフレーズに考えてみたいです。

1-67	川内市	36	女	”温泉””バスケット”のまち
1-68	川内市	39	男	輝く 未来 親しむ人 うるおうまち
1-71	川内市	50	男	地域でお互いに支え合うふれあいのまち
1-72	川内市	28	男	1箇所に施設や商店街が集中せず幅広く展開したまち
1-73	川内市	53	男	南に開く 心と自然、豊かなまち
1-74	川内市	48	男	テーマ をベースに、昔串木野市が策定した昭和53年頃(しま・みなと・おか定住圏構想)の冊子も参考にすると、新市の発展の基軸が見えてくる。ツインシティー(目が2つあることが大事)、囲碁も目が2つあることで生きてくる。大きい・小さいではなく、生きた目が大事。
1-75	川内市	53	女	心豊かな健康福祉の街 自然を大切に作る街
1-77	川内市	46	男	地域が人を育む思いやりのあるまち
1-81	川内市	29	男	人情味温かい年中輝く川内市
1-82	川内市	25	男	シンプル ザ ベスト
1-83	川内市	28	男	新市が誕生しないとよくわからない。
1-85	川内市	28	男	川内川、新幹線を。
1-86	川内市	27	男	川内には川内川という大きな川があるので、川をキャッチフレーズにしてはいいのでは？
1-88	川内市	25	女	多くの人が川内市に集まってくるようなまち。
1-89	川内市	25	男	若者が集まる町づくり
1-92	川内市	29	男	川内市の将来都市像でもある 人:まち輝く「水景文化都市」川内をキャッチフレーズにみんなで進める市民参画のまちづくりを行っていきたくらいと思います。
1-93	川内市	27	男	健康づくり宣言都市 高齢者生き生き町づくり
1-94	川内市	30	女	「新幹線の通る便利で豊かなまち」というイメージなので、物質的だけでなく心から豊かになれるように！
1-99	川内市	42	男	人にやさしい町
1-100	川内市	34	女	グレート ナチュラル タウン
1-102	川内市	36	男	中国・韓国・東南アジアへの海路を用いた物流の玄関口。甌島の自然を生かし、長期滞在型観光地を構築
1-104	川内市	41	男	旧市町村の魅力、課題を十分理解した上に立つ「新たなまちづくり」の推進。未来へはばたく南九州の拠点都市 豊かな自然、文化資源そして、こころ優しい人々が暮らすまち
1-105	川内市	48	男	海・山・川など自然が豊かな広域の新市であるので、観光や工業・農林水産・商業などその特徴をアピールできる市町村があると考え。各市町村のテーマ を参考に決定してはどうだろうか。公募も住民の参画と一体化に役立つだろう。
2-6	串木野市	26	男	明るく、都市的なイメージ
2-10	串木野市	50代	男	お互いの町を知り、みんなで生かそう新市のまちづくり

2-14	串木野市	26	男	活力あふれる豊かな都市づくり
2-15	串木野市	38	男	自然とふれあえる街
2-20	串木野市	58	男	優位的な地理条件から、串木野新港の機能を発揮、国際大型流通港としての都市づくり。海、山の資源を活用する事業の促進
2-22	串木野市	55	男	しま・うみ・みなと・市街地とそれにつながる癒しの里を同一市となる今後はよりクローズアップできる。 原発に従来にも増したクリーンイメージ = 誠を求める。
2-23	串木野市	53	男	自然と調和のとれた都市づくりを希望します。港湾都市・教育文化都市・自然観光都市
2-26	串木野市	52	男	「海あり、川あり、山あり」自然あふれるまちであると思うので、政策面で諸構想を描いて、確実に実施して欲しい。
2-30	串木野市	35	男	自主性を重んずる積極的な地域づくり 住みよいまちづくり(安全で、安心して、効率的で、地域性のある)
2-38	串木野市	44	男	特にイメージやキャッチフレーズなどは必要ない。とにかく、市民の声をフルに活かした市政であってほしい。
2-43	串木野市	34	男	このところのマグロを活用したイメージづくりを展開させたい。
2-45	串木野市	52	男	すてきな町、きれいな町、自然を愛し、むかしを守る町
2-46	串木野市	44	女	福祉に力をいれて「福祉の町」
2-47	串木野市	43	女	明るく豊かな新社会
2-50	串木野市	47	男	住環境重視のまちづくりを。観光等にあまり力を入れすぎても如何かと思う。全ての施策を”循環”の思想を入れて組み立てるべき(リサイクルのまち)
2-51	串木野市	39	男	「子供たちの輝く未来を創造する 市」
2-53	串木野市	52	男	観光資源を秘めた秘境甕島を最大限にPRし、「しま、みなと、おか、温泉」を生かしたキャッチフレーズを目指して頂きたい。
2-54	串木野市	26	男	海や山を活かした町づくり
2-55	串木野市	51	男	観光客が訪れてみたいまちは、地域の住民が住んでみたいまち
2-56	串木野市	39	男	自然環境にやさしい港湾都市(エコロジーポートシティ)
2-57	串木野市	42	女	仲良く連携して一つのものを取り組めること 各職種、各年齢層、各地区の人達の意見を反映させたまちづくり 人口が5万人くらいが理想、面積も広すぎる気がする。みんなの笑顔がこぼれる町
2-58	串木野市	45	男	安心して子育てができる文教都市
2-60	串木野市	47	男	若者に魅力のあるまちづくり、医療や福祉が充実したまちづくり
2-61	串木野市	39	男	豊かな自然と活気あふれる快適なまち(都市計画マスタープラン基本理念)
2-62	串木野市	38	男	住民にやさしい町
2-64	串木野市	32	男	自然と活力あふれる快適な都市
2-65	串木野市	42	女	笑顔 いきいき 市
2-67	串木野市	30	男	「歴史的財産」を活用したまちづくり 「行政・民間・地域」のトリニティー ライフスタイルの創造(多天然自然を生かしたまちづくり)

2-69	串木野市	57	男	住んで良い 訪れて良い 歴史と文化の街
2-74	串木野市	32	男	国際交流のまち 市 自然あふれる西さつま中核都市
2-79	串木野市	42	女	地域の特色を生かしたまちづくり
2-83	串木野市	29	女	人に優しい街、人が優しい街
2-89	串木野市	46	男	住民にやさしい街(お年寄りや身体障害者等)
2-93	串木野市		女	新市の名が有名になったらすばらしい!"みんなと仲良く自分にも優しく"の新市です。
2-95	串木野市	46	女	片寄りのない開発
2-99	串木野市	46	女	自然を大事にしたまちづくり 未来に残せるまちづくり 未来に残せるまちづくり
2-102	串木野市	35	女	明るく元気なまち 心豊かなまち
2-104	串木野市	44	男	遊びは海洋性レジャーとゴルフで疲れは温泉でいやす街 海と山で遊び、温泉で体と心をリフレッシュする街さつま市
2-106	串木野市	50	男	海に面し海に囲まれ、山畑田に囲まれた豊富は温泉があることから自然をキャッチフレーズにする。「しんせん・自然・ゆらくえんまち」新鮮(さかな・農林作物等)自然(海、山)ゆ(温泉のまち)らくえん(楽しく暮らせるところ)
2-108	串木野市	44	女	健康で住みやすいまち
2-113	串木野市	39	男	若者の定着できる場(働く場、住む場、遊ぶ場)子供、高齢者、障害者が明るく暮らせる街
2-115	串木野市	35	男	県都 鹿児島市には負けないIT国際都市
2-116	串木野市	37	男	国際交流という観点から 中国の玄関 市
2-117	串木野市	42	男	心やすらく、環境、交流都市
2-118	串木野市	42	男	エネルギー、光 火力発電、原子力発電、地下備蓄基地、温泉など他地域にないものがあるので、エネルギーを全面に出して特に太陽電池、燃料電池などクリーンエネルギーに積極的に取り組んではどうか。青・藍...空、川、海 緑あふれる自然、山 赤...東シナ海に沈む太陽、エネルギーの火 橙...特産の柑橘類 黄...光輝く温暖な地 紫...山岳仏教、ぶどう、など 日本近代化の基となった薩摩藩留学生渡欧の地、霊峰冠岳からさす光は文化の発祥となり、世界に視野を広げる港湾など色々考えていくと、光、エネルギーをコンセプトにすれば当地の特色がだせるのかなと思う。
2-119	串木野市	53	男	「東中国海にはばたく都市」をキャッチフレーズに、活力ある魅力的な都市に発展していくことを望むところである。申すまでもなく、川西薩地域は、東中国海(東シナ海)に面し、人口13億の中国又東南アジアとの交易圏づくりに優位的な地理的条件にあり、川内港、串木野新港の機能を十分に発揮し、国際大型物流港を中心とした都市づくりをイメージするところである。
2-122	串木野市	45	男	海のかがやき、山のたのもしさ、川のゆたかさが市民をつつむ西薩中核都市 海の幸、山の幸を川で結ぶ快適都市 人に開け、海外に開け、未来に開けた拠点都市 市
2-123	串木野市	30	男	シルバータウン。老人が活きる街。懐かしさを憶える街。懐古都市。人口規模は県内2位でも第2の鹿児島市を目指す必要はない。(同じ分野ではどうやっても鹿児島には勝てないし、新鮮味に欠けるし、後発は苦しい。)若者は鹿児島市。老人は西川薩市。
2-126	串木野市	31	女	皆が愛着を持ち、未来へ希望を持てるようなまち
2-127	串木野市	39	男	新市町村の連携のとれるまちづくり。「我町」だけではダメ。新市間の連携を密に。

2-130	串木野市	35	男	市民も創る新しい我がまち～行政主体でなく市民主導の政策実現を目指して～
2-131	串木野市	31	男	県内第2の都市(少なくとも国分・隼人を上回る何か)現状では国分・隼人周辺がそのイメージをもたれていると思う。無理やりイメージをつくらない
2-132	串木野市	32	男	串木野市が中心になり、活気あるまちづくり
2-134	串木野市	28	男	若い人が増える様なまちにする
2-136	串木野市	44	女	明るくてあたたかい町 心いやされる町
2-137	串木野市	37	女	明るい元気な街
2-138	串木野市	29	女	助け合いのまちづくり
3-1	樋脇町	27	女	人に優しいまち
3-2	樋脇町	35	女	湯ったりあたたかい住み良いまち
3-3	樋脇町	49	女	豊かな「人」「自然」「温泉」あふれる「笑顔」「文化」「光」
3-4	樋脇町	54	男	健康で生き生きと暮らせるまち(食品・就業・余暇利用施設)
3-5	樋脇町	23	女	住民サービスが充分に行き届くこと
3-8	樋脇町	54	男	海、川、自然、環境を育み、人にやさしいまち 母なる川(川内川を生かす)
3-9	樋脇町	35	男	海山そして温泉(観光のみでなく釣り、ハイキング等年間を通し遊びに行きたい町)
3-10	樋脇町	37	男	10年後を見据えた自力をつけられるまちづくり
3-11	樋脇町	26	男	やさしくて力持ち
3-14	樋脇町	42	男	「人と自然」がふれあうまちづくり
3-15	樋脇町	26	女	(望ましい姿)住民サービス水準はより高く、各分野における負担はより低くなるよう
3-19	樋脇町	25	男	家族で楽しく遊べる街づくり
3-20	樋脇町	25	男	若い人もお年寄りも住みやすく生きがいを感じる街
3-22	樋脇町	34	男	行政主導型でなく住民主導型が望ましい
3-24	樋脇町	31	男	お金で買える幸福よりこの町で暮らせる幸福
3-25	樋脇町	36	男	明るい町
3-26	樋脇町	44	男	健康的なイメージを全面に表すものが良い。
3-27	樋脇町	45	男	豊かな自然と人情あふれるまちづくり
3-28	樋脇町	46	男	制約されない自由な発想が取り入れられる町。住民が明るく一人一人の個性が引き出せる町。何事にも前向きで常に発展がある町。「めざせ 輝く 自由都市」
3-29	樋脇町	39	女	ひとと情報が常に行き交ういきいきとしたまち

3-31	樋脇町	25	男	子供から大人、老人までできるスポーツ施設をつくり、他の市からも使用してもらえるようにスポーツの盛んな町(市)が望ましい。
3-32	樋脇町	55	男	自分のまちの名前が消えるのは寂しく思うが、全国から公募し21世紀にふさわしい前途を感じさせるものとして欲しい。
3-35	樋脇町	49	男	新市の中心部と遠方との格差を少しでも少なくする。
3-36	樋脇町	56	男	湯の香ただよう故郷
3-37	樋脇町	25	男	望ましい姿(緑豊か) イメージ(ゴミなどが落ちていない) キャッチフレーズ(次世代の人々の為へ)
3-40	樋脇町	49	男	これからの枠組みで自然と生まれるものであると思われた。
3-46	樋脇町	43	男	明るく活力あるもの
3-51	樋脇町	43	男	自然いっぱい躍動する町未来に羽ばたけ 市
3-53	樋脇町	40	男	住民が満足して暮らせるまち
3-54	樋脇町	30	男	構成市町村その町へ行ってもゴミ1つないようなクリーンな町を印象づけられるような町の推進
3-57	樋脇町	45	男	公害のない、安全で文化的な生活の出来るまちづくりを進めていくことが望ましい。
3-60	樋脇町	30	男	国内外の交流人口が増加する国際都市
3-62	樋脇町	31	男	合併する市町村の現在のそれぞれのイメージを大切にしながら、まちづくりに活かしてもらいたい。
3-63	樋脇町	22	男	自然の中にある都市
3-64	樋脇町	37	男	躍進、飛躍、ゆとり、明るい クリーン (街、行政、自然)
3-65	樋脇町	59	男	地域差別のない子供から大人まで楽しく暮らせるまちづくりのためには、川内国際交流センターを核として県内は基より県外並びに国外との交流を図り、国際都市を目指す。田園都市、国際都市をイメージした都市を目指した政策をとってもらいたい。
3-67	樋脇町	31	女	主人公は住民一人一人。
3-69	樋脇町	45	男	川幸、山幸、海幸のまち
3-76	樋脇町	39	男	未来を見つめる都市 市
3-77	樋脇町	26	女	手と手を取りあって新しい未来へ
3-78	樋脇町	41	男	「前へ」
3-80	樋脇町	26	男	「人を大事に」
3-82	樋脇町	32	女	みんな幸せ かがやく街
3-84	樋脇町	20	女	交通の便が良く、福祉の充実したまち。人の集まるまち。鹿児島島の西の玄関口
4-1	入来町	55	男	島・港・岡をよりイメージアップしたキャッチフレーズができたらと思います。
4-2	入来町		女	川内・串木野を恐らく中心にスタートするのでは？・・・と思いますが、小さな町、村が遅れをとらないように行政の皆様がんばって下さい！！人と人とのふれ合い、出会いを大切に。人口が多くなるだけでなく、一人の人間としての、心も豊かに健康第一に！！

4-3	入来町	31	男	キャッチフレーズ「海の幸も山の幸も笑顔もいっぱい 市」基本的には、今とそれほど変わらない生活が望ましい。自然を保存しながら開発を進めてほしい。
4-4	入来町	54	男	イメージ、キャッチフレーズに関しては地場の特産物に関するものが良いと思う。
4-8	入来町	50	女	女性が元気で明るいまち。雇用の場や女性の声が反映される機会を増やす
4-9	入来町	46	男	海、山、川なのでもあるが、それが焦点をぼかしている面もある。アジアの拠点中国と近接した地の利を生かしたまちづくり(アジアの玄関口)
4-11	入来町	46	男	海、山、川の自然を生かした町づくり
5-5	東郷町	46	女	住民の声を反映したまちづくり。大きな市となっても小さな場所での出来事(特にいい事)など周知したり、切り捨てにならないまちづくりになってほしい
5-6	東郷町	28	男	それぞれが特色を出してほしい。
5-7	東郷町	48	男	山、川、海のある自然豊かで人間味あるまち
6-1	祁答院町	44	男	健康づくりと福祉の充実したまちづくり 特色ある観光資源を活用したまちづくり
6-2	祁答院町	55	男	自然環境を大切に、高齢者にやさしいまちづくりを。 子供達に夢の持てる明るいイメージのまちづくりを。
6-3	祁答院町	48	男	「ピープル 西薩摩」 人づくり 西薩摩市 「福祉政策」が充実したまちづくり ヘルシースマイルプラン(健康のための政策) ハピネススマイルプラン(幸福を感じる政策)
6-5	祁答院町	39	男	海、山、川、湖など自然に恵まれた地域性を活かし、食糧や観光の発信基地としての位置づけ 都市機能の充実を図り、郊外では住宅地の整備を進め、地産地消の体系を構築し、農漁業とバランスとれたまちづくり
6-8	祁答院町	47	男	住民の声による健全で幸せな町づくり
6-10	祁答院町	34	男	山、川、海、新幹線、港
6-11	祁答院町	24	女	この町に住んで良かったと思えるようなまち
6-15	祁答院町	49	男	川内川を中心とした田園地帯及び甑島を中心とした東シナ海を取り入れたイメージ
6-16	祁答院町	30	男	若者が定着するようなまちづくり(雇用関係等)
6-17	祁答院町	32	男	一つの市で「海も山も温泉も楽しめる」ことを全面に出したイメージはどうでしょうか。
6-18	祁答院町	48	男	港の活用。アジア交流の地。
6-19	祁答院町	60	男	川内川や東シナ海など豊かな自然をイメージさせるまちづくり。 緑溢れる町並みづくり、旧市町村の町木・町花を街路樹に活用した道路整備。
6-20	祁答院町	48	男	新幹線の開通にちなみ、地域を結び早い行政、安全な町。
7-2	里村	55	男	県内で2番目の大きさである、東シナ海に面している、川内川。 エネルギー基地、日本有数の漁場。 東シナ海を中心とした国際交流都市への脱皮
7-4	里村	46	男	この街にまかせてみませんか 自然(海・山・川・島) 産業(農林・水産業・鉱工業・運輸(港)) 人(福祉・交流・情)

7-10	里村	52	男	住民のモラルを向上してもらい、美しい町づくりをめざす。(ポイ捨て条例等を作らないでも美しい町)
7-15	里村	32	男	自然と共存出来るまちづくり(川、海、温泉)
8-1	上甕村	59	男	「賑わいと癒しのまち」 10万都市の賑わいと温泉や島の自然を活用したイメージ
8-2	上甕村	49	男	自然とマッチしたまちづくり
8-3	上甕村	62	男	離島、自然環境、観光を活かした地域づくり 「活力とやすらぎのある地域づくり」のキャッチフレーズ
8-4	上甕村	60	男	「文化・自然・食の香り豊かな」町 「人・物・自然豊かな」町
8-5	上甕村	33	男	活気のある上甕村
8-6	上甕村	59	男	個々の心の触れ合いを大切にの意をこめて”ハートフル ”(新しい市)
8-7	上甕村	35	男	すべての都市が、ミニ東京をめざしたまちづくりを行い、まちに特色がなくなっているように思う。合併後も、現在の川内市に一極集中してしまうのではなく、各旧町村が個性を生かしたまちを作っていくべきではないか。
8-9	上甕村	29	男	各市町村が力を合わせ平等に対応できるような姿が望ましいと思う。
8-11	上甕村	43	男	観光都市 市 鹿児島県(日本)を凝縮した街 市
8-12	上甕村	46	男	海・川・山等自然の恵みを活かしたまちづくり
8-14	上甕村	47	男	離島と本土、お互いの有効利用
8-16	上甕村	32	男	今回の広域合併でのイメージとして、山、海等自然豊かな町村等も含むことから、自然を大切に、人間み豊かな高齢者から若者まで調和のとれた全国に例をみない新市の誕生
8-17	上甕村	35	男	すみやすい市、一人一人が存在感を実感できる市
9-1	下甕村	40	男	色々な水(河・海・温泉・深層水 etc)を新市になったら体験ができる。例えば、川内(川内川)、串木野(水産・砂浜)、入来、東郷、祁答院(温泉)、甕島(温泉・深層水)他 「水体験！心体ともリフレッシュ」
9-4	下甕村	33	女	住民主体の市 自然、環境など含め清水(クリーンウォーターシティ)
9-5	下甕村	30	男	いつでもどこでも住民に同じサービスを提供できる事が望ましい姿である。イメージは川・温泉・海
9-7	下甕村	38	男	海、川、山を利用した人間回帰
10-1	鹿島村	51	男	将来、益々予測される少子高齢化に充分対応するため、市街地中心のサービス体制を取ることなく、社会的資源も含め、マンパワー等全分野にわたって、均衡の取れた地域づくりに努める。
11-2	川内地区消防組合	39	男	週末・休日等に人が集まってくるようなまち

11-3	川内地区消防組合	36	男	それぞれのまちの特色を活かしたまちづくりをし、海と山・川自然と融合できる進歩あるまち。海・山・川そして人、みんな温っか
11-12	川内地区消防組合	26	男	人が集まりたくなるような町
11-13	川内地区消防組合	24	男	人が集まりたくなるような町
11-22	川内地区消防組合	45	男	開放的で「自由と伝統と斬新さが混在したまち」として「大自然が息づき住民が信じ合える街」というキャッチフレーズはどうか 過去・現在にかけての悪いイメージの川内ガラッパは払拭していかなければならないと思います。
11-25	川内地区消防組合	37	男	川と自然をモチーフにしたまち
11-29	川内地区消防組合	48	男	「魅力あるまち」「活気あるまち」
11-30	川内地区消防組合	52	男	新幹線と西回り高速道路を自然と調和させる キャッチフレーズはやっぱり「ウォーターフロント」「水のまち」
11-45	川内地区消防組合	38	男	川内は昔から水がきれいであるといわれてきたが、そのイメージが最近全く感じられないので民間施設であるが百次町のノー無の水を宣伝し、それにちなんだイベントを開催し、川内＝水のまちを強調したい。
11-46	川内地区消防組合	39	男	エネルギーのまち(原子力以外にも風力発電水力発電等にも目を向ける)
11-56	川内地区消防組合	40	男	水、緑、温泉のふるさと
11-57	川内地区消防組合	42	男	水のまち川内を活かしたもの
11-58	川内地区消防組合			待望の新幹線開通により、客を持ってこられるか、持っていかれるか大きな瀬戸際です。駅周辺を整備し、ここが川内の顔と位置づけ、温泉、魅力ある住環境をうたい、鹿児島市の企業の誘致及びベッタウン化を図り、人口増を目指す。
11-63	川内地区消防組合	54	男	海、川、池、山
11-64	川内地区消防組合	40	男	海、山、川の自然に恵まれた、住む人が癒されるまち
11-66	川内地区消防組合	41	男	広大な海と川をキャッチフレーズにしたい。
11-69	川内地区消防組合	28	男	明るくキレイな市
11-75	川内地区消防組合	44	男	海・川・山・人・街・等自然と一体化した地域の特色を全面に出し、明るく住みよいそして、外部から一度(何度も)は訪れてみたいと思えるようなまちづくり。
11-78	川内地区消防組合	41	男	今まで各市町村がかかげていたイメージ等を大切に、一つの市として取り組んで行ったらいかがかと思う。
11-86	川内地区消防組合	55	男	海・山・川・温泉をいかした町づくり

11-87	川内地区消防組合	22	男	リフレッシュ
11-88	川内地区消防組合	23	男	川内川, 五反田川, 東シナ海などから「水のまち」が良いと思います。
11-89	川内地区消防組合	29	男	新市には美しい海や山があります。そのイメージを前面に押し出してシンプルにズバリ, 「大自然」をキャッチフレーズにしては
11-91	川内地区消防組合	25	男	福祉が充実している
11-92	川内地区消防組合	21	男	ゴミのない町, 災害に強い町づくり
11-93	川内地区消防組合	40	男	各地域に応じて, 夢のある町づくりにしてほしい
11-94	川内地区消防組合	38	男	年代性別をとわず, 楽しめる地域の開拓
12-4	西薩衛生処理組合	52	男	大綱引きをキャッチフレーズしてイメージアップしては？
12-5	西薩衛生処理組合	52	男	大綱かガラッパかどちらかに統一してもらいたい
12-6	西薩衛生処理組合	46	男	山、川、海、島ないでもあつど(なんでもござれ) 新市名称案…のびる市
12-8	西薩衛生処理組合	50	男	新幹線をイメージし、「太陽」と「温泉」をキャッチフレーズにしては？
12-10	西薩衛生処理組合	43	男	広大な山々から西海を望むまち。新市名称(西雄市)
12-11	西薩衛生処理組合	35	男	イメージアップしようとしても、原発のある市というイメージが抜けないのでは。
13-1	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	38	男	終わりのない街
13-3	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	45	男	住民の環境に配慮した安心、快適な暮らしのできる町。

13-6	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	39	男	現状では、具体的に内容が分からない為、コメントできない。
13-7	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	40	女	子どもからお年寄りまで誰にでも愛される町。
13-8	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	28	女	緑美しく住み易い町
17-1	甕島衛生管理組合	47	男	活力に満ちたしま、おか、みなとの東シナ産業都市
2	個別応募・串木野市		男	東支那海にそびえる都市・・・合併により遠くはなれた町の集まりとなり行政も広域化となりまとまりが当面の課題かと心配する。行政の中心頭をどこに置くか現在は不明であるが、広域を常に把握できる「新都市組織体制計画」の整備、「マスタープラン」の策定が重要と考える。基本的には行政、財政拠点は現在の所それぞれの市、町、村に規模は縮小された形で存在することと思うが、行政機関の連携を密にし、物事の議事進行がスムーズに進む様に力点を置くこと。又、住民はなかなか我が町を大事にする心、他を排斥する精神が培われている。これを徐々に融和させ、人口約13万人が新市として実力を発揮させる統一組織に造り上げる為には頻繁な交流会を実施することが重要かと提案したい。具体的にはその地の特徴を生かした施設、長年繰り返されている催場、祭事等を充分活用することか。
4	個別応募・川内市	31	女	山、川、海とつながる自然と歴史
6	個別応募・川内市	35	男	明るい町、活気ある町、元気をお互いに共存できる町づくり
9	個別応募・川内市	4	女	「海・山・川バラエティに富んだ豊かな自然」ではインパクトが小さいので、「水景」を使いたい。新幹線、西回り自動車道、情報通信等の「スピード」も強調できる。
10	個別応募・川内市	28	男	もっともっと川内

その他(テーマ : その他、期待するまちづくりの政策等自由なご提言(こんなまちになってほしい、こうあってほしい、子どもたちのためにこんなことをしてほしいなど))

	市町村名	年齢	性別	提言
1-3	川内市	41		この頃の子供たちの行動に対し、声をかけられる大人であってほしい。まずは、あいさつ、何もなくてもあいさつに答えられる子どもは、良いと考えられる。大人から声をかけられたら素晴らしいのではないのでしょうか。しかし、その大人が「なぜ、自分がしないといけないか？あいさつは子どもからするものだ！」と思っていたら無理ですね。

1-9	川内市	30	男	現在の苦しい財政状況を住民に分かりやすく説明することが必要。それを踏まえた上で、本当に自分達に何が必要なのか考えてくることが必要。道路や大型施設を造ることで、便利になるかもしれないがそれが真に住みよいまち、幸せを実感できるまちなのか。これからの時代を担う子供達に何を残せばいいのか考えてほしい。ハードよりもソフト重視。もっと子供とお年寄りのために金をかけるべき、市民の方がつづる自然の空間がほしい。
1-10	川内市	31	男	子供達のためには、市街地に託児所を設けるとか、駅に託児所を設けるなど。(これは定住人口の増加につながる施策になると思う。よそから転入し、定住する意欲のある方には市営住宅等を優先し、託児所にも優先して預けられるようにする。)雨の日に遊べる場所を開放するとか、サンアリーナの武道館でもいい。ふれあいドームでもいいし、無料で開放する。そこで、育児相談でもできればなおベスト。こんなまちになってほしいと言うところでは、やはりもっと人がある、活気がある街になってほしい。アーケードが寂しすぎる。住民が願っている施設があるはず。遊ぶところがないなど、もっと住民の意見をすいあげる組織が必要である。あと、古きものを大切にしながらも、新しいものを取り入れていくことが大切だと思う。きれいなものばかり、市の施設でつくっても趣がなく愛着がわからない。
1-11	川内市	54	男	紫尾山系、冠岳(西岳)、弁財天山(H=518m)の登山道及び遊歩道の整備。大学のある都市(総合大学の誘致)
1-13	川内市	41	男	現在、新規就農者の6割が定年帰農(文字どおり退職後に始める農業)者で占められているとのこと。今回の市町村合併により、手つかずの豊かな自然を共有することになるが、この豊かな自然を背景に「シルバーライフオアシス」を提言したい。高齢化社会といえども、60歳で定年退職した多くの人は、まだまだ元気で勤労意欲が高いのではと考えられる。しかし、現在の社会情勢では再雇用の機会は限られている。そこで先に述べた豊かな自然を相手とした農業・漁業・林業の滞在型就労(生きがいづくり)を考えてみた。方法としては、都会の定年退職者をターゲットにメディアを通じてPRを行い、(他所に先行されるとインパクトに欠け、二番煎じと揶揄されかねない。)希望者を募集する。地方で空家となっている家(公営住宅でも可)を安くで貸家として斡旋する。無償もしくは廃価で田・畑・舟・山林などを貸付する。素人でも始められるような支援体制(農機具のレンタルサポートや作物づくりの方法)をつくる。(村の人でOKなのは、地域の活性化。定住化にこだわらない(1年2年でやめて帰ってもOK)などではどうだろうか。インターネットなどで見る、東京の定年退職者は高速道路で2時間もかけて福島県茨木県の耕作地に嬉々として通っているみたいである。(本当に生きがいを感じている人が多い)本市が他市に先がけて高齢者のパラダイスをつくることは愉快なことであり、本市の大きなウリになると考えられ、爆発的にないにしろ着実な需要が見込まれると思うのだが…。
1-14	川内市	29	女	職員のレベルアップ(全国統一の事務をしているはずなのに、間違った処理をしている市町村があり驚かされることがある。)女性政策のレベルを下げて欲しくない。婚姻により退職が当然の町村は、時代遅れだと思う。
1-15	川内市			金太郎飴からの脱却。メジャーになりたければ自らのマイナーさを発見することが必須である。宝物は身近なところに転がっている。隣人は宝物に値しませんか。あの鎮守は守物ではありませんか。
1-16	川内市	51	男	健康な人・生活・山・川・海・子供・高齢者・夫婦等々ワンラックアップの健康が手に入るまちづくり。
1-17	川内市	51	男	自然の復活・手入れ・保全。川・森・海が生自然に近い状態で身近に存在することがかけがえのない財産である。そのためには、自然と共存するまちづくりの方法を地域自治の中で進めていく。田舎は都市にはなれない。田舎の宝物は自ら探り出すことが肝要である。九州では川西薩は田舎、大田舎である。
1-26	川内市	45	男	補助金が助成事業ありきで、応募のために事業を即席で立ち上げるような企画自体を早く止めることが何よりも。
1-29	川内市	55	男	串木野市を含め、東シナ海に面した新市になるので港を活かしたい。具体的には、川内港は工業港と位置づけ、川内港と世界のハブ港である「釜山港」、「上海港」、「常熟港」との定期航路化を図る。荷物については、中国から石材、穀物、野菜などを輸入し、川内港からは甑島の海洋深層水、中古機械、自動車などを輸出する。一方、串木野港は商業港と位置づけ、海づりなどの観光化した甑島と長崎港とを便数の多い航路として、九州管内の観光客を運ぶ。また、高速コースとして、新幹線川内駅と渡唐口と甑島(里)を時速約80kmで結ぶ航路をつくる。
1-37	川内市	58	男	旧市町村意識をなくするためには、長い月日がかかると思うので、小中高校生の払拭が大切。新市長杯なる全競技の大会が必要。薩摩国分寺を活用した各地の伝統芸能高居
1-42	川内市	28	男	市民に対しても外からくる人に対しても、もっときめ細やかな配慮が行き届いた”やさしい”都市になればと思います。自然を売りにしながらも、ゴミが多かったりします。公共、民間を問わず、市民へのサービスが行き届いているのか、疑問なところも多いと思います。何かしら都市全体が、公共民間を問わず、「やさしさ」を感じにくいような気がします。あらゆるレベルで、使命とか目的というものを見失っているような感じがします。(情性で動いているような感じ)新市を機会に新市は「やさしさ」をキーワードに、人が好印象を持ってくれるような町づくりを目指してほしいと思います。
1-43	川内市	39	男	東京や福岡の真似をする必要はない。川内やそれぞれのまちの良い所を再認識し、それを伸ばして行けばよいまちになるはずだと思う。(田舎だからよくないということはない訳だから)

1-51	川内市	40	男	田舎のよさを活かしたまちづくり。
1-54	川内市	28	女	それぞれの地域の売りを1つずつでいいから、見つけて決める。例えば、いちごのまち 温泉のまち つり 泳ぐ 買物 学生 おしゃれに飲む 気楽に飲む 米をつくる 野菜をつくる 広～い市域をゾーン化し同じものを集約し目玉にしてい。市域が広くなったからって心配いらぬ。だって、田舎の良さを売りにしていけばいいのだから。(何も無いところはそのこと自体を売りに)
1-57	川内市	44	男	漠然としたものですが、このまちに生まれてよかった 「大人になっても懐かしいふるさと」として、いつまでも心に残るようなまちであってほしいと思う。
1-58	川内市	29	男	地元のよさ、田舎のよさを自慢できるまちづくり。(近代化ばかりを追い求めず、ハコモノ建設だけに頼らず、今あるところから地域のよさを見直していくところから始めるべき)
1-61	川内市	42	男	「美味・安全な食のまち」を具体化するための施策がほしい。・学校給食の食材市内調達(経費増は市が負担、地産地消の一環)・市内食材による「料理の鉄人」コンクール(優勝者については、県外有名店における研修、市街地における店舗開設等市が支援、商業振興、市街地活性化にもつながる。)・「市美味安全の店」認定制度の創設(市内食材の調達率の高い食堂や居酒屋等について、観光協会等が認定。交流人口等にも寄与。・大規模な食の祭典の開催・マグロ冷凍施設及びフィッシャーメンズ・ワーフの整備等々
1-62	川内市	51	男	民間の自由な自活が可能なまち(あれもこれも行政に頼らない村まちづくり)
1-64	西薩衛生処理組合	52	男	海に囲まれた地区、山に囲まれた地区、川内川を控えた地区など、多様な居住環境があるので、子供達が定期的に交流できる教育を促進する。西薩衛生処理組合では、資源再生型社会に適應し、また、水質及び大気法規制の強化に対応できる新たな施設の整備を速やかに建設すべきと考えている。
1-66	川内市	58	男	基本的には、若者が定着できるまちづくり。若い人を雇う企業誘致育成 市民が楽しめる街(娯楽施設・公園・スポーツ施設・大型店舗等) 子供のために 過疎校の統合。地域と一体となった子育て、親子学習 最後に治安のよいまち、思いやりのある人間が育つまちになってほしい。
1-68	川内市	39	男	行政サービスが低下しないようなまちづくりをしてほしい。(現在のサービスが低くならないよう) 現在、図書館に移動図書館は川内市と串木野市、甕島地区の一部しかないが、全域に巡回できるように整備してほしい。
1-69	川内市	53	男	視聴覚ライブラリーについて 川内・串木野・入来・甕島の4ヶ所に教材・機器を配置し、地域内の子供会や社会教育団体などが手軽に使用できるようにする。又、機器の使い方などの講習会も開催する。
1-72	川内市	28	男	他の市ともっと深く連携して教育や政策を行ってほしい。
1-73	川内市	53	男	人を大切に作る街 お年寄りを大切に子どもを大切に、自然を環境を守り育てるまちづくり。
1-74	川内市	48	男	イメージ 川内市...中心都市(新幹線・新田神社・大綱引き・川内川) 串木野市...湾岸・冠嶽・漁業・浜競馬・つけあげ・さのさ 東郷町...ぶどう・藤川天神・鮎観光・温泉 樋脇町...温泉・癒し・奥座敷・サッカー・グリーンヒルゴルフ 入来町...温泉・入来城山ゴルフクラブ・きんかん・富士通 祁答院町...蘭牟田池・祁答院ゴルフ・温泉・パソコン 里村...漁業・キャンプ・魚釣り・イカ釣り 上甕村...漁業・キャンプ・魚釣り・イカ釣り 鹿島村...下水道日本一・魚釣り・イカ釣り 下甕村...海洋深層水・トシどん・竜宮城・魚釣り・イカ釣り 東の志布志港にないものを活かし、中国との交易(環シナ海に向けて) ゴルフ場3つ、公的宿泊施設、各町の温泉、特産品の開発。広域のスポーツ大会の実施、県、九州大会の誘致、そのための審判等の養成。行政面積が764km ² となると、現在の川内市の約3倍、支所機能を第2の心臓として活力が失われないように、住民サービスが低下しないように、人員配置や予算などを配慮してほしい。(支所機能が元気なことが新市発展の鍵)
1-75	川内市	53	女	老人と子供と一緒に学ぶ施設があったら。介護施設と保育施設と同じ敷地にあり、元気な老人から昔の遊び等を教えてもらうなど子供と老人と一緒に遊ぶ。周囲の畑には、一緒に花や野菜を植えるなど作る喜びと労働の尊さを学ぶ。現在のクルクルバスの存続をする。(温泉施設・リハビリ施設等への足の確保)市街地ばかりではいけないのでは!
1-76	川内市	54	男	住民が安心して暮らせる町(医療・福祉・子育て等において)づくり 若者が住みたいと思う町づくり(職・住・遊・学) 雇用の場の確保が必要不可欠。
1-78	川内市	33	男	特に街の規模が大きくなる必要はないと思います。子供が成長し、また川内にも帰りたいと思える様な街になればと思います。文化、環境、教育の面に力を入れてくれれば...。
1-82	川内市	25	男	隣の人の顔を知っている町
1-85	川内市	28	男	子供や若者がこの市に住みたいと思う市づくりをしてほしい。
1-87	川内市	27	男	テーマパーク等の施設を拠点として若い方から高齢者までが集える様なまちになって欲しい。若い人を定着させる為に、映画館もあってほしいと思う。
1-89	川内市	25	男	商業が盛んな町、文化活動が活発な町に是非ともしてもらいたい。
1-90	川内市	26	男	市民を思う街

1-91	川内市	26	男	自分の子供達が住みやすい街にしてほしい。
1-94	川内市	30	女	男女共同参画を県下で一早く判定したが、女性にとっては、もっと働きにくい社会になってきているのではないかと不安になることもある。母性や父性があるということは、大事なことであると思う。ゆとりのあるまちづくりや職場にできるよう独自の政策に取り組んでほしい。
1-96	川内市	42	男	市民に開かれた行政～行政に対する評価システムの構築。家庭教育の充実。福祉の充実～特に子育て支援の充実。市職員のボランティア活動の推進(管理職だけでなく一般職員も)～朝の活動、行事の支援
1-102	川内市	36	男	新幹線と川内道路(南九州自動車道)により、急ピッチでこの地域の便利が高まり、ひと・もの・かねの流れが活性化する。よって、新しい市が県庁所在地となる可能性、期待感が湧くようなまちづくりを行いたい。
1-103	川内市	35	男	既存小学校の存続。地区によっては公民館の統合は考えられるが、小学校区の統合は行うべきではないのではないかなと思う。子供から老人まで、休日にお金を使わずに過ごせるような、自然都市?「せんだい」を目指して欲しい。
1-106	川内市	54	男	黒潮と風に学ぶ「こしき」自然体験アイランドの整備 青少年の健全育成や家庭教育の充実をめざした海洋型の自然宿泊体験施設の整備
2-2	串木野市	33	男	一部の人間が喜ぶ街になってほしくない。住みたくなるような街。余計な所に税金を使わず、必要な所に。(中途半端な施設ではなくどこにでもないようなものを)
2-10	串木野市	50代	男	原発に依存しない電力事業の開発促進(3号機不用)山、川、海を活用し、自然あふれる心身ともに健康な町づくりに努めてもらいたい。構成市町村の観光資源を掘り起こし、いろいろなパターン(温泉めぐり、ハイキングコース、史跡めぐりetc)で一日中家族連れで過ごせるようなコースを提示し、長崎航路、中国航路等と合わせ、県内はもとより県外、国外の観光客の誘致につとめる。環境に害のない企業誘致を進める。
2-11	串木野市	37	男	無駄のない街住民があつた施設はいらない、あの橋はいらないというような声が上がらないように公共工事や施設建設は慎重にするべきである。お金や時間だけが無駄に費やされているのが多いのでは。子供達には広い緑のある公園で遊ばせたい。小さな公園がいくつもあっても魅力はない。
2-12	串木野市	32	男	臨海部 大陸部 甌島とそれぞれの特色を活かし、市外の人達が魅力を持つような町になってほしい。今回の新しい市に来れば、海、山、レジャーの全てが味わうことができ、余暇を楽しむことができるような...
2-20	串木野市	58	男	とにかく、働く場所と増やし活気のあるまちに
2-22	串木野市	55	男	国道3号沿いには、串木野から薩摩山～隈之城と北上した時に市境を感じるものは当然と思うが同一市になる今後は、せめて隣接する町とは広域あるいは一体感を実感できる町づくり(都市計画を含む)を工夫していくべきと考える。
2-27	串木野市	38	女	子供達の声をよく聞いて、安全で温かい環境の場にしてほしい。物事に責任を持てるような行動で子供達に接してほしい。
2-30	串木野市	35	男	無責任な大人を育てない地域づくり
2-31	串木野市	21	男	リサイクルやクリーンエネルギー利用を進め、エコ都市になる。串木野新港の未利用地に処理施設を建設するなどリサイクルの拠点になる地元企業とクリーンエネルギーシステムを開発し、積極的に利用する。それぞれの地域に特色を持たせる。ある地域は文化、ある地域は産業、飲食、商業などある分野に特化する事により、地域の存在感を高める。
2-32	串木野市	44	男	地方では高齢化が進んで、子供達は少なくなっていくため、ふるさとで働ける環境づくり
2-33	串木野市	31	男	ゴミの少ないクリーンな町
2-35	串木野市	32	男	大規模な運動施設を造り、大人から子供を含め、スポーツな盛んな街になってほしい。串木野は今まで素通りコースとも呼ばれていた。これからは、ちょっと立ち寄ってみたい、あるいは観てみたいと言われる街であってほしい。
2-39	串木野市	30	男	せっかく海に面しているのに、海洋スポーツに力を入れていないようである。B & G海洋センターを潮の満干に関係なく利用できる場所へ移動、カヌー、ヨット等についても十数年前とまったく変わらず、老朽化しているので、新しくして、もっと子供達が集まりやすい環境にしてほしい。
2-45	串木野市	52	男	行政として大きい事業計画もいいが、身近な住民サービス、それぞれに特色のある町づくりと住民が優しくなる行政指導、それぞれの地域の住民が自分から何でもやる地域づくり、やる元気のある所には行政から補助等を。
2-46	串木野市	44	女	私達の子供の頃と違い、今の子供達の生活環境が変わっているので、子供達への教育の指導、心の指導に力をいれていただきたい、子供達を助けてほしいです。公民館などに若い人達が加入されないのが、入りやすい公民館作りなどを若い人からお年寄りまでの声を聞いて、新しく作っていただけると嬉しいです。

2-50	串木野市	47	男	広い地域になり、又、市議の減少等により住民の意見が取り入れにくくなり、コミュニケーションが希薄になる要素が大であることから、カバーし得る施策を望みたい。(ケーブルテレビ、オプトーク通信など) 子供は親の背中をみて育つもの(親が郷土に誇りを持ち、積極的に活動している姿を是非残したい) その為には、現在の市町村でグループ活動、地域活動でがんばっている行事、活動等々を拾い出し、それを好事例として他市町村へ波及させていくべき(串木野市の例～田んぼゴルフ、ホテルツアー、どろんこバレエ、河川の清掃 etc)
2-53	串木野市	52	男	合併後もまちづくりの検討のため、各構成市町村から数名の委員を選出し、(仮称)まちづくり検討委員会を設置し、圏域の均衡ある発展に努めて頂きたい。
2-54	串木野市	26	男	今後、新幹線や高速道などが整備されると大都市に近くなり、人や物の流出が予想されるが逆に大都市から人が来るような都市部にな川西薩地区オリジナルのまちづくりが必要であると思う。
2-56	串木野市	39	男	後世代(50年後、100年後)を考えた都市整備、人とのつながりを大切にする後世代の育成、若者が定住できる環境の整備につながる政策(企業誘致、住宅等の確保)
2-57	串木野市	42	女	今まで「こんなものを造るくらいなら、道路の一本でも造ってほしい」とか「舗装して欲しい」とか「税金を安くして欲しい」とかいう意見が出ていたので、住民のニーズにあったものを望みます。地かえて祭りのように、行政と住民と一緒に取り組むことが、もっと他にもあるように思う。少数の住民でも大切にしてくれるまち(過疎地にももっと行政の手を!)街灯がいっぱいあって夜も安心して歩けるような明るいまち。市民が地元で働けるよう雇用の場をもっと作って欲しい。
2-58	串木野市	45	男	働く場の確保、保守施設、学校等の充実、大学専門学校等の誘致
2-60	串木野市	47	男	スポーツレクリエーション施設の整備、公園広場等の整備、安全な街
2-62	串木野市	38	男	合併にあたって機構整備されると思いますが、なるべく今の役場等の出先で住民の要望がかなえられるような密接な関係を維持願いたい。
2-65	串木野市	42	女	子供達のがのびのびと育っていくような町になってほしい。多少の障害がありながらも、偏りなく付き合いのできる町になってほしい。
2-66	串木野市	41	女	子供達のためにスポーツ選手(野球、バスケット、サッカー)やチームを招待して、実際に技術指導を行ってもらう。そうすることで子供が夢をもちやる気を出すのでは。
2-67	串木野市	30	男	住民と行政の距離が遠くならないようにしてほしい。医療・福祉の充実 交通・通信等の利便性の向上 子供と遊べる大きな公園 市民委員会を発足して市民の意見を取り上げられるようにする。離島の人と一緒に歩めるようにする。
2-69	串木野市	57	男	歴史と自然の里づくりとして整備を進めている花川一帯、西岳、串木野ダム周辺の完成を急ぎ、日本中から観光や視察者が訪れ、地域が活性化することを望む。
2-71	串木野市	50	男	「公共施設と交流施設を一体的に」施設を敷地内又は、立体的に配置し集約化を図る。1.公共施設:市役所、銀行その他 2.交流施設:案内所 市民の声を聞けるシステム(市民、民間の意見、アイデアを提供できる。優秀なものには公に公表し、報酬制度を採り、どんどん参加させる。インターネットも可能。) パソコン教室 体験施設 農水産物、加工品等の販売(地元の産物を生産者側で販売するシステム) 食の場 コインランドリー等 健康増進センター メディカルチェック付(高齢化の医療対策)
2-72	串木野市	28	男	今の枠組みでは、市域がかなり広範囲となり、また甕島とは海を挟む合併であることから旧市町村の住民毎の考え方もいろいろあると思うので、住民の一体感の醸成につながるようなソフト面での施策が必要であると思う。
2-78	串木野市	54	女	どのような大きな市になるかわからないが、やはり住民の声がとどく政治にしてほしい。子供達が自分達で考えて行動できるような場、あまり守りすぎるのではなく、子供自身で考え生活できるような場をつくってほしい。
2-80	串木野市	29	女	住民の立場になって考えることを心がけてほしい。利便性を追求することもいいが、それと引きかえに失われてしまう物にも目を向けてほしい。場合によっては、失われる物の方が、住民にとっては大切なものかもしれないのだから。
2-82	串木野市	35	男	合併して一番大切なのは、「住みよいまち」になる事だとおもいます。今まで各市町村で開催されていた祭り事や各地区公民館で実施されていた行事等も統一して行うべきだと思います。現在は昔と違い、交通や通信その他の面でかなり発展してきているので、昔のままの考えではよくない面もあります。住民みんなが明るく、楽しく、住みよいまちになる事をめざして新市になる事を望みます。
2-86	串木野市	54	女	新しい市が誕生したとしても、学校等の統合がなく現状のまま、たとえ小規模でも残してほしい。子供達が遠くまで通学バス等を利用することなく是非徒歩で行けることを願っています。
2-87	串木野市	48	女	各市町村の良いところを引き出してみんなが協力しあう。
2-88	串木野市	44	男	海と山、自然を活かしたまちづくり

2-90	串木野市	53	男	1.真に必要なハード事業の選別 2文化的な面での事業の充実(万造寺齋等の郷土の偉人の顕彰)
2-91	串木野市	39	女	子供達の未来のために、自然環境を壊すことなく、豊かな自然を活かしたまちづくりを行ってほしい。子供から老人、障害者まで安心して暮らせる福祉の充実したまちにしてほしい。
2-100	串木野市	31	男	高齢者向けの地域、若者向けの地域とある程度エリアを分けて整備してもよいのではないかと。
2-102	串木野市	35	女	職員同志はもちろんのこと、住民もお互い助け合い声かけあって、毎日楽しく過ごせるまちになってほしい。
2-104	串木野市	44	男	自然に親しめる地域、屋外で余暇を過ごせる地域、親と子自然とかをタイトルにした石像の公園、釣り堀、釣リイカダの活用、従来にない大きな市となる為地域の特色を活かした均衡ある発展と行政サービスの提供。
2-106	串木野市	50	男	学校区等の見直しも必要ではないか。合併することで、例えば冠岳小学校に野下小の子供が来て、ひとつの小学校とするとか、野下地区の中学生が生冠中に通学する等、考えられるのでは。また、通学バスを準備する。川内市が中心となるため、川内市に何もかもあるから良いではなく、各地区(市町村)の整備を行うべきである。川内市までは時間的にも遠い、若者から高齢者自由に行けない、交通の便が悪い。各市町村に川内市と同じ規模の物ではなくてよい、小さくても良いので整えるべき。体育館、文化ホール、福祉施設等
2-107	串木野市	50	男	地域格差のないまちづくりを行う必要がある。市民の代表である議員が選出されない地域が出てくる恐れがあり市民の声が届きにくくなる。選出の方法を地域別に定数を定めて、そういう恐れがないように制度の検討をしてほしい。
2-108	串木野市	44	女	串木野には一般の人達が一年中利用できるプールがありません。さのさプールは、夏休みだけしか利用できない。海水プールは利用価値のある物だと言う事を聞いた事があるのでもう少し利用期間を広げてみては...。シーサイドガーデンさのさは、温泉は出ないのですか？長崎鼻公園とキャンプ場とかいろいろ観光資源として利用できないものではないでしょうか。まぐろのまちと言われているが、今までまぐろ料理を味わわせてくれる所がなかった。最近、まぐろラーメン、ぎょうざが登場してとても良い事だと思う。サワーポメロは県外に送ると、とても喜ばれる。おいしいし、めずらしい、日持ちする。さわやかポメロとかも開発されて良かったと思う。本場つけあげとして串木野のつけあげは種類も豊富と言われている。観光資源である素材を生かし、開発して育ててほしい。産業が発達して働く場所が増えれば良いのですが...。ロータリーの噴水はきれいだけど、見て楽しむ場所がない。寿屋跡地はポッカリ空間が空いている気がする。商店街も活気あふれる...とは言えない気がする。有効利用を。
2-110	串木野市	55	男	周辺部では更に高齢化、少子化、過疎化が進むことが懸念される。特色ある教育や生涯学習を進め、そこで生活する者が夢を持てるような施策が必要である。若者や女性の発想を生かしたまちづくりを進める。
2-111	串木野市	44	男	とにかくエリアが広くなりすぎる感がある。全体的な一体感も必要ではあるが、まずは小さな地域でのまとまりを作っていくことが重要ではないか。地域での人と人とのつながりを大切に。
2-113	串木野市	39	男	街の広域化に伴い、住民サービスの提供のあり方に変化が生じるが、気軽にサービスを受けられるような体制づくりを最も優先して充実を図ってほしい。
2-117	串木野市	42	男	小学校区を地域コミュニティの拠点施設として整備しよう！市町村合併の時大きな問題となるのが、新市庁舎への距離である。これを解消するために、旧市町村役場は支所となることが多いが、今後ますます進む高齢化を考えると、より身近な所に窓口が欲しいというのが当然の要望だといえる。本地域は10近くの自治体が合併し、広い面積を持つ様になるため、特にこれに対する配慮が必要と考える。今後情報化が進み、自宅から電子申請等もできるようになるのだが、これらに対応できるのは主に若い世代であり、高齢者には手取り足取りアシストしてやる必要があるだろう。ついては、合併でメリットを生かす範囲内で、住居地の近くに役場の窓口を整備したい。小学校は基本的に児童が歩いて通える範囲に存在していると思われるので、高齢者にも通所可能な場所である。学校には少子化のために利用可能なスペースというのもあり、現在も市町村職員が一部配置されているので、この体制を一部充実して、市町村窓口の受け付け相談とするのはどうだろう。合わせて、地域住民のサロンみたいな空間を創れれば、閉鎖的になりがちな学校現場にもいい影響を与えられるかもしれない。500名を削減しなければならない、合併自治体の適正職員数達成のための調整手段ともなる。
2-120	串木野市	30	男	自然エネルギーを利用した公害の少ない出さない町づくり 串木野市で発電所(自然エネルギーを利用した電力施設)を作り、串木野市民の投資で運営、投資者には電気料の無料又は、電気を買った分の利益を払う。串木野駅に電動バイクを置き、無料でレンタルし市内で買物した人はJRの割引き20%~30% off
2-121	串木野市	51	男	高齢化社会への急速な移行と現在のような若者の就労場所の激減に益々若者が住みにくくなっている。就労場所を大企業に頼る傾向から地域の持性をいかすための就労場所作りを積極的に進めてほしい。
2-122	串木野市	45	男	町づくりの早い段階から、同じまちの市民としての一体感を醸成するソフト事業について検討・取り組むべきである。当初は、新市内の視察を市民に勧めたり実際に視察事業を実施すべきである。また新市の職員も新市の地理的条件や人、団体を知るために交流事業を実施し研修すべきである。この新しい市は、東京に遠い不便な町ではない。むしろこれからの世界に占める日本の役割を考えた場合、大変有利な位置にある。特に中国、東南アジアとの交流交易を考えると、国際都市としての機能を果たしうる可能性が大きい。この特色を最大に発揮することが新しい市の魅力となり特色となりうる。将来の新市の姿は、国際色豊かな町の雰囲気が漂う町であって欲しい。

2-123	串木野市	30	男	脱開発都市を目指して欲しい。作るのではなく、作ったモノの維持管理、活用を徹底する。作るだけが開発ではないと思う。例えば、子供の遊ぶ公園は草ぼうぼう、ゴミだらけ。管轄はひょっとすると市ではないかもしれないが、御倉山公園(今はジャングルと化し怖くて入れない)も、きれいに手入れをすれば街のいいオアシスになる。そういう、身近な事業を老人に委託事業として出すことで、利用する子供や親の満足だけでなく、ひいては子供達に喜んでもらえるという老人の生き甲斐にもなり、地域振興に繋がるのではないかと思う。
2-124	串木野市	47	女	人口7000人前後の町で合併せずにがんばっている所もあるという話を聞いた事もあります。あと、ひとりでもがんばっているのだとなんと応援してあげたい気分になります。合併して良かった悪かったは、何年か後にしかわかない事ですから、今は予想しようにも予想だにつかない。一体どのような未来都市になるのか…。かえって、世間の波に取り残されてしまった所もあるという事をききます。1人1人を大事に考えてほしい。これ以上の発展ははっきり言って、あまり望みたくありません。もう今で充分です。無駄な公共開発を(何度も何度も道路をほじくり返して舗装をしたり、土の上をセメントでぬりかためてほしくない)やめてほしい。自然と共存できる都市づくり。必要以外のものをいくつも作らない。例えば、この町は温泉の町、この町は漁業関係の町、この町は紙・IT産業の町といった具合に特色のある町づくり。あちこちにいろんなものをやたらと作らない。古いものだからと言ってやたらに壊さないでほしい。外国から来た人は、特別に東京、大阪あをあらためて観光するようなことはしません。必ず、京都・金沢等に出向きます。もっと日本のことを見つめてほしい。日本の良さをあらためて感じてほしい。日本はずっと日本文化を大切にしてほしい。"日本情緒"とてもいい響きの言葉だと思います。1本1本の草木類を大事に考えてほしい。ここに来れば、ほっとするとと言われるような町にしてほしい。そのためには、あまり手を入れない事だと思うのですが…。
2-127	串木野市	39	男	各種委員会等の委員として、民間から委員を選出しているが、学識経験者等の理由から高齢者が多い。学生の委員と選出したらどうか。大学生、高校生、中学生の委員を。
2-130	串木野市	35	男	市、行政で行うまちづくりには、期待が出来るものは少ないと思う。今までも、国主導の補助金づけにしておいて、金がなくなるとその場で打ち切る等、その場しのぎの行政を多く実施してきたからそのようなものを基本的に見直す必要があると思う。
2-131	串木野市	31	男	「安全に暮らせるまち」「他の自治体と往来の盛んなまち」「知名度のあるまち(いろいろな面で)」「住みごごちのいいまち」「平均年齢の若いまち」
2-135	串木野市	56	男	主要幹線道(国道3号線)の整備 川内・串木野の幹線道路である国道3号線は、川内駅前から木場茶屋駅まで片側2車線の拡幅が可能となっている。新市誕生では、串木野酔之尾から川内駅前までは片側2車線で結び一体感を出すことが1番必要と考える。高規格道路とは別問題であり、一体感を出すことにより親近感も生まれ、合併して良かったと後世に伝え残したい気持ちと、新市が活気ある町となるため提言します。
3-1	樋脇町	27	女	住民と行政が遠ざかることがないよう、住民にとってきめ細かなサービスが行き届くようなまちになってほしい。
3-3	樋脇町	49	女	「心豊かな子供」を育てるには「心豊かな大人」が必要です。
3-6	樋脇町	24	男	住民の声が反映しやすい環境をつくらなければならない。合併すれば当然、各地域の議員や職員の数が減るのは避けられない。そうなれば住民の声が届くにくくなることも考えられる。特に地方に行けば行くほどこのようなことがおこりやすくなるかもしれないので気を付けなければならないと思う。
3-7	樋脇町	41	男	若者の意見などが十分に反映する場をつくってほしい。行政サービスが全体に行き届くような連絡体制をつくってほしい。シルバー人材センターをより充実させ、その知恵が子供達に伝わっていくような場(行事)をつくってほしい。
3-8	樋脇町	54	男	公共施設の管理等 施設の効率的、多角的な運用を進めるため、民間委託、ボランティア協力、地域住民との関わりを深め、親しまれる公共施設として機能を最大限に生かす。公園、街路樹等身近な施設に対し、親しみを深めより効率的運用、利用をするため地域住民の参加を推進する。 中山間地域における学校の空き教室の開放による住民の文化センター的活用の推進 学校を核とした地域づくりの推進
3-14	樋脇町	42	男	子供達が自然と多く触れあうことのできる施設と老後を安心して暮らせる為の施策を充実させてほしい
3-15	樋脇町	26	女	各市町村において育まれてきたものについては(文化や各種活動)新市の貴重な財産として守り、行政と住民間の理解と納得のより発展できる“まちづくり”をかけた、行政と住民の新たな活力の場となるように
3-17	樋脇町	29	男	若者が住みたいと思うまちになってほしい
3-18	樋脇町	47	男	子供達のための環境や自然を守ってほしい。
3-19	樋脇町	25	男	いろんな事に積極的に取り組んでほしい。子供が身体を動かして遊んだりできる環境づくりをしてほしい。
3-23	樋脇町	19	女	子供達が故郷を離れても「就職はこの町に帰りたいな」と思うような町づくりをしたいです。
3-24	樋脇町	31	男	都市型と山間部での生活の差を埋めていけるような政策の展開。公共交通機関を利用しやすくする。(高齢者、幼児等が利用しやすいように)
3-25	樋脇町	36	男	新しい技術を導入したまちづくり
3-26	樋脇町	44	男	自然を生かした町づくりをし、子供達が伸び伸びと生活できる市の形成。

3-31	樋脇町	25	男	大きな市と合併する可能性が強いのなるべく今のいいところは残しておきたい。将来子供達が外へ出ることなく地元で働ける環境を作ってほしい。
3-32	樋脇町	55	男	市町村合併は21世紀の新しい地域づくり 住民がなおざりにならないように「IT化による新しい形での住民参加を考える。
3-34	樋脇町	23	女	広域合併ともなると各市町村にある施設等を統合させて新しく作るということも出てくると思う。そうなった際、今からの高齢者社会の事も考えて福祉サービスの充実した施設(特に車イスの住民も問題なく利用できるバリアフリーなど)を作ってほしい。今でさえ役場から遠い市街地から遠いというお年寄りには不便な思いをしていると思うので、そんな不便さを解消するためにも一人一人思いやりを持った行動がとれるようになってほしい。
3-35	樋脇町	49	男	諸手続、証明書発行、納金など近くで取り扱いが出来ること(高齢者対策の充実)
3-36	樋脇町	56	男	温泉保養基地、食糧供給基地として位置づけ 「しま、おか、みなと、みずうみ」それぞれが特徴特色を生かせる政策の推進 教育環境の整備(施設・整備の拡充)
3-37	樋脇町	25	男	町に住んでいる人、町はずれに住んでいる人が絶対に同じサービスが受けられるようにして欲しい。部落差別なんて言葉があってはならない。
3-40	樋脇町	49	男	将来、地域皆が心豊かにお互いを理解し、子供達の為に明るい未来が開けることを期待する。
3-41	樋脇町	35	女	各土地柄によって由来のある行政区名をつけていると思うが、新行政区名は重複してつかないように配慮してほしい。
3-45	樋脇町	56	男	活気ある町
3-47	樋脇町	55	男	支所機能の充実 職員の配置 農協が合併したが現在のJA樋脇支所には地元精通した職員がいないため「ぬくもり」を感じない。
3-49	樋脇町	23	男	若者が定住し活気あるまちづくり
3-50	樋脇町	33	女	住民に対して親切でやさしいまち
3-51	樋脇町	43	男	合併後様々な政策が後退することのないよう精査し、充分協議すべきである。市町村の温度差がないよう、物、人、交流が頻繁に行えるようありたい。
3-55	樋脇町	40	男	合併することにより行政区域が広がることにより次世代を担う子供達に新しい市(まち)の区域、文化、住民等を早く知って欲しいことから各小中学校間又、地域間の交流事業等を取り組んだらどうか。
3-60	樋脇町	30	男	20～50代までが安心して働くことの出来るまち(保育所、老人ホーム、病院と併設する保育所等の設置)
3-62	樋脇町	31	男	現在の情報化社会から取り残されないようにしてほしい。
3-63	樋脇町	22	男	観光客など多くの人が集まる活気のあるまちづくり 各市町村の良い所を活かすまちづくり スポーツの振興に努める
3-65	樋脇町	59	男	子供から大人まで楽しく暮らせる魅力ある新都市になってほしい。働き盛りの若者が安心して働くことの出来る企業誘致、乳幼児の保育施設の整備から高齢者が安心出来る交流施設、高齢者向けホーム施設及び公営による医療施設を各地域に整備を期待したい。旧市町村の地域差別解消のために道路網の整備を図り、交流が図られるような政策を期待したい。
3-67	樋脇町	31	女	原発交付金に頼らないまちづくり
3-71	樋脇町	28	女	ひとつの町にとどまらず、合併した時、各市町村の学校の交流を活発にしてほしい。
3-72	樋脇町	25	男	若者が多く住めるように住宅などを増やしてほしい
3-73	樋脇町	51	男	少子高齢化対策
3-76	樋脇町	39	男	老人が社会参加しやすい街 子供が安心して屋外で遊べる環境づくり
3-78	樋脇町	41	男	過去の市町村枠にとらわれず合併後の新市がよりよき方向に向かうよう職員が率先して取り組むべき。発展するための痛みは痛みとして皆が共有し、不公平感がでないようにすべきである。
3-79	樋脇町	34	男	市庁舎を繁華街におくのではなく、広大な駐車場をとれる場所に新しく建設し、職員の気持ちを変える。
3-80	樋脇町	26	男	市中心だけが発展するのではなく、元町であったところが荒れないようにしてもらいたい。
3-81	樋脇町	40	男	将来に希望が持てる町づくり 自然と調和のとれた町づくり 住んで良かったと実感できる町づくり
3-82	樋脇町	32	女	一人一人を大事にする街であってほしい。福祉、教育も充実した政策を。合併したら幅広い交流もできるのでは。明るい役所を目指して町民、市民が交流出来るような雰囲気の仕事場にまた場があれば。
3-83	樋脇町	55	女	子供達が安全で生活をする事が出来るまちであってほしい。
4-2	入来町		女	職員の人数が少なくなっても、お客様に対する対応も明るい笑顔の挨拶から。違和感を与えないようにスタートして欲しいです。

4-7	入来町	23	女	合併する各市町村すべてを同じラインにまで、開発するのは難しいと思う。それぞれの土地の特性を活かして、観光のエリア、住居のエリアなどそれぞれの区域に合った開発が行われればいいと思う。また、これからは、高齢化がますます進むと思うので、福祉の分野に対応できる公的な機関、(職員も資格取得するなどして)が増加してほしい。
4-9	入来町	46	男	いずれにしても各市町村相当リスクを払って合併するのであるから、従来のイメージを持った考えでは成功は望めない。基本的な住民サービス部門、新たな行政サービスを検討するプロジェクト組織の構築、情報管理部門の強化など大枠を定め個別についてはそれぞれの部門にスペシャリストを配置し、ネットワーク上で意欲のある職員が参加新たなプロジェクトを構築する手法などが今後の組織の主流になると思われる。
4-10	入来町	36	女	形だけの合併でなく、住民が満足する様な内容にして欲しい。1つになる市・町・村が「合併して良かった」と思える仲の良い新市にして欲しい。子どもたちが将来合併して良かったと思える様に、子どものどんな意見もとり上げて欲しい。
4-11	入来町	46	男	広域合併のメリットを生かし、一層の文化・経済等の交流を図る。 住民の声が、市政に生きるようきめ細かな行政組織の構築
5-2	東郷町	30	女	人の多い所だけでなく、各地区の方にも目を向けてほしい。小規模校にも。
5-3	東郷町	44	男	個々人のまた各組織や団体の利益、不利益もあるでしょうが、新市のまちづくりを話し合う場、特にまちづくりフォーラムでは新市全体の枠組みの視点で、まちづくりや子供の教育、環境問題のほか、先述した地域イベントや郷土芸能などの意見交換の場になってほしい。本町は「フルーツの里づくり」を推進しているが、樋脇町のホッケーのまちなど、このような市町村の特徴を残した、または融合できるものはそのようにして新市のPR等に役立ててほしい。
5-4	東郷町	47	男	新しい町になったら自分達の町(旧町村)は、どうなるのだろうという不安が根強くあると思うので、もっと住民への説明会を実施する必要があると思います。とくに本町は青少年健全育成に取り組んでいますが、新市になってからもパレードや子供会大会等の行事や児童数の減少に悩んでいる学校に他校区からも通学できる特認校制度は継承してほしいと思います。
5-6	東郷町	28	男	大きな町になるし、横のつながりがなくなる。子供の社会教育のためにも横のつながり、近所とのつきあいがある。まちづくりをしてほしい。
5-7	東郷町	48	男	広域になるので各地方が色々な面で取り残される事がないまちづくり。都市部に事業等が集中することなく、地方も今までと同じように配慮してほしい。各地方に市の目玉となるものを配慮して、各地に活気を感じるまちづくり 子供達も一市になって手を取り、仲間となったまちづくり こども交流(イベント) 各地の特産品等の交流
6-1	祁答院町	44	男	中心部だけ良くなるのではなく、周辺部にも気配りのあるまちづくりを要望します。小学校は地域住民の拠り所であるので小規模校でも統廃合することなく必ず存続してほしい。いろいろな施設を1箇所に集めるのではなく、分散して設置してほしい。(できれば旧市町村単位に)
6-3	祁答院町	48	男	都市部と農村漁村部の調和のとれた都市づくり ボランティア活動等が盛んで、こんな活動を通じ若者を社会性のある人づくりをしてほしい。高齢者の生き甲斐づくり政策 未婚者が多いので結婚対策 農地の荒廃対策 農業後継者対策(20年後を考えると心配である) 高齢化対策として福祉施設・設備の充実
6-5	祁答院町	39	男	既存の国際交流を発展させ、将来を担う子供達の人材育成を強化してほしい。新市の範囲が広範囲にわたるため、最新のIT技術を率先して導入し、地域イントラネット等導入し、地域情報化のまちづくりをしてほしい。開通予定の新幹線や空港へのアクセスも良いことから、県外からは観光、グリーンツーリズム等人の交流で賑わうまち。県都鹿児島市と対抗出来る拠点都市の形成を目指してほしい。
6-15	祁答院町	49	男	合併後旧市町村の公民館単位にて、10人前後の委員を選出し、特別推進協議会の会議を設立し合併後の政策等の審議を開催する。【この委員の中には、小・中・高校生も含めるべき】
6-17	祁答院町	32	男	旧市町村間に私たちは同じ市民なのだと思えるような政策をお願いします。(垣根をなくす。)
7-1	里村	48	女	新市～発展していくことを望む 我々へき地の村～平成の大合併という大きな波にもまれながらも、我々のスタンスと伝統を守り、前向きに流れていきたいとー。
7-2	里村	55	男	幸せを共有できるまち。 ・若者を中心としたまちづくりや政策を積極的に社会教育に、薩摩独自の気風をとりもどしたものを取り入れていく。 ・高齢者に優しい思いやりのあるまちづくり、政策 医療の技術・器械、システム、人材の充実。保健面での前向きなとりくみ。福祉面で思いやる心の充実をはかる。
7-5	里村	25	男	「離島であるので、多少閉鎖的になりがちでは？」との心配がある。こども達にもっと人事交流の場があればと思う。

7-7	里村	52	男	川西薩地区は、しま・みなと・おかとそれぞれに特異な分野を有する為、魅力に富んだ市となり得る。 過去の合併の失敗を繰り返さないためにも前例のない考え方の導入を図って欲しい。特別区の導入や議員への地区割当て等中山間地区と離島との受け持ち地域の交換、川内川と甕海峡の川下り、横断へのチャレンジ等川内川流域の再開発
7-9	里村	44	男	甕航路について 現在、甕航路九州商船との第三セクターによって運営されているが、新しく市が成立すると、また新しい構成による会社になる。その際新しい市は財政的にもかなりの規模になると思われるので、この新甕島商船に対し、増資を行い、現在のフェリー、高速船から、フェリー2隻によるピストン交互運航を実現して欲しい。それが無理なら、利用料金の引き下げを検討して欲しい。この航路は島の人々の生命線であるということを、充分理解・認識して欲しい。
7-12	里村	45	女	子供達が高校、大学等を卒業して帰ってきた時に、住居、働く場所がある所になってほしい。
7-14	里村	32	男	気軽に立ち止まって楽しめるまちづくり
7-16	里村	50	女	毎年人口が少なくなって来ています。若い人が働く場所、住居等を作ってもらいたい。
7-17	里村	44	男	新市になって新しい本庁舎がどこに配置されるかはわからないが、中央だけのサービス重視ではなく、小さな地区にもいきとどいたサービスの提供ができるようにしてほしい。 生まれ育った場所が就職や交通の不便さ等ですたれられもなくなるようなことがないようにしたい。 各地区地区にあった産業の育成を行い、これからの子供たちが働ける場所を作してほしい。
7-18	里村	50	男	広範囲な合併により、行政サービスの低下が懸念されている。多くの市民がまちづくりに参画できるシステムの構築 「市民自らが主体となって考え、行動し、市民及び市が協働して推進するまちづくり」
8-1	上甕村	59	男	高齢化・少子化は地域活性化の妨げとなっている。景気が低迷している中で、まちづくり施策は重要であり、若者に魅力ある定住できるまちづくりを進めてほしい。
8-2	上甕村	49	男	地域ごとの特性をいかしたまちづくり
8-3	上甕村	62	男	・稚魚の放流とアワビ養殖や水産加工品の製造等水産振興対策 ・スポーツ、レクリエーション施設、集会施設の改修 ・アイランドテラピーによる健康づくりの推進(すのさき荘改修温泉化) ・生涯安心して住める地域づくり(高齢者生活福祉センター等温泉施設の整備) ・海岸への流木、竹、ごみ等の処理施策 ・保育園(又は保育所)図書館や集合施策等複合少子化交流施設の整備
8-4	上甕村	60	男	1. 住民の声が届くシステムの充実 2. 中央のみの施策傾向でなく、周辺地域への気くばり施策の充実 3. 地区に残されたイベント(郷土芸能等の文化)事業等は残す方向で検討すること 4. 公共施設の充実(病院等) 5. 交通施策の充実(定期船) 6. 福祉施策の充実(老人福祉施設) 7. 環境施策の充実(産廃・一般廃棄物・し尿処理)
8-7	上甕村	35	男	鹿島村でおこなっている「うみねこ留学」のように、都会に住んでいても子供を豊かな自然の中で育てたいと考えている親御さんも多いのではないかと思います。学区にとらわれず、島外からの小中学生を島にうけいれる制度を、もっと拡充してはどうか。また、休耕田も多くみられるが、それをもっと有効に利用できる方法はないかと考える。
8-9	上甕村	29	男	各市町村の特色を伸ばし、住民の意見を聞き老後幸せにくらせるような政策を行ってほしい。
8-10	上甕村	49	男	たすけあいをだいにするまちづくり
8-11	上甕村	43	男	住民が安全に安心してくらせる街づくりをしてほしい。特に弱者にやさしくもしくはいろいろな弱者をつくらないまちづくり
8-15	上甕村	47	男	各市町村の特性をいかす。

8-17	上甌村	35	男	人口がもともと少ない地域が、さらに減るのではないかというのが、合併に対する不安だと思う。そのためには、ハード事業よりもソフト事業に重点を置いてほしい。形に残りにくいけど、十分検討・実施することでその地域の人々にとって生きる実感がわくと思う。人口割の配分のみでなく、全体で何をするかを優先して事業を実施してもらいたい。各市町村がやっていた事業、全てをやる必要はないが、集約するのも全て大きい地域がとるのではなく分担・配分してほしい。
8-18	上甌村	43	男	現在の市町村毎に基本理念を掲げ、それに基づいた政策を進めてほしい。
8-19	上甌村	44	女	近代的なまちでなくて良い。 流行や大都会を意識せず、田舎の良さを十分に発揮できるまち
9-4	下甌村	33	女	合併した場合、子どもから大人まで交流の場を多く持てたらよいと思う！ 今すべて決めてしまわずその時その状況で工夫してほしい気もする！ <前年度までに住民アンケートなど>
9-5	下甌村	30	男	地域住民の声をよく聞き、改善又は状況の報告を細かくできる体制の構築 改善については、規模の大小でなく、緊急度を重視し、地区の均衡化を図る。
9-6	下甌村	27	男	地域の特性を生かした補助制度の創設(甌島に新たに定住し漁業に就業する方を対象にした助成制度など) 各地区の小学校の留学制度に対する補助(里親・留学生の親・両方の負担を軽減し、交流が盛んになって地域が活性化してほしい)
9-7	下甌村	38	男	・世界に通用する子どもの育成を図るため、強制的な留学制度を創設する(補助対象) ・独自の貿易が出来る様に、港の整備、法の制度を確立する ・各地区の伝統を継承しつつも、新しい文化を創造する。
10-2	鹿島村	51	男	子どもたちのために、一人一人の個性がのびるような政策であってほしい。
11-21	川内地区消防組合	43	男	住民の意見が反映されるようなまちづくり
11-28	川内地区消防組合	28	男	山、川、海と大変自然に恵まれていると思うので、これを活かした施設(公園等、近代的な建物ではなく)をつくる。
11-56	川内地区消防組合	40	男	何でもいいのですが日本一と自慢できるまちにしてもらい、全国にアピールできるもの 例:川内川の利用、福祉関係、住民のボランティア、大綱引き
11-64	川内地区消防組合	40	男	まだ、漠然としていますが、いいまちになってほしい。行政は基礎的な部分を担当し、住民が積極的に自治に参加し、いいまちづくりを皆で進められるような政策を期待します。
11-66	川内地区消防組合	41	男	新市町村がバランスにとれた事業の実施。また、今回の合併は、離島を含んでいるので高齢化が地域によって較差があるためそれらに対応できるよう適切な福祉サービスをしてもらいたい。また、議員1人あたりの住民の数が増え、地区から議員を選出できない等予想されるため、住民の声が公平に反映できるような仕組みを作ってもらいたい。
11-72	川内地区消防組合	55	男	広域となることにより、多くの名所・旧跡・観光施設がある。これらのルート設定し宿泊型の観光ルートを開発し、地域の活動にいかしてもらいたい。 新しい市になっても、人口増加することが活気のある町づくりに不可欠であります。新幹線が開通することにより、操車場ができたメリットをいかし、鹿児島のパットタウンをねらい、格安の通勤、通学列車を運行出来るようになることが活性化につながるのではないかと。
11-75	川内地区消防組合	44	男	決して1ヶ所に集中することなく、各機関の分散化を図り、地域の特徴を生かしていく。たとえば、社会福祉関連の機関はA地域にとり、農業、魚業関連はB地域に公共機関を設置するなど...
11-84	川内地区消防組合	19	男	子どもがスポーツを盛んにレベルの高い地域にしてほしい
11-92	川内地区消防組合	21	男	市民の声が反映する町
12-3	西薩衛生処理組合	38	男	原発のない町

12-4	西薩衛生処理組合	52	男	他市町村から遊びに来られる新市になって欲しい
12-5	西薩衛生処理組合	52	男	他市町村から新市に遊びに来れるまちづくり。(市内が人でにぎわうまちであって欲しい。)
12-6	西薩衛生処理組合	46	男	民意を反映させることは、全てのプラン(公園、施設、環境その他の企画など)を中央のコンサルにまかすことなく川内(市)独自のプラン(市民発想)にそった形で進められることが、生きた市になるのではないかと、又(工事関係においても)地元企業で可能な仕事については発注を分割してでも地元で直轄で。 (担当職員は大変だが)そのことが地元活力につながり、又、税の有効活用(中央企業のピンハネ分)にもなる。
12-7	西薩衛生処理組合	43	男	原子力のない町
13-4	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	32	男	原子力発電に変わる発電所を作り、子どもたちに安心・安全な未来を残したい。
13-5	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	40	男	雇用対策を重視してやってもらいたい。新港をもっと活用してもらいたい。
13-7	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	40	女	温泉を利用した公共の施設。現在もありますが、他の市町村やお年寄りだけに限らず若者も一緒に楽しめる様な工夫をして、例えば大きな温泉プールや流れるプール、マッサージしながらイヤホンで音楽等が聞けるスペース、スポーツジム。宮崎県延岡市にヘルストピアという施設があり、一度利用しました。串木野市より人口もかなり多い市ではありましたが、子どもからお年寄りまでたくさんの方が利用されていて印象的でした。
18-1	上甕島バス企業団	53	男	都会にいる若者が新市へ帰り安心して働けるような職場、職業があれば、やがて結婚し子供なども、増えるような環境があれば活気のあるまちができるのではと思う！
18-2	上甕島バス企業団	32	男	合併するからには、今よりも住みやすくしてほしい。各税の見なおし、金融機関の見なおしなどを、おこなっていかないと、合併されても財政は厳しいのではないのだろうか？よりより町づくりを・・・
18-6	上甕島バス企業団	40	男	合併することでどうしても小規模なところの意見等が難しくなってくるのが考えられる、どの村、町でも高齢化が進む一方活気ある町になるには若者が増えることが、重点となってくるのではないだろうか。といっても島にしてみれば若者が帰って来ようにも働くところがないのが現状である。20年前とは違い海で働く人は少なく公共事業も厳しくなってきた。田舎育ちのものにとって生活するためとはいっても自然が壊れていくのは、僥倖がたい。これからますます高齢化が進むと考えられる。合併することで、若者が町へ出ていくことになるのではと心配する。人間が生活するためには、年齢的なバランスというものが必要ではないだろうか。何とか良い職場ができることを期待する。合併することで何もかも変わってくるとは思うが、各地区の伝統文化を考えてもらいたい。そして、生活の安定こそが、幸せであり、子供の成長のためにでもなると考える。人々が合併したことで、生活が安定し合併して良かったという声が聞けることを期待する。
4	個別応募・川内市	31	女	・各世代がそれぞれある程度満足でき、各世代間での交流も当たり前の、すれ違う人みんなが挨拶を交わすようなまち・小さくても、ささやかでもいいから、たくさんの「楽しい」「おもしろい」「嬉しい」「便利だ」「為になる」「すてき」etc・・・という「プラス感情」を感じられるようなことが、至るところに、いつものように散らばっているまち
6	個別応募・川内市	35	男	地域性を生かした町づくり

その他(テーマ :テーマ ~ 欄で記入できなかった事柄等をご記入ください。)

	市町村名	年齢	性別	提言
1-10	川内市	31	男	もっと施設をつくるならば、人に優しい施設をつくらなければいけないと思う。
1-14	川内市	29	女	他市町村の人に話を聞くと、人事に派閥が反映されるらしい。新市になったら、実力で選んで欲しい。通勤は皆自宅から近い庁舎がいいに決まっていると思うが、職員の資質向上の為に、他庁舎への異動(交流)があった方がいいのではないだろうか。
1-19	川内市	51	男	楽しく暮らす 地産地消から自産自消に、あまったら地消にまわす。 祭りは、自分達で楽しむ。他所の人に見せるためではつまらない。 複式学級は、公費による家庭教師である。こんなぜいたくは他にない。 自分ができることは自分で、自分ができないことは自分達で、自分達でできないことは、自分達に役立たないと思え。 隣近所と共同で日常の仕事を進める「結」の復活
1-22	川内市	48	男	ほぼ合併する市町村の枠組みも定まりつつある。自分以外の市町村の歴史や文化、伝統、地理等知らないことばかりなので、まずはそのまちを訪れ学び知る必要がある。職場の飲み会や旅行等も他市町村で行うことも考えてみてはどうだろうか。
1-71	川内市	50	男	建設関係事業の進め方については、合併前のそれぞれの市町村の進め方の違いにより公平性を確保することは非常に難しいと思う。そのために、都市計画審議会のような第三者機関により実施箇所優先順位等を決定する。その課程、結果は公表する。
1-73	川内市	53	男	川内市という立地条件を考えたグローバルなまちづくり。
1-80	川内市	33	女	広域合併しても我がまちだけのことを考えずに、全体的に活力あるまちづくりを考えていきましょう。過疎化の進んだ郡部のことも考えましょう。町村住民が合併して良かったと思えるよう中心部だけで推し進めていかないで欲しいですね。給食センター方式をつづけるのなら、中心部の学校のみにして周辺の学校には自校給食をすすめてもらいたいです。その分の雇用も増えるのではないのでしょうか。小・中学校と自校給食で育った私にとっては、今の川内市のようなセンター方式では味わえない給食だったと思っています。大量調理ゆえに一度最悪な事態が起これば、大量食中毒にもなりかねないと思います。新しい市の名称は、現在の市町村名とだぶらない名称にしてほしいです。
1-104	川内市	41	男	産業振興による経済基盤の充実。少数集落でも安心して暮らせるまちづくりの推進(コミュニティの推進)。住民の声が反映される施策の推進 外に目を向けた施策の展開(国際交流、国際貿易の推進)。福祉・医療体制が充実したまちづくりの推進 障害者(弱者)に優しく、障害者がいきいきと暮らせるまちづくりの推進 学校教育環境や生涯学習環境が整備されたまちづくりの推進
1-105	川内市	48	男	私の住んでいる旧高江村でも合併後、現在職員の8割程度が地区外の便利な所に居住しており、寄田・久見崎・高江での選挙は里帰りとは他町の職員で実施している。災害対策についても同様であり、職員がいないと児童も少なく地域が活性化しないし、将来過疎化がますます進行すると思われる。伝統文化の伝承や消防団等の確保にも影響している。他市町村は合併後同様な結果になると推察される。新市の基礎となる地域が寂れることは、荒廃地の拡大や独居老人の増加など地域生活の崩壊を招く。広域化は効率化をもたらすが、現場を持つ課は必ず現場に行かなければ立会や検査ができないため、移動にともなう時間や旅費等をトータルで判断して、支所等の人選や人員の削減等を決定することが望ましい。各市町村にはそれぞれの得意分野を分散する。そのことが地域の自信と人との交流につながり、活性化をもたらすのではないだろうか。
2-1	串木野市	41	男	現在閉店になっている店(寿屋や中心市街地の中規模店)を若者に開放し、若者のイメージ(商店、パソコン教室(先生も生徒で行う))で何でも自由にさせてみる。
2-18	串木野市	42	男	楽しく遊べて、安らげるまちになってほしい。
2-72	串木野市	28	男	合併前のかけこみでの建設事業(ハード事業)は各市町村ともやめてもらいたい。
2-94	串木野市	38	女	温故知新 平和で豊かなまちづくり
2-107	串木野市	50	男	子供達が安心して働けるような企業がどんどん進出してくれるまちであってほしい。中心地までの到達時間を30分以内で行けるよう交通体系の整備を行ってほしい。行政が進めている事が住民にとって好ましくないと判明したら、速やかに再検討し、修正ができるように弾力的な行政にする。特に(長時間かかる大型事業等)子供をたくさん産んでも安心して暮らせる制度。子育て支援を充実してほしい。

2-109	串木野市	34	男	”13万都市”とは言うものの、たかだか160人/km ² の規模の市でどうなるのでしょうか...。本当にいいまちづくりができるのでしょうか？人は街だけに集まり過疎は進みませんか？子供は多くなりますか？高齢者は？田畑は荒れませんか？机上の事務作業だけでは「時間がない」というのを理由に無理やり合併が進むのであれば誰のために合併するのかわかりません。”住民の福祉”のためになるような合併にしてください。よろしく。
2-110	串木野市	55	男	合併になると職員数も大幅に減る。地域によっては、職員が地域行事や地域役員として中核になって活動している。合併によって、特に周辺部の人口減少地区で地域活動が衰退しないようにしなくてはならない。現在、本市が採用している嘱託員制度の充実と強化を図る必要がある。現在、ウッドタウン等の住宅施策が進められているが、川内市は土地(住宅用地)が広く、中郷地区や温泉のある樋脇町、入来町方面へ定住圏が広がっていくのではないかと。麓地区や野平地区、照島地区の住環境の整備を急ぐ必要がある。合併する市町村は、それぞれにイベントがあり、それがそれなりに定着している。これらを合併後の新市のイベントとしてどのように位置づけし発信していくのが大切である。新しい住居の意思統一を図り、自分たちのイベントとして育てていかなければならない。
2-111	串木野市	44	男	合併特例債などの活用については十分留意し、後々財政負担にならないように。(合併に際しては、各方面から要望も多くなると思われる)特にハード面は。人口密度の面を考えると、地域の活力を維持するには人的確保が必要。安易に類似都市云々によるような定数管理にならないように。「合併をするから何かしないといけない」と言った流れがあるような気がする。これまでのそれぞれの地域の歴史を大切に、今までの形や流れを残す、不必要なことはしない、ということも必要ではないか。
2-112	串木野市	30	男	川西薩地区での合併は反対です。もう一度、市民にアンケートをとるなりしないのでしょうか？市民の方も合併ということに対して考えが最初と違うと思うのですが...。なぜそんなに焦って合併を推し進めようとするのでしょうか？他の市町村よりもどんどん話が進んでいっていますよね。本当に合併しないといけないのでしょうか？合併せずに何とかできる方法もあるのではないのでしょうか？それでも無理な時に合併をすれば良いと思うのですが...。川西薩地区と合併しても、JRの第3セクの問題、原発の問題、いろいろありますよね。多分、どこも合併しても問題はあるとは思うのですが。
2-116	串木野市	37	男	職員の意識改革 串木野市のことならわかるけど...では駄目
2-120	串木野市	30	男	ローターからドリームキャピターまでの屋根をつけて車の進入を禁止する。
2-121	串木野市	51	男	現在のまちづくりプランはあまりに行政側主導のなっていると思う。プランづくりについては、むしろ民間主導にしてそのプランを行政が引継ぎ事業を推し進めていく方法が良いのではないかと。行政について、あまりに国が統一的なものを押しつけているのではないかと。国の官僚が机上論をつい押しつけてくると思われる。地方の時代というのであれば、もう少し地方に権力を分散してやりやすいようにすべきである。
2-127	串木野市	39	男	採用試験の再検討。点数だけで採用したのでは最近役所に採用されたような住民に十分あいさつもできない人間ばかりなので、人格重視の採用を導入する。職員の研修で自衛隊に1ヶ月入隊させる 途中脱落者はクビ。まちづくりの主役は住民。役所の職員はオブザーバー
2-130	串木野市	35	男	2市4町3村とつなぐ組織(民間レベルにおいて)は、存続していないと思うが個人レベルを除く)これからこの合併に合わせて集約が始まるであろう。団体の育成が必要であるから時限的な補助金制度の確立(本市だけでなく全市町村に)
2-131	串木野市	31	男	今回の合併相手の東郷、入来、祁答院については正直言ってほとんど知らない。町の雰囲気、位置関係、特徴、名産品など全くわからない。どこかへ行くときに通ることもない。そういった町と同じ市になるということなので、地域としての一体感は今までより薄まると思う。どういった町なのか。住民に伝えることが必要ではないでしょうか。
2-139	串木野市	54	男	高齢者医療対策として保健事業の充実 住民に密着した生活環境の整備 不法投棄対策 牛豚のふん尿を処理し堆肥化する施設の建設
3-1	樋脇町	27	女	最近、住民や市の職員から“吸収合併”という言葉をよく耳にします。小さな町も大きな町も住民も職員も“合併で新しいまちをつくる”というような意識がもてたらと思います。
3-2	樋脇町	35	女	子供達に新しいまちはどんなまちになってほしい？と聞いてみることも大切だと思います。これからの子供達の夢のある意見を取り入れて欲しいです。
3-5	樋脇町	23	女	職員の能力の向上を図る研修なども充実させてほしいです。仕事の量などによって係りの人数が少なく負担が1人の職員ばかりにかかることのないように職員の必要な声には耳を傾けていただきたいです。
3-7	樋脇町	41	男	人事の交流があるのでネームプレートを大きく「ふりがな」をふって住民の方に早く覚えてもらっては。

4-2	入来町		女	入来町を良くするも悪くするも、行政、町民だと思います？それぞれが協力し合って(意見交換を聞いた)り助け合って。学生も就職率が少なく、大人もリストラ時代です。～デフレ時代～今までがあまりにもいろんな面で恵まれ過ぎていましたから、今からでも物を粗末にしないよう、親・子・家族・学校での話し合いの場を持つことが(正月ももうすぐです。お年玉も小・中・高とそれぞれ出来れば一律に…声かけも必要かと思ひます)裕福な生活から下げて生活することは、家計もやりくり大変になります。非行も多くなるのでは？そうならないように子供達にも仕事(手伝い)を与え、家庭で自作・自給の体験を…田植えは、各小学校でもありますが。
4-6	入来町	22	女	工夫したいこと:町の景観。歴史的建造物が多くある地域ならば、その周辺の環境にも配慮する。歩道は雰囲気を感じさせる石畳を思わせる色合いのものにする。中途半端な茶色やアスファルトでは、全体の景観が崩れてしまう。いかに歴史的建造物であったとしても、周囲に同じ時代の香りを感じさせるものがまったくなければ、見ただけで終わってしまう。合併すると、全体としてもさることながら、地域ごとに何を特色とするかも考えなければならない。そして、その特色を県内外に定着させることが課題になると思われる。施設について:図書館や博物館等施設について共通して言えることは、どこも月曜が休館日であることだ。一斉に施設が休みになってしまうと、外から訪れた方々を迎えることができない。また、屋内で展示してあるものを単に見るだけでなく、建造物群がある中に、家屋を利用してその地域の伝統的な食べ物・名産品を出す茶屋を造ることも良いのではないかと思われる。道路際にある「道の駅」も多くの人に利用してもらおうという点では有益であるが、建造物群を見て回って終わりではなく、その場で食も味わうことも、訪れた人々は求めているのではないだろうか。「魅力のあるまち」とは「立ち寄りたくなるまち」であると思う。
6-1	祁答院町	44	男	既存の行政サービスのレベルを低下することのないようにお願いします。中心部だけの整備、開発でなく旧市町村の区域にも配慮した整備、開発をし、周辺部が取り残されることのないようにお願いしたい。現市町村の庁舎は支所として残ると思われるが、交通弱者の利便性も考慮し、相当の機能を支所に残すように検討をお願いしたい。
6-2	祁答院町	55	男	新市の関係市町村より階層別(20代5人、30代5人)の構成職員により年数回のまちづくり等についての意見交換会をする。
6-3	祁答院町	48	男	新市名称「西薩摩市」「西さつま市」「東シナ海市」「温泉(おゆ)市」「温泉(おんせん)市」「山海(さんかい)市」「健康市」「幸福市」「ハッピー市」「西日本市」「西鹿児島市」
7-1	里村	48	女	「新市」という大きな型の中で、我々里村は、海を越えた住民レベルの交流の機会をふやしていくべきである。合併しても町や村々が、それぞれの個性を自覚し、尊重し合えるように。 里村は、今まで大切に守ってきた、習慣、風習、祭り、行事を伝統として、「新市」へアピールし、交流し合う。人々の往来も多くなるのでは…。そして、豊かな自然と、その産物を「新市」の市場の中で、活かしたら一。そうすれば「新市」の中でも、重要なもしかして貴重な観光スポットとなるのではないだろうか。
7-2	里村	55	男	今輝いている世界の都市は中国の上海市であるといわれている。日本の都市で一番そこに近いのは、川内市中心とする合併してできる新市である。上海と何らかの形で姉妹都市のような交流の糸口となるような契約を結ぶ。そして、いろんな形でその交流を進展させ中国との交易の中心地となるように施策を進めていく。まず、定期的な航路を開設すると共に交流活動を進め、若者をひきつけるような施策を考える。そこから各方面へ接触し、発展可能な方向性を見出していく。 中国では社会主義体制が崩れ今後一番いろいろな面で伸びていく国であるといわれている。一番日本で上海に近い市としては新市合併を機に何らかの方策を講じるべきではなからうか。
8-1	上甑村	59	男	全国的に離島と本土の合併は少ないと思われるが厳しい中にも、全国のモデルとなるまちづくりを期待します。
9-3	下甑村	48	男	議員を合併市町村から最低でも1名～2名選出できるような地区割にできないでしょうか。
11-45	川内地区消防組合	38	男	今、地球環境保護とかいろいろ言われていますが、エネルギー、主に電気については火力・原子力大きな発電所があるのでクリーンエネルギーのまちを掲げてソーラー発電の開発に協力・後援をして公用車は電気自動車に全て換え、電源をソーラーエネルギーに頼るとか、ゴミ焼却もダイオキシンのでない物にするとか環境にやさしいまちづくりはどうか 宇宙観のイベントをしてはロケットで有名な内之浦や種子島と何かつながりを持つとか宇宙飛行士の毛利さんと呼び、宇宙の不思議とか後援をもらう。宇宙飛行士体験のできる施設を造る。
12-9	西薩衛生処理組合	48	男	し尿処理施設に働く者として…現、西薩環境センターも稼働以来23年を経過し、施設の老朽化が目立ち、臭気等対策についても、十分行き届かないのが現状です。地域住民との信頼関係を維持するうえからも処理施設の更新について、真剣に検討する必要があると思ひます。

13-3	串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	45	男	合併による生活圏、環境等の大幅な変化がない事。
1	個別応募・串木野	56	女	<p>11月16日に、岐阜県の大野町で「男女共同参画フォーラム」があり、ワークショップ・あなたと私のまちづくり～輝きたいあなたを支援するワークショップ～に参加、意見交換をして参りました。このワークショップでも、垂井町・神戸町・美濃市・大垣市のまちづくり代表によるそれぞれの市町村合併への意見が出ていました。出てきた言葉に…情報の必要性、行政への発信、まちづくり条例の可否、住民参加へのシステムづくりが必要、情報公開、行政からのトップダウンと住民からのボトムアップ、住基ネット、知るべき権利の情報、どこへ行ったら安心して手に入る？等下記に内容の一部と私の感じた事、市町村合併への思いを書きます。</p> <p>テーマは“あなたと私の「まち」づくり”を考える手掛り 1000年単位の文明史的大変革期に突入…1987年を境に世界は変わった。量 質への転換 ・三つの条件が「暮らし」と「価値観」を変えてゆく 政治の私物化…2世、3世議員の事。政治が国民の方を向いていない。医療技術が爆発的に変わった。技術革新、イノベーション、情報公開etc “システムの再考”が求められる</p> <p>日本社会の現実には女性の社会参加を抜きに考えられない…21世紀は人間としての共同参画時代、協働参画社会。「まち」づくりは「人づくり」。「人づくり」は「感動づくり」！！人間力を無視してのまちづくりは出来ない。共通の感動を持つ事、創る事。感動 最小効率の最大効果 まちづくりの キーワード 感動づくり 「右肩上り」の社会と「右肩下り」の社会 右肩上りの社会の行き着くところは満足した社会。これは動かない社会…今まで。右肩下りの社会は今までの価値観を革命的にといいののか、変える必然性がある。…感動づくりのまちづくりには、確かな未来が待っている。レスター・サロー教授の「ゼロサム理論」が示唆するところ 未来につなげるまちづくり、感動づくりには市町村などが共通事業をやることによって、大きさ広がりを持つ。レスター・サロー教授の言葉に「一極集中は自滅への道」がある。だから、違いを受け入れ、違う価値観を受け入れ、異分野の交流を進めよう。フランス型の行政のやり方 フランスの市役所では、問題をかかえた住民が訪れると1階のレセプション・ルームに通されて、まず市長が対応する。その内容にしたがって担当部課の責任者が呼び出され、「これに対しては君の権限で予算をどれだけは使っている、それ以上使う内容になるなら私に相談をしてくれ、あとは任せ」と指示を出し、そして今度は担当者がその人と話をするのです。日本の市役所内もフランスと同じにしるというわけではありません。ここで言いたいのは、日本型の役所の問題解決というのは、責任の軽い方の人から対応しますが、フランス型の場合は、一番責任の重い人が最初に交渉の前面にでてくるということです。それくらい、日本はある種の発想転換をすべきときにきているのではないかと思うのです。</p> <p>これからのまちづくり これまでのまちづくりは、自分の市や町は、どこそこの県やどこそこの市よりも頑張っているということをそこに住む住民にではなく、他府県の人から評価してもらいたい、言ってもらいたいといったような町づくりをやってきました。いま、これが明らかに変わってきたのです。そこに住む人々のコンセンサスによって、これがいいと判断されれば、たとえ他の地域の人たちに遅れているといわれても、そこに暮らす私たちが幸せなら結構、他人の評価など気にしないという、自分の目線で選ぶ時代になってきたのです。そうした基準をむしろ他地域の人々が正しく評価してくれればなお結構というわけです。これは、非常に重要なキープポイントです。20年先、50年先、100年先を見つめ提言する人も必要 いま、この右肩下りの時代には「原点回帰」と「未来をみつめて」が同義語となりつつあります。日本人本来のアイデンティティーと地球環境を見据えた地球人としての私達のありかた。</p> <p>日本人本来のアイデンティティー……島国、村意識、農耕民族(弥生人)、富士山鎮守の森、自然崇拜、和敬静寂etc 地球環境を見据えた地球人……水、海洋、宇宙、引力、磁波、太陽、植物絶滅危惧種、温暖化、自然回帰etc</p> <p>新しい市の在りかたも、「原点回帰」と「未来をみつめて」を融合させ、気持ち・心・精神的なものをバックボーンとした、新しい市づくりを提言いたします。形あるものは、いつかは崩れ去っていきます。しかし、精神的なものは人類が存続するかぎり続いていきます。</p>

7	個別応募: 串木野市		男	<p>串木野からですけど今の町・村・市名はどんな市名になるか解らないけど、区にしてあとは町か字名を付ければそのまま電話も名前を残るのではないですか。小異は残し大同に尽くです。これからライフラインも兄弟並みに成る訳ですから助け合う意味でも人の流入がより活発になりなければ行く道が楽しみがないです。川内に自衛隊がありますけどこれを利用して海上自衛隊の舟を串木野に持って来て寄港してもらえば隊員達が買物土日などは飲食業も活発になり商店街も外部からの人で賑わうのではと思います。川内市が経験しているから教えて下さい。串木野は航空自衛隊のジェット機(戦闘機)を払い下げるように書類もあり後は場所です。まだあるけど、今回はこれです。不景気ですから国も協力してくれると思います。小さな市ですけど、互にまとまるとこんな嬉しい事はないです。</p> <p>不況にあえぐ底辺の経済状況、合併を機に箱物の建物で行政サービスでやっていると思うけども中味は大体赤字で住民は苦言を言っていますし、景気が悪いから尚更閉鎖か。必要な時だけとゆう意見が大多数です。入館者は同じ人をカラムードしています。一部の業者との補助金でのゆ着が串木野には有りますし、見直して下さい。それと私共は商店街の空き店舗をさつま狂句、川柳、俳句などの講座をしようと考えており又学生の活字離れに役立つと思います。又商店街がやっているシールチップスタンプの抽選も1ヶ所だけでなく各店で抽選するとその店に行き、又あの店で当たったと又興味をもって買い物をするし一極集中でなく各通りも喜ぶと思います。考えて下さい各店舗です。</p> <p>市外から人を引きつける魅力。知られなければ人は増えない。青果市場も串木野は川内の出張所に共存共栄で分かち合った方がいいです。串木野市場は生産者、小売業の為にして下さい。どうなるのですか残さないとしても農家も減ります。高齢農家は近くで小遣い銭孫のおみやげが欲しいのです。市の名前は、西鹿兒島市、南九市、ウエストサイド市(西側市)、鹿西市、癒原市</p>
8	個別応募: 川内市	32	男	<p>安全運転を十分に考えている 今の列車を有効に残す イベントをもっと生かしていく 大人から障害をバリアフリーが重要 全国の家族 川西薩へもっと多くの人が楽しみやっどん いろいろなイベントをそれぞれ考える</p>
11	個別応募: 樋脇町		男	<p>平成の大合併と題して国中を騒がせて如何にも何事か国家的に風雲急を告げるが如きである。震源はどこで始まったのか行政組織なのか財政組織であるのか衆参院及地方行政組織については全く触れていないのである。私は去る1月3日付南日本新聞記事「正月に街の未来を考へて見て」所見を述べる事とした極一般的に意って住民の指示を得ようと思ふ者は開口一番に住み良い街づくりを発するのが常である。特に持ち前の弁論によって人気を得ようと躍起になる心よい結果が出るとそれまでで遠い過去のものとして去って行く。即ち当事者は次の段階に入っているのである。要は、自己保身であって得にならないものには拒否する為、行政者に対する不信は増幅したら時を繰り返して行くのである。集落の住民が団欒に生活を営み行くのは集団的生活の知恵であり、法治国家的常識を身につけて居るからである。郷土の誇りとか親和は情緒豊かな人間を育み郷土愛と伝統を重んじ自然との調和によって伸び行く青少年の姿であって人間形成の一つである。個性は優しさを備えた貴重な人材が生まれるのではと思われる。比の部分が良く育っていないと幾ら教育による修正を行って見ても無駄というものであろう。拗って合併について今日までに各々の町村にて努力して来た発展策については各書管において充分と掌握している筈である。合併後においては更に値をつけて広域での利を發揮することが最も重要である。即ち旧来の境介的遍重感をすてて広論に訴へて合併の目的へ向かって前進しなければと思つて居る。人口密度の状況教育施設社会教育各施設に対する行事の概要等多種多様である。町村合併という名分により従来よりサービスが低下する直ちに住民の失笑をうける樋脇町は過去に於て川内市農協との合併をする貴重な経験をしているのである。比の期に合併しなければ農協経営は破綻するとまでいわれたのである。今にして考えれば主導した県連に対し結果責任を取れという度いのである。即ち農協経営は都市型農協と化し、古来農業経営を目指し増産体勢に備へて身近な場所に設置した販売部、給油所、事務所、集荷所、精米所、等は総て閉鎖したのである。経営の内容について充分知って貰ひ度い事を先づお願いしておきたいのである。県連の運営状況について何回となく質問しても返答は帰って来ない。農協県連を廃止しなければ町村合併しても効果なし。即ち収入源となる各手数料は軍農の徴収する約8%との半分程度を徴収して居るのである。更に加へて出荷資財(ビニール、ダンボール)等農機具等(メーカー納入時)については農機資格に転加される比の額については実に驚くべきである。常に足場を固め、自らの護身策に専念す為には頭初の目的であった農家の育成を忘れて農家は行き詰まり専農は倒産しても県連は残る。最後には中央会が残る。今日まで農家より汲み上げた保険料貯金等を持って居るからである、現実的にいって、農協は職員の管理組合なのだ。合併の実施については事前検討を行って行動計画を樹立し、(審議委員選出については眞に地域の代表たる可人物を抽出する事も肝要である。更には、合併移行後自分の問委員会は存続し、合併の行き先について監視し公平な施策が行われる事を期待するところである。</p>